


(仮称) 津市豊が丘会館別館建築工事

図面リスト					
建築工事					
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	建築工事特記仕様書1	A-28	2階平面詳細図	S-01	構造特記仕様書
A-02	建築工事特記仕様書2	A-29	展開図No.1	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図1
A-03	建築工事特記仕様書3	A-30	展開図No.2	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図2
A-04	建築工事特記仕様書4	A-31	展開図No.3	S-04	鉄骨工作標準図1
A-05	建築工事特記仕様書5	A-32	展開図No.4	S-05	鉄骨工作標準図2
A-06	建築工事特記仕様書6	A-33	展開図No.5	S-06	露出型弾性固定柱脚標準図
A-07	建築工事特記仕様書7	A-34	展開図No.6	S-07	合成スラブ標準図
A-08	工事区分表	A-35	展開図No.7	S-08	ノンダイヤコア標準図1
A-09	設計概要、外部・内部仕上表	A-36	展開図No.8	S-09	ノンダイヤコア標準図2
A-10	敷地求積図・求積表、建築求積図・求積表、 各室面積図・求積表	A-37	1階・2階天井伏図	S-10	ノンダイヤコア標準図3
A-11	法規チェック	A-38	1階・2階建具符号図	S-11	鉄骨梁貫通孔標準図
A-12	配置図、附近見取図、平均地盤算定	A-39	建具表No.1	S-12	ポーリング柱状図
A-13	1階・2階平面図	A-40	建具表No.2	S-13	改良コラム伏図・柱状改良特記仕様書
A-14	屋根伏図	A-41	建具表No.3	S-14	基礎伏図
A-15	立面図	A-42	建具表No.4	S-15	2階梁伏図・2階小屋伏図
A-16	断面図	A-43	各部詳細図No.1	S-16	2F+3, 250伏図・小屋伏図
A-17	矩計図	A-44	各部詳細図No.2	S-17	基礎詳細図No.1
A-18	B-B断面詳細図、C-C断面詳細図	A-45	各部詳細図No.3	S-18	基礎詳細図No.2
A-19	D-D断面詳細図	A-46	各部詳細図No.4	S-19	地中梁リスト・スラブリスト・雑配筋図
A-20	E-E断面詳細図	A-47	各部詳細図No.5	S-20	柱リスト・大梁リスト・小梁リスト・その他材リスト
A-21	E V 詳細図No.1	A-48	各部詳細図No.6	S-21	軸組図No.1
A-22	E V 詳細図No.2	A-49	各部詳細図No.7	S-22	軸組図No.2
A-23	E V 詳細図No.3	A-50	外構配置図	S-23	軸組図No.3
A-24	E V 詳細図No.4	A-51	外構詳細図No.1	S-24	軸組図No.4
A-25	E V 詳細図No.5	A-52	外構詳細図No.2	S-25	鉄骨詳細図No.1
A-26	E V 詳細図No.6	A-53	外構撤去図	S-26	鉄骨詳細図No.2
A-27	1階平面詳細図	A-54	仮設計画図	S-27	鉄骨詳細図No.3

特 記 事 項		 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士 第117489号 前野 初 俊 一級建築士 第320204号 前野 将 輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	(仮称) 津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	A-00 (原図:A2)
				一級建築士 第360917号 前田 祐作			図面名称	図面リスト	縮尺

工事特記仕様書

Ⅰ. 工事名 (仮称)津市豊が丘会館別館建築工事	
Ⅱ. 工事概要	
1. 工事場所	津市豊が丘二丁目地内
2. 敷地面積	1,027.98 m ²
3. 工事内容	
棟名称	(仮称)津市豊が丘会館別館
構造	鉄骨造
建築面積	299.64 m ²
延べ面積	435.86 m ²
工事項目	建築工事、外構工事

Ⅲ. 建築工事仕様

- 共通仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、公共建築工事標準仕様書(「建築工事編」最新版)(以下「標準仕様書」)及び公共建築改修工事標準仕様書(「建築工事編」最新版)
- 特記仕様
1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2)特記事項は、○印の付いたものを適用する。
3)項目に記載の()内番号は標準仕様書の当該項目、図又は表を示す。

章	項目	特記事項
① 一般共通事項	①適用基準等	本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。 1) 建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修(平成28年版) 2) 建築物解体工事共通仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修(平成28年版) 3) 津市公共建築物等木材利用方針
	②施工条件	施工方法に関する事項 本工事は都市公園施設内で行われるため、次の事項を施工条件とする。 ※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。 現場作業着手までの敷地内調査は、事前に施設管理者(以下、「施設関係者」)及び市監督員の承諾を得るものとし、また休日等の行事に影響を与えない範囲とする。 ※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。 ※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。 ※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手する事とし又、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承認を得てから行うこと。 ※ 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意しかつ周辺道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないように万全の注意を払うこと。また、公園利用があるため、仮囲い等で工事エリアを明確に分離し、交通誘導員の配置により、注意を図ること。 ※ 場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。 ※ 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。 ※ 大型車両通行時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。 ※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。 ※ 工事期間中、工事に起因し既存施設破損等を与えた場合は、工事請負者の責任において速やかに現状復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。 ※ 工事着手前には、現況状況把握の為に破損箇所等があれば、市監理員立会いのもと写真に記録しておくこと。また、工事過程に於いて、既設施設に破損等を与えた場合は、請負者の負担において速やかに復旧すると共に、市監督員に報告すること。 ※ 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるものは本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。 ※ 工事期間中も公園は開放されているため、十分に安全を期すること なお、8月5日、6日は盆踊りが行われるため休工とする。

③発生材の処理等 (1.3.11)

・本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。)施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。

工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
屋根	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
その他(外構)	○有・無	○手作業 ○手作業、機械作業の併用

- ・引渡を要するもの (・無)
- ・特別管理産業廃棄物 ・有() 処理方法()
- ・アスベスト成形板等解体時の留意点
1.手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。
2.可能であれば湿潤状態(散水)として作業を進めること。
3.飛散されない様にする事。
4.保護具及び作業着を着用すること。
5.解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。
6.事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。
- ・再資源化を図るもの ・コンクリート塊
・アスファルトコンクリート塊
・建設発生木材

引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し監督員へ提出すること。
引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェストA、B2、D票を提示すること。

4.建設副産物情報交換システムの利用

受注者は受注時において延べ面積が500m²以上の工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書(実施書)」、「再生資源利用促進計画書(実施書)」を監督員に提出すること。また、工事着手前にJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータを入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。

⑤三重県産業廃棄物税

本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表(マニフェストの数量の集計)を超えて請求することはできない。

適用する

6.電気保安技術者 (1.3.3) 7.技能士 (1.5.2)

職種別に可能なものについては積極的に活用すること

⑧建築材料等

- 1) 本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。
- 2) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。

⑨化学物質の濃度測定 (1.5.9)

測定対象化学物質 (●で示したものとする。)							
適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン
	学校、教育施設	●	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	
○	その他	●	●	●	●	●	

対象箇所 (○)図示(図面番号:A-13) ・()
測定方法 (○)パッシブ法 ・アクティブ法)
報告書提出部数 2部

10.特別な材料の工法

標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

⑪騒音・振動の防止

低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

⑫工事写真

営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修(最新版))に従い撮影する。
提出部数 1部 用紙は上質紙とする。

⑬完成図書 (1.7.2)

- 作成する ○ 完成図 ○ 保全に関する資料 ・()
- 完成図作図範囲(設計図を訂正)
完成図はCADにより作成することとし、著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む)は発注者に移譲するものとする。また、製本2部により提出すること。

⑭完成写真

- デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。(A4版用紙に1ページあたり3枚) 1部
箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多くなる場合には、監督員と協議すること。
写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。

⑮設備工事との取合い

- 施工範囲
- 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強
- 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び補強
- 駆動装置又は電動建具等の2次側配管配線及び操作スイッチ施工図
- 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。

⑯設計GL

- 図示のベンチマーク(B.M) + 80 mm
(現状地盤はB.M mm)

⑰養生その他

工事施工に際し既存部分を汚損又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、既存にならぬ補修すること。

⑱事故の発生時

工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員に提出すること。
また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

⑲消防法関係の手続き

- 1) 消火器に係る消防法用設備等設置届出書の作成
○本工事 ○建築工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事)
・別途工事
- 2) 防火対象物使用開始届出書
書類の作成(建築図面の作成及び建築に関する部分の記入)を行うこと。
労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の受注者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

⑳労働安全衛生法に基づく労働衛生害防止措置

- 1) 一般事項
市工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両(資機材等の搬出入車両を含む。)並びに建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。
- 2) 調査の協力
受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また受注者は、下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。
- 3) 是正措置
受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

㉑不正軽油の使用の禁止

- 1) 一般事項
市工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両(資機材等の搬出入車両を含む。)並びに建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。
- 2) 調査の協力
受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また受注者は、下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。
- 3) 是正措置
受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

22.屋外広告物

屋外広告物を設置する場合は「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告業の登録事業者であること。

特記事項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	(仮称)津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	A-01 (原図:A2)
	株式会社 前野建築設計	一級建築士 第360917号 前田 祐作			図面名称	建築工事特記仕様書1	縮尺	NS

仮設工事	<p>1. 監督員事務所 (2.3.1)</p> <p>・設置する。 監督員事務所の規模 (単位: m)</p> <table border="1"> <tr> <td>適用</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>規模</td> <td>10程度</td> <td>20程度</td> <td>35程度</td> <td>65程度</td> <td>100程度</td> </tr> </table>	適用						規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度	<p>5. 試験杭及び試験掘 (4.2.2)</p> <p>・試験杭 位置、本数及び寸法 図示 (図面番号:) <input checked="" type="radio"/> 試験掘 位置、本数及び寸法 図示 (図面番号: S13)</p> <p>6. 杭の支持地盤</p> <p>支持地盤の位置、種類 <input checked="" type="radio"/> 図示 (図面番号: S-12) ・ ()</p> <p>() mm以下</p> <p>7. 水平方向の位置ずれ</p> <p>() mm以下</p> <p>8. 杭の載荷試験 (4.2.3)</p> <p>試験方法 ・ 鉛直載荷 ・ 水平載荷 ・ () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 ・ 図示 (図面番号:) 載荷荷重 () kN 報告書 ・ 提出部数 2部</p> <p>9. 地盤の載荷試験 (4.2.4)</p> <p>試験方法 ・ 平板載荷 ・ () 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 ・ 図示 (図面番号:) 載荷荷重 () kN 報告書 ・ 提出部数 2部</p> <p>10. 既製コンクリート杭 (4.3.2)</p> <p>・ PHC杭 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種 (4.3.3) ・ SC杭 (4.3.4) ・ PRC杭 (4.3.5) ・ 上記以外の建築基準法に基づく杭 (参考表)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>杭径 (mm)</th> <th>杭長</th> <th>継手数</th> <th>セット数</th> <th>長期設計支持力 (kN/本)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>先端形状 ・ 開放型 ・ 閉そく型 施工方法 ・ 打込み工法 設計支持力 () 打込み杭の推定支持力の算定方法 () ・ 打撃工法 ・ プレボーリング打撃併用工法 (掘削深さ 設計GL m 掘削径 mm) ・ セメントミルク工法 ・ オーガーの支持地盤への掘削深さ () m ・ 図示 (図面番号:) ・ 杭の支持地盤への根入れ深さ () m ・ 図示 (図面番号:) ・ 特定埋込杭工法 (建築基準法に基づく埋込杭工法とする。) 継手 ・ アーク溶接 ・ 無溶接継手 (工法:) 杭頭の処理 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>11. 鋼杭地業 (4.4.2)</p> <p>(表4.4.2) 径 ・ 300 ・ 350 ・ 400 ・ 450 ・ () (4.4.4) 長さ () m (4.3.3) 先端形状 ・ 開放形 ・ () (4.3.5) 補強方法 ・ 補強バンド ・ () (4.3.6) 継手 ・ JISA5525 (鋼管ぐい) (4.3.7) 施工方法 ・ 打込み工法 設計支持力 () 打込み杭の推定支持力の算定方法 () ・ 打撃工法 ・ プレボーリング打撃併用工法 (掘削深さ 設計GL m 掘削径 mm) ・ 特定埋込杭工法 (建築基準法に基づく埋込杭工法とする。) 杭頭の処理 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>12. 場所打ちコンクリート杭地業 (4.5.3)</p> <p>(4.5.4) ・ リバース工法 (4.5.4) ・ オールケーシング工法 (4.5.5) ・ 鋼管コンクリート杭工法 掘削方法 ・ 行わない ・ 行う () 孔壁の超音波測定 ・ 行う ・ 行わない</p>	種別	杭径 (mm)	杭長	継手数	セット数	長期設計支持力 (kN/本)	備考																						<p>帯筋 ・ 図示 (図面番号:) 鉄筋ごの補強 ・ 標準仕様書 [4.5.3] (a) (iii) による ・ 図示 (図面番号:) コンクリートの種類 ・ A種 ・ B種 設計基準強度 () N/mm² セメントの種類 ・ 高炉セメントB種 ・ () 最小かぶり厚さ () mm 構造体強度補正值 (S) ・ 3N/mm² ・ ()</p> <p>(表4.5.1)</p> <p>13. 地盤改良 ・ (地盤柱状改良) 工法 <input checked="" type="radio"/> 六価クロム溶出試験 <input checked="" type="radio"/> 室内配合試験 <input checked="" type="radio"/> 一軸圧縮試験</p> <p>14. 砂及び砂利地業 (4.6.3)</p> <p>厚さ (mm) <input checked="" type="radio"/> 60 <input checked="" type="radio"/> 100 <input checked="" type="radio"/> 150 ・ 仕上がりレベルを計測し、記録すること。</p> <p>15. 捨コンクリート地業 (4.6.4)</p> <p>厚さ (mm) <input checked="" type="radio"/> 50 ・ () ・ 仕上がりレベルを計測し、記録すること。</p> <p>16. 床下防湿層 (4.6.5)</p> <p>施工範囲 <input checked="" type="radio"/> 図示 ポリエチレンフィルム厚さ <input checked="" type="radio"/> 0.15mm以上 ・ () <input checked="" type="radio"/> 防湿層の重ね幅、基礎梁へののみ込みは、250mm以上とする。</p>	<p>6. コンクリート工事</p> <p>1. コンクリートの種類及び強度 (6.2.1)</p> <p>(表6.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度 Fc</th> <th>適用箇所</th> <th>施工時期</th> <th>スランプ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 21 (N/mm²)</td> <td></td> <td></td> <td>・ 18 (cm)</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/> 24 (N/mm²)</td> <td>基礎、躯体</td> <td></td> <td><input checked="" type="radio"/> 15 (cm)</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/> 18 (N/mm²)</td> <td>捨て、土間、デッキ上</td> <td></td> <td><input checked="" type="radio"/> 18 (cm)</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 防水保護コンクリートの設計基準強度 (6.11.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度 Fc</th> <th>適用箇所</th> <th>種類</th> <th>気乾単位容積質量</th> <th>スランプ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="radio"/> 21 (N/mm²)</td> <td>防水押工</td> <td>種類</td> <td>・ 19t/m³</td> <td>・ 18 (cm)</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 常時土又は水に直接接する部分 図示 (図面番号:)</p> <p>3. コンクリートの種類 (6.2.1)</p> <p>(表6.2.1)</p> <p>4. セメント (6.3.1)</p> <p>(表6.3.1)</p> <p>5. 骨材 (6.3.1)</p> <p>アルカリシカリ反応性による区分 <input checked="" type="radio"/> AL (コンクリート中のアルカリ総量を規制) ・ A (安全と認められる骨材を使用) なお、ALで規制できない場合はAとし、その試験は、施工着手前、工事中1回/6ヶ月かつ産地が変わった場合に信頼できる試験機関で行い、試験に用いる骨材の採取は、請負者立ち会いのもと、試験を行う者が、生コン工場のストックヤードから試料を採取して試験を行うこと。 ・ 特殊な骨材の使用 ・ フェロニッケルスラグ細骨材 ・ 鋼スラグ細骨材 ・ 電気炉酸化スラグ骨材 ・ 再生骨材H</p> <p>6. 混和材料 (6.3.1)</p> <p>混和剤の種類、使用方法、使用量 <input checked="" type="radio"/> 標準仕様書 [6.3.1] (d) (i)、標準仕様書 [6.3.2] (2) (vi) ・ () 混和材の種類、使用方法、使用量 <input checked="" type="radio"/> 標準仕様書 [6.3.1] (d) (i)、標準仕様書 [6.3.2] (2) (vi) ・ ()</p> <p>7. 型枠 (6.8.2)</p> <p>材料 <input checked="" type="radio"/> 複合合板 (厚さ (mm) <input checked="" type="radio"/> 12 ・ ()) 打増し厚さ <input checked="" type="radio"/> 図示 (図面番号: S-14) 誘発目地、打継ぎ目地、化粧目地の位置、形状及び寸法 (表6.8.1) <input checked="" type="radio"/> 図示 (図面番号: A-15) ・ 断熱材の兼用 ・ MCR工法用シート スリーブの材種、規格等 <input checked="" type="radio"/> 標準仕様書 [表6.8.1] ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>8. コンクリート強度試験 (6.9.3)</p> <p>圧縮強度試験の供試体の材齢 ・ 材齢28日 ・ 型枠脱型用 <input checked="" type="radio"/> 材齢28日を越え91日以内</p> <p>9. 寒中コンクリート (6.11.2)</p> <p>適用期間 () ・ 調合管理強度、調合強度を積算温度を基に定める</p> <p>10. 暑中コンクリート (6.12.2)</p> <p>構造体強度補正值 (S) <input checked="" type="radio"/> 6 N/mm² ・ ()</p> <p>11. マスコンクリート (6.13.1)</p> <p>適用箇所 ・ 図示 (図面番号:) セメントの種類 ・ 中熱ポルトランドセメント ・ 低熱ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 普通ポルトランドセメント</p>	設計基準強度 Fc	適用箇所	施工時期	スランプ	・ 21 (N/mm ²)			・ 18 (cm)	<input checked="" type="radio"/> 24 (N/mm ²)	基礎、躯体		<input checked="" type="radio"/> 15 (cm)	<input checked="" type="radio"/> 18 (N/mm ²)	捨て、土間、デッキ上		<input checked="" type="radio"/> 18 (cm)	設計基準強度 Fc	適用箇所	種類	気乾単位容積質量	スランプ	<input checked="" type="radio"/> 21 (N/mm ²)	防水押工	種類	・ 19t/m ³	・ 18 (cm)	・					・					<p>特記事項</p>	<p>設計年月日</p> <p>工事名称</p> <p>図面名称</p>	<p>(仮称) 津市豊が丘会館別館建築工事</p> <p>建築工事特記仕様書 2</p>	<p>図面番号</p> <p>縮尺</p>	<p>A-02 (原図:A2)</p> <p>NS</p>
	適用																																																																																				
	規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度																																																																															
	種別	杭径 (mm)	杭長	継手数	セット数	長期設計支持力 (kN/本)	備考																																																																														
設計基準強度 Fc	適用箇所	施工時期	スランプ																																																																																		
・ 21 (N/mm ²)			・ 18 (cm)																																																																																		
<input checked="" type="radio"/> 24 (N/mm ²)	基礎、躯体		<input checked="" type="radio"/> 15 (cm)																																																																																		
<input checked="" type="radio"/> 18 (N/mm ²)	捨て、土間、デッキ上		<input checked="" type="radio"/> 18 (cm)																																																																																		
設計基準強度 Fc	適用箇所	種類	気乾単位容積質量	スランプ																																																																																	
<input checked="" type="radio"/> 21 (N/mm ²)	防水押工	種類	・ 19t/m ³	・ 18 (cm)																																																																																	
・																																																																																					
・																																																																																					
<p>2. 監督員事務所の備品 (2.3.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>机・いす</th> <th>書棚</th> <th>黒板・白板</th> <th>掛時計</th> <th>温度計</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>組</td> <td>台</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>個</td> </tr> <tr> <th>種類</th> <td>長靴</td> <td>雨合羽</td> <td>保護帽</td> <td>懐中電灯</td> <td>衣類ロッカー</td> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>足</td> <td>着</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>台</td> </tr> <tr> <th>種類</th> <td>消火器</td> <td>掃除具</td> <td>受注者加入電話・FAX</td> <td>インターネット</td> <td>冷暖房機器</td> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>台</td> <td>台</td> <td>台</td> </tr> </table> <p>監督員職員事務所の仕上げ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位等</th> <th>仕 上 げ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>床</td> <td>合板張り又はビニール床シート張り</td> </tr> <tr> <td>内壁・天井</td> <td>合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>溶融亜鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 仮設便所</p> <p>構内既存の施設 ・ 利用できる <input checked="" type="radio"/> 利用できない</p> <p>4. 工事用水</p> <p>構内既存の施設 ・ 利用できる (・ 有償 ・ 無償) <input checked="" type="radio"/> 利用できない</p> <p>5. 工所用電力</p> <p>構内既存の施設 ・ 利用できる (・ 有償 ・ 無償) <input checked="" type="radio"/> 利用できない 本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。</p> <p>6. 足場</p> <p>設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン (厚生労働省平成21年4月)」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。</p> <p>7. 交通誘導警備員</p> <p>配置 <input checked="" type="radio"/> 図示 (図面番号: A-54)</p>	種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計	数量	組	台	個	個	個	種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー	数量	足	着	個	個	台	種類	消火器	掃除具	受注者加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器	数量	個	個	台	台	台	部位等	仕 上 げ	床	合板張り又はビニール床シート張り	内壁・天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗	屋根	溶融亜鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り	<p>3. 土工事</p> <p>1. 埋戻し及び盛土 (3.2.3)</p> <p>(表3.2.1)</p> <p>2. 建設発生土の処理 (3.2.5)</p> <p>・ 処分地指定 処分地 () ・ 処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 8km</p> <p>3. 山留めの撤去 (3.3.3)</p> <p>・ 撤去 ・ 存置</p>	<p>4. 地業工事</p> <p>1. 杭の施工管理</p> <p>杭工事特記仕様書による。</p> <p>2. 適用基準</p> <p>本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。 国土交通省告示第468号 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」 (平成28年3月4日)</p> <p>3. 施工記録</p> <p>受注者は、杭の施工期間中は、1週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。 なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。</p> <p>4. 根拠資料</p> <p>共通仕様書、特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料 (施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等) は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第31条第4項又は第5項 (第38条においてこれらの規定を準用する場合を含む。) の規定による引渡しを受けた日から10年とする。 また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。</p>																																							
種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計																																																																																
数量	組	台	個	個	個																																																																																
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー																																																																																
数量	足	着	個	個	台																																																																																
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器																																																																																
数量	個	個	台	台	台																																																																																
部位等	仕 上 げ																																																																																				
床	合板張り又はビニール床シート張り																																																																																				
内壁・天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗																																																																																				
屋根	溶融亜鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り																																																																																				
<p>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号</p> <p>株式会社 前野建築設計</p> <p>一級建築士 第117489号 前野 初 俊</p> <p>一級建築士 第320204号 前野 特 輝</p>	<p>一級建築士 第307846号 三橋 五百子</p> <p>一級建築士 第360917号 前田 祐 作</p>	<p>一級建築士 第304509号 水谷 浩</p>	<p>設計年月日</p> <p>工事名称</p> <p>図面名称</p>	<p>(仮称) 津市豊が丘会館別館建築工事</p> <p>建築工事特記仕様書 2</p>	<p>図面番号</p> <p>縮尺</p>	<p>A-02 (原図:A2)</p> <p>NS</p>																																																																															

鉄骨工事	12. 無筋コンクリート (6.14.1)	スランブ ・ 15cm ・ () 混和剤 ・ 標準仕様書[6.13.2](b)(1) ・ () 適用箇所 標準仕様書[6.14.1] ・ 上記以外の適用箇所 () 設計基準強度 ・ 18(N/mm ²) ・ () (N/mm ²) スランブ ・ 15cm ・ 18cm	⑩ デックプレート (7.2.7)(7.7.8) 材質、形状及び寸法 ○ 図示(図面番号:S-01.07.15) 溶接方法 ○ 図示(図面番号:S-07)	3. ALCパネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">単位 荷重 (N/mm²)</th> <th colspan="2">呼び寸法</th> <th rowspan="2">構法</th> <th rowspan="2">耐火性能</th> </tr> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>幅(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・外壁 パネル</td> <td>・()</td> <td>・100 ・()</td> <td>・()</td> <td>・A種・B種</td> <td>・()時間 ・無し</td> </tr> <tr> <td>・間仕切 壁パネル</td> <td>・()</td> <td>・100 ・()</td> <td>・()</td> <td>・C種・D種 ・E種</td> <td>・()時間 ・無し</td> </tr> <tr> <td>・屋根 パネル</td> <td>・()</td> <td>・100 ・()</td> <td>・()</td> <td>・F種</td> <td>・()時間 ・無し</td> </tr> <tr> <td>・床 パネル</td> <td>・()</td> <td>・100 ・120 ・150</td> <td>・()</td> <td>・F種</td> <td>・()時間 ・無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>パネル幅を300mm以下とする部分 ・ 適用あり 外壁、屋根及び床パネル構法 風圧力に対応した工法 ・ 適用あり 出隅、入隅等の取合い部の伸縮目地幅(mm) ・ () 伸縮目地への耐火目地材の充填 ・ 適用する(材料:)</p>	種類	単位 荷重 (N/mm ²)	呼び寸法		構法	耐火性能	厚さ(mm)	幅(mm)	・外壁 パネル	・()	・100 ・()	・()	・A種・B種	・()時間 ・無し	・間仕切 壁パネル	・()	・100 ・()	・()	・C種・D種 ・E種	・()時間 ・無し	・屋根 パネル	・()	・100 ・()	・()	・F種	・()時間 ・無し	・床 パネル	・()	・100 ・120 ・150	・()	・F種	・()時間 ・無し	(9.2.4) (9.2.5) (表9.3.1) ~(表9.3.3)	<p>屋根露出防水絶縁断熱工法 ルーフトレン回り及び立ち上がり部周辺断熱材の張りじまい位置 ・ 図示(図面番号:) 保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ○ 水下 80mm以上 ・ () 床タイル張り ・ 水下 60mm以上 ・ () 屋上排水溝 ○ 図示(図面番号:A-20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	種 別	施 工 箇 所						
	種類	単位 荷重 (N/mm ²)	呼び寸法		構法			耐火性能																																							
厚さ(mm)			幅(mm)																																												
・外壁 パネル	・()	・100 ・()	・()	・A種・B種	・()時間 ・無し																																										
・間仕切 壁パネル	・()	・100 ・()	・()	・C種・D種 ・E種	・()時間 ・無し																																										
・屋根 パネル	・()	・100 ・()	・()	・F種	・()時間 ・無し																																										
・床 パネル	・()	・100 ・120 ・150	・()	・F種	・()時間 ・無し																																										
種 別	施 工 箇 所																																														
13. 流動化 コンクリート (6.15.1)	適用箇所 ・ 図示(図面番号:)	⑫ 材料試験等 (7.2.10) 板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験 ・ JIS G 0901により行う	⑪ 柱底均し モルタル (7.2.9) (7.10.3) (表7.10.2)	4. 押出成形 セメント板 (8.5.2) (8.5.3) (8.5.4) (表8.5.1) (8.5.5) (表8.5.2)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>表面形状及び 原料区分</th> <th>板厚(mm)</th> <th>働き幅 (mm)</th> <th>工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・外壁 パネル</td> <td>・フラットパネル ・デザインパネル ・タイルベースパネル</td> <td>・()</td> <td>・()</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>・間仕切壁 パネル</td> <td>・フラットパネル ・デザインパネル ・タイルベースパネル</td> <td>・()</td> <td>・()</td> <td>・B種 ・C種</td> </tr> </tbody> </table> <p>パネル相互の目地幅(mm) ・ 長辺 8以上、短辺 15以上 ・ () 出隅、入隅の接合部の伸縮調整目地幅(mm) ・ 15 ・ () 目地及び隙間の処理 ・ () 外壁パネル構法 風圧力に対応した工法 ・ 適用あり 間仕切壁パネル構法 パネルに欠き込みを行う場合 ・ パネル開口の限度 ・ 図示(図面番号:)</p>	種類	表面形状及び 原料区分	板厚(mm)	働き幅 (mm)	工法	・外壁 パネル	・フラットパネル ・デザインパネル ・タイルベースパネル	・()	・()	・A種 ・B種	・間仕切壁 パネル	・フラットパネル ・デザインパネル ・タイルベースパネル	・()	・()	・B種 ・C種	2. 改質アスファルト シート防水 (9.3.2) (9.3.3) (表9.3.1) ~(表9.3.3)	<p>改質アスファルトシート 種類 ・ 標準仕様書[表9.3.1] ~ [表9.3.3] ・ 図示() 厚さ ・ 標準仕様書[表9.3.1] ~ [表9.3.3] ・ 図示() 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類 ・ 標準仕様書[表9.3.1] ~ [表9.3.3] ・ 図示() 厚さ ・ 標準仕様書[表9.3.1] ~ [表9.3.3] ・ 図示() 仕上塗料 ・ 図示(図面番号:) 種類() 使用量() 脱気装置 ・ 設置数量 図示(図面番号:) 種類() 断熱材 ・ 屋根露出防水絶縁断熱工法 種類() 厚さ() mm</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	種 別	施 工 箇 所																							
種類	表面形状及び 原料区分	板厚(mm)	働き幅 (mm)	工法																																											
・外壁 パネル	・フラットパネル ・デザインパネル ・タイルベースパネル	・()	・()	・A種 ・B種																																											
・間仕切壁 パネル	・フラットパネル ・デザインパネル ・タイルベースパネル	・()	・()	・B種 ・C種																																											
種 別	施 工 箇 所																																														
7	① 施工管理技術者 (7.1.4) ② 製作工場 (7.1.3) ③ 鋼材 (7.2.1) ④ 高力ボルト (7.2.2) (7.3.2) (7.4.2) (7.4.7) ⑤ 普通ボルト (7.2.3) (7.3.2) (7.4.2) 6. 溶融亜鉛 めっき高力ボルト (7.3.2) (7.4.2) (7.12.4) ⑦ アンカーボルト (7.2.4) (7.3.2) (7.10.3) (表7.10.1) (表7.2.3) ⑧ 溶接材料 (7.2.5) ⑨ タンパクル (7.2.6)	○ 適用する (株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構の「鉄骨 製作工場の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から 認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・ J ○ R ・ M ・ H ・ S 材質、形状及び寸法 ○ 図示(図面番号:S-01.04.20~26) 種類 ○ トルシア形高力ボルト2種(S10T) ・ JIS形高力ボルト2種(F10T) ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト1種(F8T相当) 高力ボルトの径 ○ 図示(図面番号:S-20.25.26.27) ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ○ 図示(図面番号:S-04) すべり係数試験 ○ 行わない ・ 行う 試験方法等 ・ () JIS形、ナット回転法かつボルト長がねじの呼びの5倍を超える場合 ・ 回転量()° ボルト及びナットの材料等、ボルトの径 ○ 図示(図面番号:S-20.25.26) ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ○ 図示(図面番号:S-04) 摩擦面の処理 ・ プラスト処理(表面粗度50µmRz以上) ・ りん酸塩処理 すべり耐力等の確認方法 ・ すべり耐力試験 試験方法等 ・ () ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示(図面番号:) 適用箇所及び種類 構造用 ○ 図示 ・ SNR400B ・ () 建方用 ・ 図示(図面番号:) ・ SS400 ・ () 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み ・ A種 ○ B種 ・ C種 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ○ 標準仕様書[表7.2.3] ・ 図示(図面番号:) 構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状、寸法 ○ 図示 ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ○ 図示 材料 ○ 標準仕様書[7.2.5](a)(b)以外の溶接材料 () 種類及びねじの呼び等 ○ 図示(図面番号:S-20) 建築用ターンパクル鋼 ○ 割枠式 ・ () 建築用ターンパクルボルト ○ 羽子板ボルト ・ ()	⑬ 仮組 (7.3.10) ○ 行わない ・ 行う 仮組を行う範囲 ・ 図示(図面番号:) ⑭ 溶接作業に おける技能資格者 (7.6.3) ⑮ 溶接部の開先 (7.6.4) 開先の形状 ○ 図示(図面番号:S-05) ⑯ 溶接施工 (7.6.7) エンドタブの切除 ・ 適用箇所 図示(図面番号:) 板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部 ・ 低応力高サイクル疲労を受ける部位 図示(図面番号:) スカラップの形状 ○ 図示(図面番号:S-01.04) ⑰ 溶接部の試験 (7.6.11) 試験の種類 ・ 超音波探傷試験 ・ () 溶接区分 AOQL(%) 検査水準 備 考 現場溶接 ・ 2.5 ・ 4.0 ・ 計数連続生産型抜取検査 工場溶接 ・ 2.5 ・ 4.0 ○ 6 ⑱ 錆止め塗装 (7.8.3) 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る) ○ 標準仕様書[18.3.2]、[表18.3.1] ()種 耐火被覆材の接着する面への塗装 ○ 行わない ・ 行う 適用箇所 図示(図面番号:) 種類 ・ 標準仕様書[18.3.2]、[表18.3.1] ()種 ・ 標準仕様書[18.3.2]、[表18.3.2] ()種 19. 耐火被覆 (7.9.2) 部位 種 別 仕 様 20. 軽量形鋼構造 (7.11.2) 接合部(ボルト接合の場合) ○ 普通ボルト接合 ・ ()	① アスファルト 防水 (表9.2.3) ~(表9.2.8) (9.2.2) (9.2.3) 改質アスファルトシート 種類 ○ 標準仕様書[表9.2.3] ~ [表9.2.8] ・ 図示() 厚さ ○ 標準仕様書[表9.2.3] ~ [表9.2.8] ・ 図示() 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類 ○ 標準仕様書[表9.2.5] ~ [表9.2.8] ・ 図示() 厚さ ○ 標準仕様書[表9.2.5] ~ [表9.2.8] ・ 図示() 絶縁用シート ○ ポリエチレンフィルム(厚さ 0.15mm以上) ○ フラットヤーungkross (70g/m ²) 押え金物 ○ アルミ製 L30×15×2.0 ・ 図示(A-44) 断熱材 ・ 屋根保護防水断熱工法 種類() 厚さ() mm ・ 屋根露出防水断熱工法 種類() 厚さ() mm 屋根保護防水 立ち上がり部の保護コンクリート ○ 図示(図面番号:A-17.20) 乾式保護材 ○ 使用する 立ち上がり部保護れんが ・ JIS R 1250 ・ () 脱気装置 ・ 設置数量 図示(図面番号:) 種類() 屋根露出防水における仕上塗料 ・ 図示(図面番号:) 種類() 使用量() 屋内防水密着工法における保護層 ・ 図示(図面番号:) 防水層の下地モルタル塗り ・ 図示(図面番号:) 立ち上がりのコンクリート打放し仕上げの種類 種類 ○ B種 ・ ()	⑨ 防水 工事	3. 合成高分子系 ルーフィング シート防水 (9.4.2) (9.4.3) (表9.4.1) (表9.4.2) (表9.4.3) (9.4.2) (9.4.3) 仕上塗料 ・ 図示(図面番号:) 種類() 使用量() S-M2又はS1-M2で立上りを接着工法 立ち上がり面のシート厚さ ・ 15mm ・ () mm 屋内保護密着工法 モルタル塗り厚さ ・ () mm 床塗りの工法 ・ 標準仕様書[15.2.5](b)(2)(3) ・ () 保護コンクリートの厚さ ・ () mm 立上り部の保護モルタル塗厚さ ・ 7mm以下 ・ () mm 目地処理(S-F1、S-F2、S1-F1、S1-F2、S-C1) PC下地、ALC下地でS-C1の場合 ・ 図示(図面番号:) 増張り(S-F1、S1-F1、S-C1) PC入隅部、ALC下地でS-C1の場合 ・ 図示(図面番号:) 機械的固定工法 風圧力に対応した工法 ・ 図示(図面番号:)	4. 塗膜防水 (9.5.3) (表9.5.1) (表9.5.2) 脱気装置(X-1) ・ 設置数量 図示(図面番号:) 種類() 保護層(Y-2) ・ 図示(図面番号:) 仕上塗料 ・ 図示(図面番号:) 種類() 使用量() 適用部位 ○ 図示(図面番号:A-09.18) ※10年保証 防水層の種類及び工程 ○ C-UI ・ C-UP 下地処理(b)(1)から(3)以外の場合 ・ 図示(図面番号:)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>種 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td>X-1</td></tr> <tr><td> </td><td>X-2</td></tr> <tr><td> </td><td>Y-1</td></tr> <tr><td> </td><td>Y-2</td></tr> </tbody> </table>	施 工 箇 所	種 別		X-1		X-2		Y-1		Y-2																													
施 工 箇 所	種 別																																														
	X-1																																														
	X-2																																														
	Y-1																																														
	Y-2																																														
特 記 事 項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士 第117489号 前野 初俊 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子 一級建築士 第360917号 前田 祐作	一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	(仮称)津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	A-03 (原図:A2)																																						
		一級建築士 第117489号 前野 初俊 一級建築士 第320204号 前野 将輝				図面名称	建築工事特記仕様書3	縮尺	NS																																						

10 石 工 事	⑥ シーリング (9.7.2) (9.7.3) (表9.7.1) (9.7.5)	<p>・ 標準仕様書[表9.7.1]による</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>目地寸法</th> <th>種類</th> </tr> <tr> <td>伸縮目地</td> <td>25×10</td> <td>PS-2</td> </tr> <tr> <td>サイディング取合い、サツ廻り等</td> <td>10×10</td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td>パネル立上り水切り取合い等</td> <td>15×10</td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td>内部水回り等</td> <td>15×10</td> <td>SR-1</td> </tr> </table> <p>接着性試験 ・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験</p>	施工箇所	目地寸法	種類	伸縮目地	25×10	PS-2	サイディング取合い、サツ廻り等	10×10	MS-2	パネル立上り水切り取合い等	15×10	MS-2	内部水回り等	15×10	SR-1	5. 内壁空積工法 (10.2.2) (10.3.3) (10.4.2)	<p>受け金物の材質、形状、寸法 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>下地ごしらえ ・ あと施工アンカー横筋流し工法 ・ あと施工アンカー工法 あと施工アンカーの材質及び形状 ()</p> <p>目地 一般目地 目地幅(mm) ・ 6以上 () シーリング材 ・ 適用する</p> <p>伸縮調整目地 位置 ・ 6mごと ・ 図示(図面番号:) シーリング材の目地寸法 ・ 幅、深さとも10mm以上 ()</p>	⑪ タ イ ル 工 事	<p>1. 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3)</p> <p>② 陶磁器質 タイル張り (表11.2.3) (11.2.2) (11.3.2) (11.3.4) (表11.3.2)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">耐滑り性</th> <th colspan="3">区分(きじ)</th> <th rowspan="2">うわぐすり</th> <th rowspan="2">役物</th> <th rowspan="2">標準・特注色</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> </tr> <tr> <th>I類(磁器)</th> <th>II類(せつ器)</th> <th>III類(陶器)</th> </tr> <tr> <td>玄関ホール</td> <td>150x150</td> <td>湿式</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>標準色</td> <td></td> </tr> <tr> <td>男子便所1,2</td> <td>汚垂タイル</td> <td>接着</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>標準色</td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 汚垂タイル: t5 テーパー加工 ・ タイルの試験張りを行う ・ 見本焼きを行う</p> <p>セメントモルタル塗り又は接着剤あと張り工事 コンクリート素地面の処理 ・ 適用箇所 図示(図面番号:) ・ 目荒し工法 ・ MCR工法</p> <p>接着剤あと張り工事 シーリング材 打継、ひび割れ誘発目地 ・ PU-2 () 伸縮、その他目地 ・ MS-2 ()</p> <p>3. 陶磁器質 タイル型枠先付 (表11.4.1) (11.4.2) (11.4.3)</p> <p>種類 ・ タイルシート法 ・ 目地樹法 ・ 棧木法 タイル型枠先付け面のせき板の種類 ()</p>	施工箇所	形状寸法	工法	耐滑り性	区分(きじ)			うわぐすり	役物	標準・特注色	耐凍害性	I類(磁器)	II類(せつ器)	III類(陶器)	玄関ホール	150x150	湿式	○	○					標準色		男子便所1,2	汚垂タイル	接着	○	○					標準色		③ 集成材等 (12.2.1)	<p>造作用集成材 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>造作用集成材</th> <th>樹種・寸法・形状</th> <th>等級</th> <th>化粧薄板厚さ</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 図示(図面番号: A-09)</td> <td>()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧ばり造作用集成材</td> <td>・ 図示(図面番号:)</td> <td>()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧ばり構造用集成材</td> <td>・ 図示(図面番号:)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 樹種、寸法、化粧薄板の厚さ及び含水率 ・ 図示(図面番号:) 造作材の材面の品質 ○ A種 ()</p> <p>4. 単板積層材 (12.2.1)</p> <p>「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 厚さ、表面の品質及び防虫加工 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 厚さ、表面の品質、含水率及び防虫加工 ・ 図示(図面番号:)</p> <table border="1"> <tr> <th>部材名称</th> <th>樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>等級</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理等</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td>設備機器等の補強板</td> <td>耐水合板</td> <td>I類</td> <td>2級</td> <td>C-D</td> <td></td> <td>12</td> </tr> </table> <p>構造用合板の強度等級 ・ 図示(図面番号:) パーティクルボード 表面の状態、曲げ強さ、接着剤、難燃性による区分、厚さ等 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>6. 防蟻・防蟻処理 (12.3.1) (12.3.2)</p> <p>薬剤加圧注入 適用部位、保存処理性能区分 () ・ 図示(図面番号:) 薬剤の塗布等 処理方法 ・ 標準仕様書[12.3.1](3)(ii) () () ボード原料接着剤への薬剤混入 () 防虫処理 ()</p>	造作用集成材	樹種・寸法・形状	等級	化粧薄板厚さ		・ 図示(図面番号: A-09)	()		化粧ばり造作用集成材	・ 図示(図面番号:)	()		化粧ばり構造用集成材	・ 図示(図面番号:)			部材名称	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ	設備機器等の補強板	耐水合板	I類	2級	C-D		12	④ 集成材等 (12.2.1)	<p>1. 天然石 (10.2.1) (表10.2.1) (表10.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>使用部位</th> <th>種類(名称)</th> <th>品質</th> <th>寸法・厚さ(mm)</th> <th>表面仕上げ</th> <th>工法</th> <th>形状</th> </tr> <tr> <td>床</td> <td></td> <td>・ 2等</td> <td></td> <td>・ 粗磨き ()</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁</td> <td></td> <td>・ 1等</td> <td></td> <td>・ 水磨き ()</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>割付 ・ 標準仕様書[10.1.3](a) ・ 図示(図面番号:) 粗面仕上げの場合のみ込み部分の仕上げ () (表10.2.1) 清掃における床面ワックス ・ 使用する (10.3.2) ジェットパーナー仕上面 ・ 手加工あり ・ 機械加工バフ仕上あり 石裏面処理 ・ 適用する 石裏面処理 ・ 適用する</p> <p>2. テラゾ (10.2.1) (表10.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>使用部位</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ</th> <th>寸法による区分</th> <th>表面仕上</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 大理石</td> <td>・ 1.5~12mm</td> <td>・ 300型 ・ 400型</td> <td>()</td> </tr> </table> <p>テラゾブロック</p> <table border="1"> <tr> <th>使用部位</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ</th> <th>形状</th> <th>仕上げ面</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面仕上</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 大理石</td> <td>・ 1.5~12mm</td> <td>・ 平もの ・ 役もの</td> <td>・ 片面 ・ 両面</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> </table> <p>割付 ・ 標準仕様書[10.1.3](a) ・ 図示(図面番号:) (10.1.5) 清掃における床面ワックス ・ 使用する</p> <p>3. その他の材料 (10.3.2)</p> <p>取付用モルタル ・ 図示(図面番号:) 目地用モルタル ・ 図示(図面番号:) 石裏面処理材 ・ 図示(図面番号:) 裏打ち処理材 ・ 図示(図面番号:) ドレンパイプ ・ 図示(図面番号:) 充填材料 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>4. 外壁湿式工法 (10.2.2) (10.2.3) (10.3.2) (10.3.3)</p> <p>受け金物の材質、形状、寸法 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>ドレンパイプの材質 ・ 樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25~35φ ()</p> <p>下地ごしらえ ・ 流し筋工法 ・ あと施工アンカー工法 ・ あと施工アンカー横筋流し工法 アンカーの材質及び径 ・ SS400 M12 () あと施工アンカーの材質及び形状 ()</p> <p>目地 一般目地 目地幅(mm) ・ 6以上 () シーリング材 ・ 適用する</p> <p>伸縮調整目地 位置 ・ 標準仕様書[表11.1.1] ・ 図示(図面番号:) シーリング材の目地寸法 ・ 幅、深さとも10mm以上 ()</p>	使用部位	種類(名称)	品質	寸法・厚さ(mm)	表面仕上げ	工法	形状	床		・ 2等		・ 粗磨き ()			壁		・ 1等		・ 水磨き ()			使用部位	種石の種類	種石の大きさ	寸法による区分	表面仕上		・ 大理石	・ 1.5~12mm	・ 300型 ・ 400型	()	使用部位	種石の種類	種石の大きさ	形状	仕上げ面	寸法(mm)	表面仕上		・ 大理石	・ 1.5~12mm	・ 平もの ・ 役もの	・ 片面 ・ 両面	()	()	⑤ 床張り用合板 及びその他の合板 (12.2.1)	<p>① 木材 (12.1.4) (表12.1.1) (12.2.1) (12.4.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1) (表12.2.1)</p> <p>見え掛り部の表面仕上げ ・ A種 ○ B種 ・ C種 適用箇所 (腰壁、巾木、見切、枠、造作材)</p> <p>木材の含水率</p> <table border="1"> <tr> <th>部材名称</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>下地材</td> <td>○ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>○ A種 ・ B種</td> </tr> </table> <p>樹種 ○ 図示(図面番号: A-09, 17~19, 43~49)</p> <p>2. 製材 (12.2.1)(b)(1)</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種・寸法・形状</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td>下地用 針葉樹製材</td> <td>・ 図示(図面番号:)</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>造作用 針葉樹製材</td> <td>・ 図示(図面番号:)</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>広葉樹製材</td> <td>・ 図示(図面番号:)</td> <td>・ 10%以下</td> </tr> </table> <p>「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、防虫処理、難燃処理及び含水率 ・ 図示(図面番号:) 造作材の材面の品質 ・ A種 ()</p> <p>(12.2.1)(b)(2) (表12.2.2) (表12.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>樹種</th> <th>県産材</th> </tr> <tr> <td>腰壁</td> <td>杉 上小節</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>見切</td> <td>杉 上小節</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>巾木</td> <td>桧 特1等</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>代用樹種の使用 ・ 禁止する</p>	部材名称	種別	下地材	○ A種 ・ B種	造作材	○ A種 ・ B種	樹種・寸法・形状	等級	含水率	下地用 針葉樹製材	・ 図示(図面番号:)	()	造作用 針葉樹製材	・ 図示(図面番号:)	()	広葉樹製材	・ 図示(図面番号:)	・ 10%以下	部位	樹種	県産材	腰壁	杉 上小節	○	見切	杉 上小節	○	巾木	桧 特1等	○	⑥ 長尺金属板 葺 (13.2.2) (13.2.3) (表13.2.1)	<p>① 長尺金属板 葺 (13.2.2) (13.2.3) (表13.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>屋根葺形式</th> <th>材種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>下葺の種類</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>瓦葺葺</td> <td>・ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金メッキ鋼板</td> <td>○ 0.4</td> <td>・ アスファルトルーフィング940</td> <td></td> </tr> </table> <p>耐風圧及び積雪荷重に対応した工法 ・ 図示(図面番号:) 雪止め ・ 図示(図面番号:)</p> <table border="1"> <tr> <th>緊結方法</th> <th>板厚(mm)</th> <th>山の高さ(mm)</th> <th>山のピッチ(mm)</th> <th>耐力区分</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 重ね形</td> <td>・ 0.8 ・ 0.6</td> <td>・ 90 ・ ()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td colspan="3">材種</td> <td>軒先面戸板</td> </tr> <tr> <td>・ はぜ締め形</td> <td colspan="3">・ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 ()</td> <td>・ あり ・ なし</td> </tr> </table> <p>断熱材 種別 ・ ガラス繊維シート () 厚さ(mm) ・ 5 () 防火性能 ()</p> <p>風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ・ 図示(図面番号:)</p>	屋根葺形式	材種	厚さ(mm)	下葺の種類	備考	瓦葺葺	・ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金メッキ鋼板	○ 0.4	・ アスファルトルーフィング940		緊結方法	板厚(mm)	山の高さ(mm)	山のピッチ(mm)	耐力区分	・ 重ね形	・ 0.8 ・ 0.6	・ 90 ・ ()	()	()	材種			軒先面戸板	・ はぜ締め形	・ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 ()			・ あり ・ なし	⑦ 屋根及び び と い 工 事	<p>① 長尺金属板 葺 (13.2.2) (13.2.3) (表13.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>屋根葺形式</th> <th>材種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>下葺の種類</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>瓦葺葺</td> <td>・ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金メッキ鋼板</td> <td>○ 0.4</td> <td>・ アスファルトルーフィング940</td> <td></td> </tr> </table> <p>耐風圧及び積雪荷重に対応した工法 ・ 図示(図面番号:) 雪止め ・ 図示(図面番号:)</p> <table border="1"> <tr> <th>緊結方法</th> <th>板厚(mm)</th> <th>山の高さ(mm)</th> <th>山のピッチ(mm)</th> <th>耐力区分</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 重ね形</td> <td>・ 0.8 ・ 0.6</td> <td>・ 90 ・ ()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td colspan="3">材種</td> <td>軒先面戸板</td> </tr> <tr> <td>・ はぜ締め形</td> <td colspan="3">・ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 ()</td> <td>・ あり ・ なし</td> </tr> </table> <p>断熱材 種別 ・ ガラス繊維シート () 厚さ(mm) ・ 5 () 防火性能 ()</p> <p>風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ・ 図示(図面番号:)</p>	屋根葺形式	材種	厚さ(mm)	下葺の種類	備考	瓦葺葺	・ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金メッキ鋼板	○ 0.4	・ アスファルトルーフィング940		緊結方法	板厚(mm)	山の高さ(mm)	山のピッチ(mm)	耐力区分	・ 重ね形	・ 0.8 ・ 0.6	・ 90 ・ ()	()	()	材種			軒先面戸板	・ はぜ締め形	・ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 ()			・ あり ・ なし	特 記 事 項	<p>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野 建築 設計 一級建築士 第117489号 前野 初俊 一級建築士 第320204号 前野 将輝</p>	<p>一級建築士 第307846号 三橋 五百子 一級建築士 第360917号 前田 祐作</p>	<p>一級建築士 第304509号 水谷 浩</p>	設計年月日	工事名称	(仮称)津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	A-04 (原図:A2)
	施工箇所	目地寸法	種類																																																																																																																																																																																																																																												
伸縮目地	25×10	PS-2																																																																																																																																																																																																																																													
サイディング取合い、サツ廻り等	10×10	MS-2																																																																																																																																																																																																																																													
パネル立上り水切り取合い等	15×10	MS-2																																																																																																																																																																																																																																													
内部水回り等	15×10	SR-1																																																																																																																																																																																																																																													
施工箇所	形状寸法	工法	耐滑り性	区分(きじ)			うわぐすり	役物	標準・特注色	耐凍害性																																																																																																																																																																																																																																					
				I類(磁器)	II類(せつ器)	III類(陶器)																																																																																																																																																																																																																																									
玄関ホール	150x150	湿式	○	○					標準色																																																																																																																																																																																																																																						
男子便所1,2	汚垂タイル	接着	○	○					標準色																																																																																																																																																																																																																																						
造作用集成材	樹種・寸法・形状	等級	化粧薄板厚さ																																																																																																																																																																																																																																												
	・ 図示(図面番号: A-09)	()																																																																																																																																																																																																																																													
化粧ばり造作用集成材	・ 図示(図面番号:)	()																																																																																																																																																																																																																																													
化粧ばり構造用集成材	・ 図示(図面番号:)																																																																																																																																																																																																																																														
部材名称	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ																																																																																																																																																																																																																																									
設備機器等の補強板	耐水合板	I類	2級	C-D		12																																																																																																																																																																																																																																									
使用部位	種類(名称)	品質	寸法・厚さ(mm)	表面仕上げ	工法	形状																																																																																																																																																																																																																																									
床		・ 2等		・ 粗磨き ()																																																																																																																																																																																																																																											
壁		・ 1等		・ 水磨き ()																																																																																																																																																																																																																																											
使用部位	種石の種類	種石の大きさ	寸法による区分	表面仕上																																																																																																																																																																																																																																											
	・ 大理石	・ 1.5~12mm	・ 300型 ・ 400型	()																																																																																																																																																																																																																																											
使用部位	種石の種類	種石の大きさ	形状	仕上げ面	寸法(mm)	表面仕上																																																																																																																																																																																																																																									
	・ 大理石	・ 1.5~12mm	・ 平もの ・ 役もの	・ 片面 ・ 両面	()	()																																																																																																																																																																																																																																									
部材名称	種別																																																																																																																																																																																																																																														
下地材	○ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																														
造作材	○ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																														
樹種・寸法・形状	等級	含水率																																																																																																																																																																																																																																													
下地用 針葉樹製材	・ 図示(図面番号:)	()																																																																																																																																																																																																																																													
造作用 針葉樹製材	・ 図示(図面番号:)	()																																																																																																																																																																																																																																													
広葉樹製材	・ 図示(図面番号:)	・ 10%以下																																																																																																																																																																																																																																													
部位	樹種	県産材																																																																																																																																																																																																																																													
腰壁	杉 上小節	○																																																																																																																																																																																																																																													
見切	杉 上小節	○																																																																																																																																																																																																																																													
巾木	桧 特1等	○																																																																																																																																																																																																																																													
屋根葺形式	材種	厚さ(mm)	下葺の種類	備考																																																																																																																																																																																																																																											
瓦葺葺	・ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金メッキ鋼板	○ 0.4	・ アスファルトルーフィング940																																																																																																																																																																																																																																												
緊結方法	板厚(mm)	山の高さ(mm)	山のピッチ(mm)	耐力区分																																																																																																																																																																																																																																											
・ 重ね形	・ 0.8 ・ 0.6	・ 90 ・ ()	()	()																																																																																																																																																																																																																																											
	材種			軒先面戸板																																																																																																																																																																																																																																											
・ はぜ締め形	・ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 ()			・ あり ・ なし																																																																																																																																																																																																																																											
屋根葺形式	材種	厚さ(mm)	下葺の種類	備考																																																																																																																																																																																																																																											
瓦葺葺	・ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金メッキ鋼板	○ 0.4	・ アスファルトルーフィング940																																																																																																																																																																																																																																												
緊結方法	板厚(mm)	山の高さ(mm)	山のピッチ(mm)	耐力区分																																																																																																																																																																																																																																											
・ 重ね形	・ 0.8 ・ 0.6	・ 90 ・ ()	()	()																																																																																																																																																																																																																																											
	材種			軒先面戸板																																																																																																																																																																																																																																											
・ はぜ締め形	・ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 ()			・ あり ・ なし																																																																																																																																																																																																																																											
				図面名称	建築工事特記仕様書 4	縮尺	NS																																																																																																																																																																																																																																								

3. 粘土瓦葺 (13.4.2) (13.4.3)	種類	大きさ	産地	役物の種類	棟の工法
	雪止め瓦	使用する			
④とい (13.5.2) (表13.5.1) (13.5.3) (表13.5.5)	材質	硬質ポリ塩化ビニル管(カラー)	配管用鋼管(白管)		
	鋼管製といの防露巻工法	標準仕様書[表13.5.5]			
①4 金属工事	1. あと施工 アンカー (14.1.3)	引抜き耐力の確認試験	実施する	設計用引張強度	
	②ステンレス (14.2.1)	表面仕上げ	HL仕上げ		
3. アルミニウム (14.2.2) (表14.2.1)	表面処理の種類	A-1	A-2	B-1	B-2
	常温乾燥形の塗装				
4. 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3)	亜鉛めっきの種類	A種	B種	C種	D種
	野縁などの種類	天井地下	屋外		
⑤軽量鉄骨 (14.4.2) (表14.4.1) (14.4.3) (表14.4.2) (14.4.4)	天井地下	屋内	19形		
	屋外	屋外	25形		
⑥軽量鉄骨壁 (14.5.3) (表14.5.1)	下地	スタッド、ランナーの種類	標準仕様書[表14.5.1]		
	スタッドの高さ5m超				
7. 金属成形板 板張り (14.6.2) (14.6.3)	施工箇所	材種	アルミニウム	ステンレス	鋼
	形状	表面処理	スパンドレル形	パネル形	
⑧アルミニウム 製笠木 (14.7.2)(14.7.3) (表14.7.1)	部材の種類	表面処理	(B-1)		
	固定方法				
⑨手すり (14.8.2)	材種	表面処理の種類	施工箇所		
	アルミニウム	標準仕様書[表14.2.1]の種類(B-1種)	スロープ・階段	バルコニー	
10. タラップ (14.8.3)	材種	表面処理の種類	施工箇所		
	鋼	標準仕様書[表14.2.2]の種類(種)			
①1天井見切縁 ①2点検口	材種	アルミニウム合金製	塩化ビニル製		
	天井	アルミニウム製	450角	600角	額縁タイプ
①5左 官 工 事	①モルタル塗り (15.2.2) (15.2.5)	既製目地材	使用する	図示(図面番号: A-28)	
	2.セルフレベリング (15.4.2)	種類	せっこう系	セメント系	
③仕上塗材仕上 (15.5.2) (表15.5.1)	種類	呼び名	仕上形状	工法	
	薄付仕上塗材	外装薄塗材E	砂壁状	着色骨材砂壁状	吹付け
⑤網戸 (16.2.3)	形式	可動式	固定式		
	網の材質	合成樹脂	ガラス繊維入り合成樹脂		
6. 樹脂製建具 (16.3.2) (16.3.3) (16.3.4) (16.8.2)	外部建具の性能等級等	A種	B種	C種	
	外部建具の遮音性能等級	T-A種	T-B種		
⑦鋼製建具 (16.4.2) (表16.4.1) (表16.4.2)	簡易気密型ドアセット	図示(図面番号: A-41)			
	外部建具の耐風圧性	S-4	S-5	S-6	
⑧鋼製軽量建具 (16.5.2) (16.5.3) (16.5.4)	簡易気密型ドアセット	図示(図面番号: A-40, 41)			
	外部建具の耐風圧性	S-4	S-5	S-6	
9. ステンレス製 建具 (16.6.2) (16.6.3) (16.6.4) (16.6.5)	簡易気密型ドアセット	図示(図面番号:)			
	外部建具の耐風圧性	S-4	S-5	S-6	
10. 木製建具 (16.7.2) (表16.7.1) (表16.7.6) (表16.7.3) (16.7.4)	建具材の含水率	A種	B種	C種	
	フラッシュ戸、戸ぶすまの合板	種類、材面の品質	図示(図面番号:)		
①11 建具用金物 (16.8.2) (表16.8.1) (16.8.3) (16.8.4)	マスターキー	製作する	製作しない		
	キーボックス	要	不要		
①2 自動ドア開閉 装置 (16.9.2) (表16.9.1) (表16.9.2) (16.9.3)	開閉方法	スライディングドア	スイングドア		
	センサー種類	図示(図面番号: A-40)			
13. 自閉式上 吊り引戸装置 (16.10.3)	性能値	標準仕様書 [表16.9.1]			
	スイングドア	標準仕様書 [表16.9.2]			
14. 重量シャッター (16.11.2) (表16.11.1)	シャッターの種類	図示(図面番号:)			
	開閉機能による種類	図示(図面番号:)			
15. 軽量シャッター (16.12.2) (表16.12.1) (16.12.3) (16.12.4)	開閉機能による種類	図示(図面番号:)			
	耐風圧強度	Pa 以上			
16. オーバーヘッド ドア (16.13.2) (16.13.3)	セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール	
	スチールタイプ	バランス式	スタンダード形	熔融亜鉛	
①7 ガラス (16.14.2) (16.14.3) (16.14.4) (表16.14.1)	板ガラスの種類、厚さ、特性による種類等				
	留め材	シーリング	ガスケット		
18. ガラスブロック 積み (16.14.5)	表面形状、寸法、厚さ	図示(図面番号:)			
	壁用金属枠、補強材	図示(図面番号:)			
特 記 事 項	設計年月日	工事名称	(仮称)津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	A-05 (原図:A2)
	設計者	図面名称	建築工事特記仕様書 5	縮尺	NS

17 カーテンウォール工事	1 種類 (17.1.1) ・ メタルカーテンウォール(種類) (17.1.3) ・ PCカーテンウォール 2 性能等 (17.1.3) 耐風圧性(B種) (17.1.3) 耐震性() (17.2.2) 水密性() (17.3.2) 気密性() (17.3.2) 耐火性() (17.3.2) 耐温度差性() (17.3.2) 遮音性() (17.3.2) 断熱性() (17.3.2) 性能の確認・判定方法() (17.3.2) シーリング材の種類 (17.3.2) 断熱材()	19 内装工事	1 ビニルシート 張り (19.2.2)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>色柄</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>継目</th> </tr> <tr> <td>・ NC ・ (FS)</td> <td>・ NF ・ 柄物</td> <td>・ 2.0 ・ (2.5)</td> <td>・ 溶接 ・ 突付け</td> </tr> </table>	種類	色柄	厚さ(mm)	継目	・ NC ・ (FS)	・ NF ・ 柄物	・ 2.0 ・ (2.5)	・ 溶接 ・ 突付け	8 フローリング 張り (19.5.2) (19.5.4) (19.5.5) (19.5.6) (19.5.7)	材料 ・ 単層フローリング ・ フローリング'ボ-ド'(1等) ・ フローリング'ブ'ロック(1等) ・ モザ'イク'カー'ケツ'(1等) ・ 複合フローリング ・ 釘留め工法 <table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>種別</th> <th>樹種</th> </tr> <tr> <td>・ フローリングボード (根太張用)</td> <td></td> <td>・ なら ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ 複合フローリング (根太張用)</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td></td> </tr> </table> 防湿処理 ・ 図示(図面番号:)	材料	種別	樹種	・ フローリングボード (根太張用)		・ なら ・ ()	・ 複合フローリング (根太張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種		12 壁紙張り (19.8.2)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>材料</th> <th>防火性能</th> <th>品質</th> </tr> <tr> <td>倉庫以外</td> <td>ビニルクロス</td> <td>F☆☆☆☆</td> <td>量産品</td> </tr> </table>	施工箇所	材料	防火性能	品質	倉庫以外	ビニルクロス	F☆☆☆☆	量産品	素地ごしらえ せっこうボード面 ・ B種 ・ A種 コンクリート面 ・ B種 ・ A種 モルタル・プラスター面 ・ B種 ・ A種																																																														
	種類		色柄	厚さ(mm)	継目																																																																																											
・ NC ・ (FS)	・ NF ・ 柄物	・ 2.0 ・ (2.5)	・ 溶接 ・ 突付け																																																																																													
材料	種別	樹種																																																																																														
・ フローリングボード (根太張用)		・ なら ・ ()																																																																																														
・ 複合フローリング (根太張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																															
施工箇所	材料	防火性能	品質																																																																																													
倉庫以外	ビニルクロス	F☆☆☆☆	量産品																																																																																													
3 メタルカーテンウォール (17.2.3) (表17.2.1) (17.2.5) (17.2.6)	カーテンウォールの材料 <table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>規格等</th> <th>見え掛け部の仕上げ</th> <th>映像調整</th> </tr> <tr> <td>・ アルミニウム製 ・ ()</td> <td>・ 標準仕様書[16.2.3] ・ ()</td> <td>・ A-1 ・ A-2</td> <td>・ 行う</td> </tr> </table> 製品の寸法許容差 ・ 標準仕様書[表17.2.1] ガラス溝の寸法、形状等 ・ カーテンウォール製作所の仕様による ・ 図示(図面番号:)	材料	規格等	見え掛け部の仕上げ	映像調整	・ アルミニウム製 ・ ()	・ 標準仕様書[16.2.3] ・ ()	・ A-1 ・ A-2	・ 行う	2 ビニル床タイル 張り (19.2.2)	<table border="1"> <tr> <th>寸法</th> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・ 300×300</td> <td>・ コンポジションビニル 床タイル</td> <td>・ 2.0</td> </tr> <tr> <td>・ 450×450</td> <td>・ コンポジションビニル 軟質床タイル</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ホモジニアスビニル床タイル</td> <td>・ ()</td> </tr> </table>	寸法	種類	厚さ(mm)	・ 300×300	・ コンポジションビニル 床タイル	・ 2.0	・ 450×450	・ コンポジションビニル 軟質床タイル	・ ()		・ ホモジニアスビニル床タイル	・ ()	・ 釘留め工法 <table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>種別</th> <th>樹種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>大きさ(mm)</th> <th>表面緩衝材</th> </tr> <tr> <td>・ フローリング'ボ-ド' (直張用)</td> <td>・ なら ・ ()</td> <td>・ 12 ・ ()</td> <td>・ 1900×W75</td> <td>以上</td> <td>・ 合成樹脂緩衝シート</td> </tr> <tr> <td>・ フローリング'ブ'ロック (直張用)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 複合フローリング (直張用 表面単板t=2.0)</td> <td>・ C種 ・ A種 ・ B種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ モザ'イク'カー'ケツ' (直張用)</td> <td></td> <td>・ 図示 ()</td> <td>・ 図示 ()</td> <td>・ 図示 ()</td> <td></td> </tr> </table>	材料	種別	樹種	厚さ(mm)	大きさ(mm)	表面緩衝材	・ フローリング'ボ-ド' (直張用)	・ なら ・ ()	・ 12 ・ ()	・ 1900×W75	以上	・ 合成樹脂緩衝シート	・ フローリング'ブ'ロック (直張用)						・ 複合フローリング (直張用 表面単板t=2.0)	・ C種 ・ A種 ・ B種					・ モザ'イク'カー'ケツ' (直張用)		・ 図示 ()	・ 図示 ()	・ 図示 ()		13 断熱材 (19.9.2)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>材種</th> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土間下</td> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし)</td> <td></td> <td>25mm</td> </tr> <tr> <td>バルコニー下デッキ</td> <td>・ 硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td></td> <td>25mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ フェノールフォーム断熱材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキンなし)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ フェノールフォーム断熱材(3種2等を除く)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ フェノールフォーム断熱材(3種2等を除く)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	材種	種類	厚さ(mm)		・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材			土間下	・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし)		25mm	バルコニー下デッキ	・ 硬質ウレタンフォーム断熱材		25mm		・ フェノールフォーム断熱材				・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材				・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキンなし)				・ 硬質ウレタンフォーム断熱材				・ フェノールフォーム断熱材(3種2等を除く)				・ フェノールフォーム断熱材(3種2等を除く)		
材料	規格等	見え掛け部の仕上げ	映像調整																																																																																													
・ アルミニウム製 ・ ()	・ 標準仕様書[16.2.3] ・ ()	・ A-1 ・ A-2	・ 行う																																																																																													
寸法	種類	厚さ(mm)																																																																																														
・ 300×300	・ コンポジションビニル 床タイル	・ 2.0																																																																																														
・ 450×450	・ コンポジションビニル 軟質床タイル	・ ()																																																																																														
	・ ホモジニアスビニル床タイル	・ ()																																																																																														
材料	種別	樹種	厚さ(mm)	大きさ(mm)	表面緩衝材																																																																																											
・ フローリング'ボ-ド' (直張用)	・ なら ・ ()	・ 12 ・ ()	・ 1900×W75	以上	・ 合成樹脂緩衝シート																																																																																											
・ フローリング'ブ'ロック (直張用)																																																																																																
・ 複合フローリング (直張用 表面単板t=2.0)	・ C種 ・ A種 ・ B種																																																																																															
・ モザ'イク'カー'ケツ' (直張用)		・ 図示 ()	・ 図示 ()	・ 図示 ()																																																																																												
施工箇所	材種	種類	厚さ(mm)																																																																																													
	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材																																																																																															
土間下	・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし)		25mm																																																																																													
バルコニー下デッキ	・ 硬質ウレタンフォーム断熱材		25mm																																																																																													
	・ フェノールフォーム断熱材																																																																																															
	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材																																																																																															
	・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキンなし)																																																																																															
	・ 硬質ウレタンフォーム断熱材																																																																																															
	・ フェノールフォーム断熱材(3種2等を除く)																																																																																															
	・ フェノールフォーム断熱材(3種2等を除く)																																																																																															
4 PCカーテンウォール (17.3.3) (17.3.4) (17.3.5) (17.3.6) (17.3.9)	カーテンウォールの材料 コンクリートの種類及び品質 鉄筋 ・ SD295A ・ () 補強鉄線 ・ 3.2 ・ () 耐火目地材 ・ () 配筋 ・ 図示(図面番号:) 先付け材料 ・ サッシ枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール ・ () 製品の寸法許容差 ・ 標準仕様書[17.3.13]による ・ () 表面仕上げ材 ・ 磁器質タイル 石材(・ 花こう岩 ・ 大理石 ・ ()) 取付け カーテンウォール部材取付け位置の寸法許容差 ・ 標準仕様書[表17.3.2] ・ () ガラスの取付け ・ 構造用ガスケット(図示(図面番号:))	3 特殊機能床材 (19.2.2)	・ 帯電防止ビニルシート・床タイル 寸法(mm) 厚さ(mm) 種類() ・ 視覚障害者用床タイル 材質(・ ビニル床タイル ・ ()) 寸法(・ 300×300 ・ ()) ・ 耐動荷重性床シート 種類() 寸法() 厚さ(mm) ・ ゴム床タイル 種類() 寸法() 厚さ(mm) ・ 防滑り性床シート 種類() 性能() 厚さ()	9 畳敷き (19.6.2) (表19.6.1)	種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ D種の畳床TK-(・ I ・ II ・ III ・ IV)	20 ユニット及びその他工事	1 フリーアクセスフロア (20.2.2)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>所定荷重</th> <th>高さ(mm)</th> <th>床仕上材及び厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ タイルカーペット ・ 6.5mm ・ () ・ ビニル床タイル ()mm</td> <td>・ 帯電防止 ・ 漏えい抵抗 ・ ()</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ タイルカーペット ・ 6.5mm ・ () ・ ビニル床タイル ()mm</td> <td>・ 帯電防止 ・ 漏えい抵抗 ・ ()</td> </tr> </table>	施工箇所	所定荷重	高さ(mm)	床仕上材及び厚さ(mm)	備考				・ タイルカーペット ・ 6.5mm ・ () ・ ビニル床タイル ()mm	・ 帯電防止 ・ 漏えい抵抗 ・ ()				・ タイルカーペット ・ 6.5mm ・ () ・ ビニル床タイル ()mm	・ 帯電防止 ・ 漏えい抵抗 ・ ()																																																																									
施工箇所	所定荷重	高さ(mm)	床仕上材及び厚さ(mm)	備考																																																																																												
			・ タイルカーペット ・ 6.5mm ・ () ・ ビニル床タイル ()mm	・ 帯電防止 ・ 漏えい抵抗 ・ ()																																																																																												
			・ タイルカーペット ・ 6.5mm ・ () ・ ビニル床タイル ()mm	・ 帯電防止 ・ 漏えい抵抗 ・ ()																																																																																												
18 塗装工事	1 材料 2 施工一般 (18.2.2) ~ (18.14.2)	防火材料の指定箇所() <table border="1"> <tr> <th colspan="2">塗料塗り</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">下地の種類</th> <th rowspan="2">素地ごしらえ</th> <th rowspan="2">錆止め塗料の種類</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>SOP</td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td></td> <td>鉄鋼面</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>SOP</td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td></td> <td>木部</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>NAD</td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td></td> <td>ボード面</td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>CL</td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td></td> <td>木部</td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td></td> </tr> </table>	塗料塗り		施工箇所	下地の種類	素地ごしらえ	錆止め塗料の種類	種類	種別	SOP	・ A種 ・ B種		鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ A種 ・ B種 ・ C種	SOP	・ A種 ・ B種		木部	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ A種 ・ B種 ・ C種	NAD	・ A種 ・ B種		ボード面	・ A種 ・ B種		CL	・ A種 ・ B種		木部	・ A種 ・ B種		4 ビニル幅木 (19.2.2)	高さ ・ 図示(図面番号: A-09) ・ 60mm 厚さ ・ 図示(図面番号:) ・ 1.5mm以上 下地 ・ モルタル ・ 珪藻土ベリ'ング' ・ 木造 ・ (プラスターボード)	10 せっこうボード、 その他のボード 及び合板張り (19.7.2) (表19.7.1) (19.7.3) (表19.7.4) (表19.7.5)	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・ せっこうボード</td> <td></td> <td>壁 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃) 天井 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td>・ 化粧せっこうボード</td> <td>・ トラバーチン模様 ・ 木目模様</td> <td>・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>・ ロックウール化粧 吸音板</td> <td>・ 普通 ・ 立体模様</td> <td>・ 9 ・ () ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ けい酸カルシウム板</td> <td>・ タイプII 0.8FK</td> <td>・ (6)</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </table>	材種	種別	厚さ(mm)	・ せっこうボード		壁 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃) 天井 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)	・ 化粧せっこうボード	・ トラバーチン模様 ・ 木目模様	・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)	・ ロックウール化粧 吸音板	・ 普通 ・ 立体模様	・ 9 ・ () ・ ()	・ けい酸カルシウム板	・ タイプII 0.8FK	・ (6)	・ ()	・ ()	・ ()	2 可動間仕切 (20.2.3)	組立て方式 ・ スタッド式 ・ パネル式 ・ スタッドパネル式 寸法及び形状 ・ 図示(図面番号: A-40) 表面材の材質及び仕上げ ・ 図示(図面番号: A-40) 遮音性 ・ 高遮音																																						
塗料塗り		施工箇所	下地の種類	素地ごしらえ					錆止め塗料の種類																																																																																							
種類	種別																																																																																															
SOP	・ A種 ・ B種		鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																											
SOP	・ A種 ・ B種		木部	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																											
NAD	・ A種 ・ B種		ボード面	・ A種 ・ B種																																																																																												
CL	・ A種 ・ B種		木部	・ A種 ・ B種																																																																																												
材種	種別	厚さ(mm)																																																																																														
・ せっこうボード		壁 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃) 天井 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)																																																																																														
・ 化粧せっこうボード	・ トラバーチン模様 ・ 木目模様	・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)																																																																																														
・ ロックウール化粧 吸音板	・ 普通 ・ 立体模様	・ 9 ・ () ・ ()																																																																																														
・ けい酸カルシウム板	・ タイプII 0.8FK	・ (6)																																																																																														
・ ()	・ ()	・ ()																																																																																														
3 耐候性塗料 塗り(DP) (18.7.2) (表18.7.1) (18.7.4)	<table border="1"> <tr> <th>下地の種類</th> <th>施工箇所</th> <th>上塗り等級</th> <th>凹凸・ト、EOP面における種別</th> <th>素地ごしらえ</th> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (素地B種)</td> <td>樋(養生管)</td> <td>・ 1級 ・ 2級 ・ 3級</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>押出整形 セメント板 (素地A種)</td> <td>防水保護材</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td></td> </tr> </table>	下地の種類	施工箇所	上塗り等級	凹凸・ト、EOP面における種別	素地ごしらえ	鉄鋼面 (素地B種)	樋(養生管)	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級			押出整形 セメント板 (素地A種)	防水保護材		・ A種 ・ B種 ・ C種		5 施工 (19.2.3)	継目 ・ 突付け ・ 熱溶接工法	11 吸音材張り (19.7.2)	遮音シール材 ・ 適用する(・ シーリング材 ・ ジョイコンパウンド) 合板類の張付け ・ B種 ・ A種 せっこうボードの目地工法 ・ 継目処理 ・ 突付け ・ 目隠し 下地 ・ 軽量鉄骨 ・ 木造 ・ ()	3 移動間仕切 (20.2.4)	操作方法 ・ 手動式 ・ 電動式 表面材の材質及び仕上げ ・ 図示(図面番号:) 遮音性 ・ 高遮音 ハンガーレールの取付け下地の補強 ・ 標準仕様書[20.2.4](c)(3) ・ 図示(図面番号:) ハンガーレールの固定方法 ・ 溶接 ・ あと施工アンカー(材質: 、寸法:)																																																																										
下地の種類	施工箇所	上塗り等級	凹凸・ト、EOP面における種別	素地ごしらえ																																																																																												
鉄鋼面 (素地B種)	樋(養生管)	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級																																																																																														
押出整形 セメント板 (素地A種)	防水保護材		・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																													
特記事項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士 第117489号 前野 初俊 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子 一級建築士 第360917号 前田 祐作	一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日 工事名称 図面名称	(仮称)津市豊が丘会館別館建築工事 建築工事特記仕様書 6	図面番号 縮尺	A-06 (原図:A2) NS																																																																																									

②① ユニット及びその他工事

⑤階段滑り止め (20.2.6)
⑥黒板及びホワイトボード (20.2.8)
⑦鏡 (20.2.14)
⑧表示 (20.2.10)
⑨煙突ライニング (20.2.11)
⑩ブラインド (20.2.12)
⑪ロールスクリーン (20.2.13)
⑫カーテン及びカーテンレール (20.2.14)
⑬プレキャストコンクリート工事 (20.3.2)
⑭間知石 (20.4.2)

①排水管 (21.2.1)
②排水樹等 (21.2.1)
③地業の材料 (21.2.1)
④埋め戻し土 (21.2.1)
⑤施工 (21.2.2)
⑥街きよ (21.3.1)

②② 舗装工事
1. 路床 (22.2.2)
② 路盤 (22.3.2)

③アスファルト舗装 (22.4.2)
4. コンクリート舗装 (22.5.2)
5. カラー舗装 (22.6.2)
6. 透水性アスファルト舗装 (22.7.2)
7. ブロック系舗装 (22.8.2)
8. 砂利敷き (22.9.2)
23 植栽工事
1. 植栽地の確認 (23.1.3)
2. 植栽基盤 (23.2.2)
3. 植樹 (23.3.2)

4. 新植樹木の枯補償 (23.3.4)
5. 移植樹木の枯損処理 (23.3.6)
6. 芝 (23.4.2)
7. 屋上緑化 (23.5.3)
②④ 外構工事
1. 旗竿 (23.5.1)
② フェンス (23.5.2)

総合仮設・直接仮設 工事区分						
工事	工 種	項 目	工事区分			
			建築	電気	機械	
総合仮設工事	仮設建物	監督員事務所同備品				
		現場事務所下小屋倉庫	○	○	○	共同1棟可
		仮設便所	○	○	○	共同1棟可
	工事施設	仮囲い	○			
	現場安全	安全費	○	○	○	統括安全衛生管理は、建築受注者とする。
	機械器具	機械器具損料	○	○	○	
		揚重機費	○	○	○	
	その他	各種試験費	○	○	○	
	片付清掃	片付・清掃及び発生材等の処理	○	○	○	
		周辺道路清掃	○	○	○	
直接仮設工事		仮設足場	○			各設備業者に対して無償にて使用させること。
		清掃・片付け	○	○	○	
		養生	○	○	○	

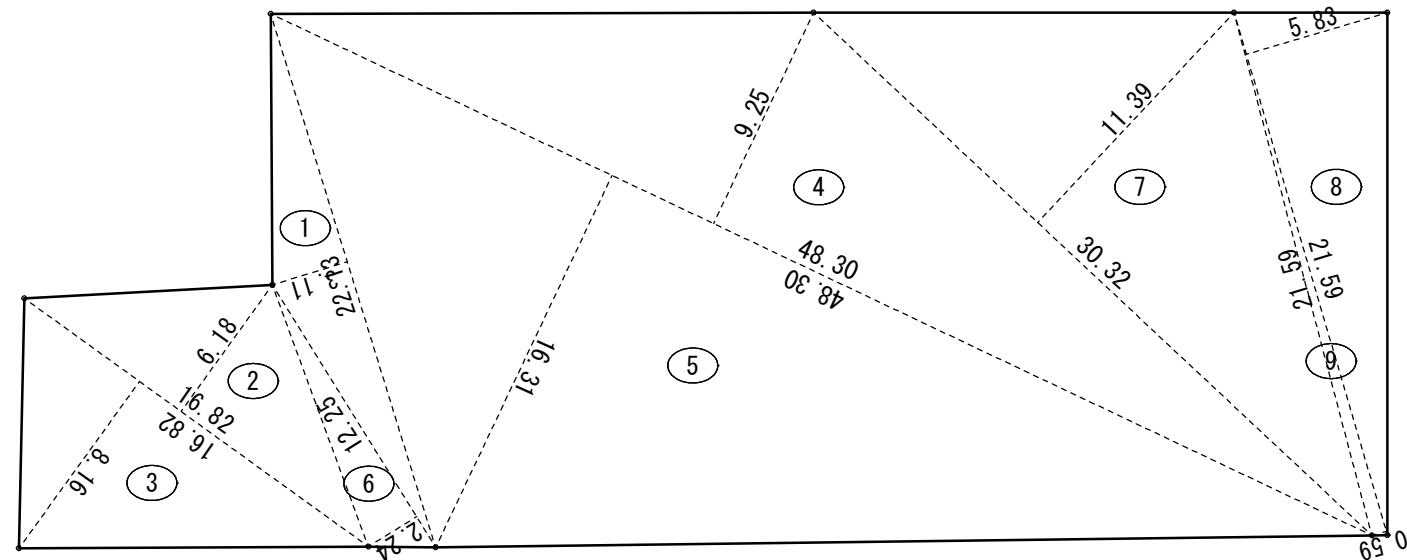
工 事 区 分									
No.	項 目	建築	電気	機械	No.	項 目	建築	電気	機械
2	鉄筋コンクリート造の設備工事に関するスリーブ及び箱入れ、穴埋め		○	○	29	受水槽・その他の水槽等のコンクリート躯体・断熱及び防水工事			
3	同上鉄筋補強	○			30	同上内部仕上・マンホール及びタラップ			
4	鉄骨造の設備工事に関するスリーブ及び補強	○			31	オイルトラップ			
5	機器取付用アッカー・架台		○	○	32	排水溝(浴室・洗車場)雨水排水縦樋	○		
6	機械搬入に伴う開口・閉塞及び補強	○			33	雨水排水縦樋の柵までの横引き柵及び柵蓋			○
7	軽量鉄骨下地天井、	補強	○		34	雨水配管の防露工事			
	壁ボード類の切込								
8	埋込分電盤	補強	○		36	浴室及び便所の排水目皿及び排水設備工事			○
	端子盤 プルボックス								
9	乾式壁に取付ける器具の下地補強	○	○	○	38	同上 附属金物及び接続工事			
10	設備工事に伴う防水貫通屋上スラブコンクリート立上げ				39	浴槽			
11	配管・ダクトなどの貫通部防水仕舞		○	○	40	鏡(衛生工事に関連しない場合・特殊寸法の場合)	○		
12	屋内外ピット・トレンチ及びそれらの蓋マンホール・ハンドホールなどの化粧蓋		○	○	41	建物外内壁・ドア・窓枠に取付けるガラリ類(ガラリ取付け本枠等も含む)	○		
13	屋外配管用スタクション		○	○	42	ウェアカバー・ベントキャップ			○
14	二重スラブ内の水及び空気の漏通管二重壁内の湧水処理費				43	洗面カウンター			○
15	大理石・テラゾー・ALC・PC・RC版・鋼板などの穴あけ		○	○	44	消火器	○		
16	同上 穴あけに伴う補強	○			45	衛生器具ユニット			○
17	設備機器・ダクト類の化粧囲い		○	○	46	エレベーター機械室の天井フック取付・床穴あけ及び床増内コンクリート	○		
18	吹出口・吸込口・照明器具・スピーカ・火災報知機・換気扇等の穴あけ		○	○	47	吊ボルト用インサート	○	○	○
19	同上 天井穴あけ部の下地補強	○			48	別途機器などへの接続(直接に接続するもの)			
20	天井・壁・床及びパイプシャフトなどの点検口	○			49	付属の制御盤以降の配管・配線(接地等)			○
21	流し台・吊戸棚・IHコンロ・レンジフード	○			50	付属の制御盤への電源供給及び操作回路の渡り配管・配線		○	
22	ユニットシステム(バス・トイレ・キッチン)への配管・配線及び接続		○	○	51	エアコンのリモコン配管、配線制御配線			○
23	保守用キャットウォーク・タラップ手摺(設備機器に装着するものを除く)				50	煙感知機から連動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管・配線			
24	換気扇(取付枠共)			○	53	小便器用節水装置の制御盤以降の配管配線			
25	同上 穴あけに伴う補強	○				電力	○	○	○
26	配電盤・制御盤等の基礎(屋内外)			○		用水	○	○	○
27	ルーフファン								

設計概要		外部仕上表			主要構造部関係・・・その他					
工事名称	(仮)津市豊が丘会館別館建築工事	部位	仕上	部位	仕上	部位	使用材料	認定		
工事場所	津市豊が丘二丁目地内	勾配屋根	カラーガルバリウム鋼板ア0.4 瓦棒葺 裏張材:ポリエチレンフォームア4 アスファルトルーフィング940 耐火野地板ア18 破風板:H180	外壁	窯業系サイディングア16張 内壁PBA12.5(通気工法) 金属系サイディングア16張 内壁PBA12.5(通気工法) 角波サイディングア18張(カラーガルバリウム鋼板ア0.5) 内壁PBA12.5(通気工法)	屋根	カラーガルバリウム鋼板ア0.4	NM-8697		
用途地域	市街化調整区域									
防火指定	指定なし									
その他	法22条地域	陸屋根	水性無機透湿型遮熱床塗 保護コンクリートア80金コテ押工 伸縮目地 W25 @2000内外 シーリング (丸環:ステンレス製 φ19 内径100mm) アスファルト防水 冷熱併用工法(歩行用) コンクリート金コテ押工	軒天	化粧ケイカル板ア6張 アルミ製廻縁					
道路幅員	16.04m			開口部	アルミサッシ・アルミドア					
敷地面積	1,027.98㎡			根廻り	コンクリート打放補修 目地@2000内外					
主要用途	地区集会所			樋	ルーフトレン:鋼鉄製φ100用 軒 樋:塩ビ製角型(前高型)W120(カラー) タテ樋:硬質塩化ビニル管(カラー)φ100 支持金物 ステンレス製@1000内外 養生管:白ガス管 125A DP塗 H=1500(南側のみ)	断熱材	床:ポリスチレンフォームア25敷 (ポリエチレンフィルムア0.15敷) デッキプレート(平屋部分): 硬質ウレタンフォームア25吹付(ノンフロ) 外壁・天井:GW 24kg品 ア100敷込			
工事種別	新築									
建築面積	299.63㎡									
延床面積	435.84㎡	庇	アルミ既製品(アルミ押出形材)							

内部仕上表																									
階	室名	内装制限	床				巾木				腰壁				壁				天井				CH	室名札	備考
			記号	下地	仕上	記号	仕上	H	記号	下地	仕上	記号	下地	仕上	記号	下地	仕上	廻縁							
1階	研修室1	—	F1	モルタル金コテ下地	複合フローリングア12 直張 耐摩耗 表面単板t=2.0 (塗装品)	BB1	木製巾木(桧) CL塗	100	W1	LGST下地	PBA12.5 杉羽目板ア12 CL塗 見切:杉 24×60 CL塗	W2	LGST下地	PBA12.5 ビニルクロス張	C1	LGST下地	石膏ボードア12.5下張り ロックウール化粧吸音板ア9	アルミ	2,600	○	吊り下スクリーン(研修室1) ステージ				
	研修室2	—	F2	△	ビニル床シートア2.5張	BB2	ビニル巾木	60	W4	△	PBA12.5 NAD塗	W4	△	PBA12.5 NAD塗	C2	△	段裏表シ サビ止め	△	—	○					
2階	研修室3	—	F1	△	複合フローリングア12 直張 耐摩耗 表面単板t=2.0 (塗装品)	BB1	木製巾木(桧) CL塗	100	W1	LGST下地	PBA12.5 杉羽目板ア12 CL塗 見切:杉 24×60 CL塗	W2	△	PBA12.5 ビニルクロス張	C1	△	石膏ボードア12.5下張り ロックウール化粧吸音板ア9	△	2,500	○					
	管理室	—	F2	△	ビニル床シートア2.5張	BB2	ビニル巾木	60	W2	△	△	W2	△	△	C3	△	化粧PBA9.5張	△	2,500	○					
共通	多目的便所 男子便所1・2 女子便所1・2	—	F2	△	△	BB3	床同材巻上げ 樹脂製見切り縁	200	W3	△	PBA12.5 メラミン不燃化粧板ア3張	W3	△	PBA12.5 メラミン不燃化粧板ア3張	C3	△	△	△	2,500	○	汚垂れ(男子便所1・2) [TOTO株式会社 H10年7月・707 PU同等品程度]				
	給湯室1 給湯室2	—	F2	△	△	BB3	△	200	W2	△	PBA12.5 ビニルクロス張	W2	△	PBA12.5 ビニルクロス張	C4	△	ケイカル板ア6 NAD塗	△	2,500	○	キッチン(1H対応)				
	倉庫1 倉庫2 倉庫3	—	F2	△	△	BB2	ビニル巾木	60	W4	△	PBA12.5 NAD塗	W4	△	PBA12.5 NAD塗	C3	△	化粧PBA9.5張	△	2,600 (倉庫1) 2,500 (倉庫2・3)	○					
	玄関ホール・廊下	—	—	F1	△	複合フローリングア12 直張 耐摩耗 表面単板t=2.0 (塗装品)	BB1	木製巾木(桧) CL塗	100	W1	LGST下地	PBA12.5 杉羽目板ア12 CL塗 見切:杉 24×60 CL塗	W2	△	PBA12.5 ビニルクロス張	C3	△	△	△	2,500	○	下足入			
				F3	モルタル木コテ下地	磁器質150角タイル張				W6	LGST下地	PBA12.5+PBA12.5 杉羽目板ア12 CL塗 見切:杉 24×60 CL塗	W5	△	PBA12.5+PBA12.5 ビニルクロス張										
	階段室	—	F2	モルタル金コテ下地	ビニル床シートア2.5張	BB2	ビニル巾木	60	W2	△	PBA12.5 ビニルクロス張	W2	△	PBA12.5 ビニルクロス張	C3	△	△	△	—	○					
EVピット	—	F4	コンクリート下地	ケイ酸質系塗布防水塗 (C-U1)				W8		PBA12.5素地(外壁側)	W8		PBA12.5素地(外壁側)	C5	△	屋根表シ		—	○						

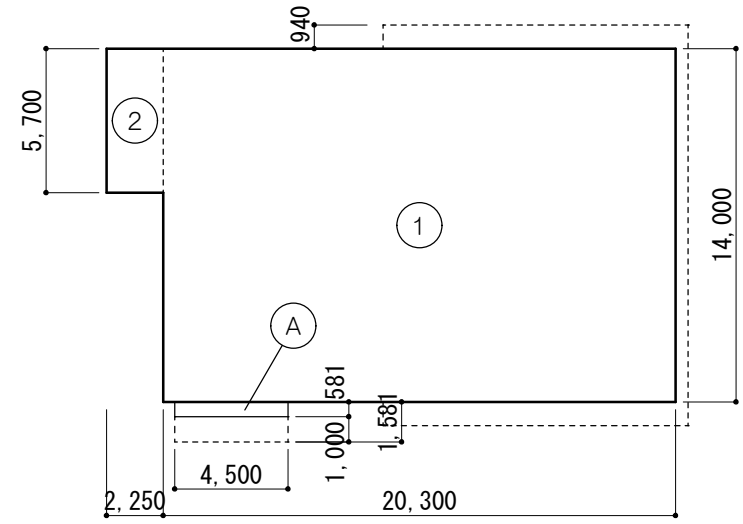
特記事項	【仕上記号略号】	【記号略号】	【防火認定番号】	【内装制限凡例】			
・1階平屋部分及び2階天井裏は、全てGW 24kg品 ア100を敷込むこと。	記号	JIS番号	名称	記号	名称	PB(石膏ボード)ア12.5 :NM-8619 <不燃>	ⓧ 仕上、下地共不燃材
・壁ボード張部分は、ジョイントレス大壁工法とする。(寒冷紗・ジョイントテープ張処理)	NAD	K5670	アクリル樹脂系非水分散形塗料	HL	ヘアライン	不燃化粧PBA9.5 :NM-1864 <不燃>	ⓧ 仕上不燃材
・ボード類 壁コーナー処理は、特記なき限りコーナー保護金物の上、ジョイントコンパウンド塗とする。	CL	K5531	クリアラッカー塗	PB	石膏ボード	ケイ酸カルシウム板 :NM-8578 <不燃>	ⓧ 仕上、下地共準不燃材以上
・LGS間仕切壁下地は、特記なき限りW65とし、高さ4.0mを超える部分はW100とする。	DP	K5658	耐候性塗料塗	GW	グラスウール	化粧PBA9.5 :QM-9824 <準不燃>	ⓧ 仕上準不燃材以上
・特記なき床ステンレス巻指は、SUS「7-40×20×1.5(HL)」とする。			・使用建築材料:特記なき限りJIS・JAS認定品を使用すること。	LGS	軽鋼鉄骨下地	ビニルクロス(PB下地) :QM-9405 <準不燃>	ⓧ 仕上難燃材以上
・ビニル床シート張りは、熱溶接工法とする。			・各トイレの間仕切壁には全てGW24kg ア50を敷込むこと。			塗料一般 :NM-8585 <不燃>	
・土間コンクリート下は、ポリエチレンフィルムア0.15敷 (タテ、ヨコ重ね部分L=200以上とする)			・フロアリングと壁取り合い部には、エキスパンションゴムを設け、床と巾木は床勝ちの納まりとすること。		【シックハウス対策】		
			・参考メーカー品番及び認定番号は同等品以上とする。		・使用建材:F☆☆☆(天井、壁、家具、建具仕上材、接着剤、下地共)		
					・内部塗料は、F☆☆☆品 家具等F☆☆☆品		
					・クロロピリホス使用なし		

特記事項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	(仮称)津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	A-09 (原図:A2)
	株式会社 前野建築設計	一級建築士 第360917号 前田 祐作			図面名称	設計概要、外部・内部仕上表	縮尺	NS

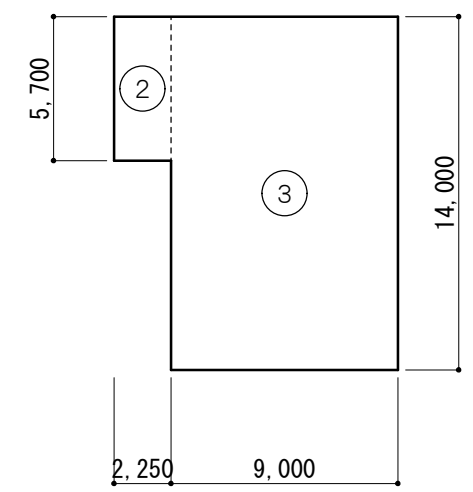


敷地求積図 1/300

敷地求積表				
番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	22.13	3.11	68.8243	34.41215
2	16.82	6.18	103.9476	51.97380
3	16.82	8.16	137.2512	68.62560
4	48.30	9.25	446.7750	223.38750
5	48.30	16.31	787.7730	393.88650
6	12.25	2.24	27.4400	13.72000
7	30.32	11.39	345.3448	172.67240
8	21.59	5.83	125.8697	62.93485
9	21.59	0.59	12.7381	6.36905
合計				1,027.98185
敷地面積				1,027.98 m ²

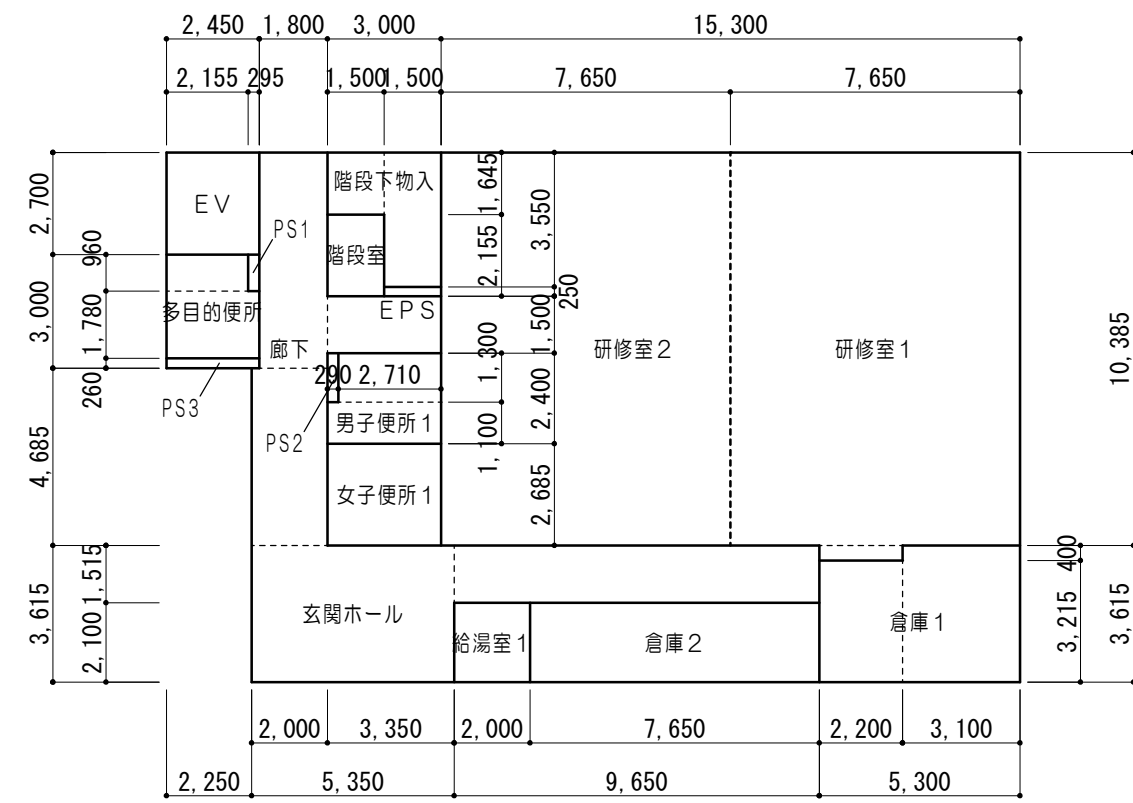


1階建物求積図 1/300



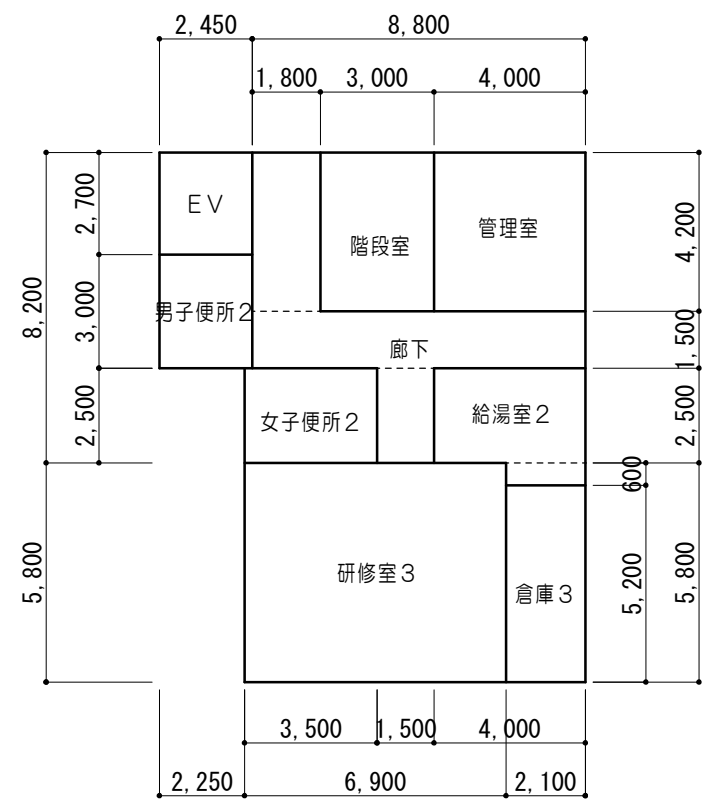
2階建物求積図 1/300

求積計算表		求積表		面積表		
①	14.00 × 20.30 = 284.200	建築面積	① + ② + ③ = 299.63	建築面積	299.63 m ²	
②	5.70 × 2.25 = 12.825	1階床面積	① + ② = 297.02	床面積	1階	297.02 m ²
③	14.00 × 9.00 = 126.000	2階床面積	② + ③ = 138.82		2階	138.82 m ²
④	0.581 × 4.50 = 2.614			延床面積	435.84 m ²	



1階各室面積図 1/200

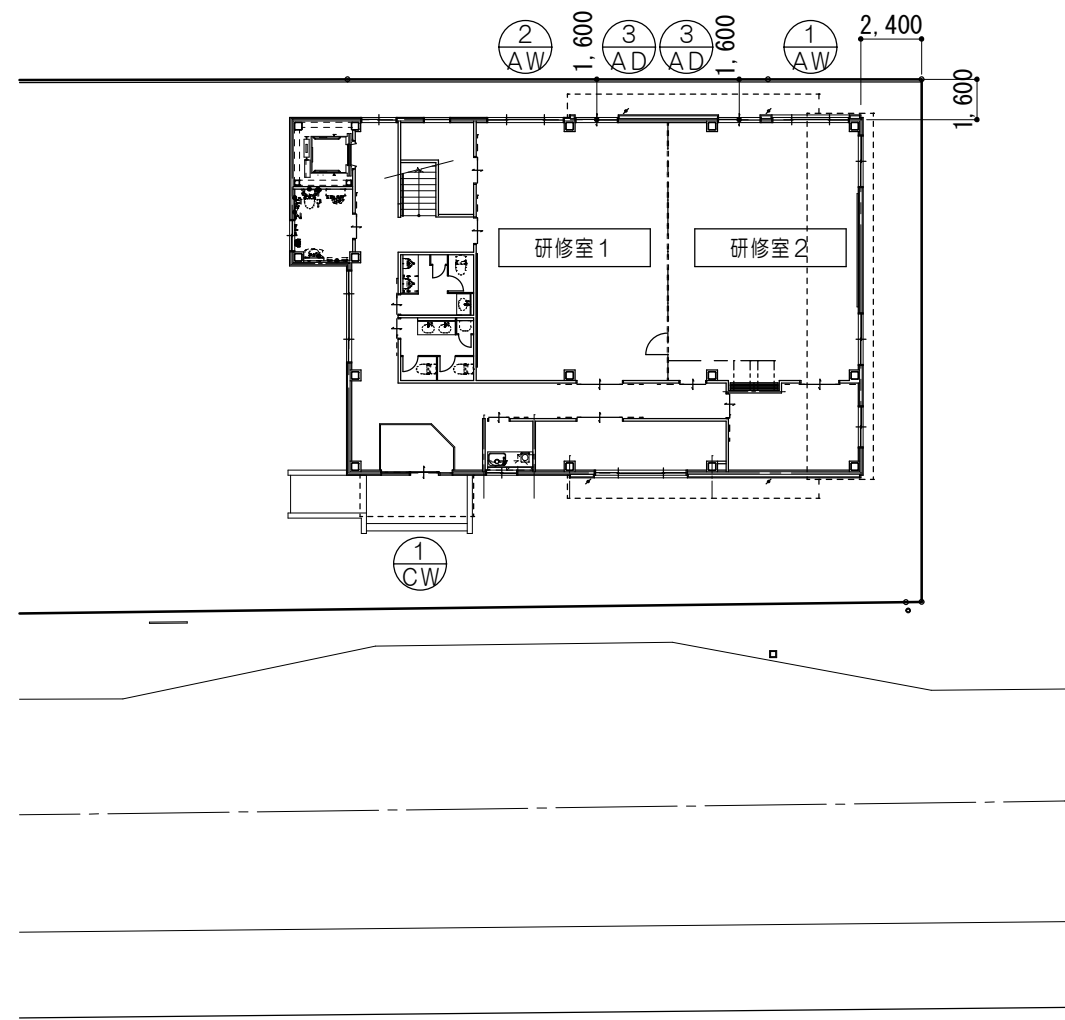
1階各室求積表 (m ²)		
研修室1	10.385 × 7.65 = 79.445	80.33
	0.40 × 2.20 = 0.880	
研修室2	10.385 × 7.65 = 79.445	79.45
男子便所1	1.30 × 2.71 = 3.523	6.82
	1.10 × 3.00 = 3.300	
女子便所1	2.685 × 3.00 = 8.055	8.06
多目的便所	0.96 × 2.155 = 2.068	6.43
	1.78 × 2.45 = 4.361	
給湯室1	2.10 × 2.00 = 4.200	4.20
倉庫1	3.615 × 3.10 = 11.206	18.28
	3.215 × 2.20 = 7.073	
倉庫2	2.10 × 7.65 = 16.065	16.07
階段室	2.155 × 1.50 = 3.232	3.23
階段下物入	1.645 × 1.50 = 2.467	7.79
	3.55 × 1.50 = 5.325	
EPS	0.25 × 1.50 = 0.375	0.38
PS1	0.96 × 0.295 = 0.283	0.28
PS2	1.30 × 0.29 = 0.377	0.38
PS3	0.26 × 2.45 = 0.637	0.64
EV	2.70 × 2.45 = 6.615	6.62
	5.70 × 1.80 = 10.260	
	4.685 × 2.00 = 9.370	
	3.615 × 5.350 = 19.340	
	1.515 × 9.65 = 14.619	
1.50 × 3.00 = 4.500		



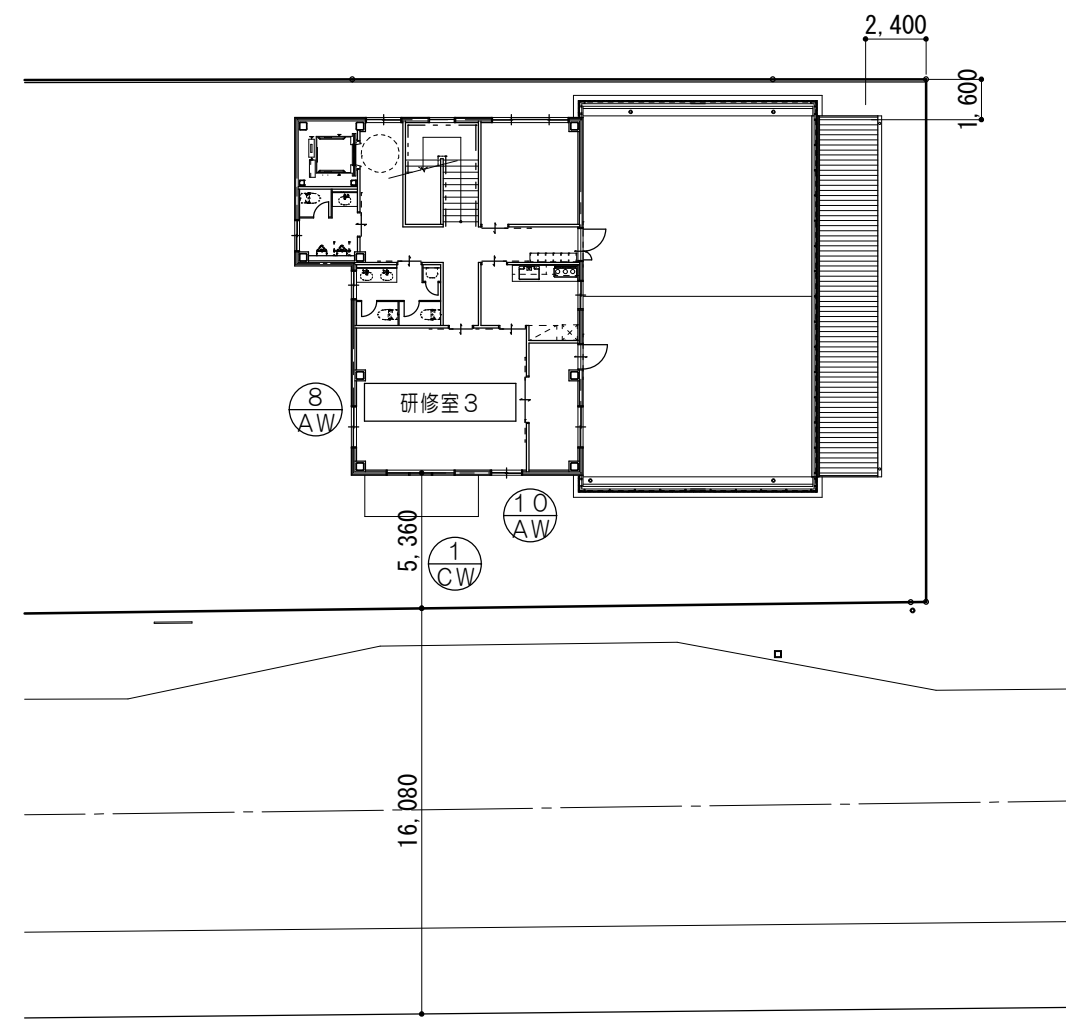
2階各室面積図 1/200

2階各室求積表 (m ²)		
研修室3	5.80 × 6.90 = 40.020	40.02
管理室	4.20 × 4.00 = 16.800	16.80
男子便所2	3.00 × 2.45 = 7.350	7.35
女子便所2	2.50 × 3.50 = 8.750	8.75
給湯室2	2.50 × 4.00 = 10.000	11.26
	0.60 × 2.10 = 1.260	
倉庫3	5.20 × 2.10 = 10.920	10.92
階段室	4.20 × 3.00 = 12.600	12.60
EV	2.70 × 2.45 = 6.615	6.62
廊下	4.20 × 1.80 = 7.560	24.51
	1.50 × 8.80 = 13.200	
	2.50 × 1.50 = 3.750	

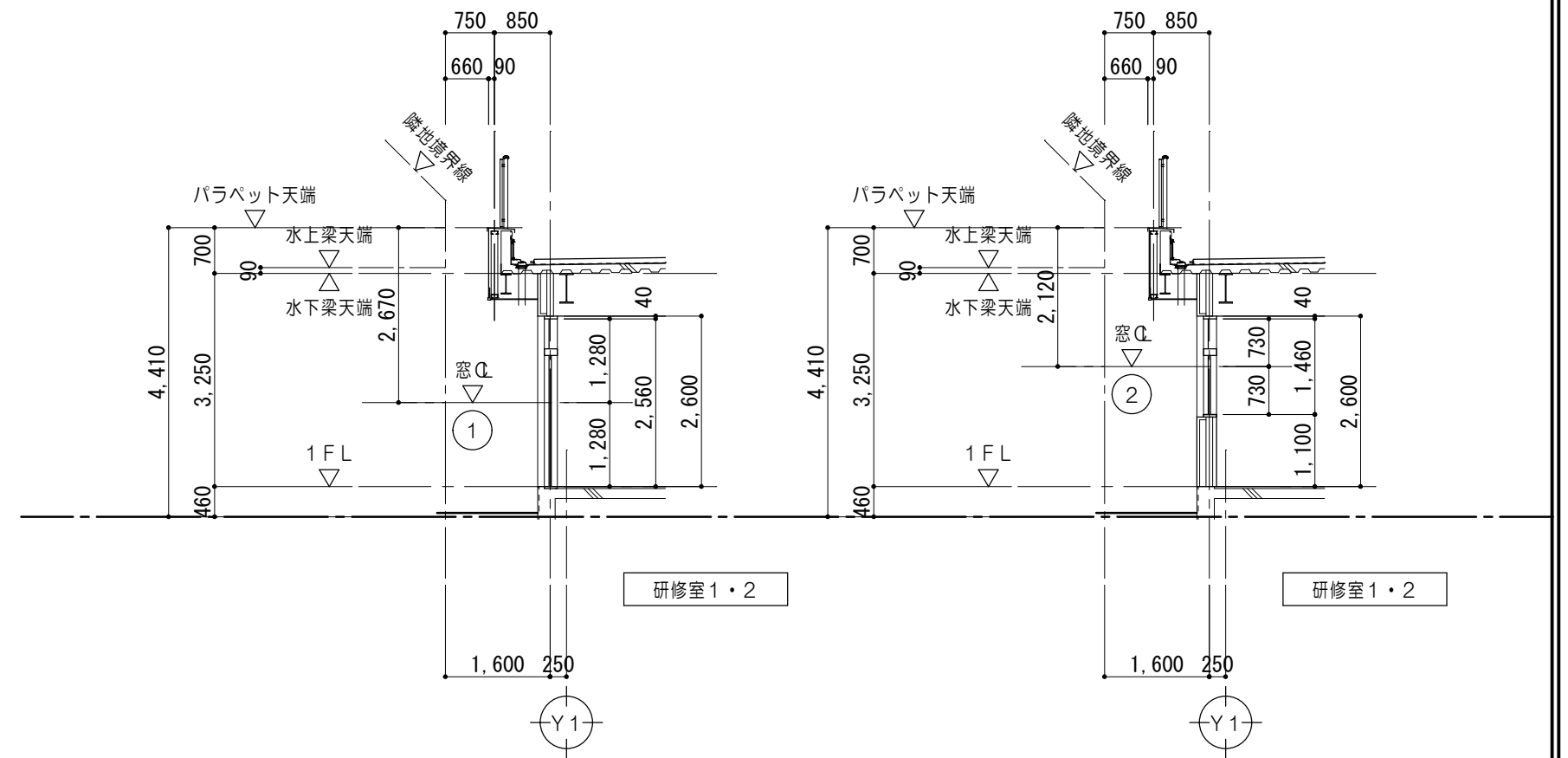
※各室面積の合計は求積表の延床面積より大きい、四捨五入によるものであり、法規チェック上安全側となるのでこのまま使用する。



1階採光根拠図 1/300

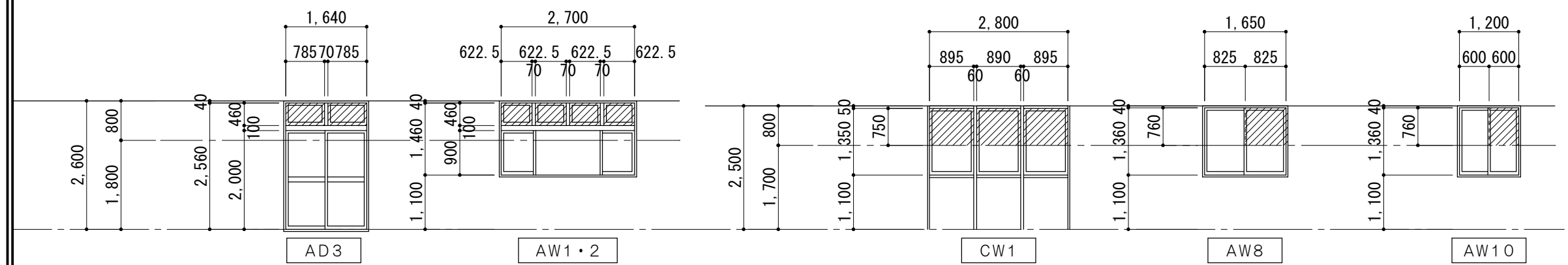


2階採光根拠図 1/300

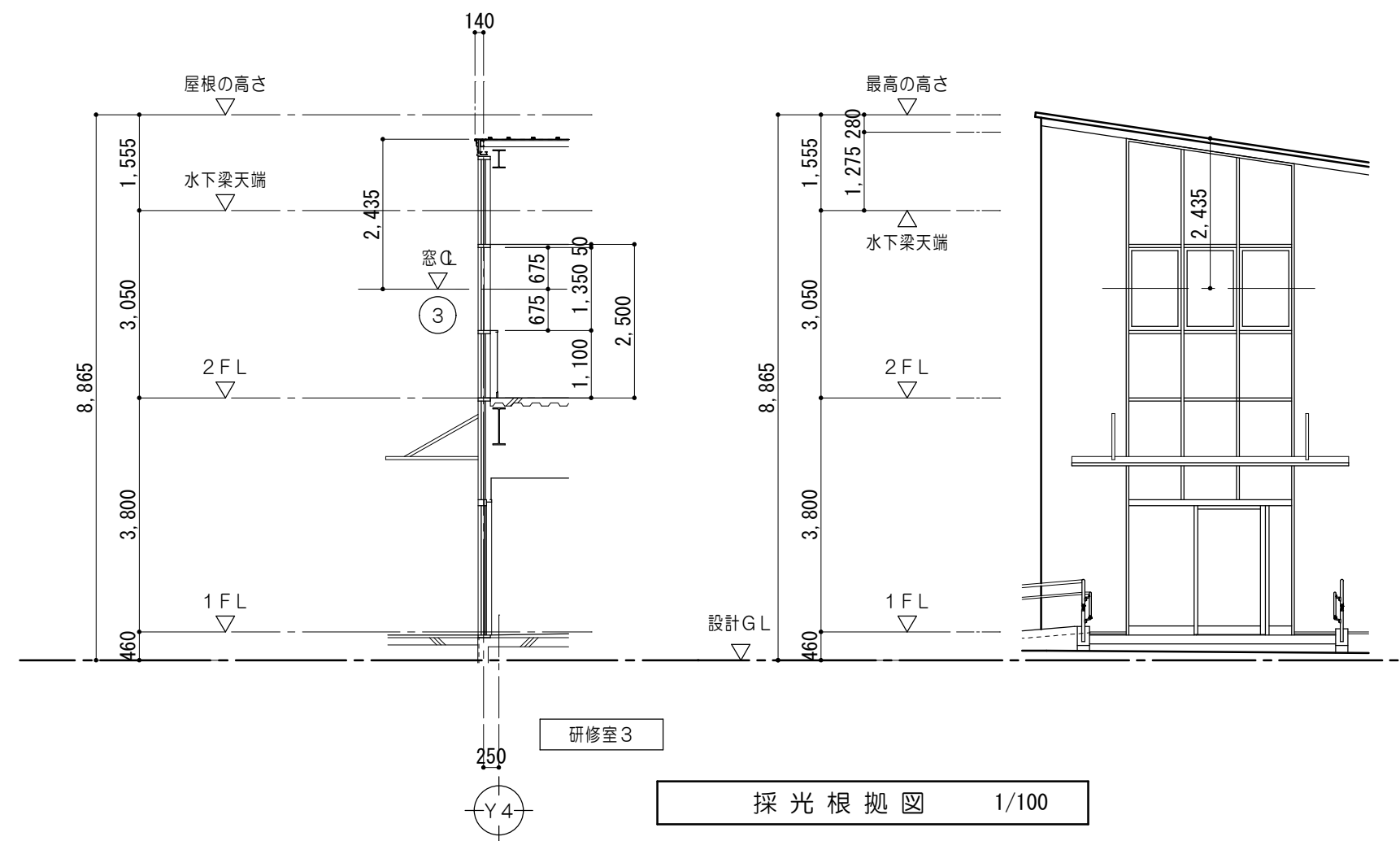


研修室1・2

研修室1・2

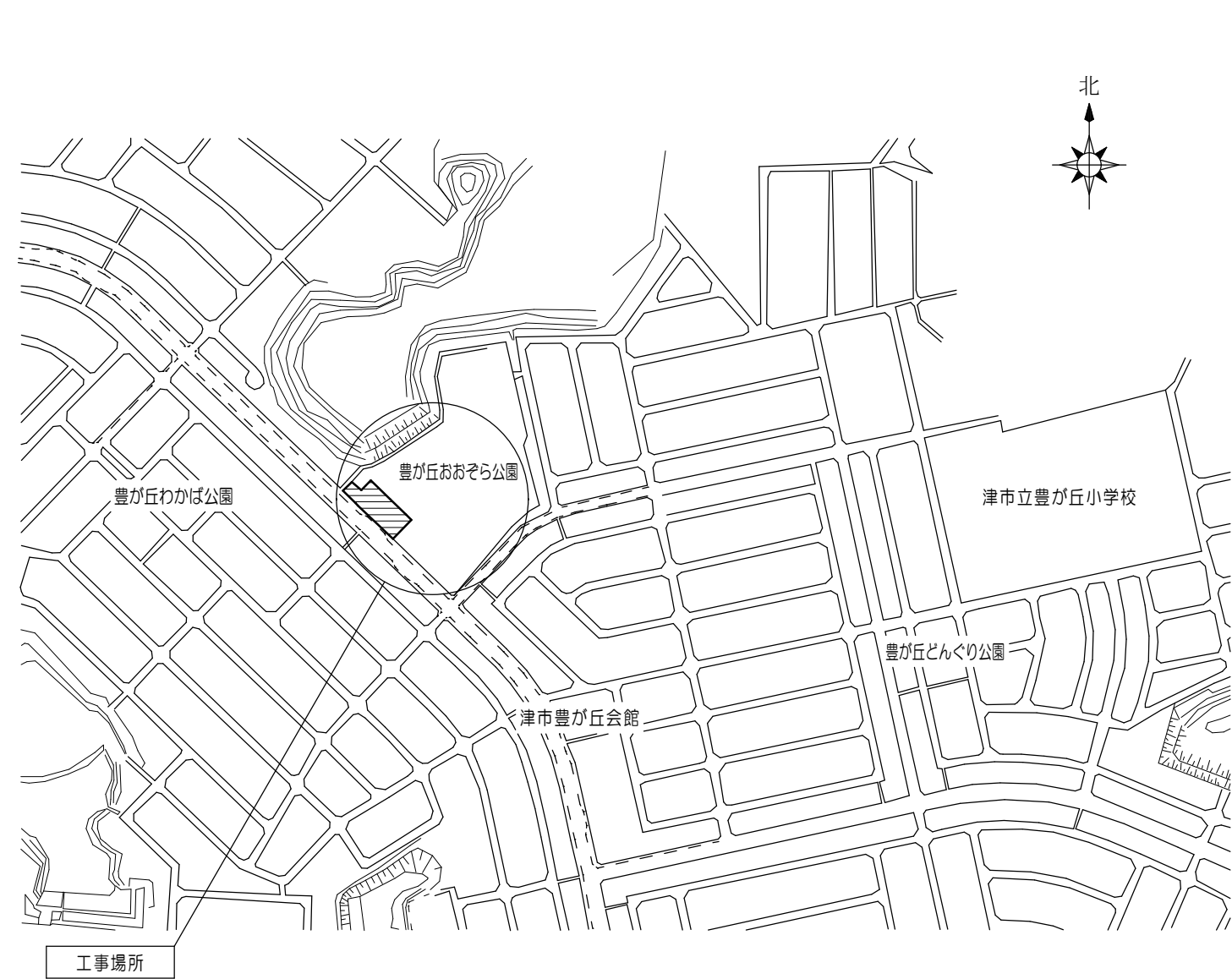


排煙根拠図 1/100

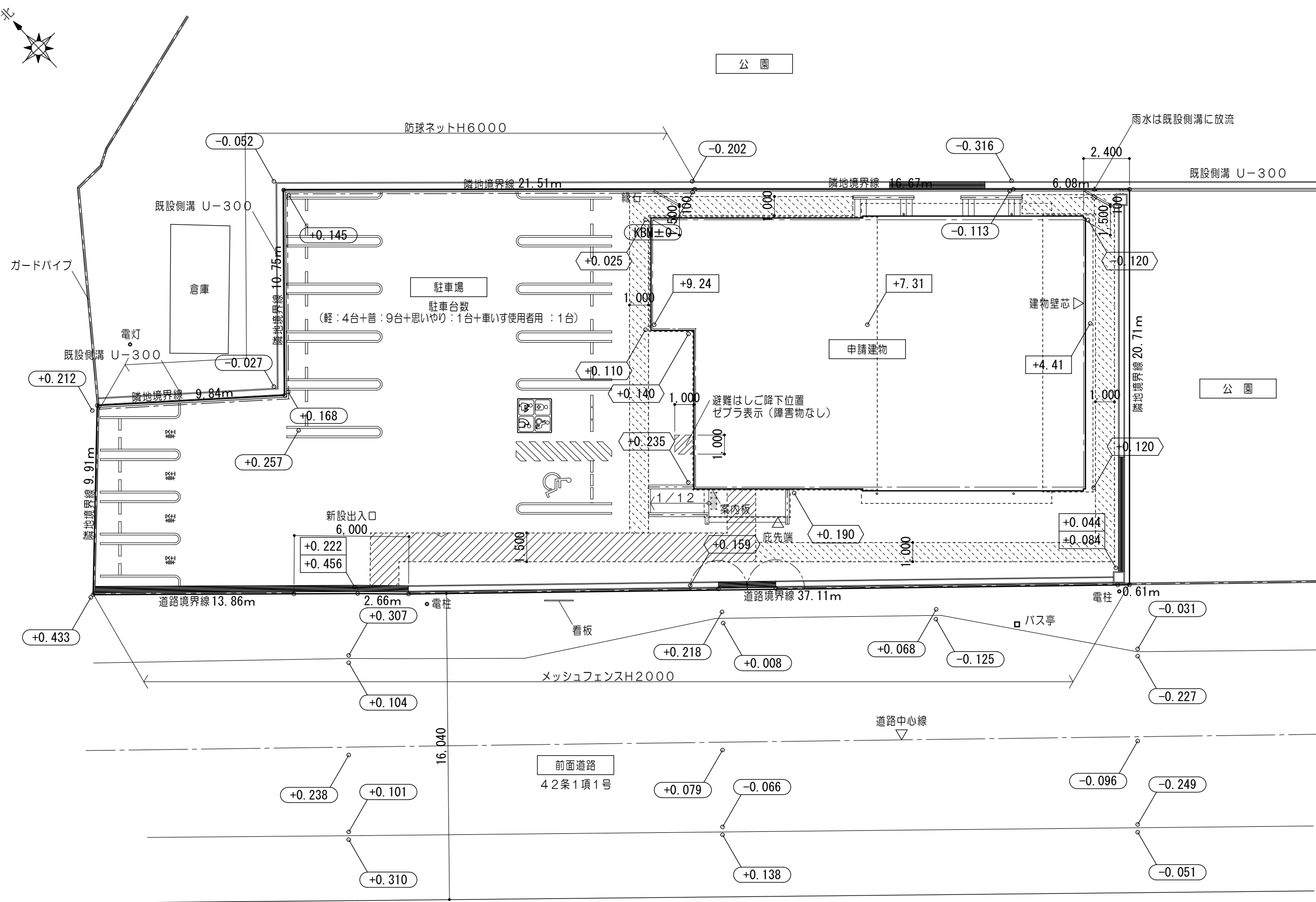


採光根拠図 1/100

採光算定表							換気算定表				排煙算定表				
室名	室面積 (㎡)	必要採光面積 (㎡)		窓記号	窓の種類	有効採光面積	市街化調整区域 D/H×10-1	判定	必要換気面積 (㎡)		判定	必要換気面積 (㎡)		判定	
		室面積×係数	窓記号						窓の種類	有効採光面積		必要換気面積 (㎡)	窓記号		有効換気面積
研修室1	80.33	80.33/20 = 4.02	AD3 AW1	引違イ 両袖引込	$2.0 \times 1.64 = 3.28$ $0.46 \times 0.785 \times 2 = 0.72$ $0.9 \times 2.70 = 2.43$ $0.46 \times 0.6225 \times 4 = 1.14$ $\blacksquare 4.00 \times 1.47$ (採光補正係数) = 5.88 $\blacksquare 3.57 \times 2.11$ (採光補正係数) = 7.53 13.41	① ②	OK	80.33/20 = 4.02	AD3 AW1	$2.0 \times 0.82 = 1.64$ $0.46 \times 0.785 \times 2 = 0.72$ $0.9 \times 1.35 = 1.21$ $0.46 \times 0.6225 \times 4 = 1.14$ 4.71	OK	80.33/50 = 1.61	AD3 AW1	$0.46 \times 0.785 \times 2 = 0.72$ $0.46 \times 0.6225 \times 4 = 1.14$ 1.86	OK
研修室2	79.45	79.45/20 = 3.97	AD3 AW2	引違イ 両袖引込	$2.0 \times 1.64 = 3.28$ $0.46 \times 0.785 \times 2 = 0.72$ $0.9 \times 2.70 = 2.43$ $0.46 \times 0.6225 \times 4 = 1.14$ $\blacksquare 4.00 \times 1.47$ (採光補正係数) = 5.88 $\blacksquare 3.57 \times 2.11$ (採光補正係数) = 7.53 13.41	① ②	OK	79.45/20 = 3.97	AD3 AW2	$2.0 \times 0.82 = 1.64$ $0.46 \times 0.785 \times 2 = 0.72$ $0.9 \times 1.35 = 1.21$ $0.46 \times 0.6225 \times 4 = 1.14$ 4.71	OK	79.45/50 = 1.59	AD3 AW2	$0.46 \times 0.785 \times 2 = 0.72$ $0.46 \times 0.6225 \times 4 = 1.14$ 1.86	OK
研修室3	40.02	40.02/20 = 2.00	CW1	外倒シ	$1.35 \times (0.895 \times 2 + 0.89) = 3.61$ $\blacksquare 3.61 \times 3$ (採光補正係数) = 10.83	③	OK	40.02/20 = 2.00	CW1 AW8 AW10	$1.35 \times (0.895 \times 2 + 0.89) = 3.61$ $1.36 \times 0.825 = 1.12$ $1.36 \times 0.6 = 0.81$ 5.54	OK	40.02/50 = 0.80	CW1 AW8 AW10	$0.75 \times (0.895 \times 2 + 0.89) = 2.01$ $0.76 \times 0.825 = 0.62$ $0.76 \times 0.6 = 0.45$ 3.08	OK



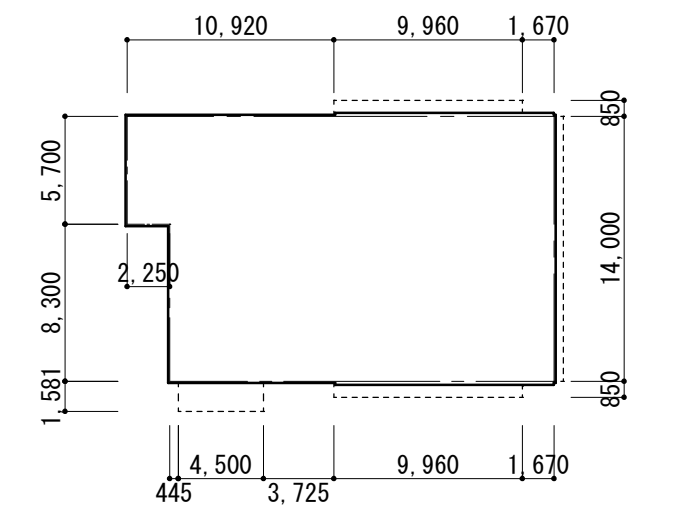
附近見取図 1/5000



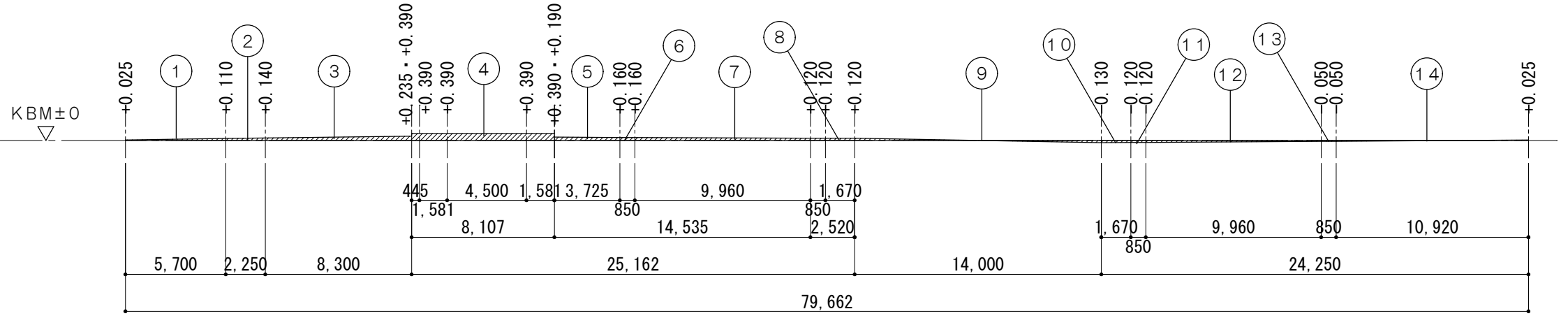
配置図 1/200

凡例	
	敷地内通路 1.5mを示す
	無窓階計算による敷地内通路 1.0mを示す
± 0	上段: KBMからの計画レベルを示す 下段: KBMからの現状レベルを示す
± 0	KBMからの現状レベルを示す
± 0	KBMからの計画レベルを示す
± 0	建物高さ (設計GLからのレベルを示す)
平均地盤面 KBM+8.0 = 設計GL	

平均地盤面算定表			
① $(+0.025+0.11) \times 5.70 \times 1/2 = +0.384$	⑧ $+0.12 \times 2.52 = +0.302$	⑨ $(+0.12-0.13) \times 14.0 \times 1/2 = -0.070$	⑩ $(-0.13-0.12) \times 1.67 \times 1/2 = -0.208$
② $(+0.11+0.14) \times 2.25 \times 1/2 = +0.281$	⑪ $-0.12 \times 0.85 = -0.102$	⑫ $(-0.12-0.05) \times 9.96 \times 1/2 = -0.846$	⑬ $-0.05 \times 0.85 = -0.042$
③ $(+0.14+0.235) \times 8.30 \times 1/2 = +1.556$	⑭ $(-0.05+0.025) \times 10.92 \times 1/2 = -0.136$		
④ $+0.39 \times 8.107 = +3.161$			
⑤ $(+0.19+0.16) \times 3.725 \times 1/2 = +0.651$			
⑥ $+0.16 \times 0.85 = +0.136$			
⑦ $(+0.16+0.12) \times 9.96 \times 1/2 = +1.394$			
平均地盤面の計算 = ① ~ ⑬ の数値の計 / 総長さ			
= 6.461 / 79.662 = 0.081			
平均地盤高さ = KBM+0.08			

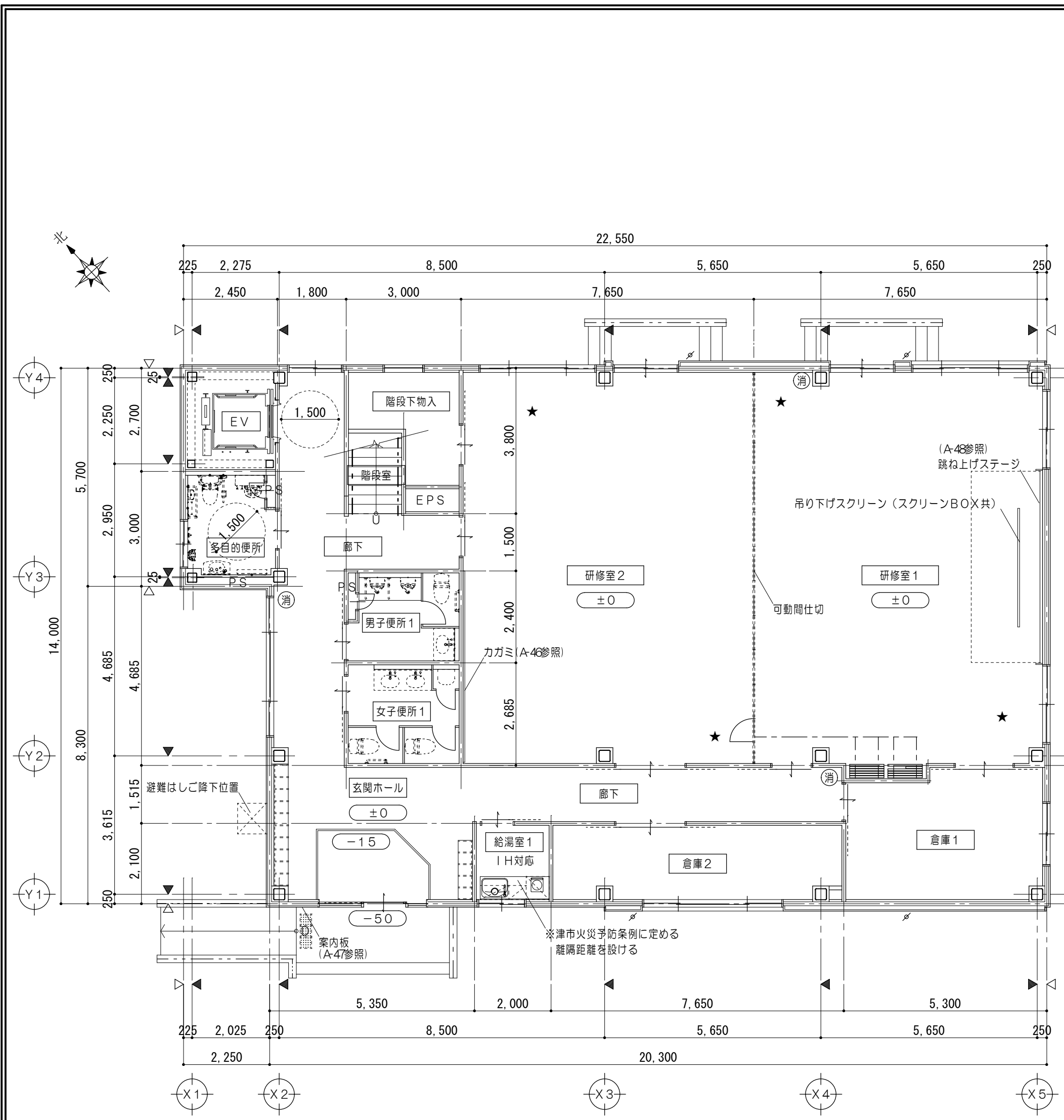


平均地盤面算定根拠図 1/400

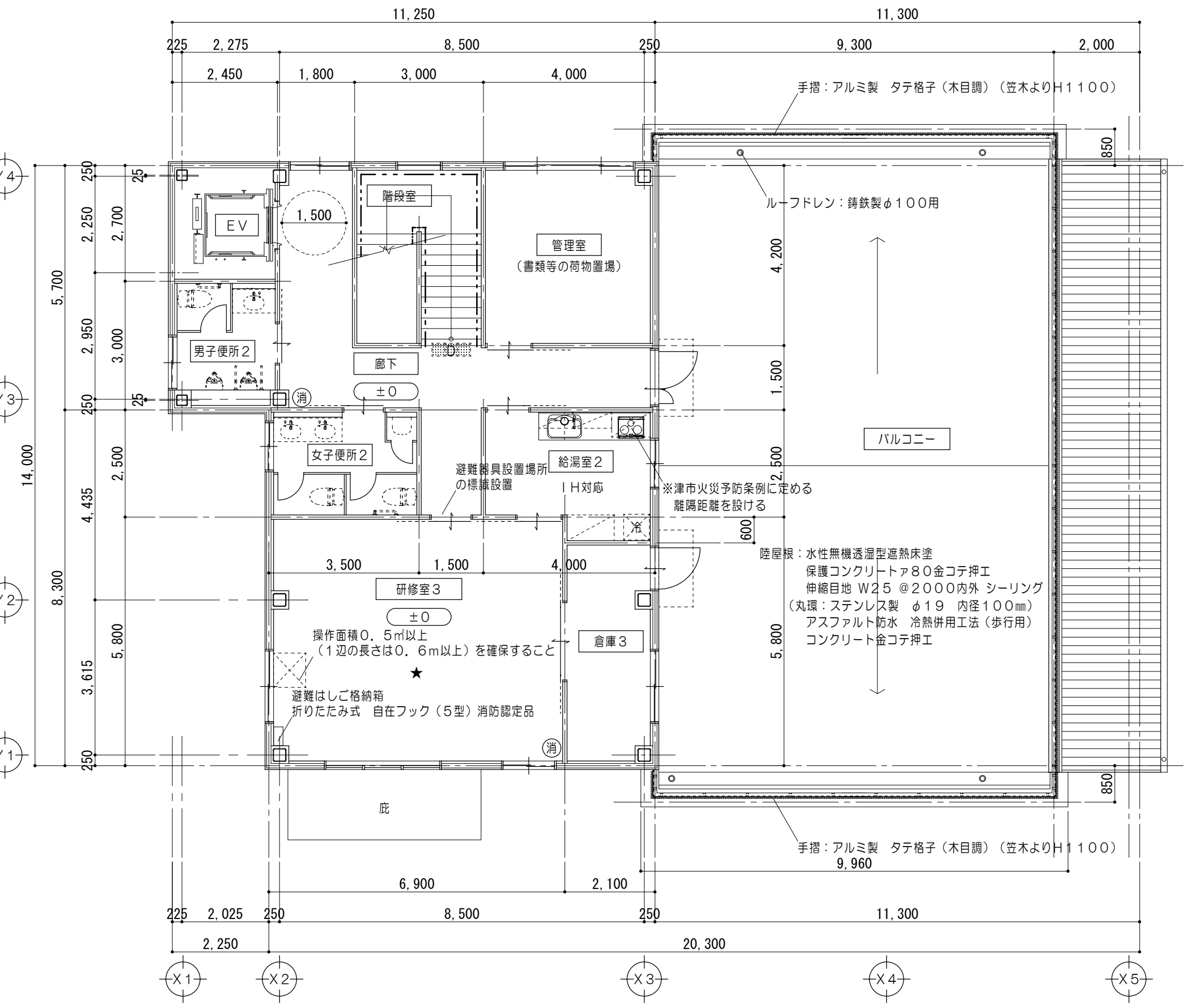


平均地盤面算定図 1/300

特記事項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称 (仮称) 津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	A-12 (原図:A2)
	一級建築士 第117489号 前野 初俊	一級建築士 第360917号 前田 祐作		図面名称	配置図、附近見取図、平均地盤算定	縮尺	1/200.300 1/400.5000



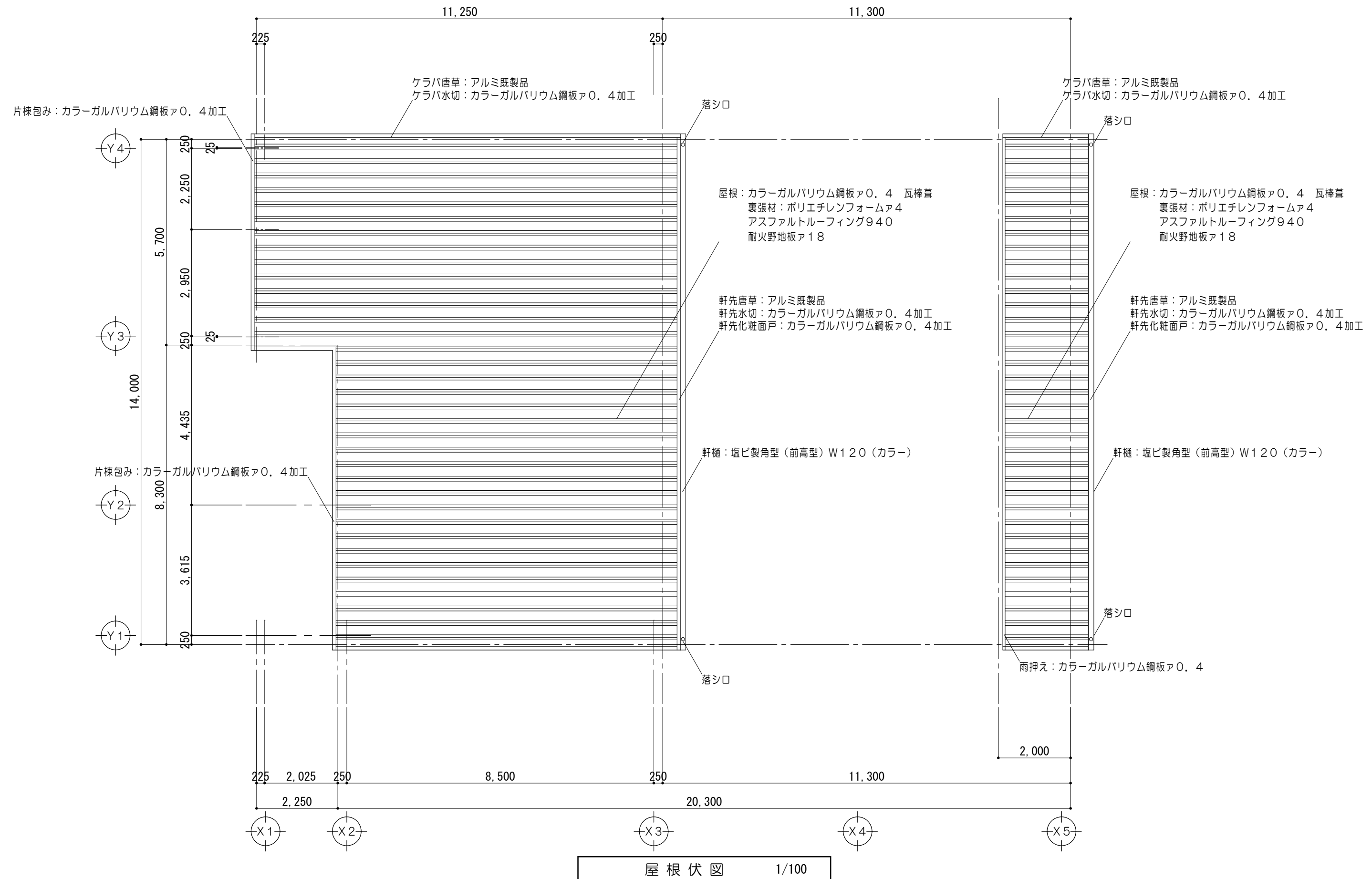
1階平面図 1/100




2階平面図 1/100

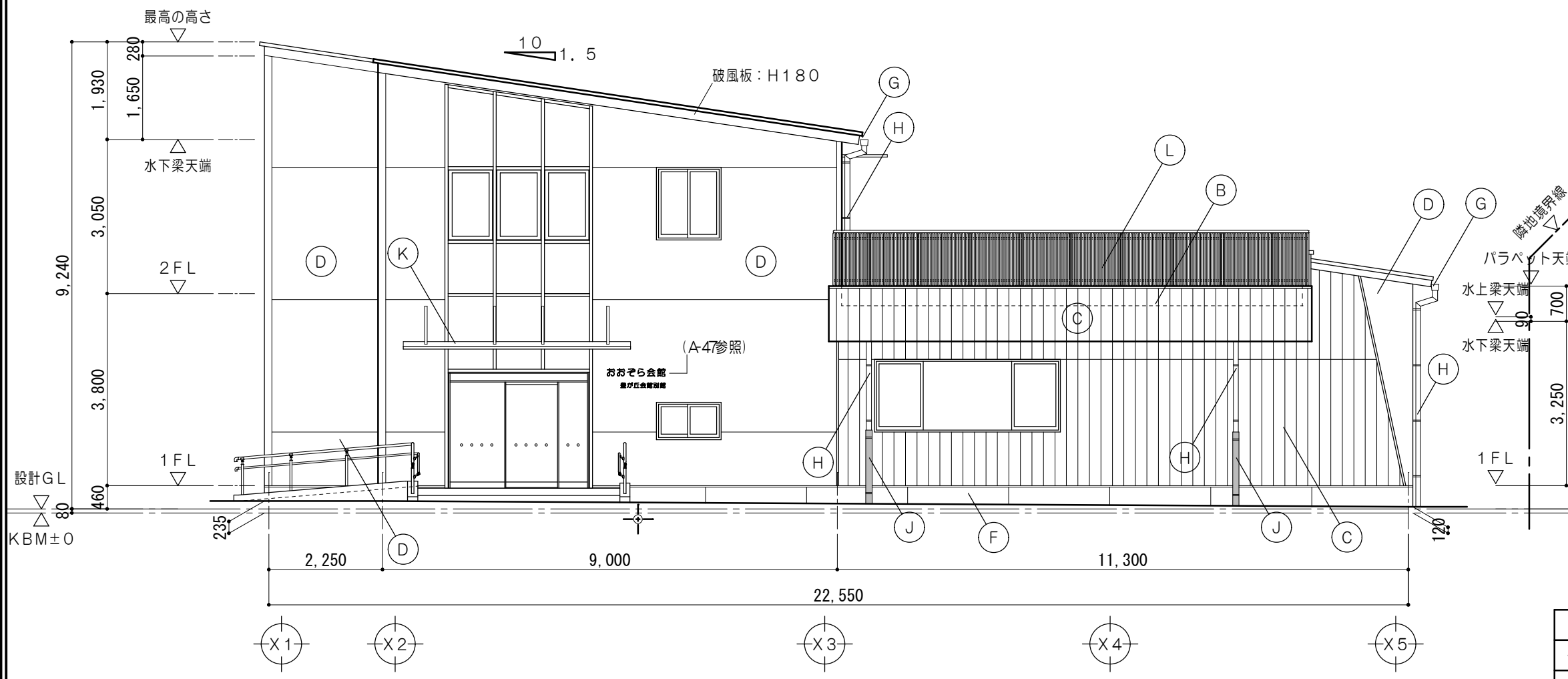
凡例			
±0	各階一般F.Lからの高さを示す	◀	柱芯を示す
---	階段手すり	<	壁芯を示す
∅	タテ種：硬質塩化ビニル管（カラー）φ100	★	室内空気汚染物質測定箇所を示す
消	消火器（ABC粉末10型）床置台共 ※消防用設備等については、消防法施行令及び同規則の通り設置する。		

消防無窓階の検討							
階	必要面積	有効面積	判定	階	必要面積	有効面積	判定
1階	297.03/30=9.91	CW1 2.10×0.9=1.89 AW1 0.90×0.612×2=1.10 AW2 0.90×0.612×2=1.10 AW3 0.90×0.937×2=1.68 AW4 1.36×0.837×2=2.27 AW5 1.36×0.837×2=2.27 TOTAL 10.31	OK	2階	138.83/30=4.63	CW1 1.35×(0.655×2+0.65)=2.64 AW6 1.36×0.612×2=1.66 西側 AW8 1.36×0.762×1=1.03 TOTAL 5.33	OK



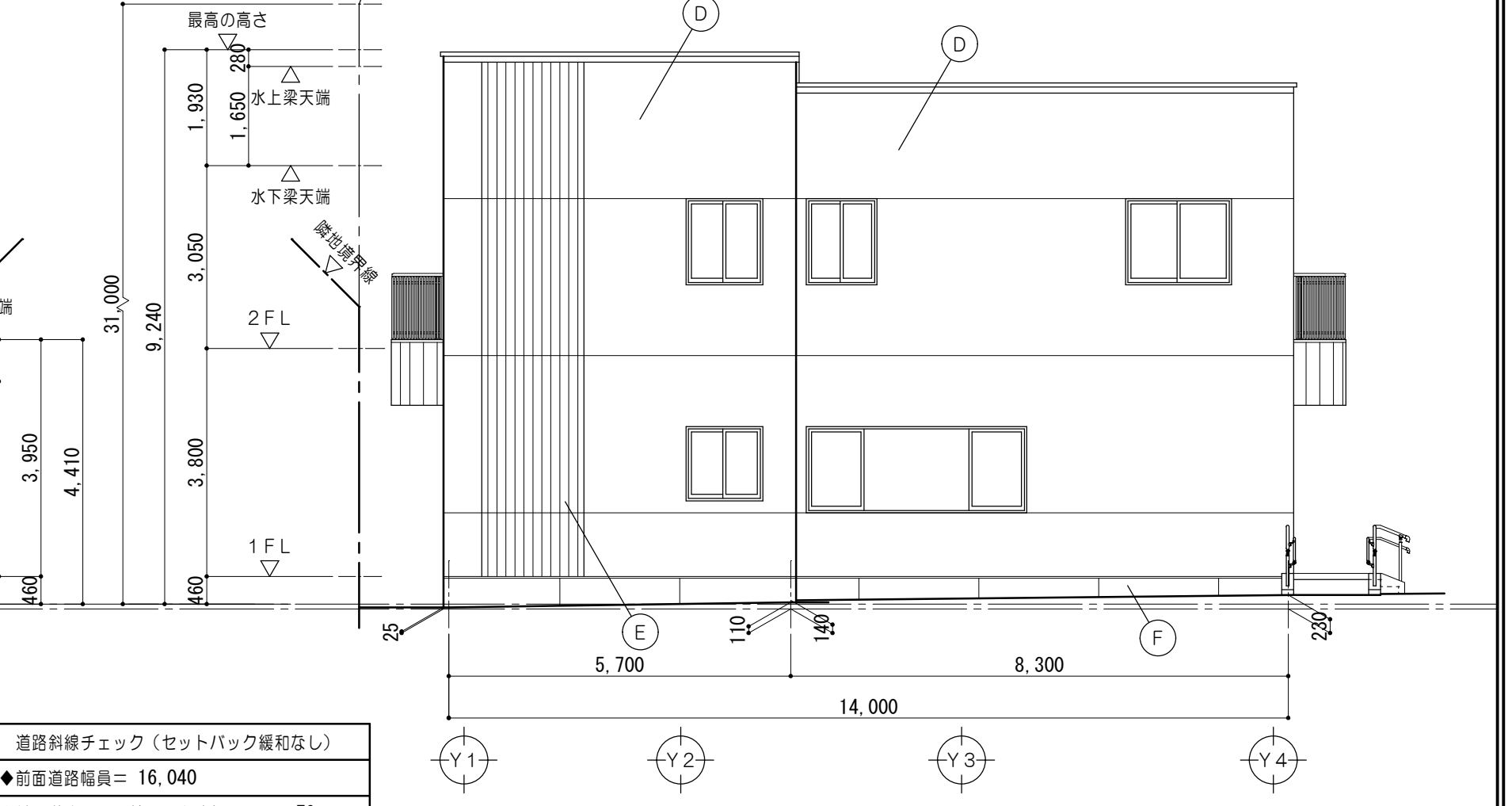
特 記 事 項		 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士 第117489号 前野 初 俊 一級建築士 第320204号 前野 将 輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	(仮称) 津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	A-14 (原図:A2)
			一級建築士 第360917号 前田 祐作			図面名称	屋根伏図	縮尺	1/100

凡 例					
A	勾配屋根：カラーガルバリウム鋼板φ0.4 瓦棒葺 裏張材：ポリエチレンフォームφ4 アスファルトルーフィングφ940 耐火野地板φ18	C	外壁：窯業系サイディングφ16張 内壁PBA12.5 (通気工法)	G	軒 樋：塩ビ製角型 (前高型) W120 (カラー)
	B	陸屋根：水性無機透湿型遮熱床塗 保護コンクリートφ80金コテ押工 目地切 @2000内外 シーリング (丸環：ステンレス製φ1000) アスファルト防水 冷熱併用工法 (歩行用) コンクリート金コテ押工	D	外壁：金属系サイディングφ16張 内壁PBA12.5 (通気工法)	H
E		F	J	K	養生管：白ガス管 125A DP塗 H=1500 (南側のみ)
	庇：アルミ既製品 (アルミ押出型材)				
			L	手摺：アルミ製 タテ格子 (木目調) (笠木よりH1100)	

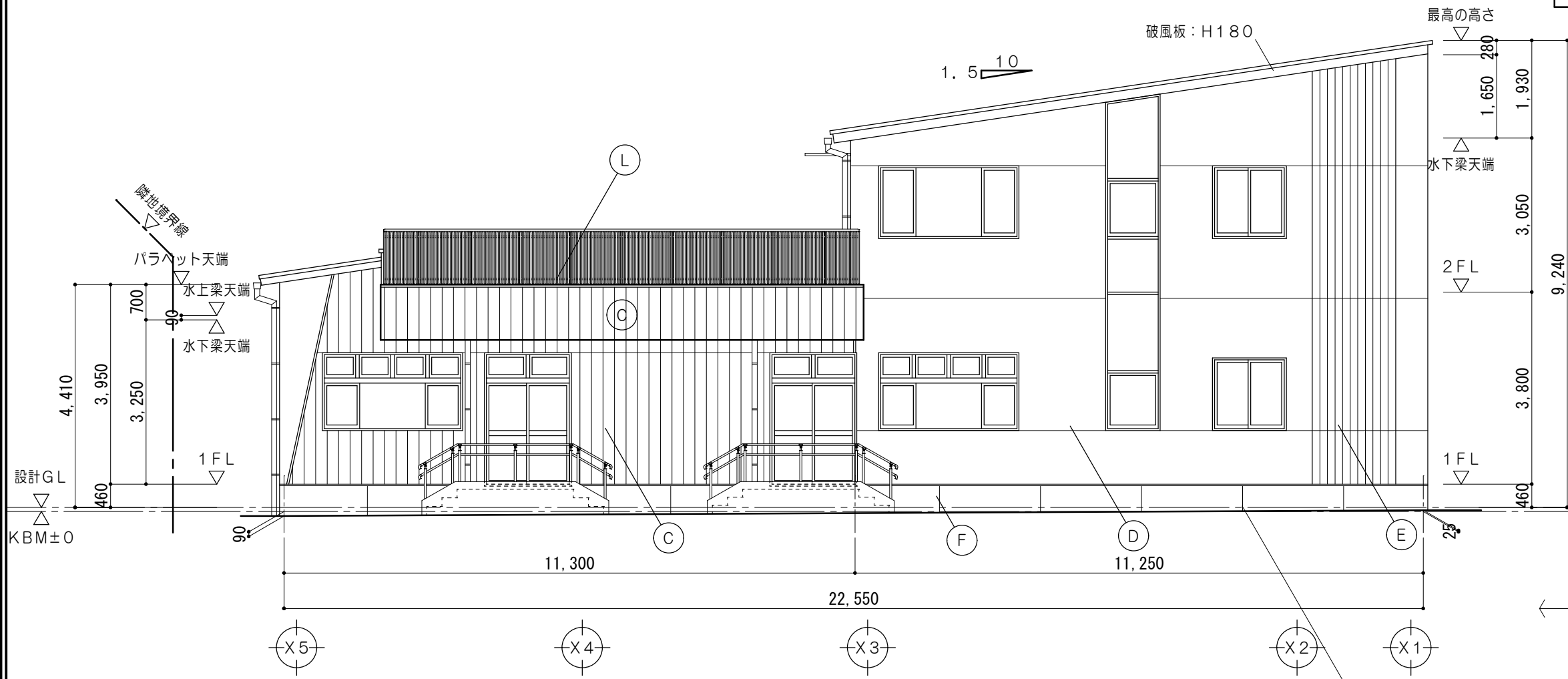


南面立面図 1/100

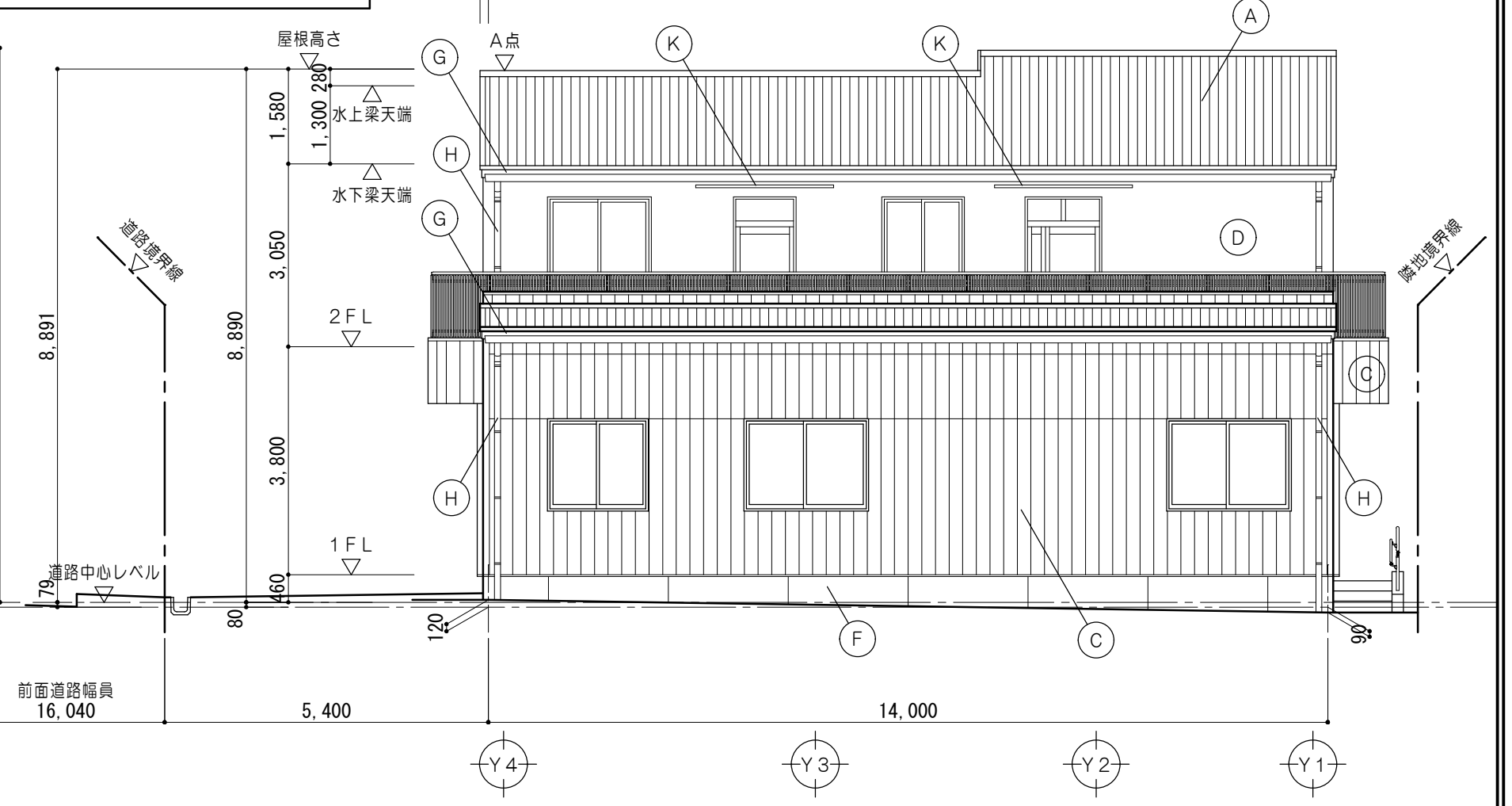
道路斜線チェック (セットバック緩和なし)
◆前面道路幅員 = 16,040
◆前面道路レベル差 = 平均地盤面 +79
◆道路斜線: A点 = 道路QLレベル 8,891
21,300 x 1.5 = 31,950
∴ 31,950 > 8,891



西面立面図 1/100

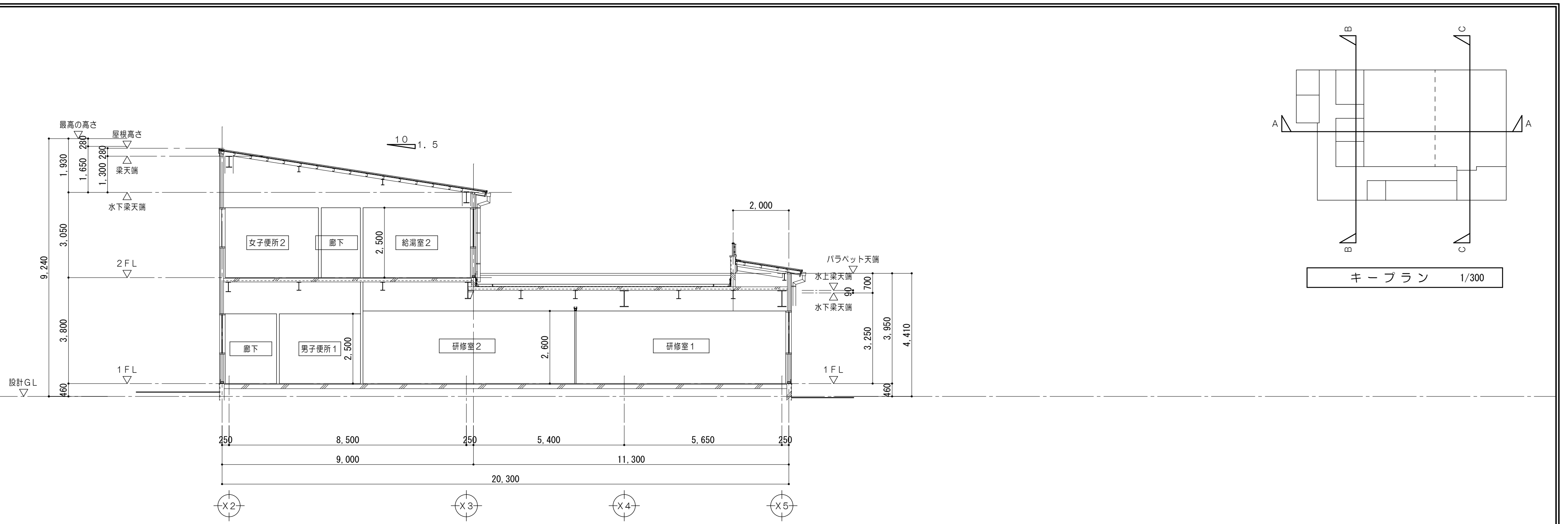


北面立面図 1/100

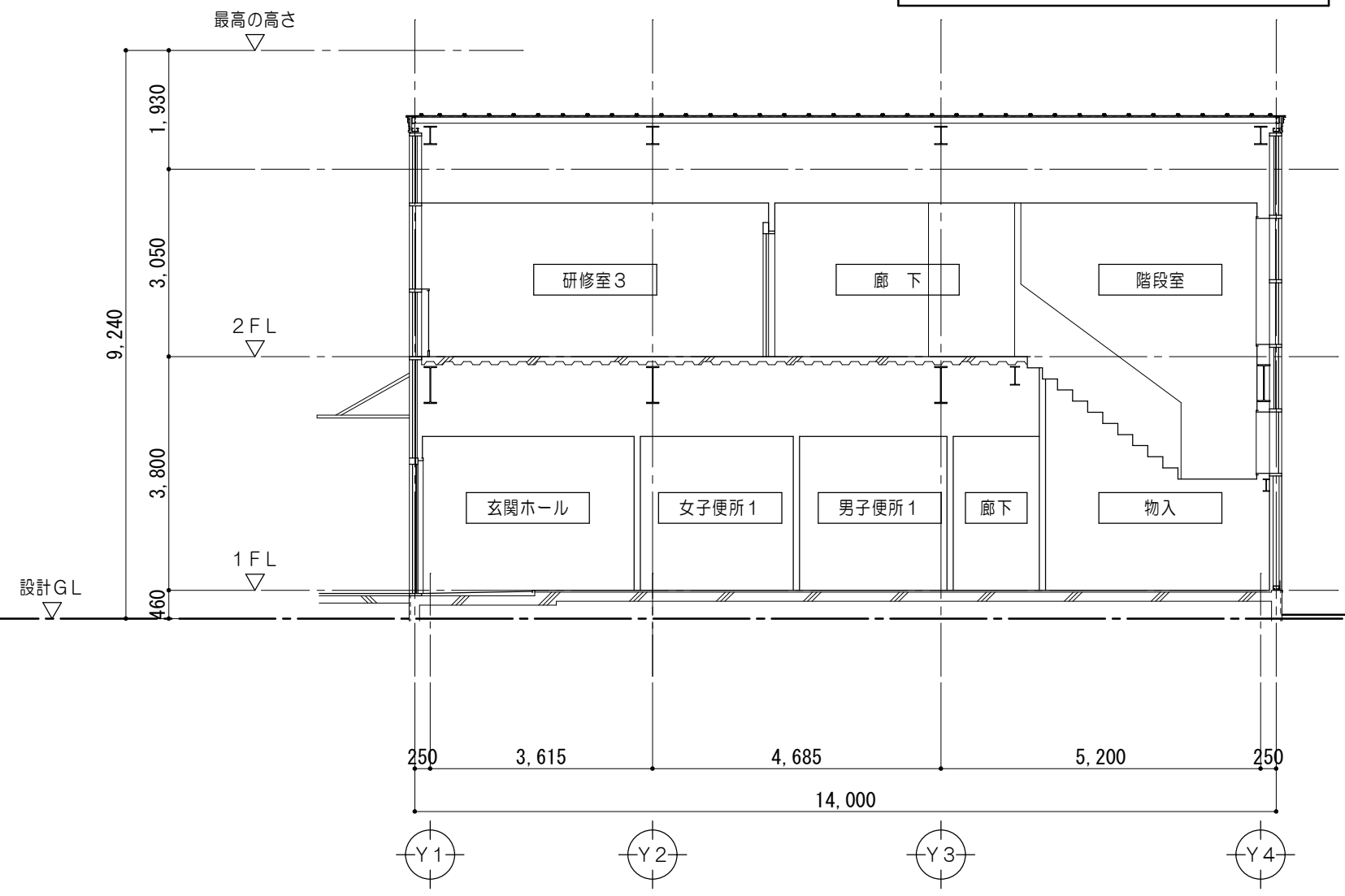


東面立面図 1/100

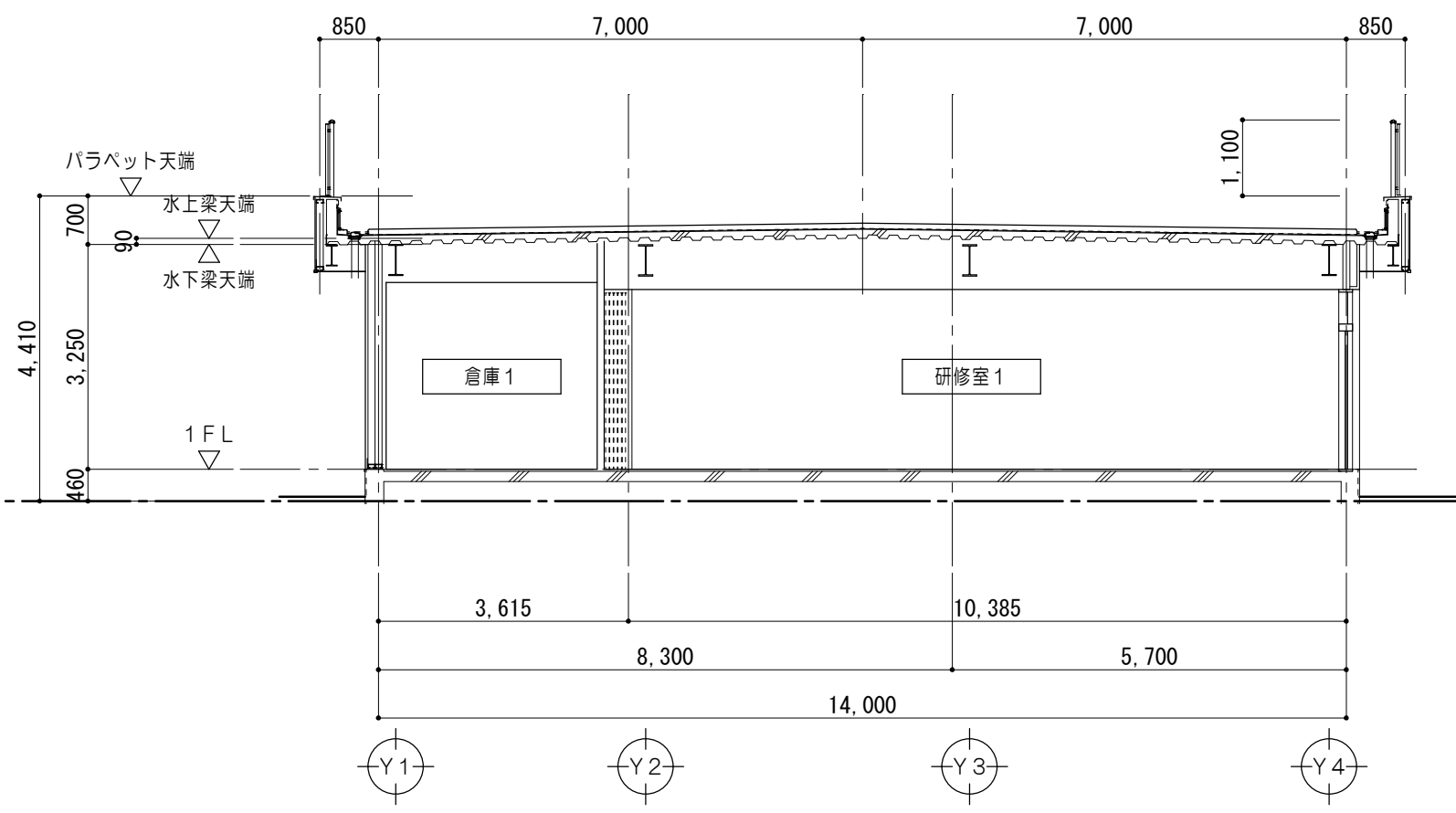
特 記 事 項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	(仮称) 津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	A-15 (原図:A2)
	株式会社 前野建築設計	一級建築士 第360917号 前田 祐作			図面名称	立面図	縮尺	1/100
	一級建築士 第117489号 前野 初俊	一級建築士 第320204号 前野 将輝						



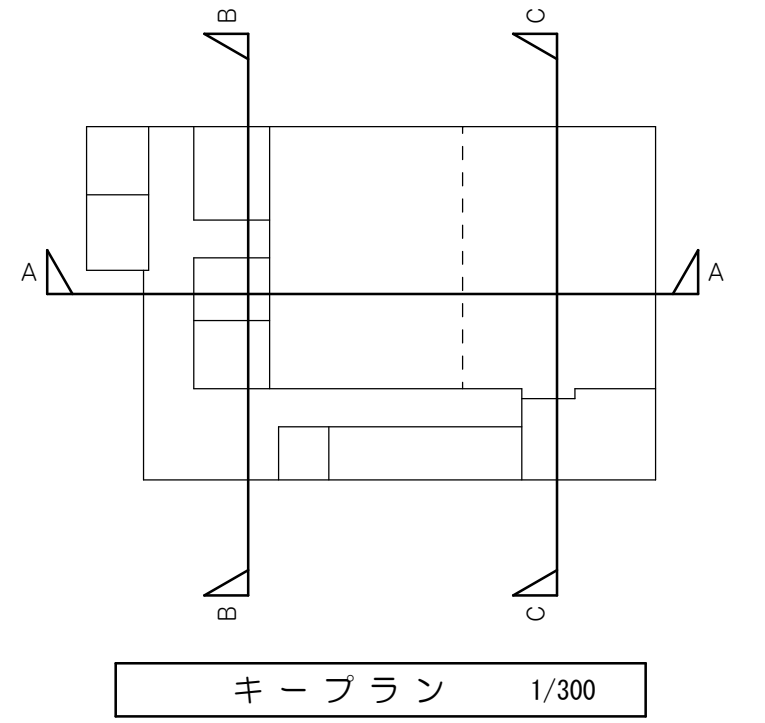
A - A 断面図 1/100




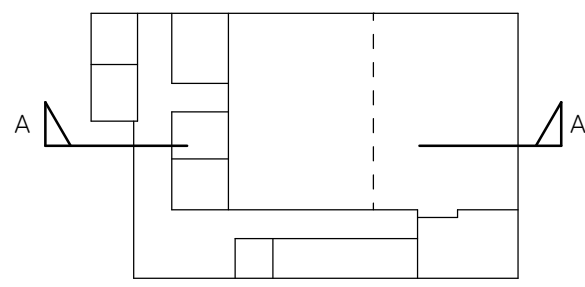
B - B 断面図 1/100



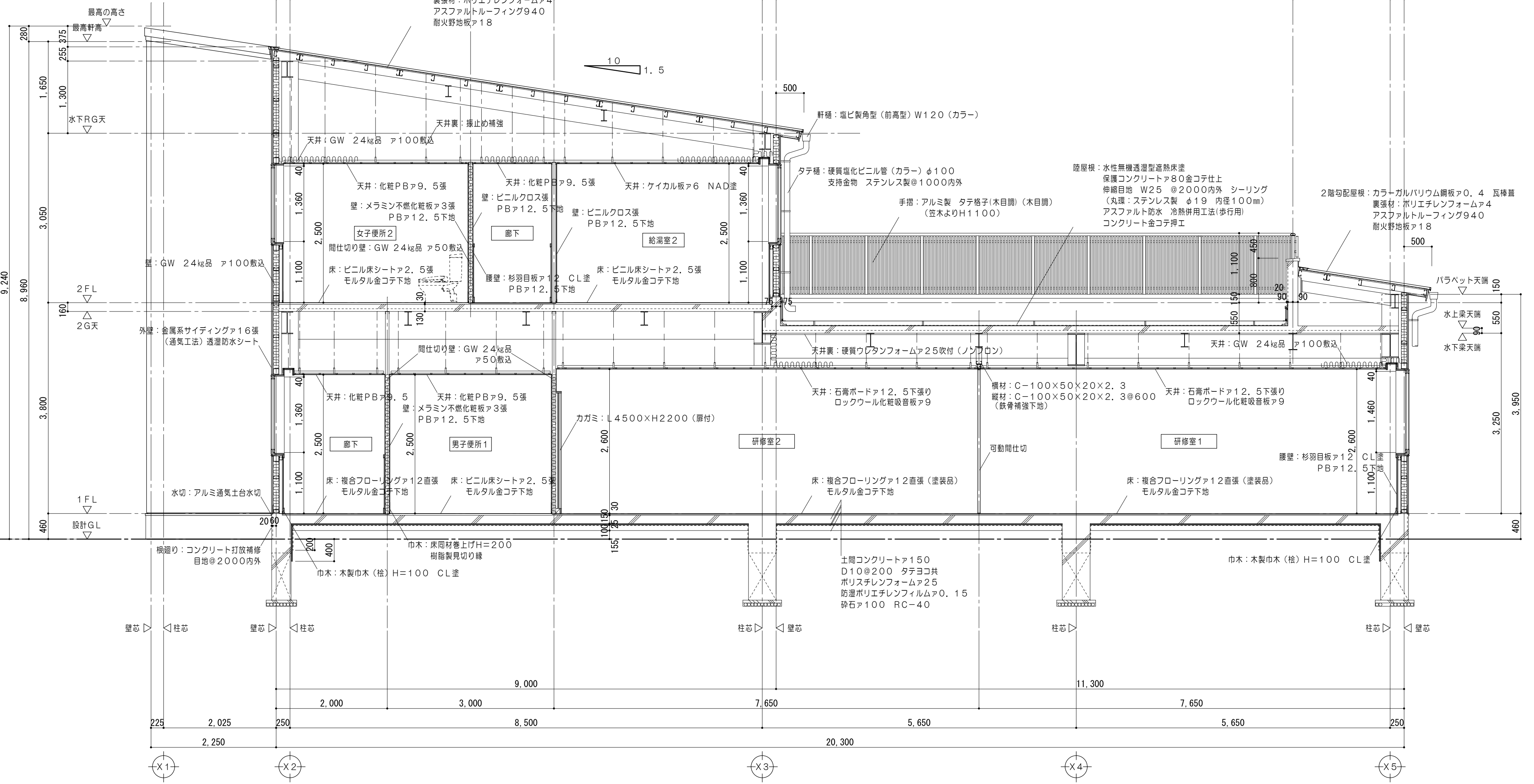
C - C 断面図 1/100



特 記 事 項		 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士 第117489号 前野 初俊 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称 (仮称) 津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	A-16 (原図:A2)
			一級建築士 第360917号 前田 祐作			図面名称 断面図	縮尺	1/100.300

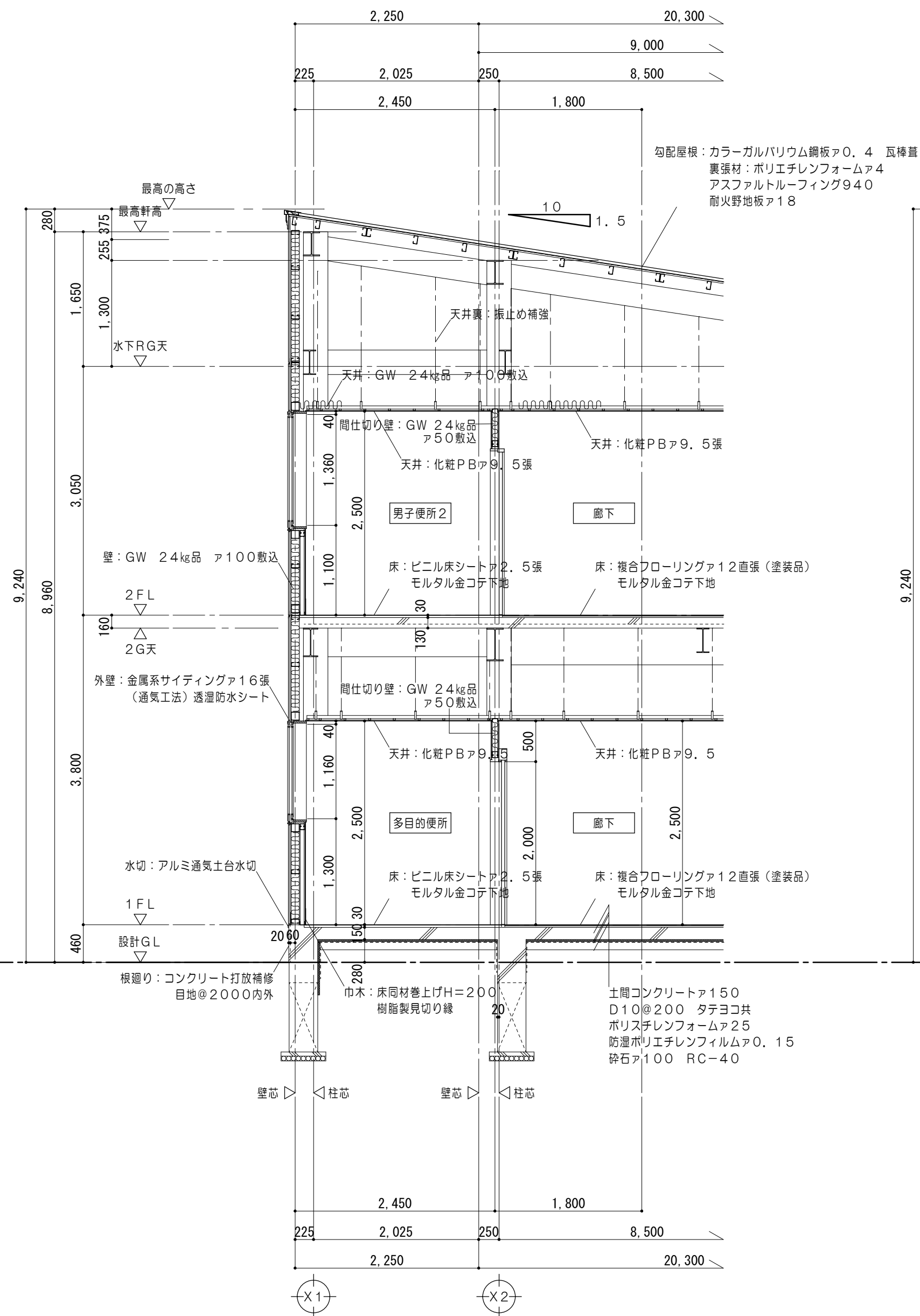


キープラン 1/400

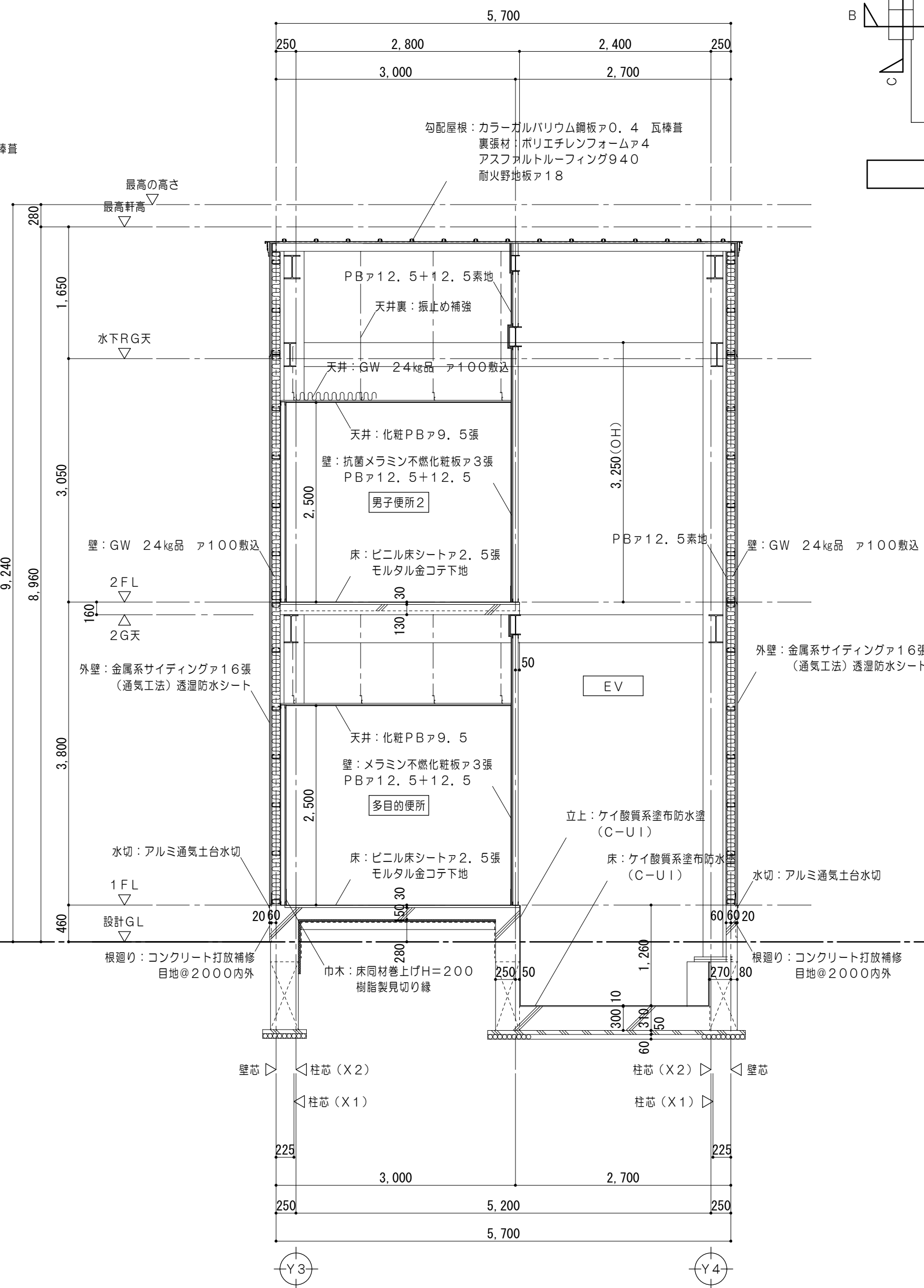


矩計図 1/50

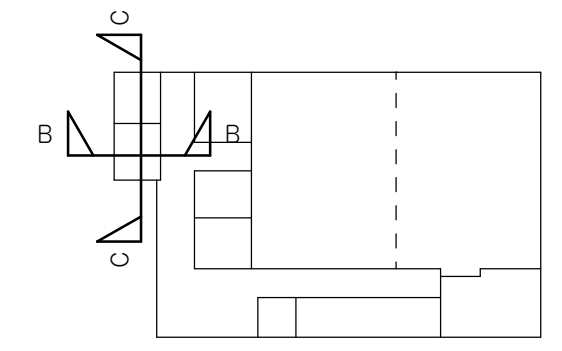
特 記 事 項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野 建築 設計 一級建築士 第117489号 前野 初 像 一級建築士 第320204号 前野 将 輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	(仮称) 津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	A-17 (原図:A2)
			一級建築士 第360917号 前田 祐作			図面名称	矩計図	縮尺	1/50



B - B 断面詳細図 1/50



C - C 断面詳細図 1/50



キープラン 1/400

特記事項	

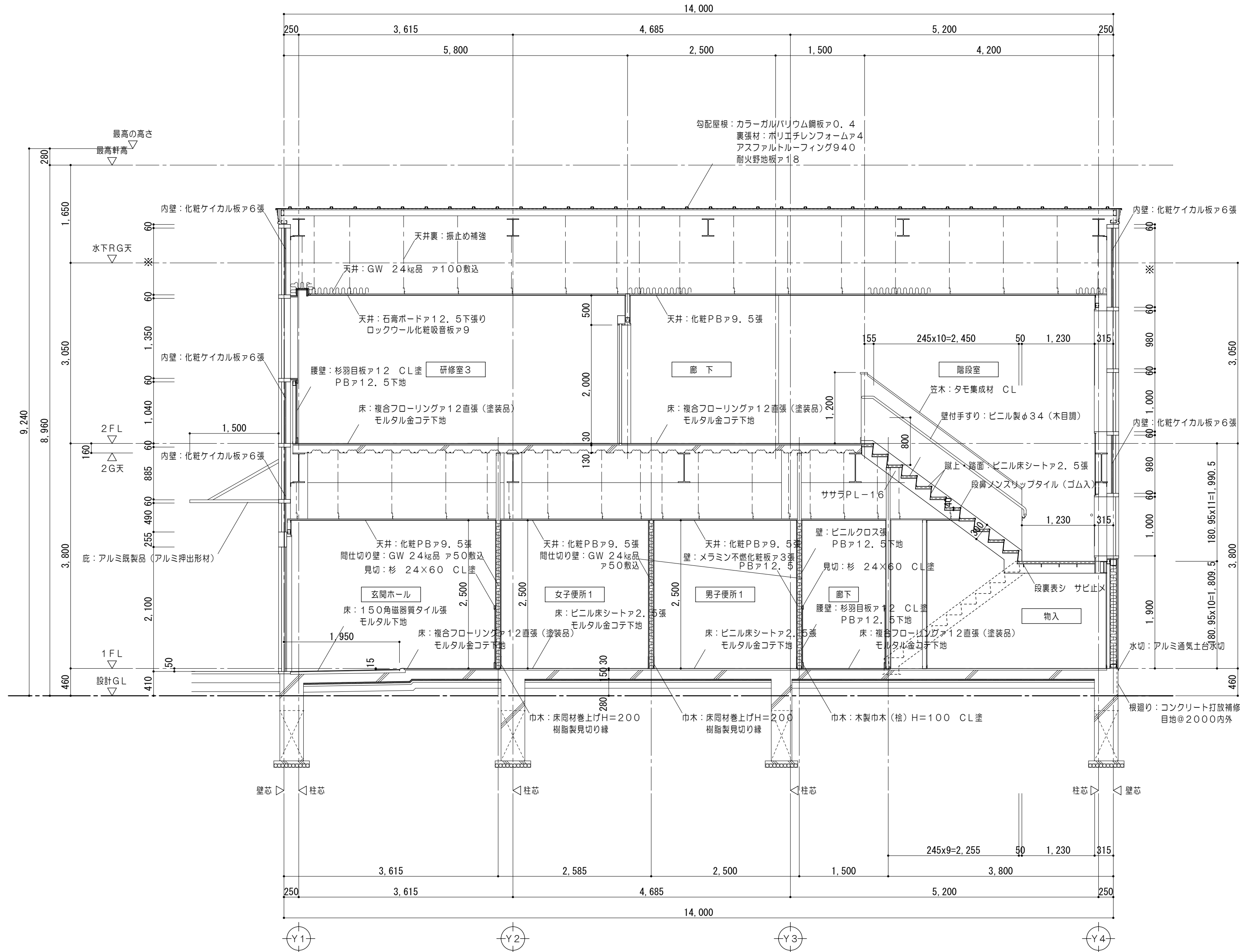
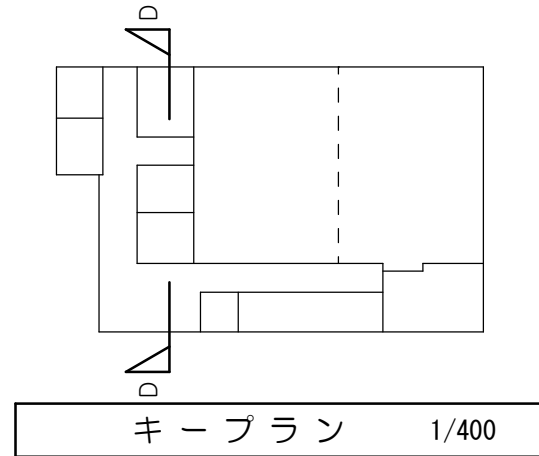
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
前野建築設計
 株式会社
 一級建築士 第117489号 前野 初俊 一級建築士 第320204号 前野 将輝

一級建築士 第307846号 三橋 五百子
一級建築士 第360917号 前田 祐作


一級建築士 第304509号 水谷 浩

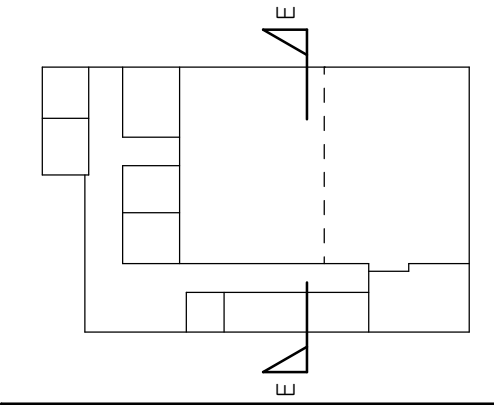
設計年月日	工事名称	(仮称)津市豊が丘会館別館建築工事
	図面名称	B-B断面詳細図、C-C断面詳細図

図面番号	A-18 (原図:A2)
縮尺	1/50

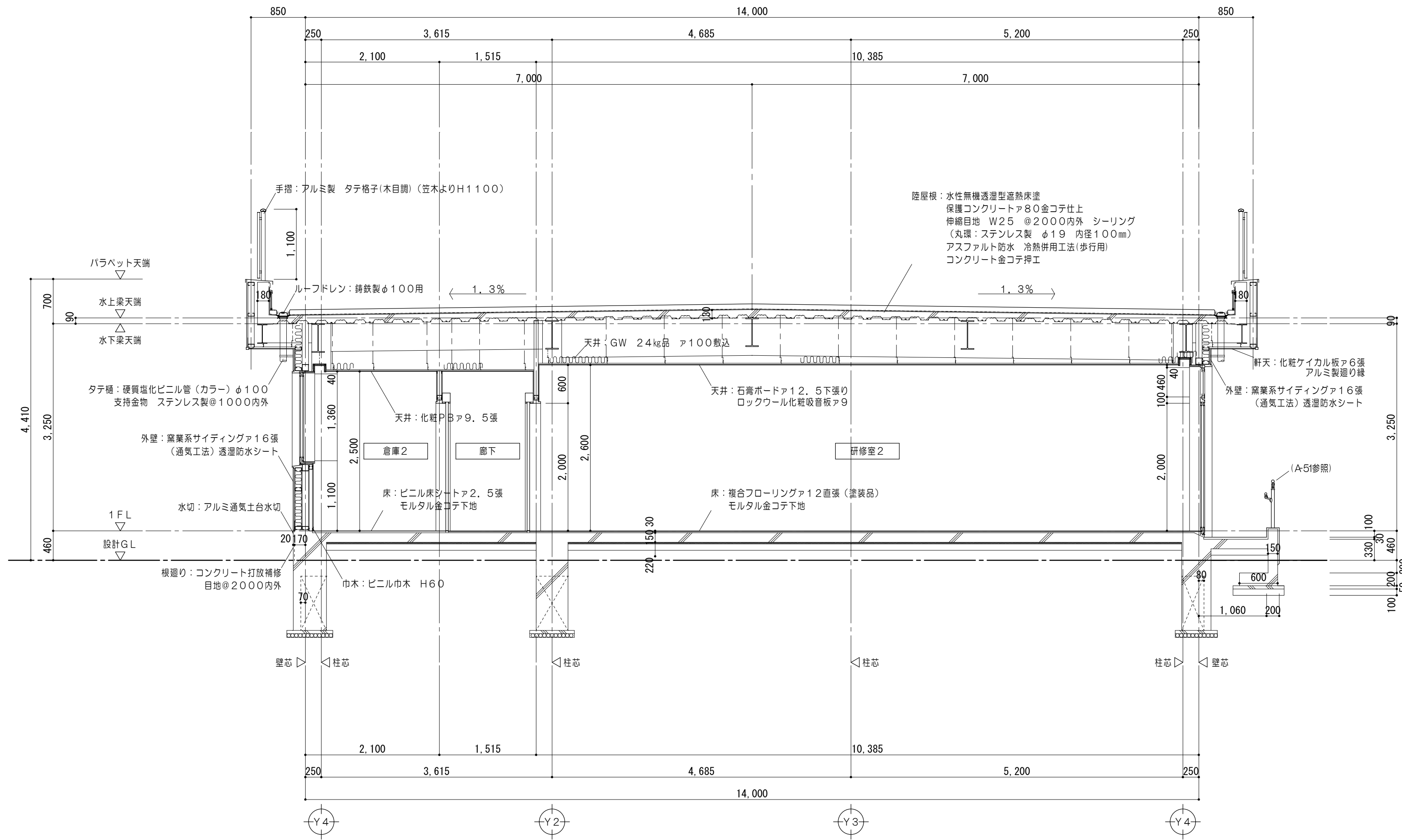


D - D 断面詳細図 1/50


特記事項		 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野 建築設計 一級建築士 第117489号 前野 初 偉 一級建築士 第320204号 前野 将 輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	(仮称) 津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	A-19 (原図:A2)
			一級建築士 第360917号 前田 祐 作		図面名称	D - D 断面詳細図	縮尺	1/50	



キープラン 1/400



E-E断面詳細図 1/50

特 記 事 項		 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士 第117489号 前野 初俊 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	(仮称) 津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	A-20 (原図:A2)
				一級建築士 第360917号 前田 祐作			図面名称	E-E断面詳細図	縮尺

参考図

No.01号機

除外工事事項

建築工事関係

- 昇降路の築造工事及び各階出入口、インジケータ、押ボタン等の穴あけ工事
(昇降路壁は5cm² 辺り300Nの外力が作用した時に1.5mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること)
- 鉄骨構造階のファスナー、立柱及び中間ビーム(必要の場合)並びにシキイ受材の設置工事
- 鉄骨構造階の三方枠、インジケータ、押ボタン、ハンガーケース等の取付用鋼材設置工事
- 各階乗場出入口枠周囲のモルタル詰め工事
- 乗場機器取付後の出入口廻りの壁及び床の仕上げ工事
- 昇降路頂部にエレベーター機器揚重用のフック又はビームの設置工事(20kN)／台
- ビット内防水仕上げ工事
- その他建築に関する工事

設備工事関係

- 動力用電源・照明電源・接地線の受端子迄の引込工事(繋ぎ込み工事含む)
- インターホン取付位置より昇降路までの配管配線工事(0.9φ×10本)／台
- 火報信号の昇降路より外部の配管配線工事
- 遮煙ドア採用の場合、遮煙ドア設置階乗降ロビーに火災感知器または、煙感知器の設置工事
- エレベーターの遠隔管理用配管・配線工事(昇降路内から最寄の電話中継盤まで)
- ビット内点検用コンセント設備工事(照明用AC100Vとは別系統のこと)
- 昇降路頂部の煙感知器設備工事(外部より点検可能なこと)
平成20年国土交通省告示第1454号第一号により点検口の戸は錠付(工具を必要とするネジでも可)とし戸が開いた時にはエレベーターを停止させる必要がある
放送用配管配線の昇降路制御盤までの引込工事(非常放送がある場合3線式とすること)
- 昇降路の換気設備工事(平成12年建設省告示1413号第1第三号口により昇降路内温度を40℃以下に保つ必要があります)
発熱量 エレベーター駆動部(875W/1台)

注意事項

- 昇降路間口・奥行寸法は、昇降路全域(ビット底部から昇降路頂部まで)にわたり確保のこと
- コンクリート強度は21N/mm²以上のこと
- 電源電圧の変動は+5%～-10%以内、電圧不平衡率5%以内のこと
- 本エレベーター所定の性能維持のため下記条件が必要です
(1)昇降路内の温度は-5℃～40℃以内、湿度は月平均90%・日平均95%未満かつ急激な温度変化等により氷結・結露しないこと
(2)金属を損耗または腐食したり接点の接触障害の原因となるような塵及び化学的有害ガスがないこと
- 屋上等直接外気と接する乗場における雨水よけ設備(ひさし・風除室・水勾配・グレーチング・防潮板等)
- 昇降路壁には電気・水道管の配管・器具を埋め込まないこと
昇降路内には他の用途の配管・ダクト等が露出しないように願います
(建築基準法施行令第129条の2の5第1項第三号)
- 遮断器はインバータ回線対応のものを使用すること
- 輸送可能な過温配膳車や台車などの重量物は250kg以下とすること
- 換気設備を設置する場合は昇降路外部より保守可能な位置とし、設置環境により雨水或いは、防水対策を実施のこと
- エレベーターの保守・点検ならびに緊急対応のため、外部階段などから最上階および最下階エレベーターホールへアクセスできる経路を確保すること(個人宅など占有部を經由しないこと)
- エレベーターから発生する高周波漏洩電流と高周波ノイズにより、他の設備が影響を受ける恐れがあります
次の対策をお勧めします
(1)エレベーター動力と通信機器・OA機器等弱電機器の電源線・通信線を1m以上分離する
(2)エレベーターを含む動力の電源トランスと通信機器・OA機器等弱電機器の電源トランスを分離する(エレベーター照明用電源は弱電機器のトランスと分離不要)
(3)エレベーターを含む機器アース線と通信機器・OA機器等弱電機器のアース線の分離配線と接地極の分離をする
- 乗場壁へウレタン吹付けを行う場合は、乗場機器取付け後に施工願います。乗場機器取付け前にウレタン吹付けを行うと、乗場機器取付け時の溶接の火花に引火する恐れがあります
- 乗場に向かって強風が吹く場合には、防風対策(建築工事)を行ってください。風圧により乗場の戸が閉まらない恐れがあります

エレベーター仕様要項

分類	仕様項目	01号機
基本仕様	機種名称	機械室レスエレベーター
	用途	乗用
	制御方式	可変電圧可変周波数制御
	操作方式	乗合全自動方式(1C-2BC)
	積載量	750kg
	定員	11名
	定格速度	45m/min
	戸閉方式	2枚戸両引き(CO)
	出入口幅	800mm
	出入口高さ	2100mm
	かご室サイズ(内法間口)	1400mm
	かご室サイズ(内法奥行)	1350mm
	かご室サイズ(内法高さ)	2280mm
	出入口方式	一方向出入口
その他基本仕様	耐震設計施工指針耐震クラス	クラスA14
	公共建築工事標準仕様 適用年版	平成28年版
	敷居間隔	10mm
	ドアセンサー機能	マルチビームドアセンサ2D
	車いす仕様	あり(制御機能)
	視覚障がい者対応仕様	あり
	地震時管制運転方式	P波+S波センサ付3段設定(普通級)
停電時自動着床装置	あり	
乗場仕様	乗場三方枠	大枠末広幕板なし 300mm以下ステンレスヘアライン(1-2階)
	乗場戸	鋼板塗装(メーカー標準色)仕上(1-2階)
	乗場敷居	アルミ製(1-2階)
	乗場インジケータ	一体セグメントLED ステンレスヘアライン(1-2階)
	乗場インジケータ体形ボタン	ステンレスクリックボタン(凸文字) ・黄橙色LED(1-2階)
	休止灯	あり
	車いす専用乗場ボタンプレート	一般用乗場ボタンプレート一体形 ステンレスヘアライン仕上(1-2階)
	車いす専用乗場ボタン	ステンレスクリックボタン(凸文字) ・黄橙色LED(1-2階)
乗場休止スイッチ	乗場インジケータボタン組込	

エレベーター仕様要項

分類	仕様項目	01号機
かご室仕様	天井	LEDフラット(白色LED)
	かご室壁・戸	化粧鋼板
	袖壁・出入口柱	ステンレスヘアライン仕上
	巾木	アルミ製
	かご床	樹脂タイル2mm(標準タイル)
	かご室敷居	アルミ製
	かご操作盤タイプ	袖壁操作盤
	かご操作盤プレート材質・仕上	ステンレスヘアライン
	かごボタン	ステンレスクリックボタン(凸文字)・黄橙色LED
	インターホン乱用防止カバー	あり
	正操作盤インジケータタイプ	セグメントLED
	車いす専用かご操作盤	両側に設置 プレート:ステンレスヘアライン仕上
	車いす専用かご操作盤インジケータタイプ	セグメントLED
	車いす専用かごボタン	ステンレスクリックボタン(凸文字)・黄橙色LED
その他仕様	車いす用インターホン乱用防止カバー	あり
	かご室換気	ラインフローファン
	かご室手すり	丸形ステンレス 二面取付(両側面)
	かご室鏡	ステンレス鏡面枠なし(570mm×1400mm)
	キックプレート	ステンレスヘアライン仕上(ビスなし) 高さ:床面より350mm
	壁保護幕	あり(磁石式)
	床保護マット	あり
	気配りドア	あり
	点字名板取付方法	接着
	インターホン呼び出しボタン応答灯(聴覚障がい者対応仕様)	あり
	おもり非常止め	なし
	火災時管制運転方式	火報信号連動式
	インターホン型式	6V1局
	かご室アナウンス	かご室音声合成アナウンス
かご室スピーカー	あり	
動力電源電圧V	210V	
動力電源周波数Hz	60Hz	
高調波対策種類	絶縁トランス(ノイズ・漏洩電流対応)	
フェッシャープレート	エレベーター手配(2階)	
レール支持方式	1フロア1ブラケット	
煙感知器点検ロスイッチ	あり	
仮設動力電源	1式	

動力電源設備（絶縁トランス適用時、CV-T電線使用時）

号機名	電源電圧 周波数	電動機容量	設備容量	電源側NF容量	感度電流値 動作時間	電線サイズ	接地線サイズ
01	AC3φ210V 60Hz	3.8kW	4kVA	40AT	100mA以上 0.2秒以上	70mまで 8mm ² 121mまで 14mm ² 185mまで 22mm ²	3.5mm ²

照明用電源AC1φ100V 60Hz（設備容量1kVA/台 電源側NF容量20AT/台）

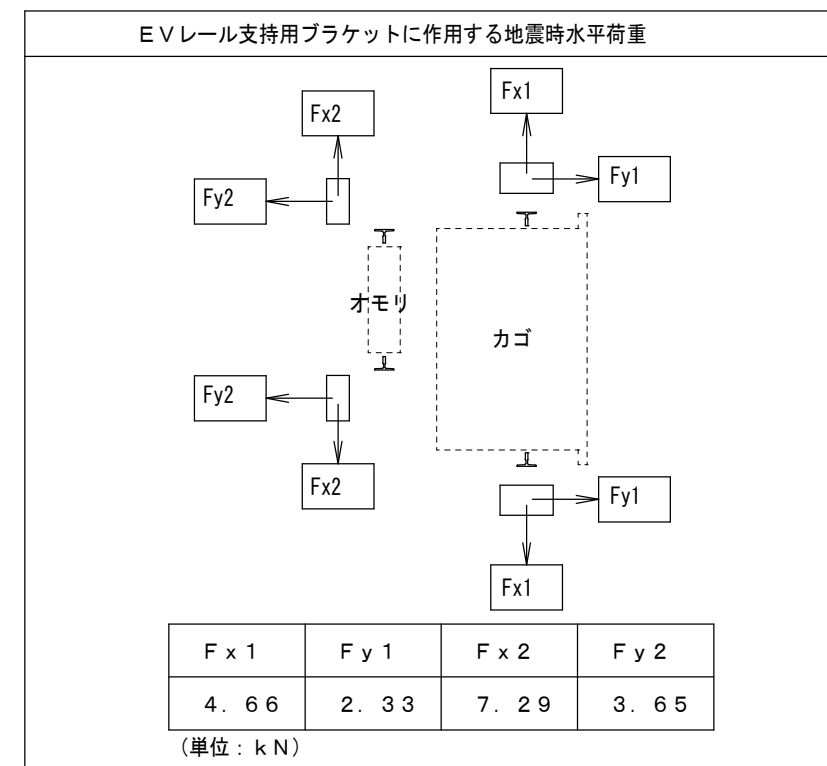
(*) 電源側に漏電遮断器を設置する場合

R1 (kN)	R2 (kN)	R3 (kN)	R4 (kN)
28.2	27.8	49.8	23.9

P1 (kN)	P2 (kN)
89.5	71.6

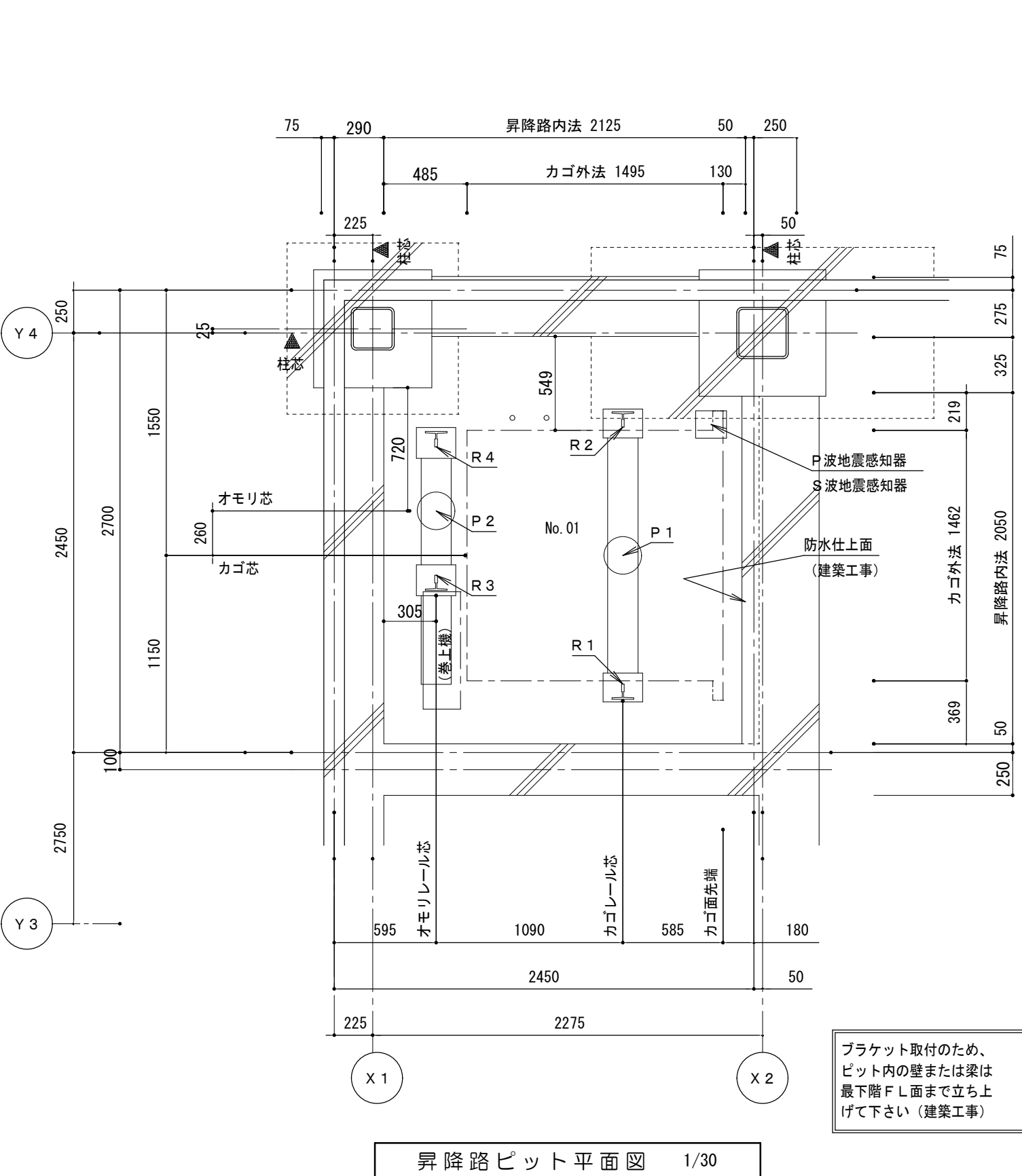
- 電源引込み口（最下階天井付近）
 動力用AC3φ-210V-60Hz
 照明用AC1φ-100V-60Hz
 D種接地工事
 ・インターホン用配管配線工事
 CPEV-0.9×5P
 ・火災管制運転用配管配線工事
 自火報より無電圧a接点支給
 ・遠隔監視用配管配線工事
 PVC-0.65×4C
 ・カゴ上スピーカー用配管配線工事
 HP1.2mm×3C
 電源線引出し長さ 天井高さ+3500mm
 (電気工事)

NO. 01

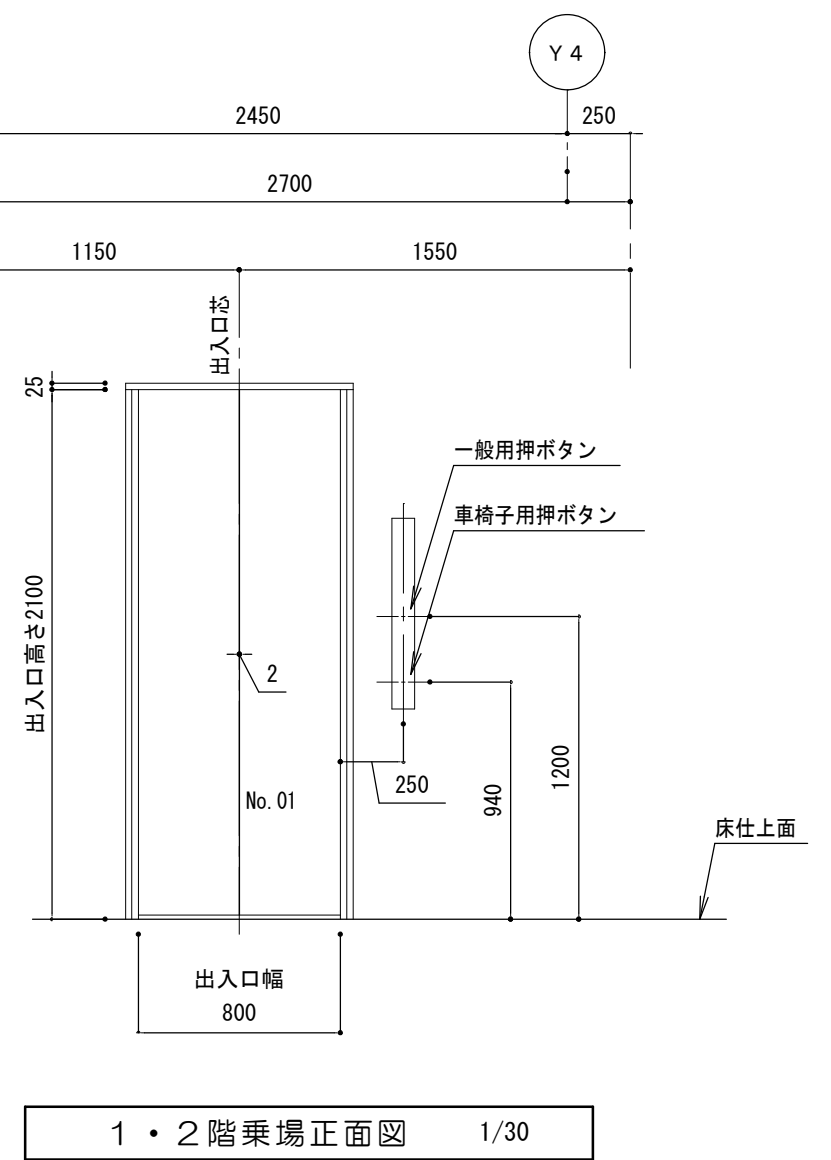
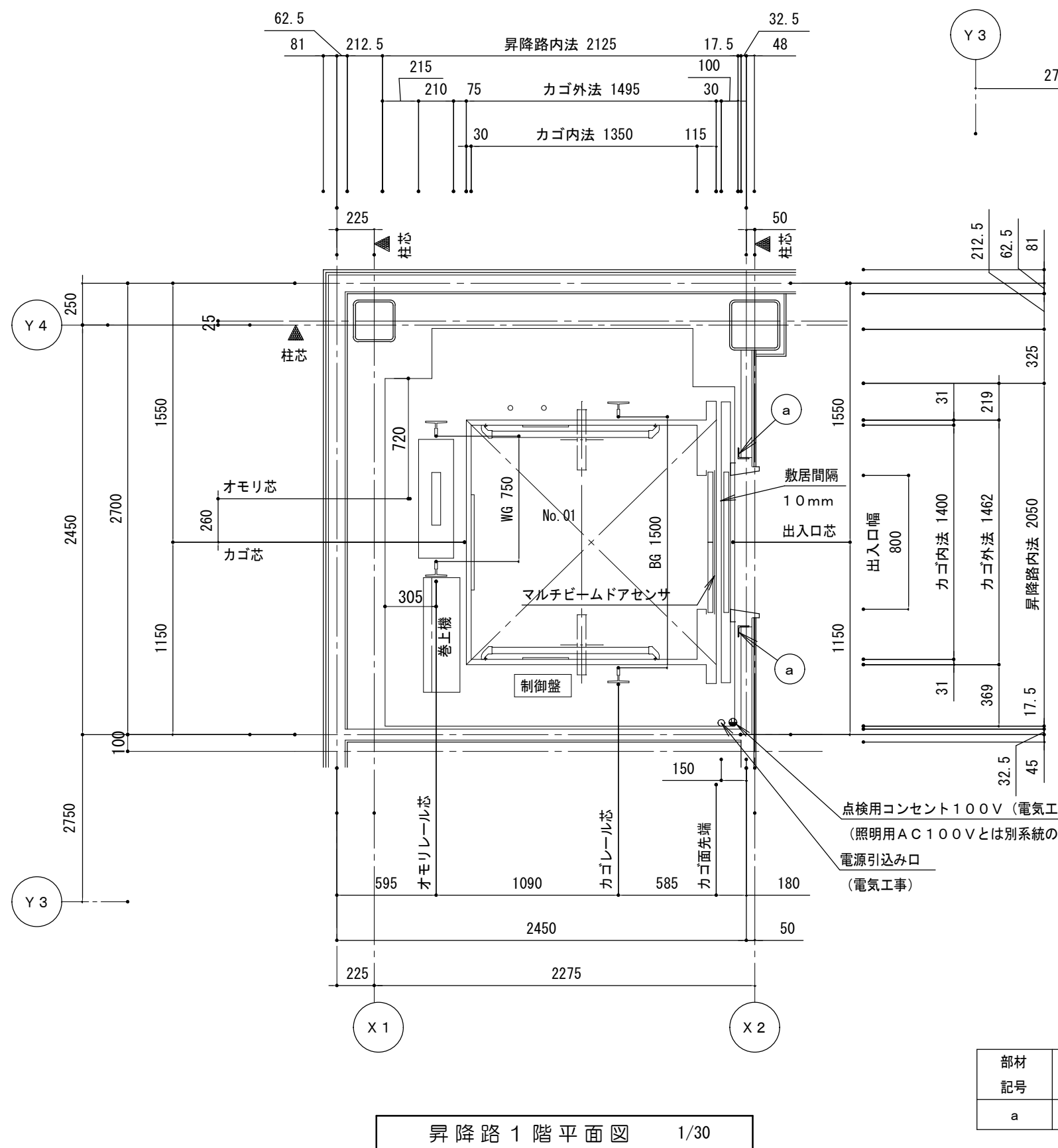


注：上記矢印の地震時荷重により柱、梁などのたわみの合計が5mm以下となるよう部材を設計のこと。又、ねじれに対し強固に取付ること。

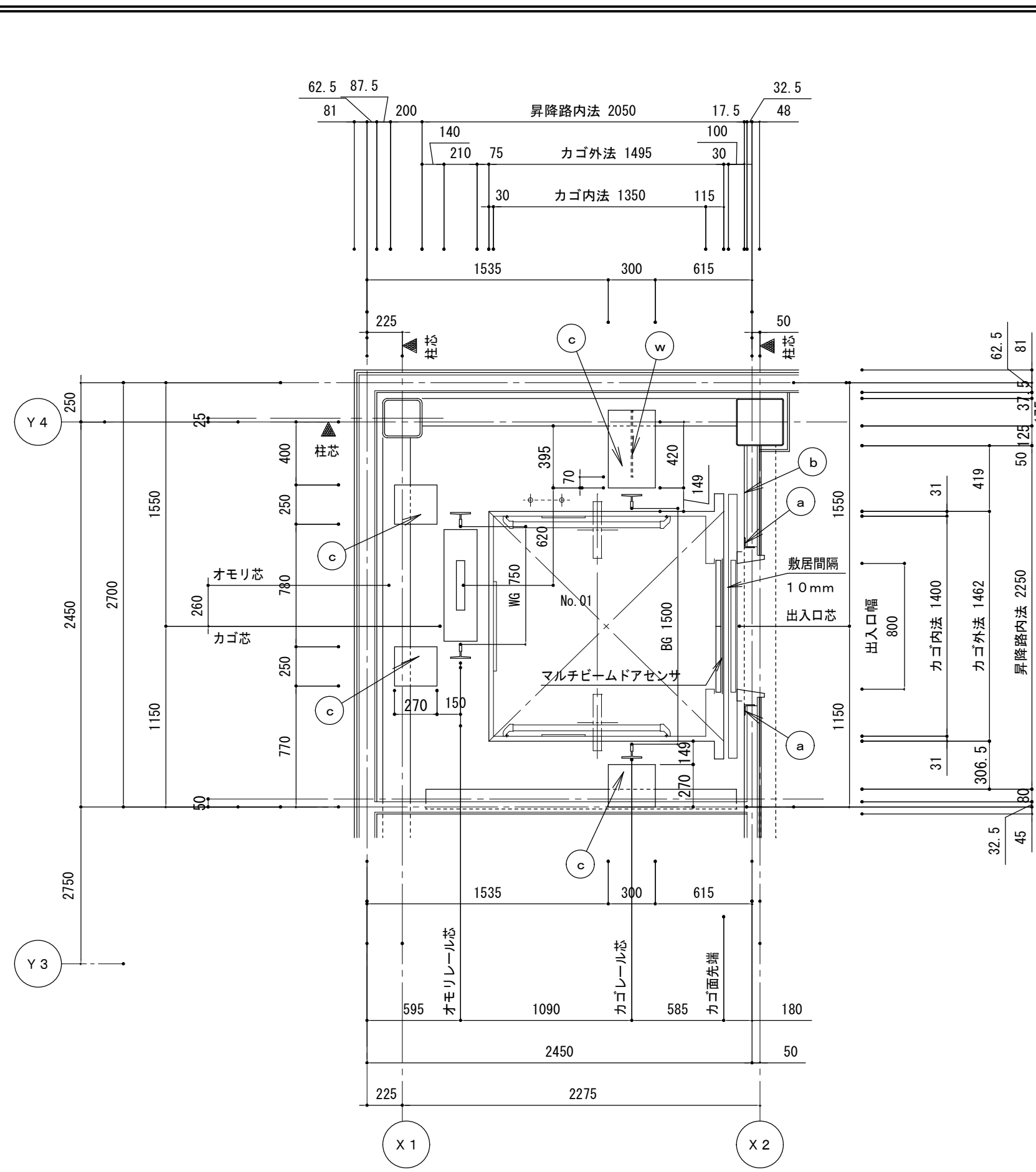
参考図



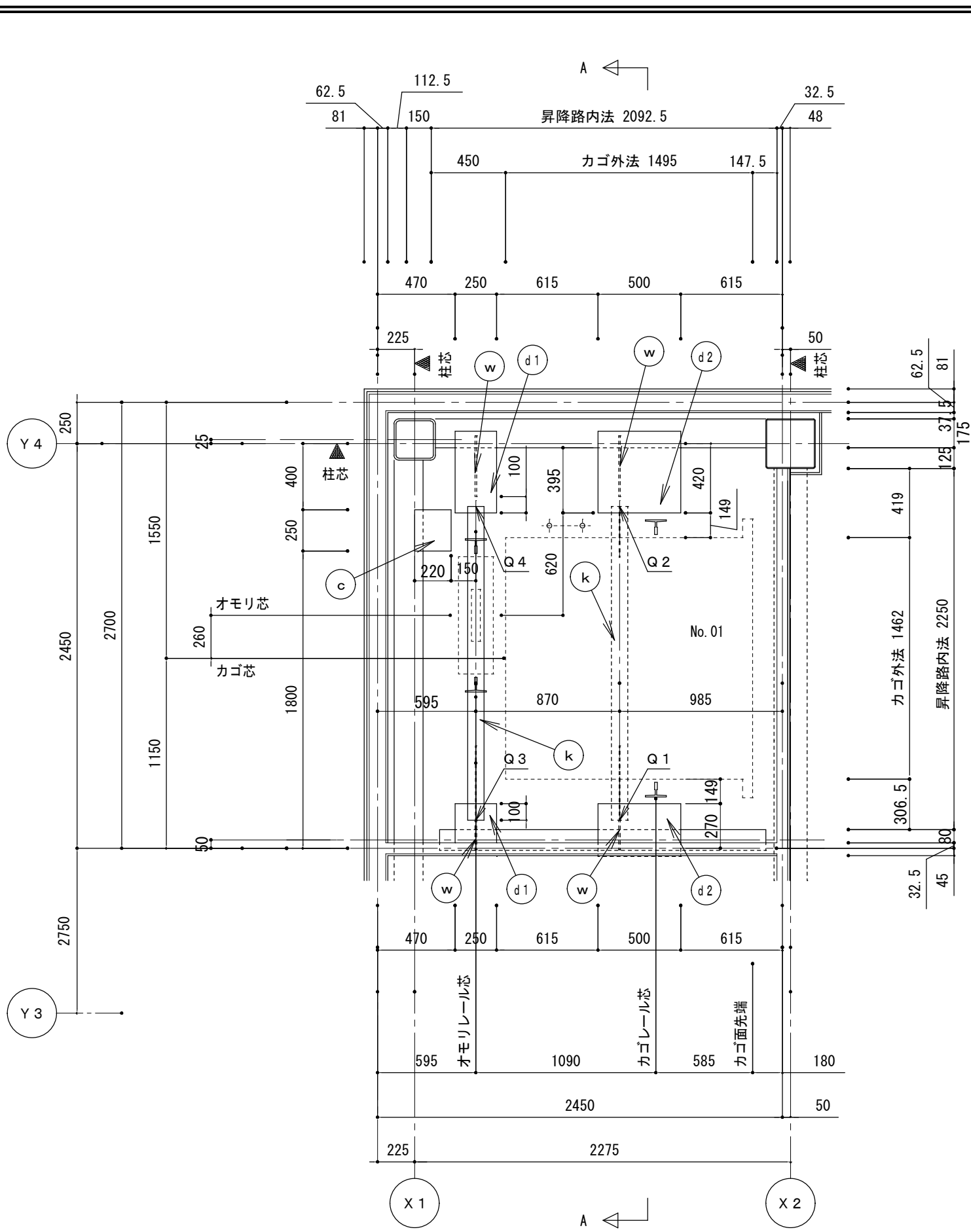
ブラケット取付のため、ピット内の壁または梁は最下階FL面まで立ち上げて下さい（建築工事）



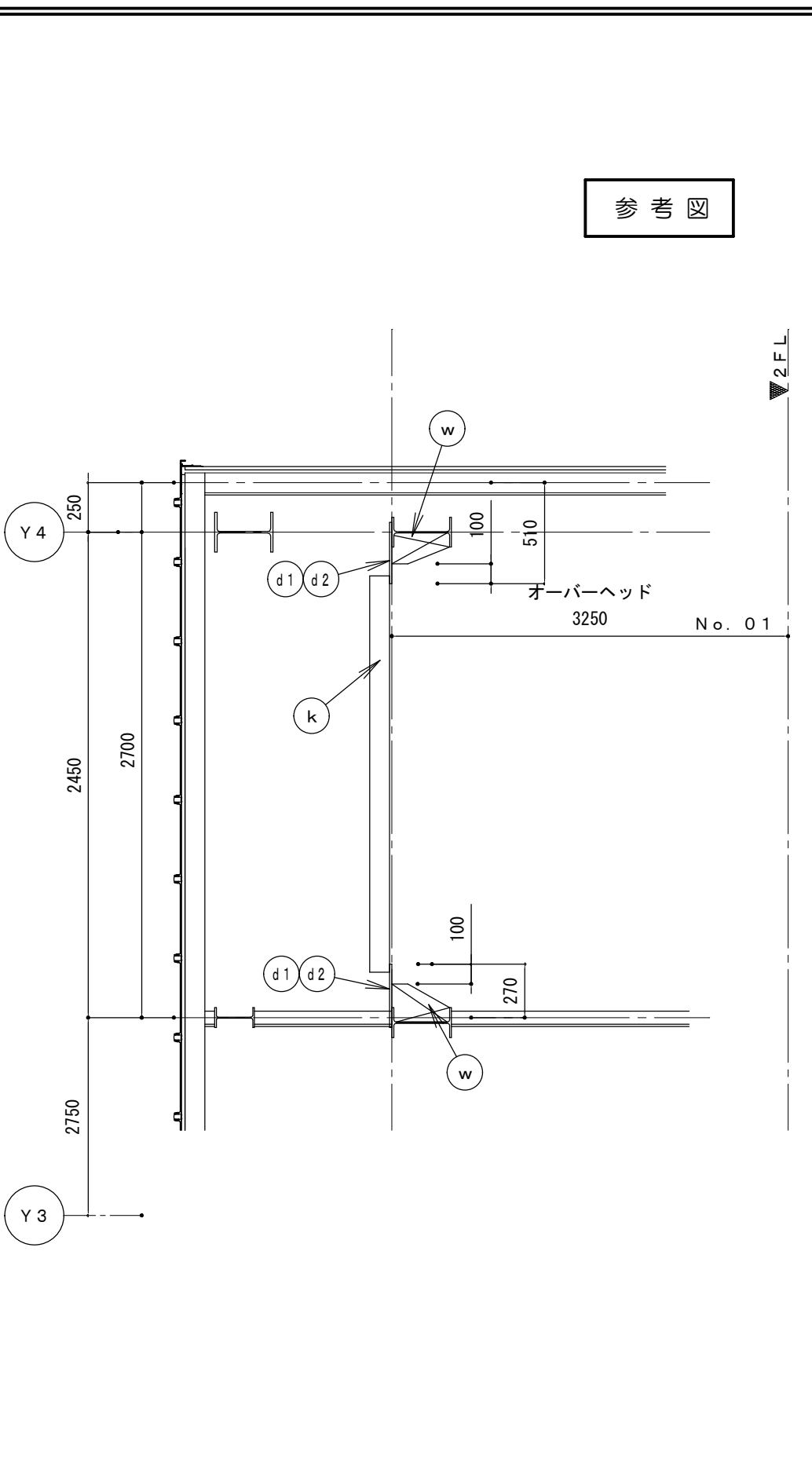
部材記号	名称	部材	工事区分
a	三方枠取付材	L-65×65×6	建築工事



昇降路2階平面図 1/30



昇降路2階+3250平面図 1/30



昇降路頂部A-A断面図 1/30

注) 昇降路頂部左右ファスナーは
水平同一レベルで施工願います

部材記号	名称	部材	工事区分
a	三方枠取付材	L-65×65×6	建築工事
b	敷居取付材	L-100×100×7	建築工事
c	レールブラケット取付用ファスナー	PL-t 12	建築工事
d 1	揚重ビーム取付用ファスナー	PL-t 12	建築工事
d 2	レールブラケット取付用ファスナー兼 揚重ビーム取付用ファスナー	PL-t 12	建築工事
k	揚重ビーム (据付後撤去)	H-100×100×6×8	EV工事
w	リブ補強材	PL-t 9	建築工事

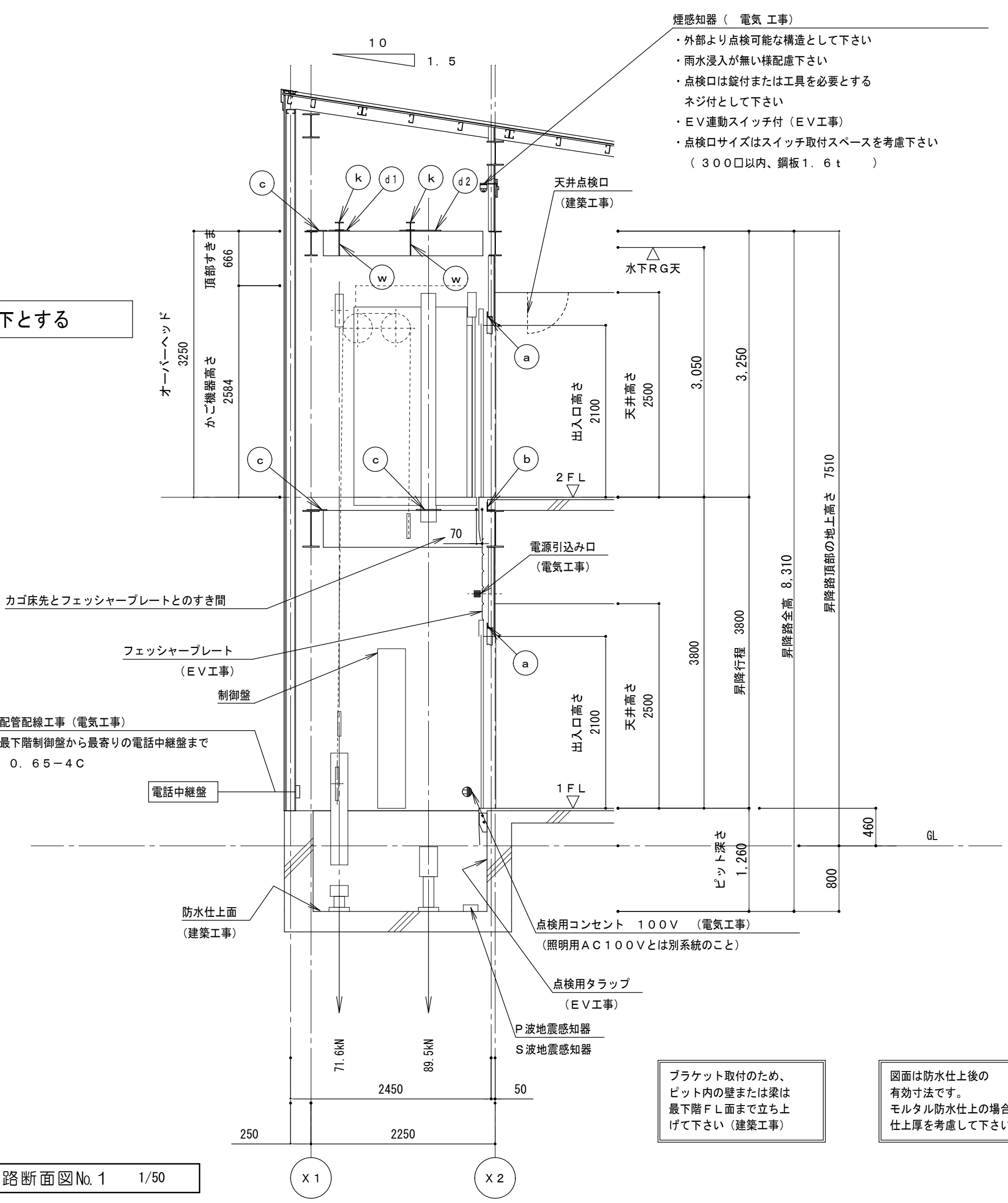
最上部ファスナーにかかる荷重 No. 01

Q 1 (kN)	Q 2 (kN)	Q 3 (kN)	Q 4 (kN)
15.4	15.4	28.7	21.0

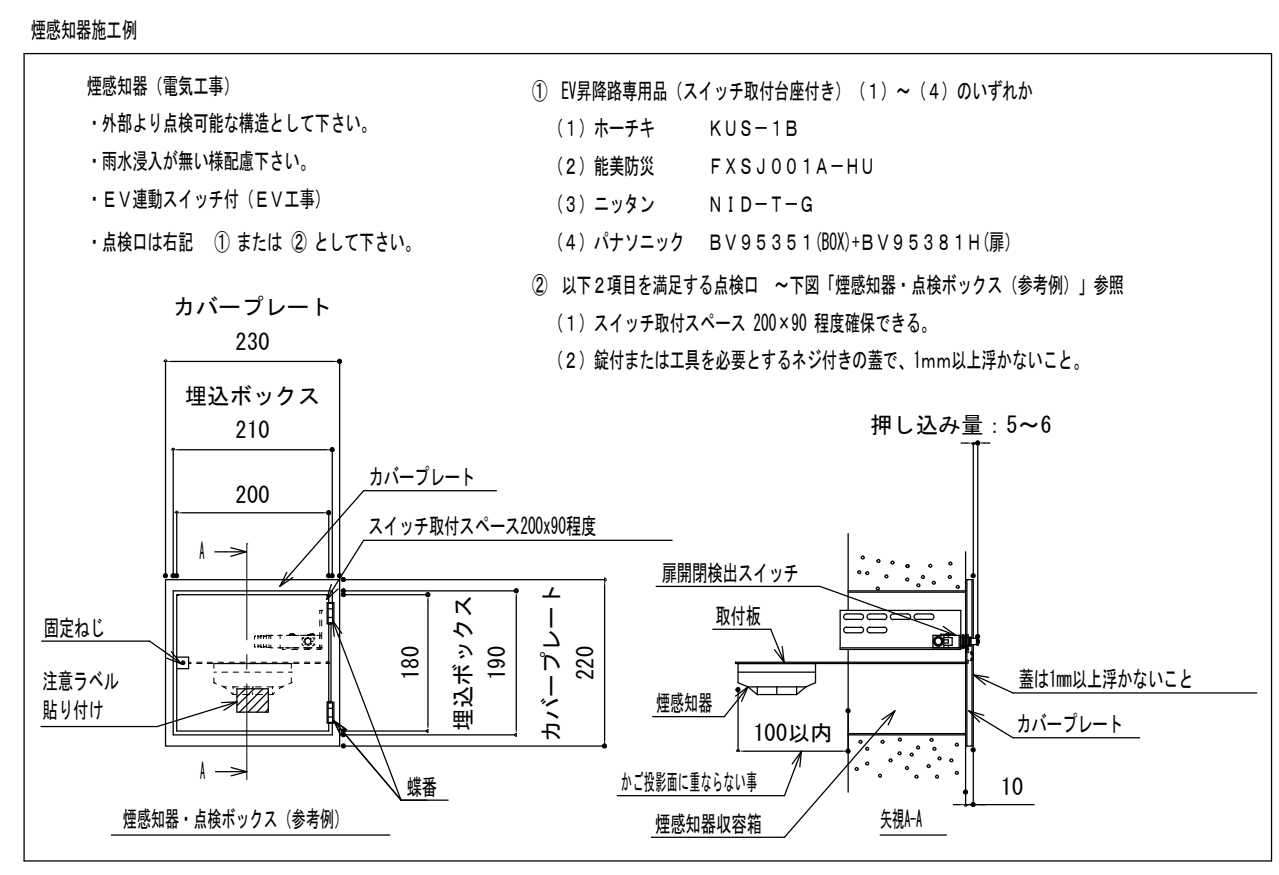
Q 1 ~ Q 4 は EV 据付時に作用する

参考図

昇降路内の温度は40℃以下とする



- 煙感知器 (電気工事)
- ・外部より点検可能な構造として下さい
 - ・雨水浸入が無い様配慮下さい
 - ・点検口は錠付または工具を必要とするネジ付として下さい
 - ・EV運動スイッチ付 (EV工事)
 - ・点検口サイズはスイッチ取付スペースを考慮下さい (300口以内、鋼板1.6t)

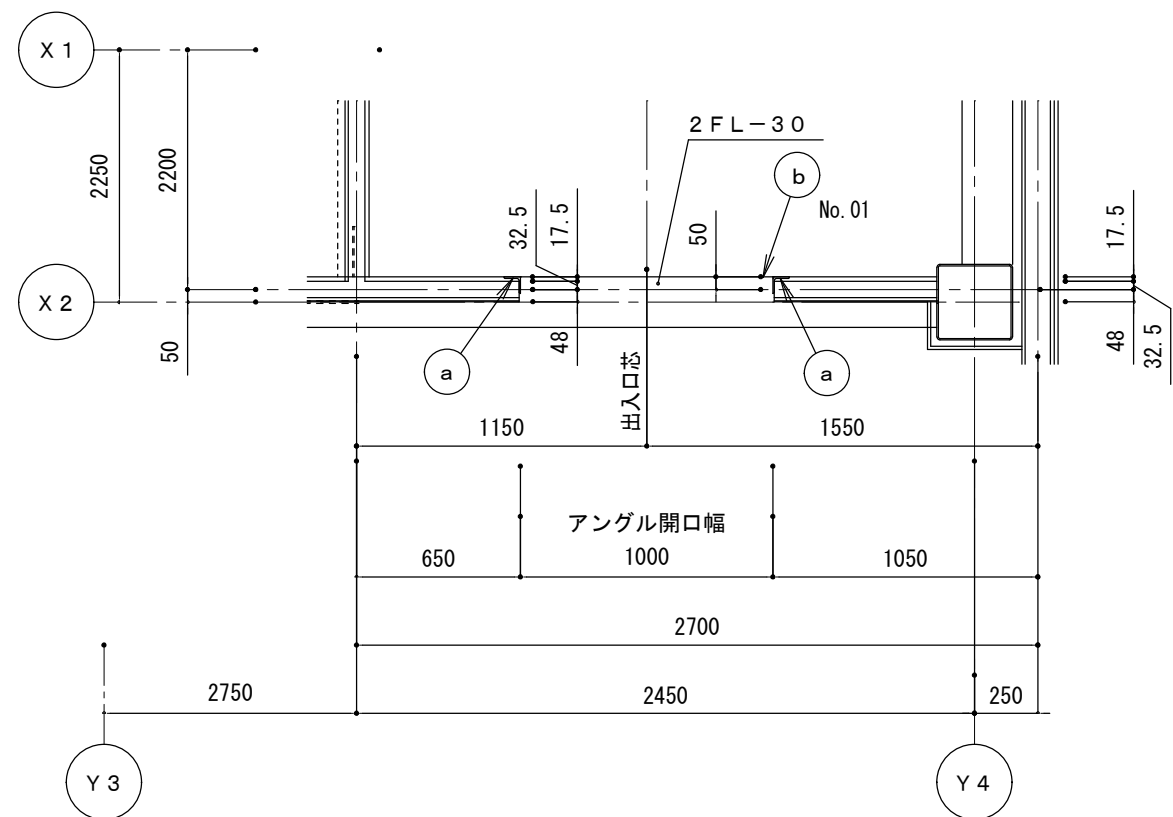


昇降路断面図No. 1 1/50

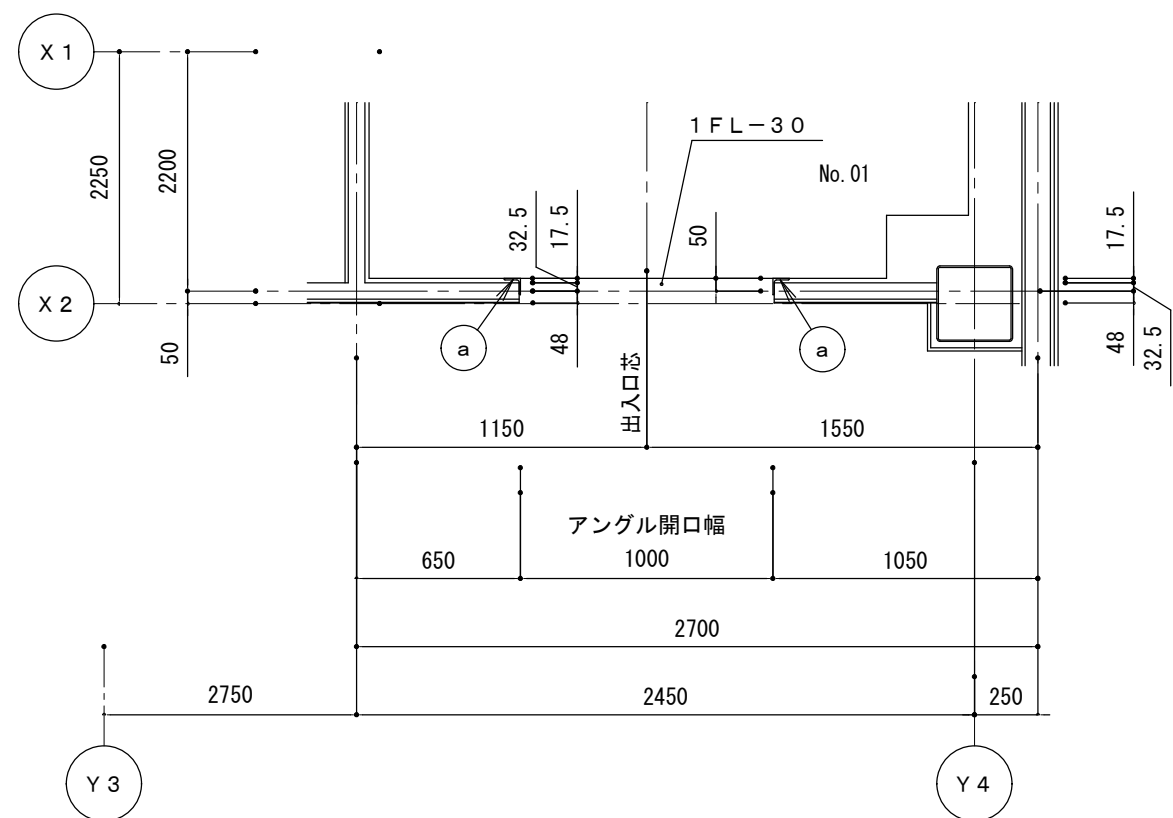
部材記号	名称	部材	工事区分
a	三方枠取付材	L-65×65×6	建築工事
b	敷居取付材	L-100×100×7	建築工事
c	レールブラケット取付用ファスナー	PL-t12	建築工事
d1	揚重ビーム取付用ファスナー	PL-t12	建築工事
d2	レールブラケット取付用ファスナー兼揚重ビーム取付用ファスナー	PL-t12	建築工事
k	揚重ビーム (据付後撤去)	H-100×100×6×8	EV工事
w	リブ補強材	PL-t9	建築工事

ブラケット取付のため、ビット内の壁または梁は最下階FL面まで立ち上げて下さい (建築工事)

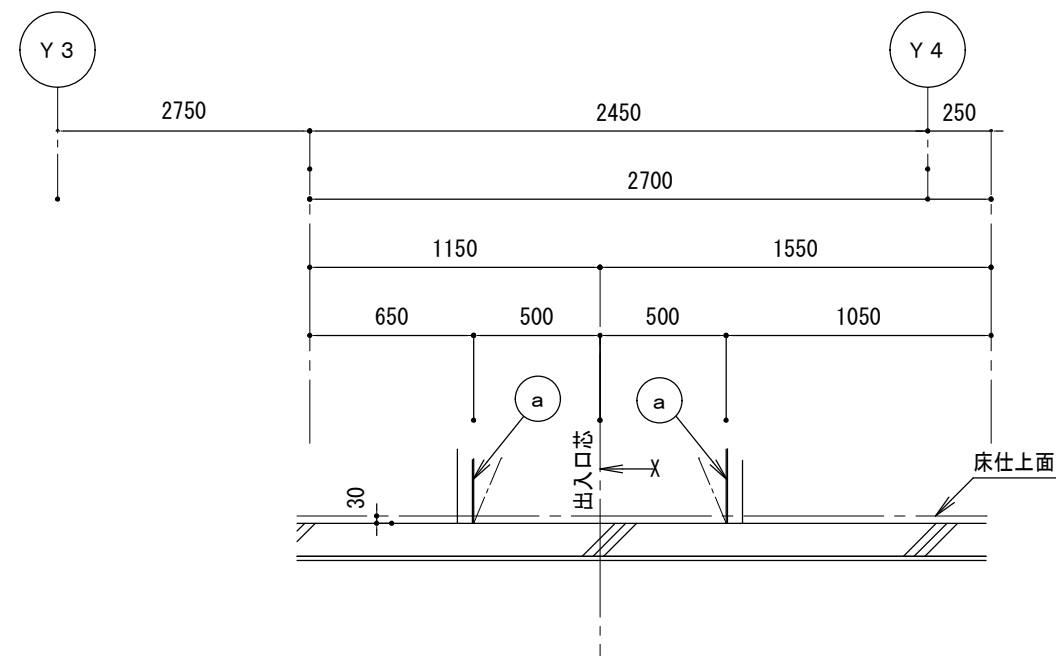
図面は防水仕上後の有効寸法です。モルタル防水仕上の場合は仕上厚を考慮して下さい。



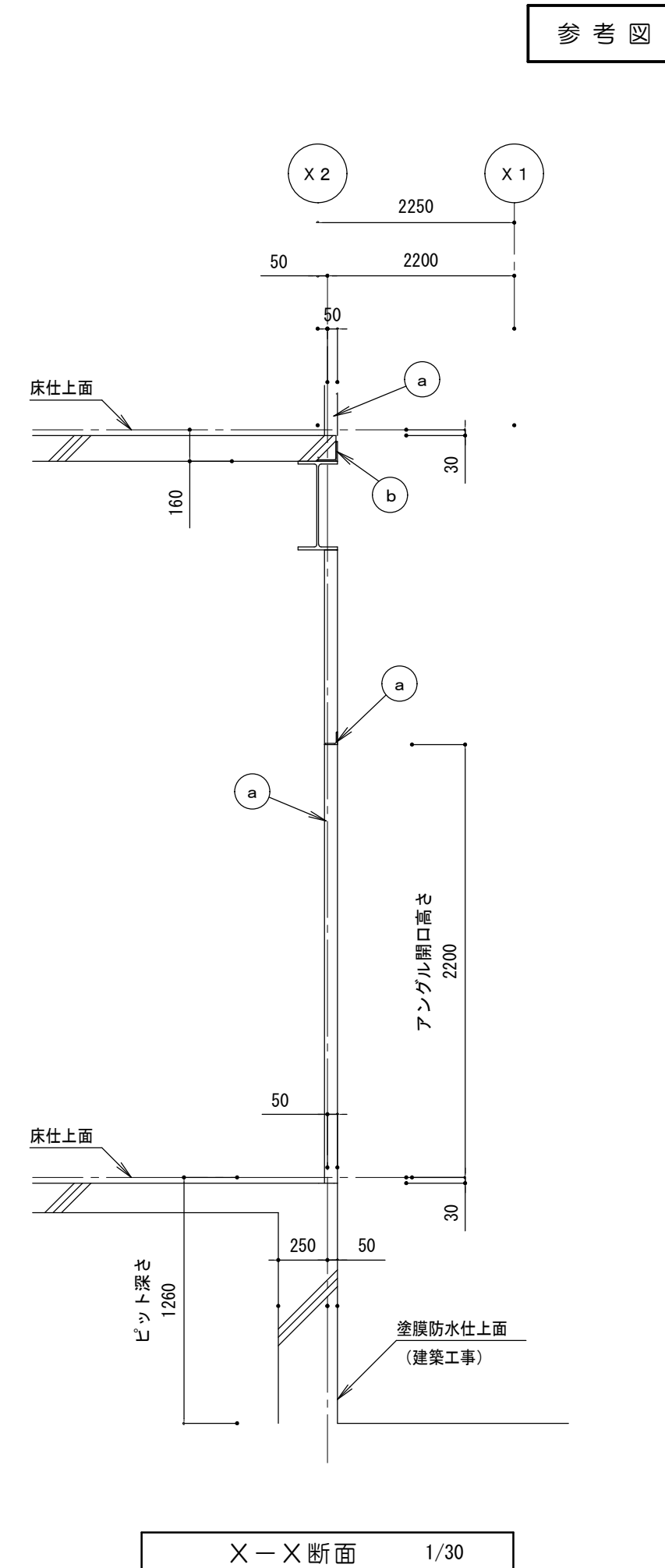
昇降路穴あけ2階平面図 1/30



昇降路穴あけ1階平面図 1/30



1・2階乗場正面鉄骨組図 1/30



X-X断面 1/30

部材記号	名称	部材	工事区分
a	三方枠取付材	L-65×65×6	建築工事
b	敷居取付材	L-100×100×7	建築工事

特記事項



一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計

一級建築士 第117489号 前野 初俊 一級建築士 第320204号 前野 将輝

一級建築士 第307846号 三橋 五百子

一級建築士 第360917号 前田 祐作

一級建築士 第304509号 水谷 浩

設計年月日

工事名称

(仮称)津市豊が丘会館別館建築工事

図面名称

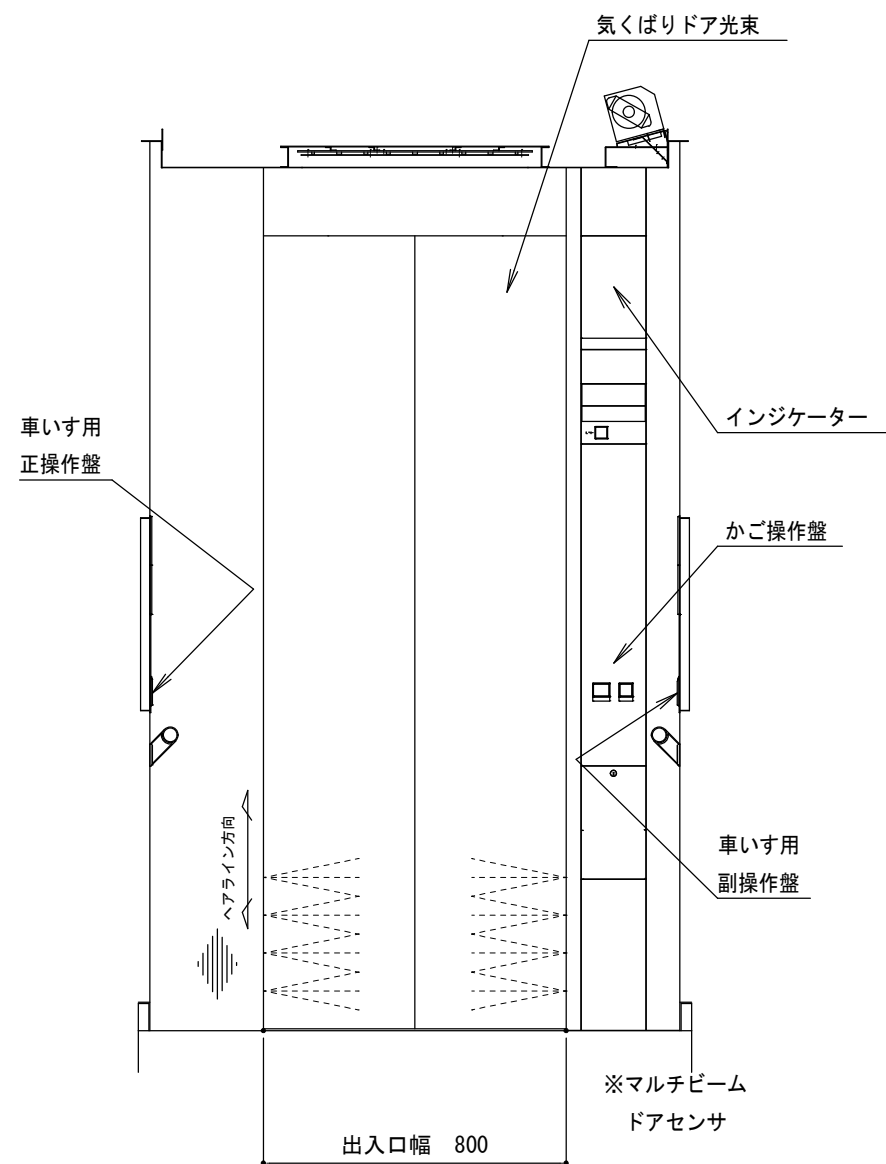
E V 詳細図 No. 5

図面番号

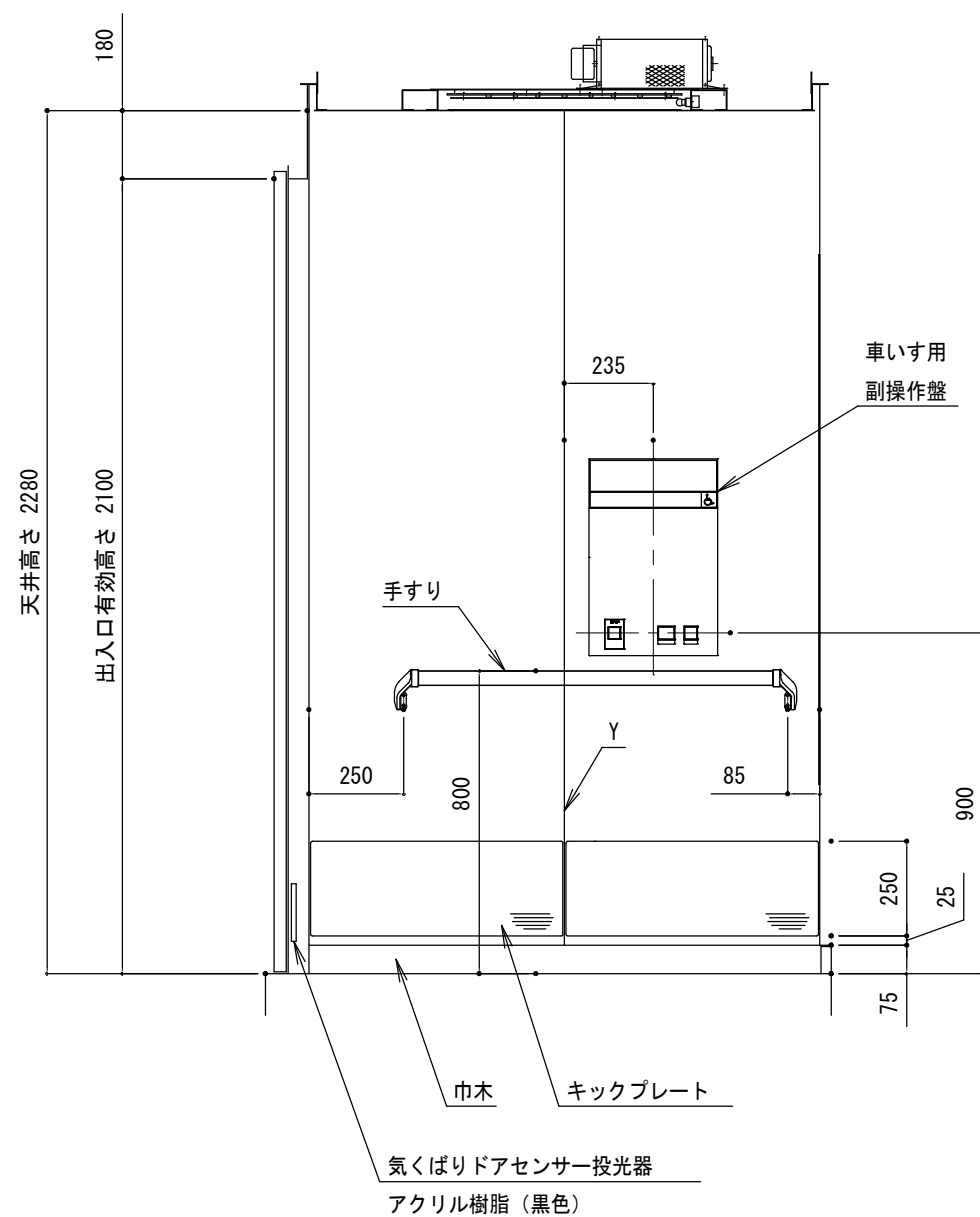
A-25 (原図:A2)

縮尺

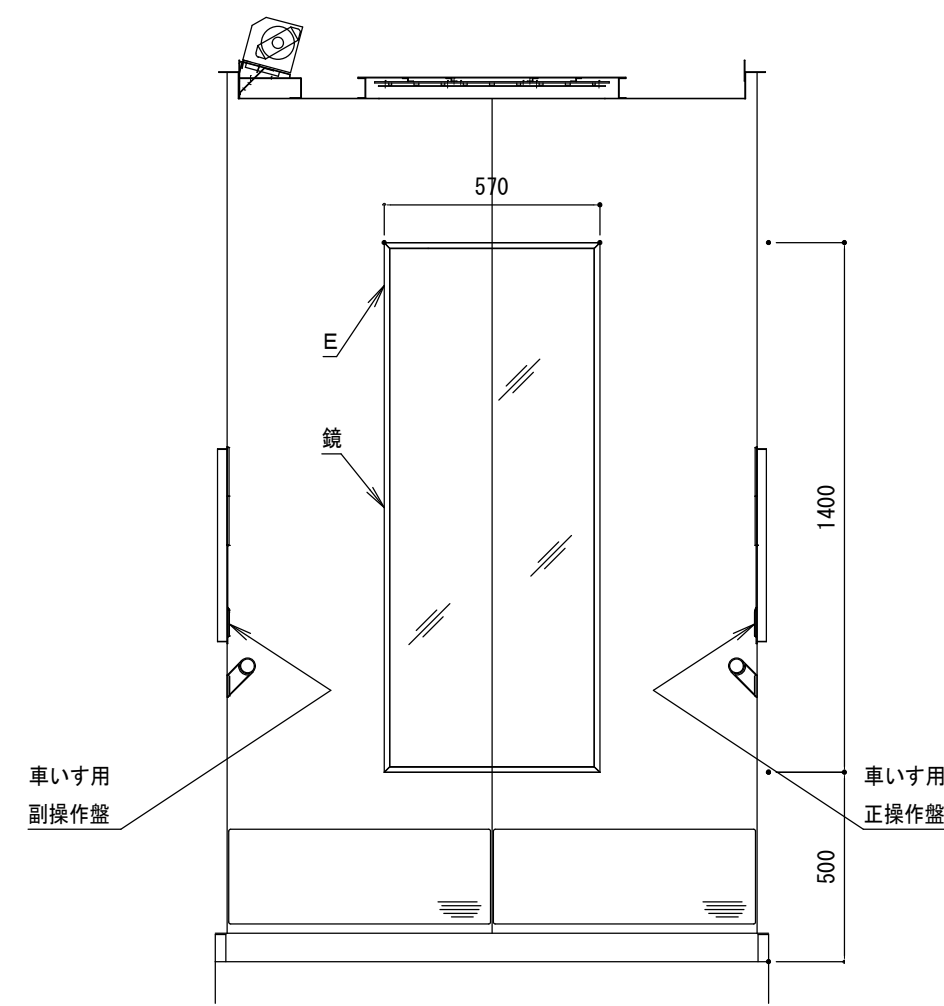
1/30



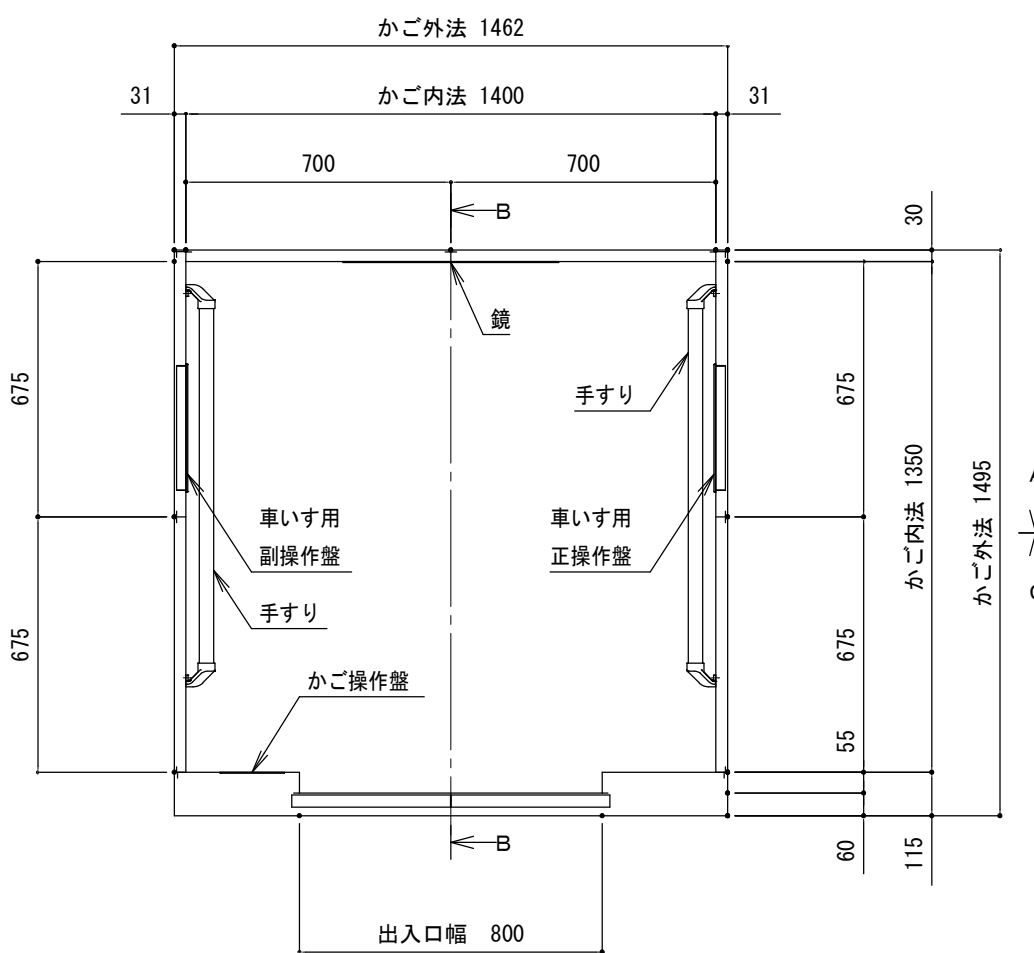
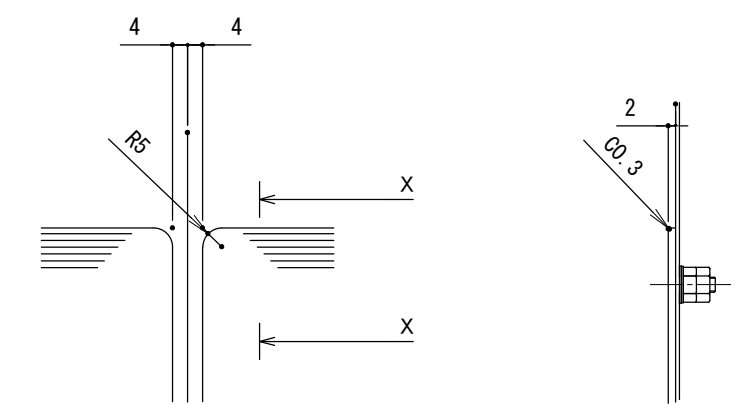
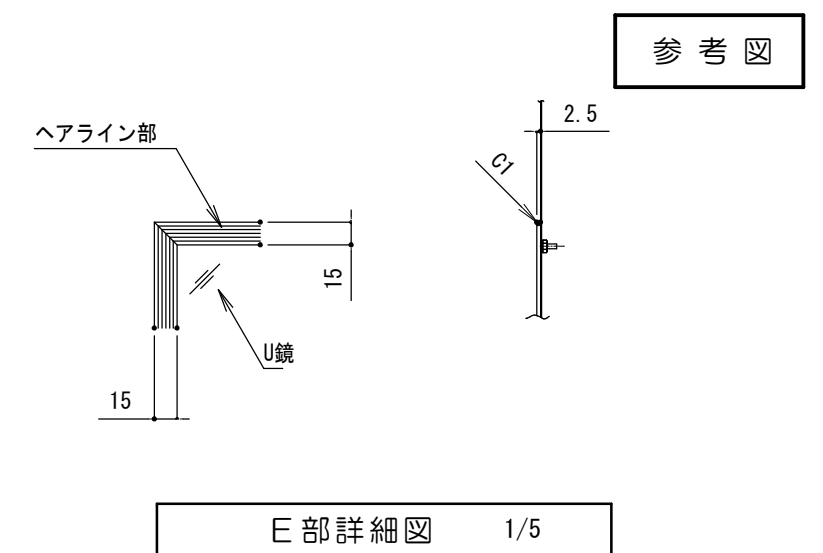
かご室正面図 (A-A 断面) 1/20



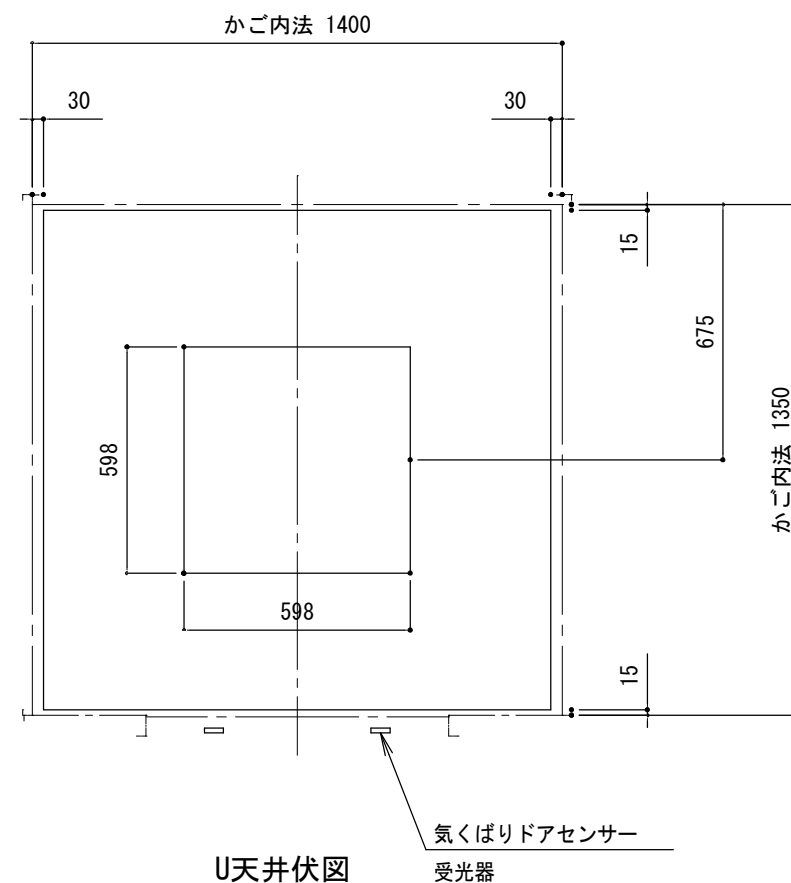
かご室側面図 (B-B 断面) 1/20



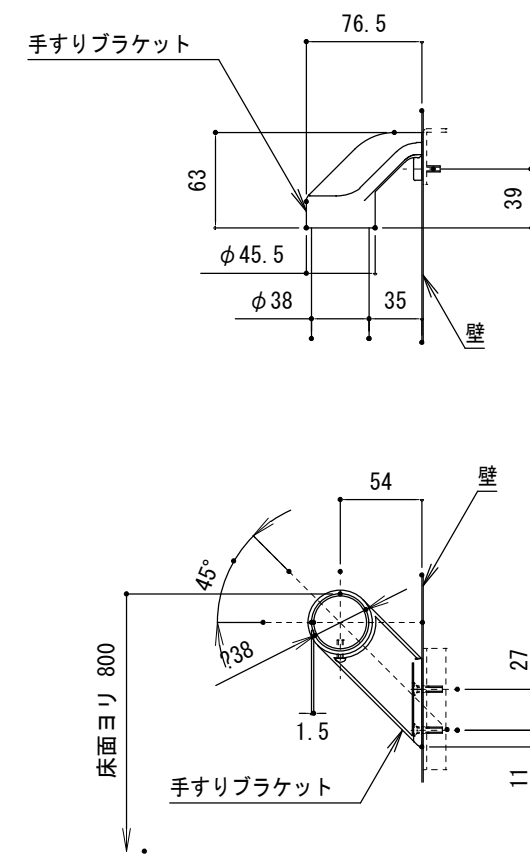
かご室背面図 (C-C 断面) 1/20



かご室平面図 1/20



天井伏図 1/20



手すり詳細 1/5

意匠仕様	
天井	鋼板塗装仕上
照明	乳白色樹脂照明板 LED照明 (白色)
停電灯	6V 10W×1灯
換気装置	ラインフローファン
壁	化粧鋼板
出入口上板	化粧鋼板
戸	化粧鋼板
袖壁・柱	ステンレスヘアライン仕上
巾木	アルミアルマイト仕上
床仕上部	樹脂タイル t2
敷居	硬質アルミ製
鏡	ステンレス鏡面仕上 t 2.5
手すり	ステンレス製パイプ:ヘアライン仕上 (φ38) ブラケット:アルミダイカスト (銀色塗装)
キックプレート	ステンレスヘアライン仕上:ピス無
保護幕	あり (磁石式)
床マット	あり

特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士 第117489号 前野 初俊 一級建築士 第320204号 前野 将輝

一級建築士 第307846号 三橋 五百子
一級建築士 第360917号 前田 祐作

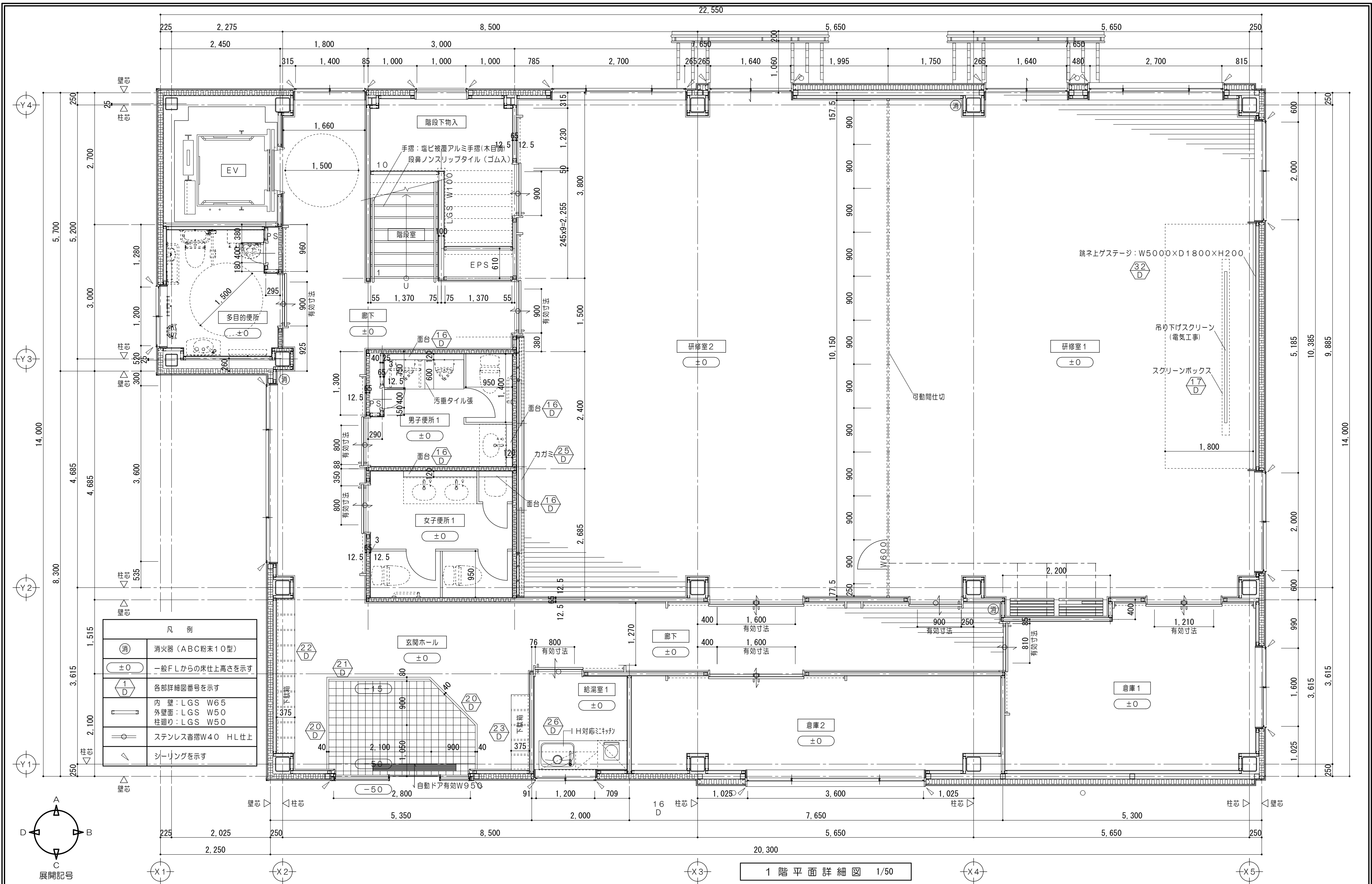
一級建築士 第304509号 水谷 浩

設計年月日 工事名称 (仮称)津市豊が丘会館別館建築工事

図面名称 E V 詳細図 No. 6

図面番号 A-26 (原図:A2)

縮尺 1/20.5.2



1階平面詳細図 1/50

特記事項	
------	--

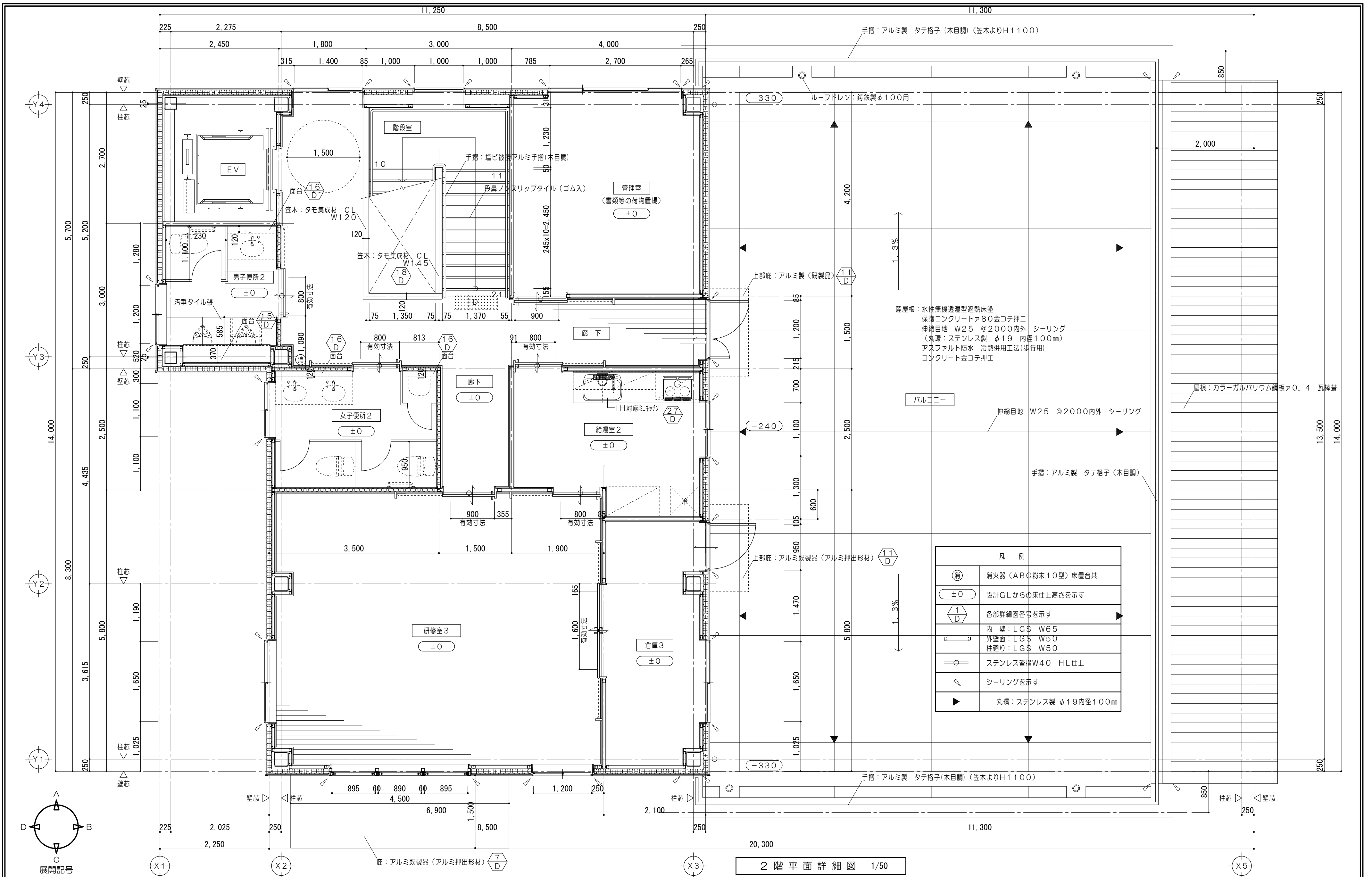
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
 一級建築士 第117489号 前野 初像 一級建築士 第320204号 前野 将輝

一級建築士 第307846号 三橋 五百子
 一級建築士 第360917号 前田 祐作

一級建築士 第304509号 水谷 浩

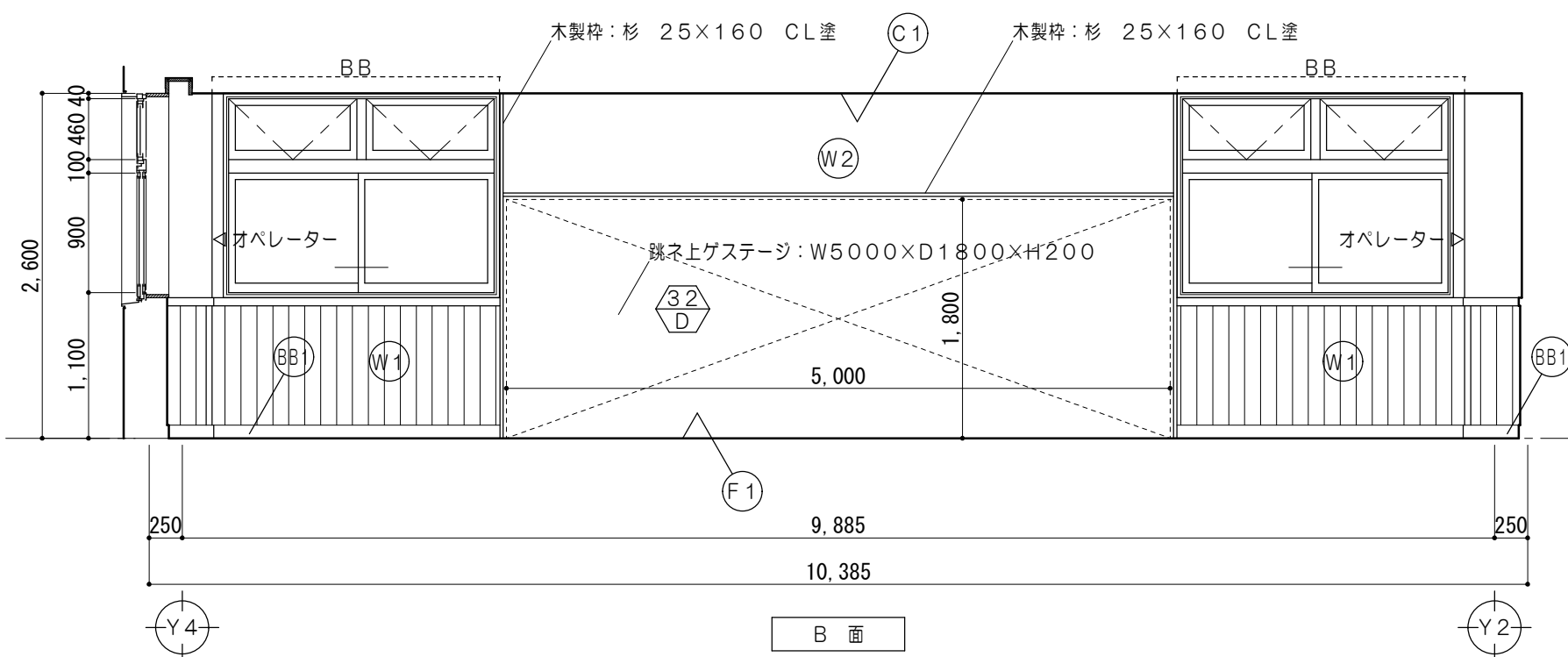
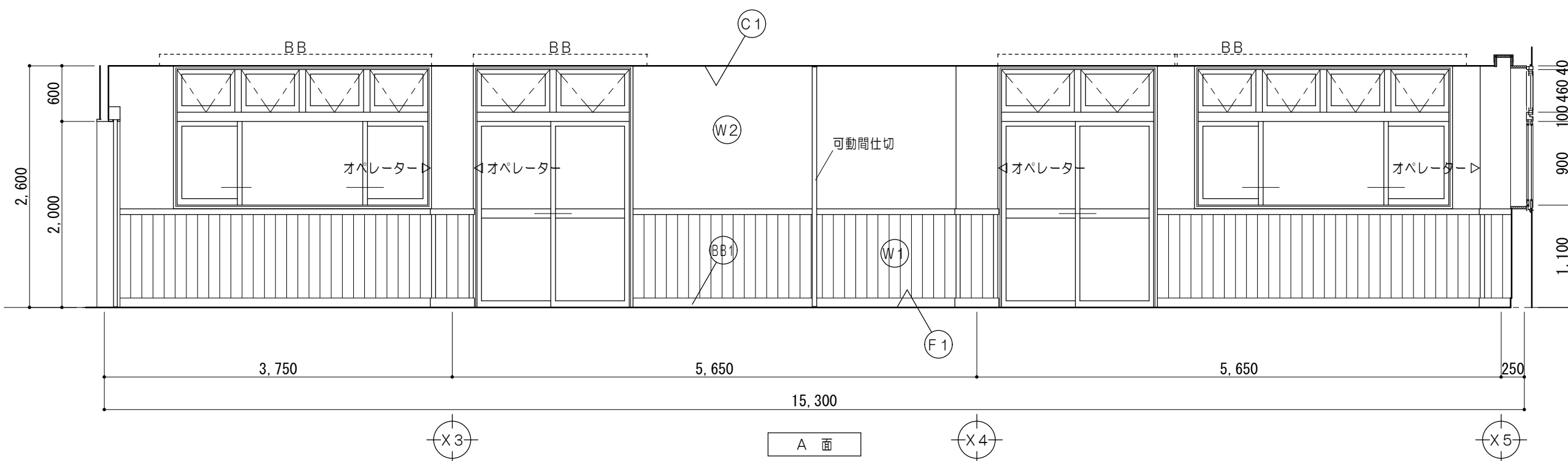
設計年月日	工事名称	(仮称)津市豊が丘会館別館建築工事
	図面名称	1階平面詳細図

図面番号	A-27 (原図:A2)
縮尺	1/50

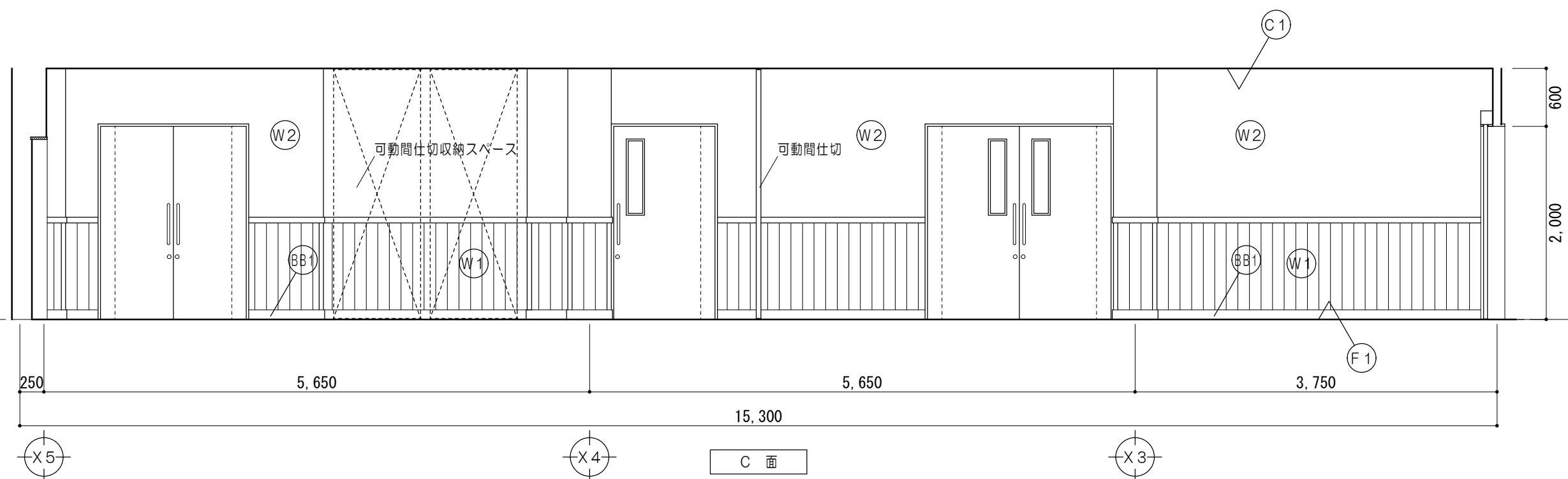


凡例	
(消)	消火器 (ABC粉末10型) 床置台共
±0	設計G.L.からの床仕上高さを示す
(1/D)	各部詳細図番号を示す
—	内 壁: LGS W65 外 壁面: LGS W50 柱廻り: LGS W50
—○—	ステンレス巻摺W40 HL仕上
—	シーリングを示す
▶	丸環: ステンレス製 φ19内径100mm

2階平面詳細図 1/50



(F1)	床 : 複合フローリングφ12 直張 (塗装品)
(BB1)	巾木 : 木製巾木 (桧) CL塗 H100
(W1)	腰壁 : PBφ12.5 杉羽目板φ12 CL塗 見切 : 杉 24x60 CL塗
(W2)	壁 : PBφ12.5 ビニルクロス張
(C1)	天井 : 石膏ボードφ12.5下張り ロックウール化粧吸音板φ9
BB	ブラインドBOXを示す (ｽﾌﾟﾙｰｽ)
	※柱廻り 腰壁出隅(杉)45x45 ビニルクロス張り壁見切縁



特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士 第117489号 前野 初俊 一級建築士 第320204号 前野 将輝

一級建築士 第307846号 三橋 五百子
一級建築士 第360917号 前田 祐作

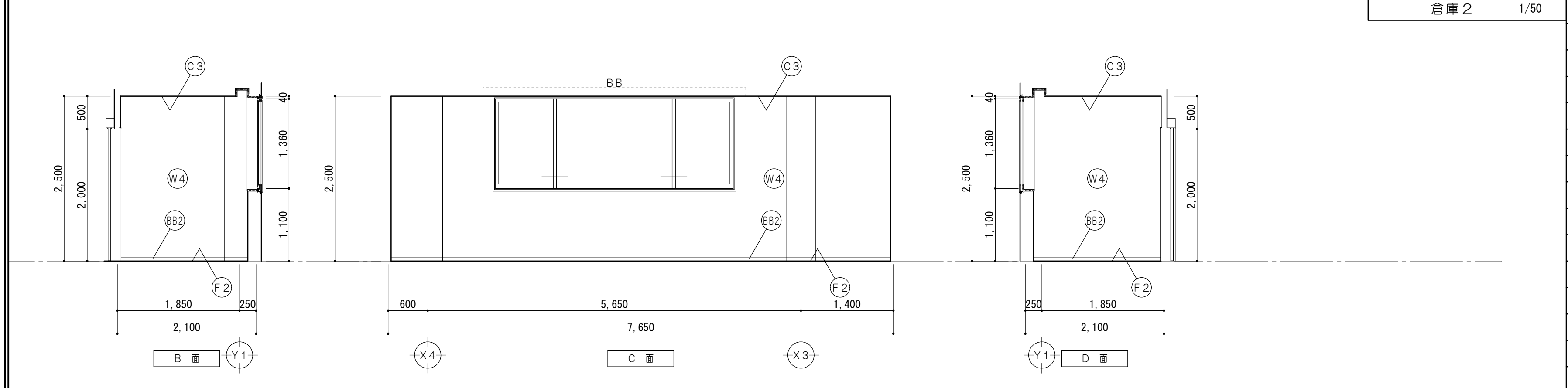
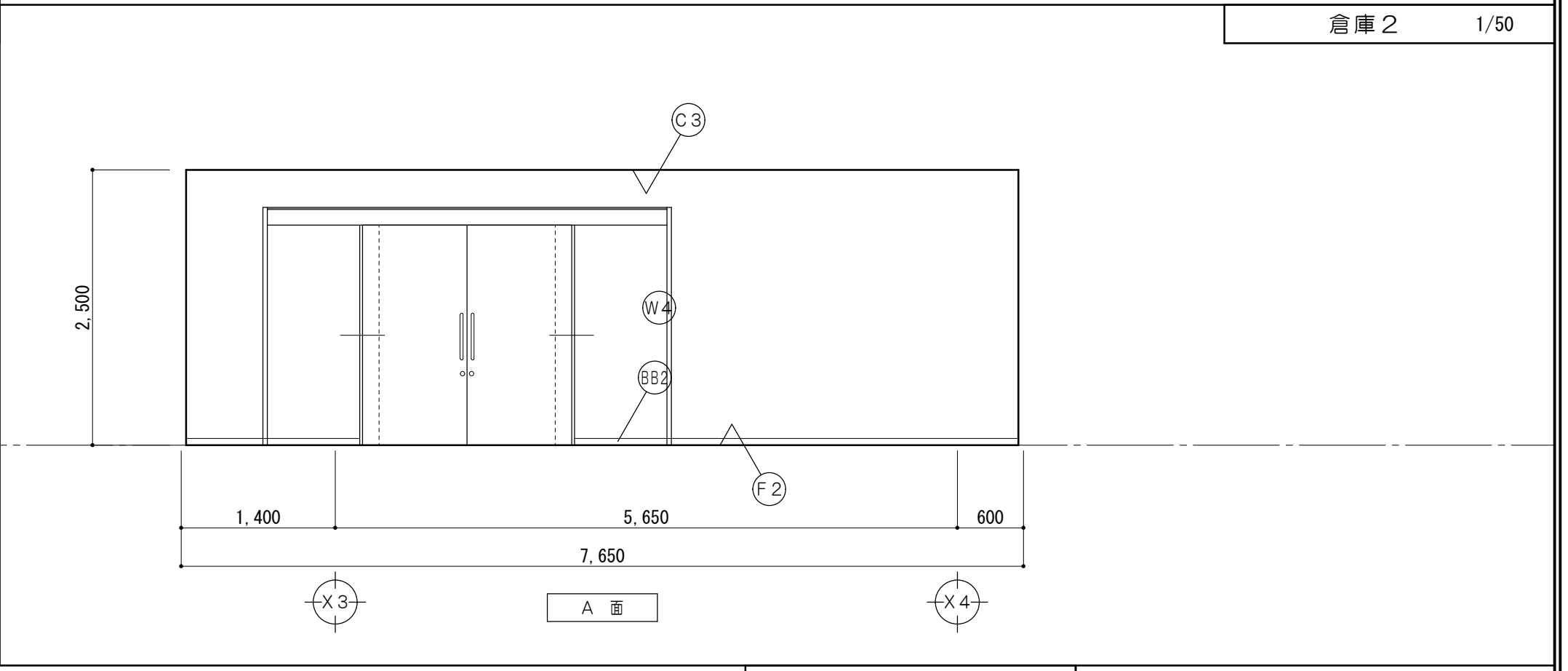
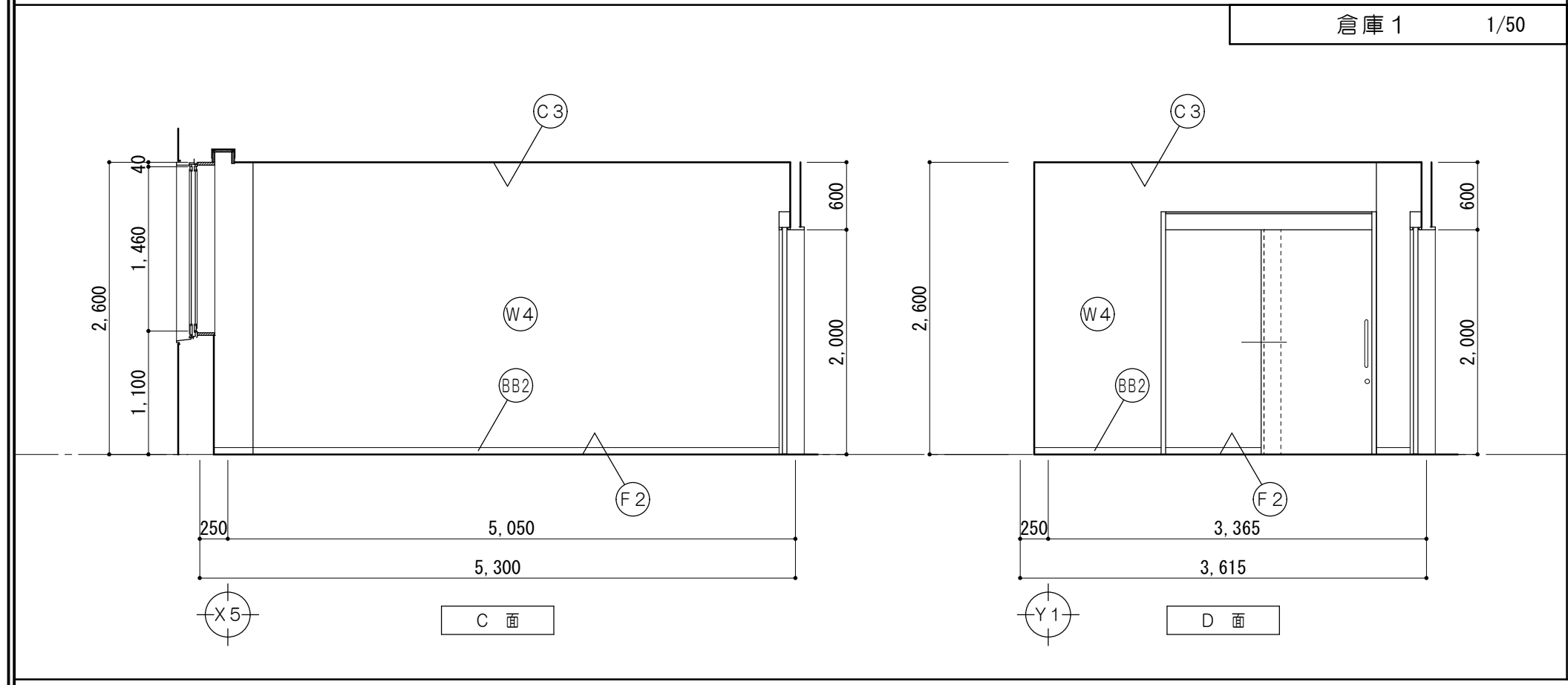
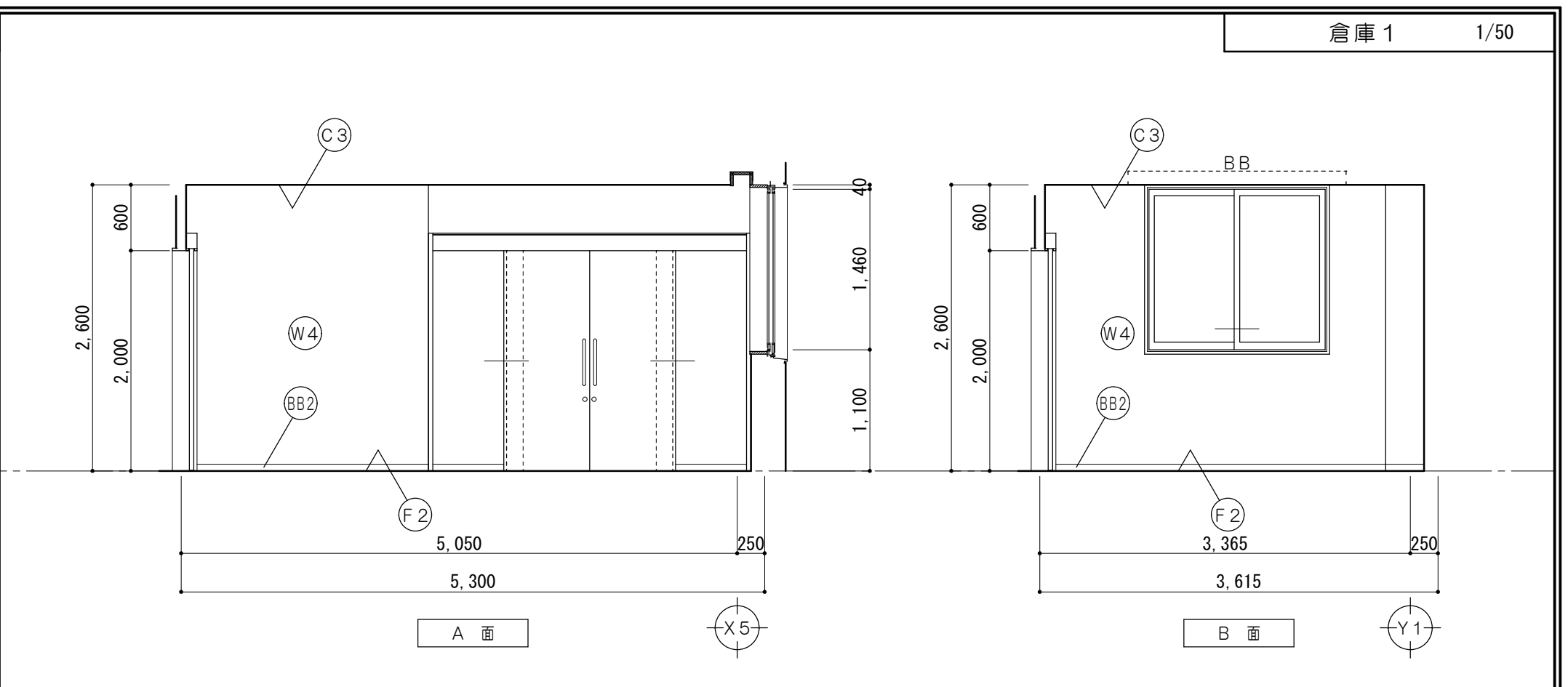
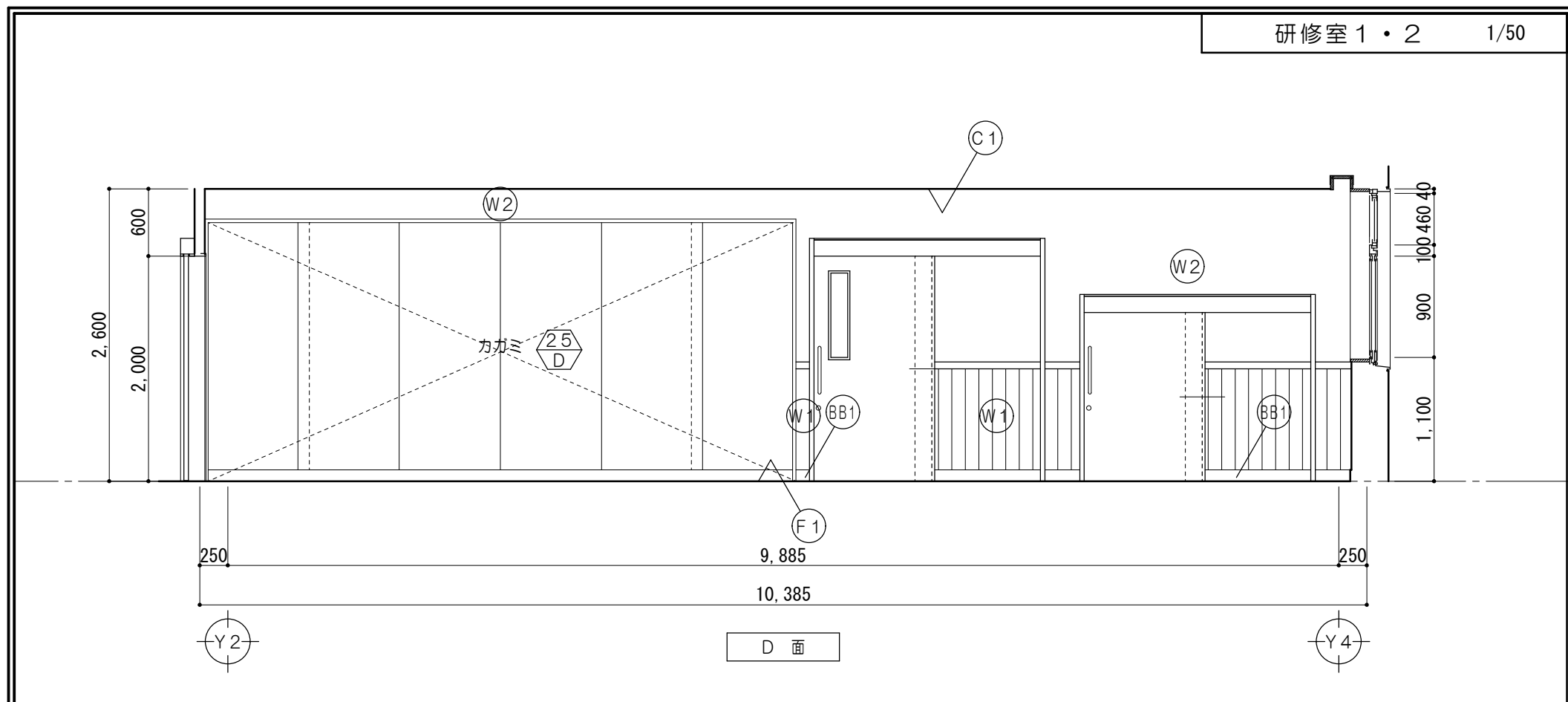
一級建築士 第304509号 水谷 浩

設計年月日 工事名称 (仮称) 津市豊が丘会館別館建築工事

図面名称 展開図 No. 1

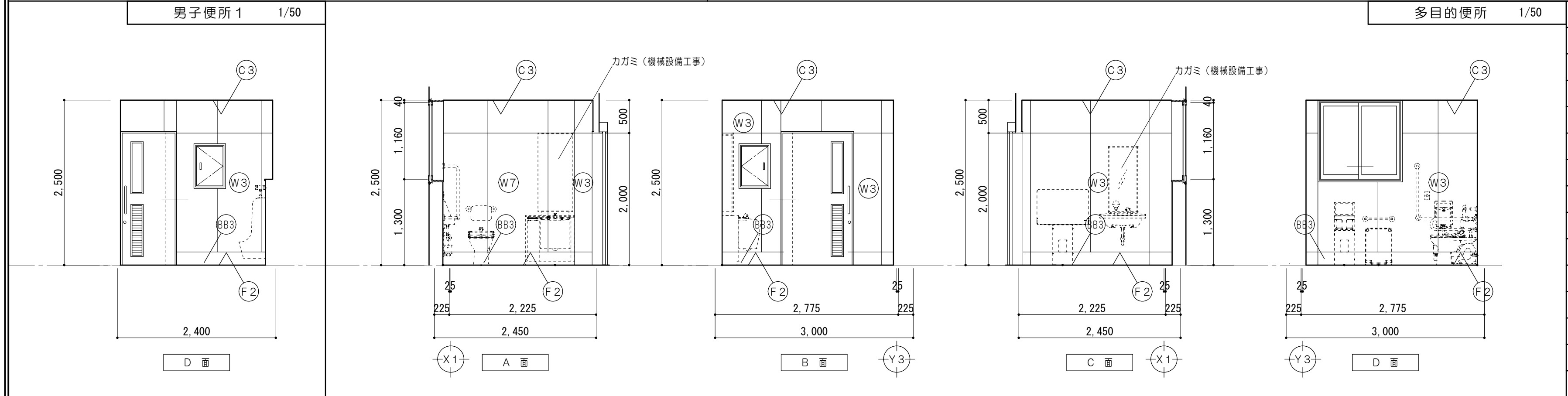
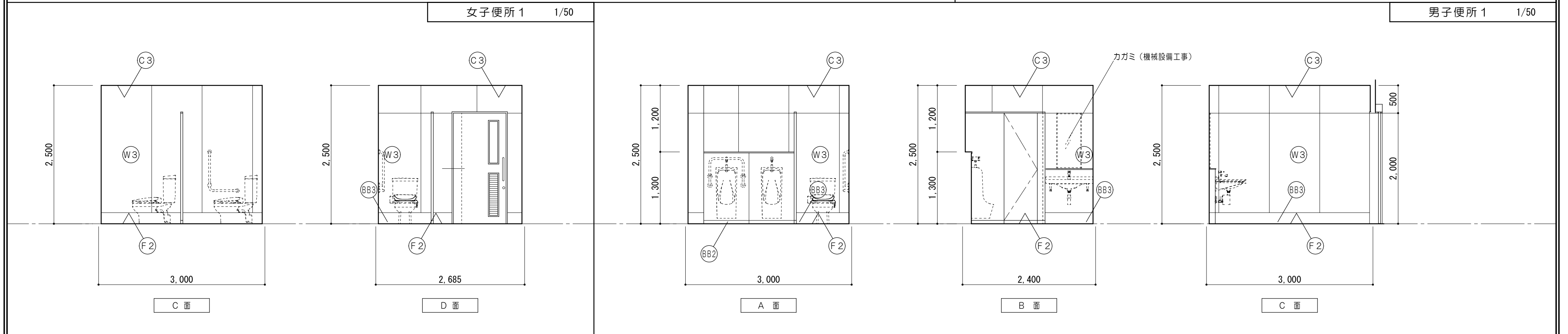
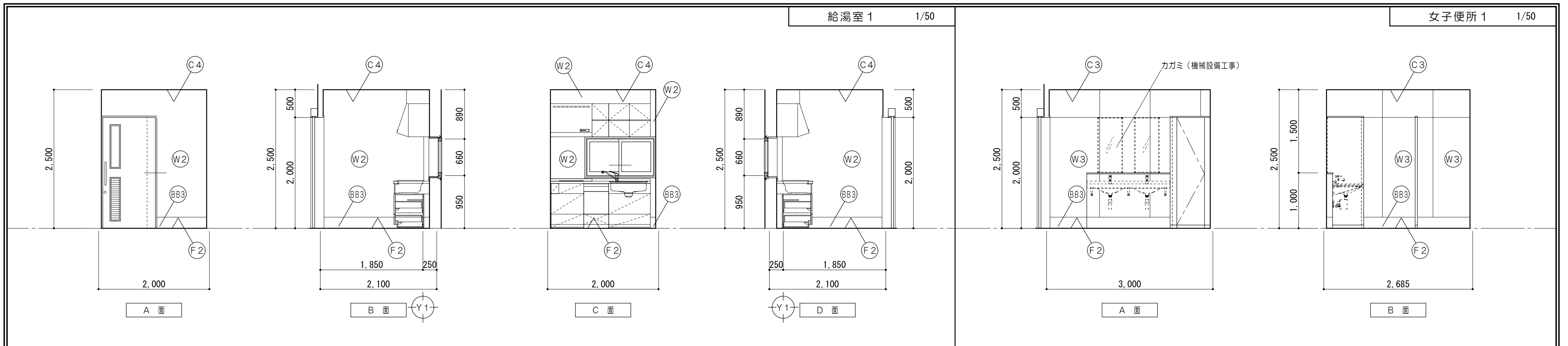
図面番号 A-29 (原図:A2)

縮尺 1/50

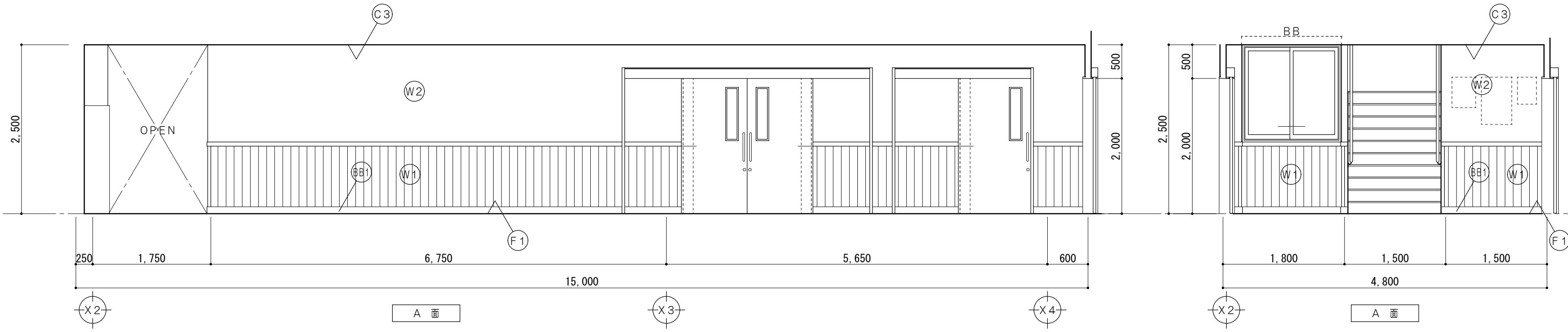


仕上凡例	
(F1)	床 : 複合フローリングア12 直張 (塗装品)
(F2)	床 : ビニル床シートア2.5張
(BB1)	巾木 : 木製巾木 (桧) CL塗 H100
(BB2)	巾木 : ビニル巾木 H60
(W1)	腰壁 : PBア12.5 杉羽目板ア12 CL塗 見切 : 杉 24×60 CL塗
(W2)	壁 : PBア12.5 ビニルクロス張
(W4)	壁 : PBア12.5 NAD塗
(C1)	天井 : 石膏ボードア12.5下張り ロックウール化粧吸音板ア9
(C3)	天井 : 化粧PBア9.5張
BB	ブラインドBOXを示す (ダブル)
	※柱廻り ビニルクロス張り壁見切縁

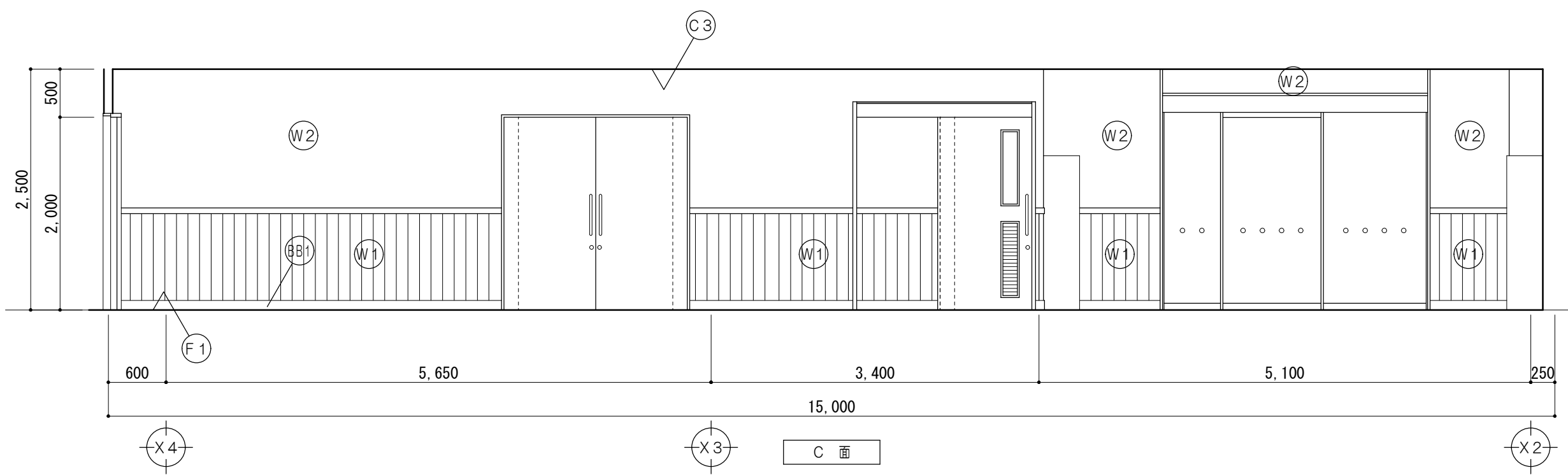
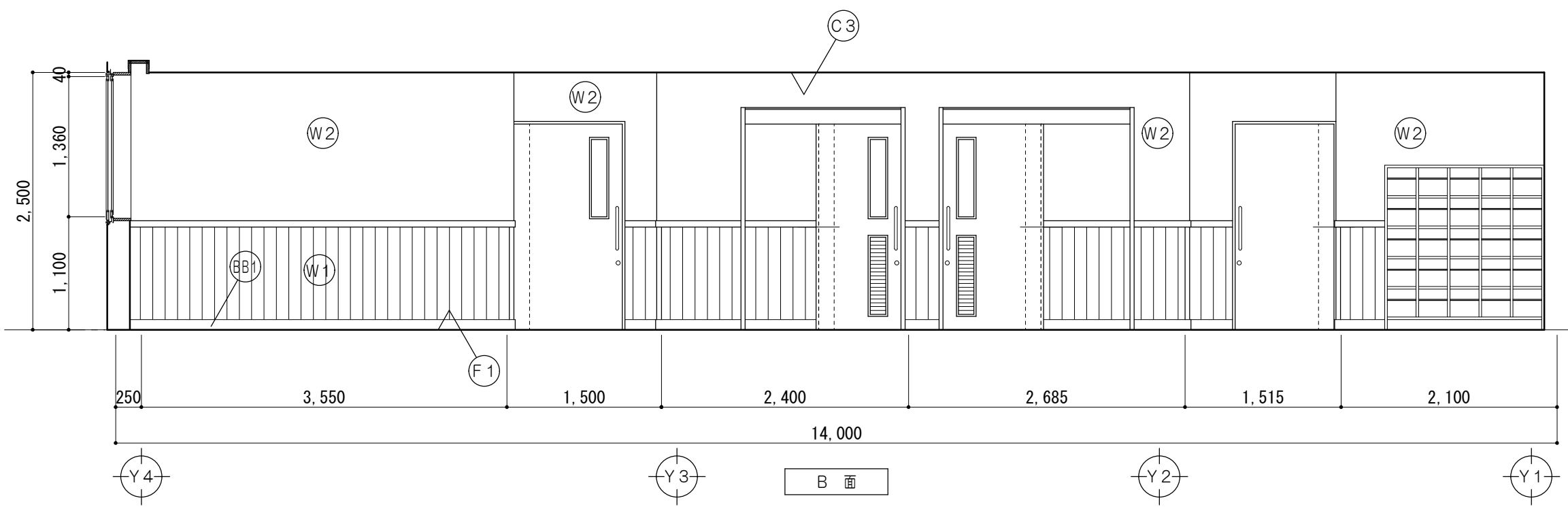
特記事項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士 第117489号 前野 初俊 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	(仮称) 津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	A-30 (原図:A2)
			一級建築士 第360917号 前田 祐作			図面名称	展開図 No. 2	縮尺	1/50



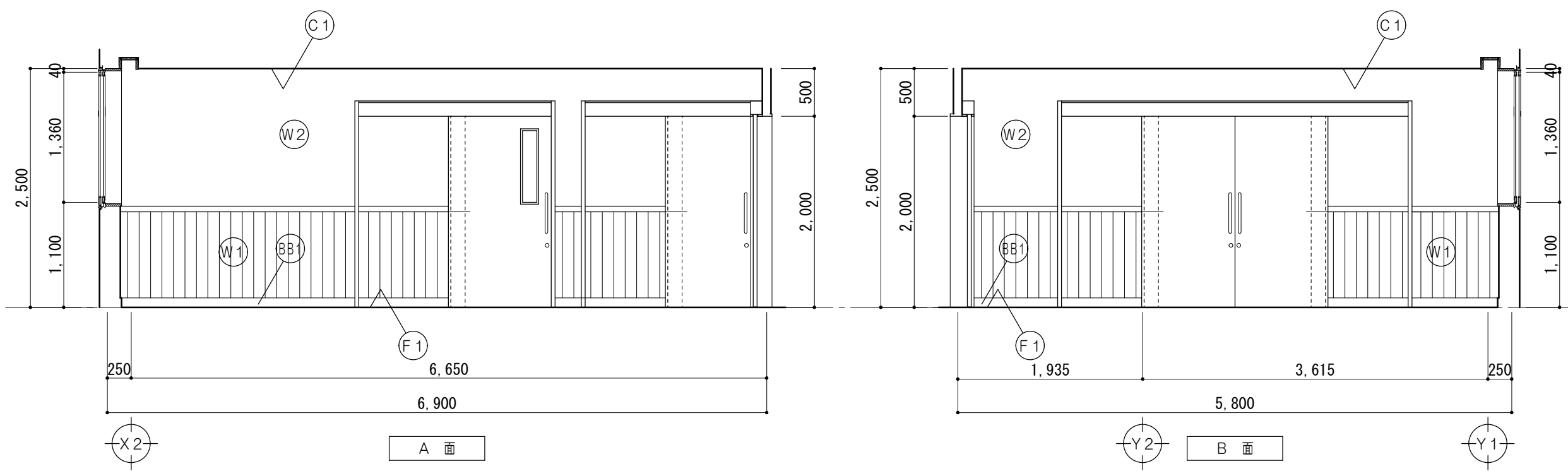
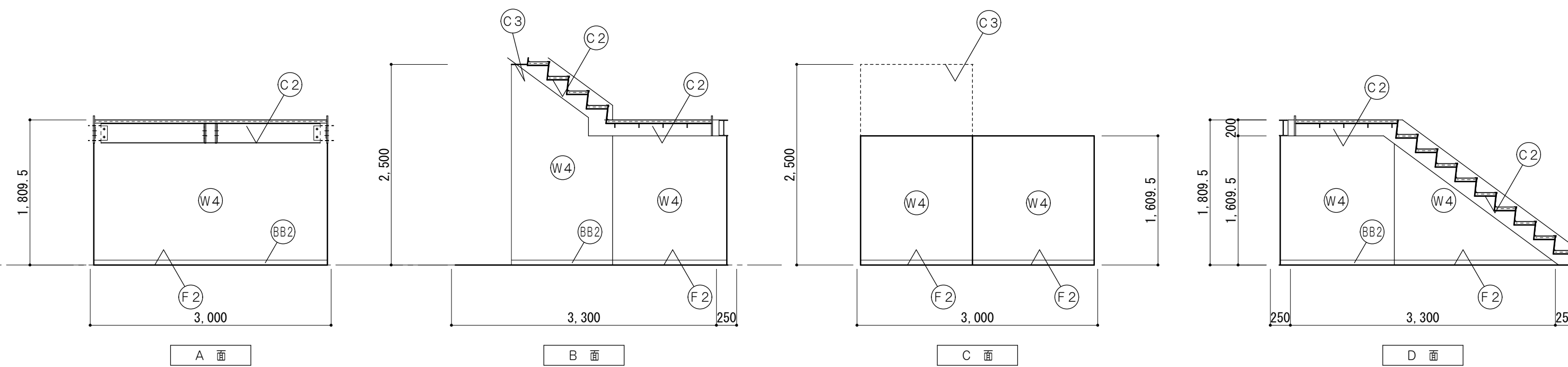
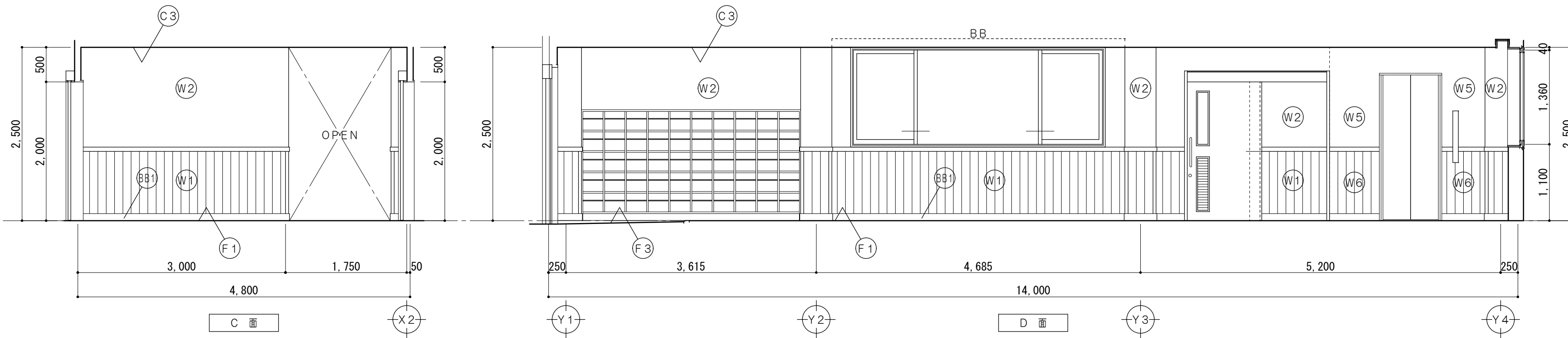
仕上凡例	
(F2)	床 : ビニル床シートア2.5張
(BB2)	巾木 : ビニル巾木 H60
(BB3)	巾木 : 床同材巻上げ 樹脂製見切り縁 H200
(W2)	壁 : PBア12.5 ビニルクロス張
(W3)	壁 : PBア12.5 メラミン不燃化粧板ア3張
(W7)	壁 : PBア12.5+PBア12.5 メラミン不燃化粧板ア3張
(C3)	天井 : 化粧PBア9.5張
(C4)	天井 : ケイカル板ア6 NAD塗
BB	ブラインドBOXを示す (ｽﾌﾟﾙｰ)
	※手すり、棚、設備機器などの取付壁面補強下地は 耐水合板ア12とする。



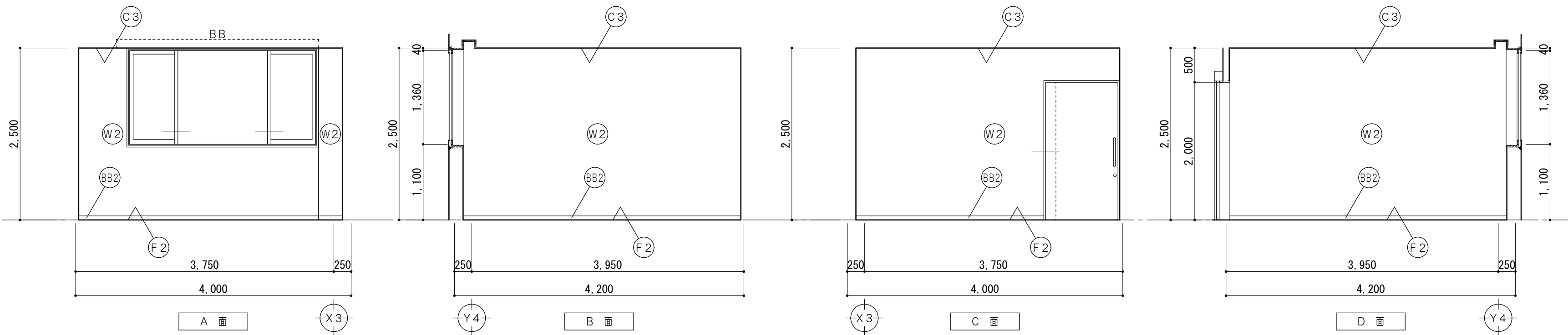
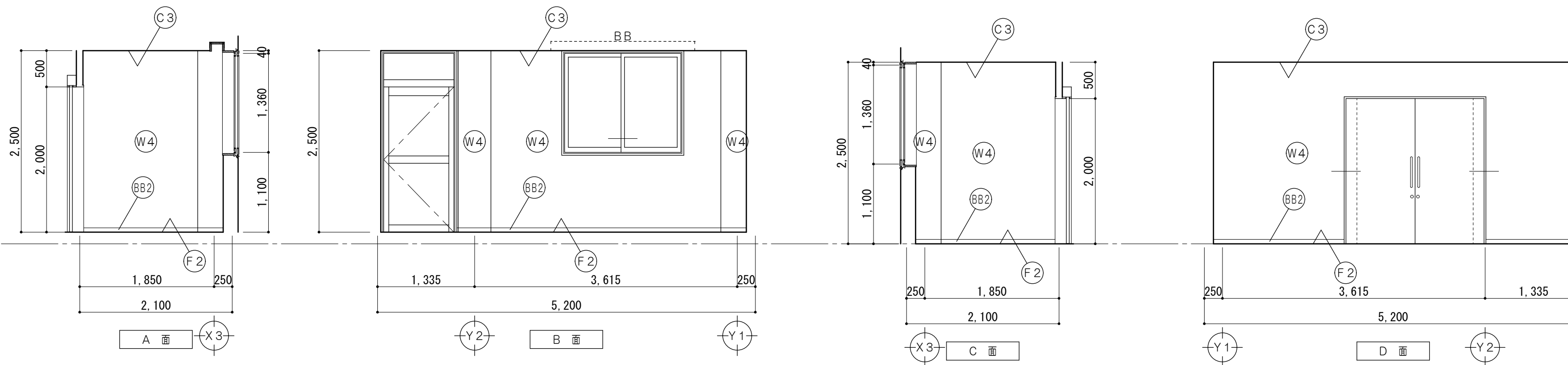
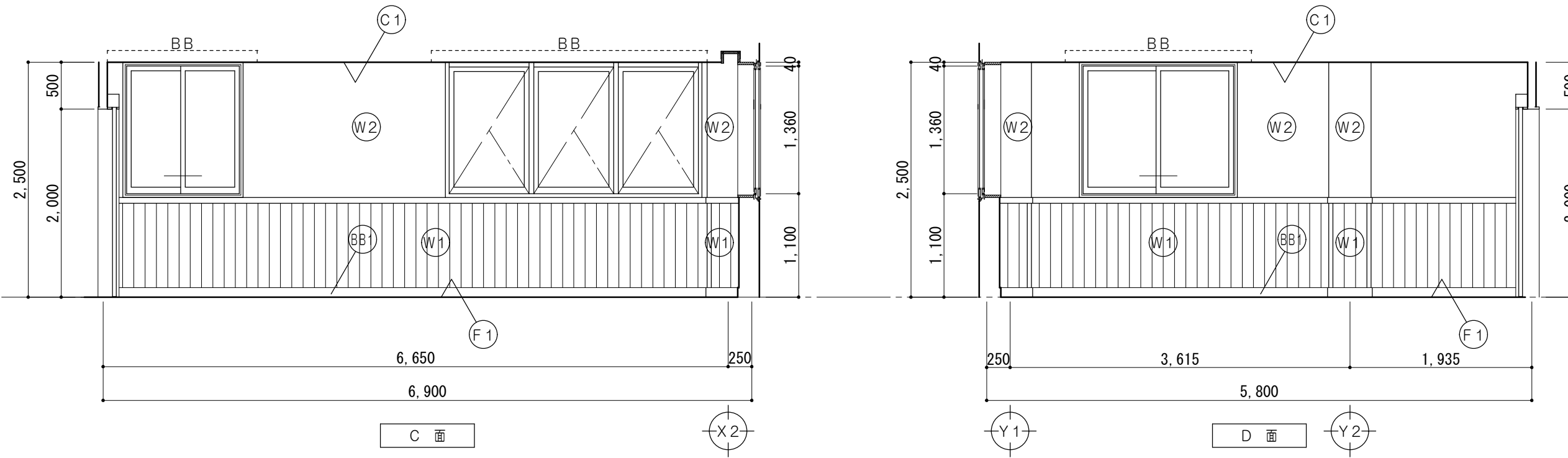
設備機器用開口補強



(F1)	床 : 複合フローリングφ12 直張 (塗装品)
(BB1)	巾木 : 木製巾木 (桧) CL塗 H100
(W1)	腰壁 : PBφ12.5 杉羽目板φ12 CL塗 見切 : 杉 24×60 CL塗
(W2)	壁 : PBφ12.5 ビニルクロス張
(C3)	天井 : 化粧PBφ9.5張
BB	ブラインドBOXを示す (ｽﾌﾟﾙｰｽ) ※柱廻り 腰壁出隅(杉)45×45 ビニル貼張り壁見切縁



仕上凡例	
(F1)	床 : 複合フローリングア12 直張 (塗装品)
(F2)	床 : ビニル床シートア2.5張
(F3)	床 : 磁器質150角タイル張
(BB1)	巾木 : 木製巾木 (検) CL塗 H100
(BB2)	巾木 : ビニル巾木 H60
(W1)	腰壁 : PBア12.5 杉羽目板ア12 CL塗 見切 : 杉 24×60 CL塗
(W2)	壁 : PBア12.5 ビニルクロス張
(W4)	壁 : PBア12.5 NAD塗
(W5)	壁 : PBア12.5+PBア12.5 ビニルクロス張
(W6)	PBア12.5+PBア12.5 腰壁 : 杉羽目板ア12 CL塗 見切 : 杉 24×60 CL塗
(C1)	天井 : 石膏ボードア12.5下張り ロックウール化粧吸音板ア9
(C2)	天井 : 段裏表シ サビ止め
(C3)	天井 : 化粧PBア9.5張
BB	ブラインドBOXを示す (ダブル)



仕上凡例	
(F1)	床 : 複合フローリングア12 直張 (塗装品)
(F2)	床 : ビニル床シートア2.5張
(BB1)	巾木 : 木製巾木 (検) CL塗 H100
(BB2)	巾木 : ビニル巾木 H60
(W1)	腰壁 : PBア12.5 杉羽目板ア12 CL塗 見切 : 杉 24×60 CL塗
(W2)	壁 : PBア12.5 ビニルクロス張
(W4)	壁 : PBア12.5 NAD塗
(C1)	天井 : 石膏ボードア12.5下張り ロックウール化粧吸音板ア9
(C3)	天井 : 化粧PBア9.5張
BB	ブラインドBOXを示す (ダブル)
	※柱廻り 腰壁出隅(杉)45×45 ビニルクロス張り壁見切縁

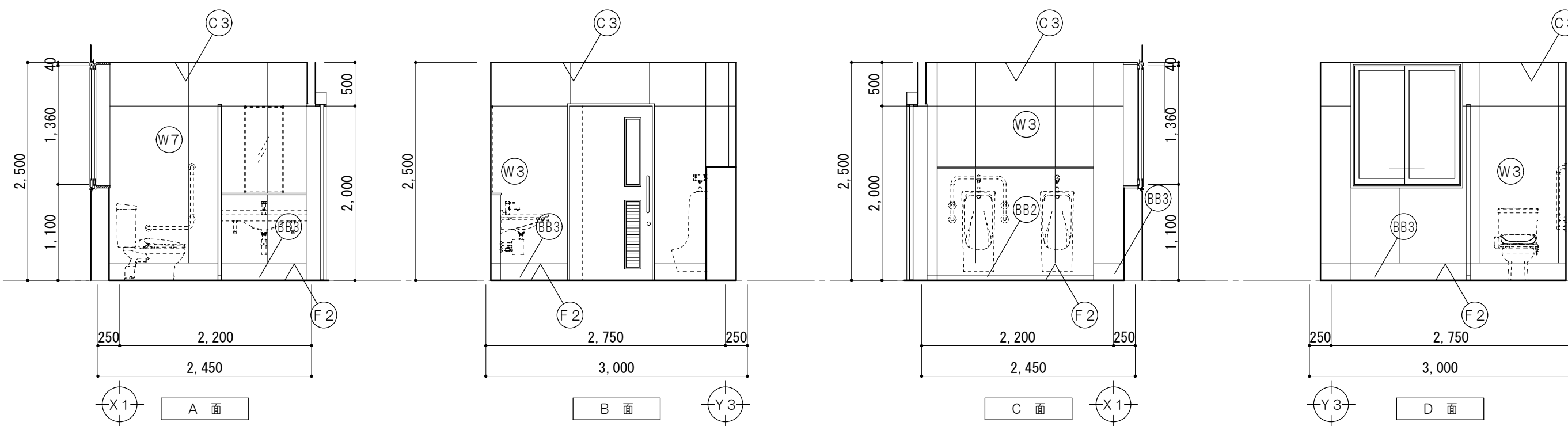
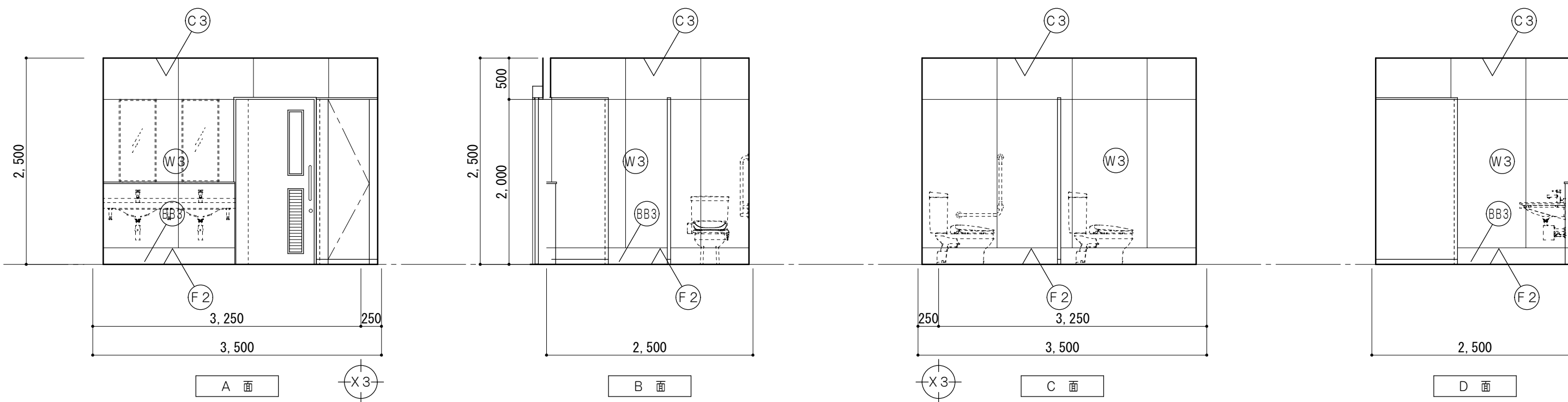
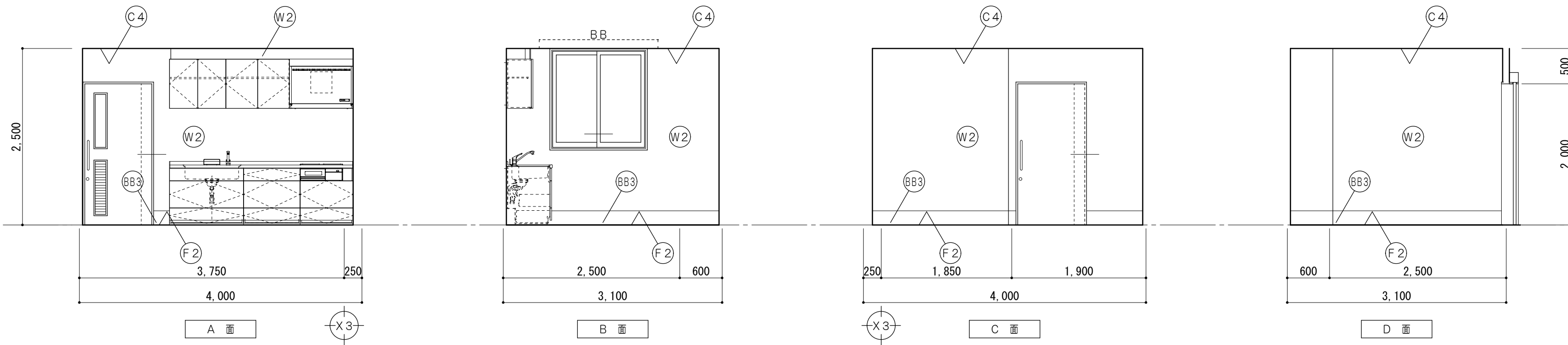
特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
 株式会社 **前野建築設計**
 一級建築士 第117489号 前野 初俊 一級建築士 第320204号 前野 将輝

一級建築士 第307846号 三橋 五百子
 一級建築士 第360917号 前田 祐作

一級建築士 第304509号 水谷 浩

設計年月日	工事名称	(仮称) 津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	A-34 (原図:A2)
	図面名称	展開図No.6	縮尺	1/50



(F2)	床 : ビニル床シートア2.5張
(BB2)	巾木 : ビニル巾木 H60
(BB3)	巾木 : 床同材巻上げ 樹脂製見切り縁 H200
(W2)	壁 : PBア12.5 ビニルクロス張
(W3)	壁 : PBア12.5 メラミン不燃化粧板ア3張
(W7)	壁 : PBア12.5+PBア12.5 メラミン不燃化粧板ア3張
(C3)	天井 : 化粧PBア9.5張
(C4)	天井 : ケイカル板ア6 NAD塗
BB	ブラインドBOXを示す(ｽﾌﾟﾙｰ)
	※手すり、棚、設備機器などの取付壁面補強下地は 耐水合板ア12とする。

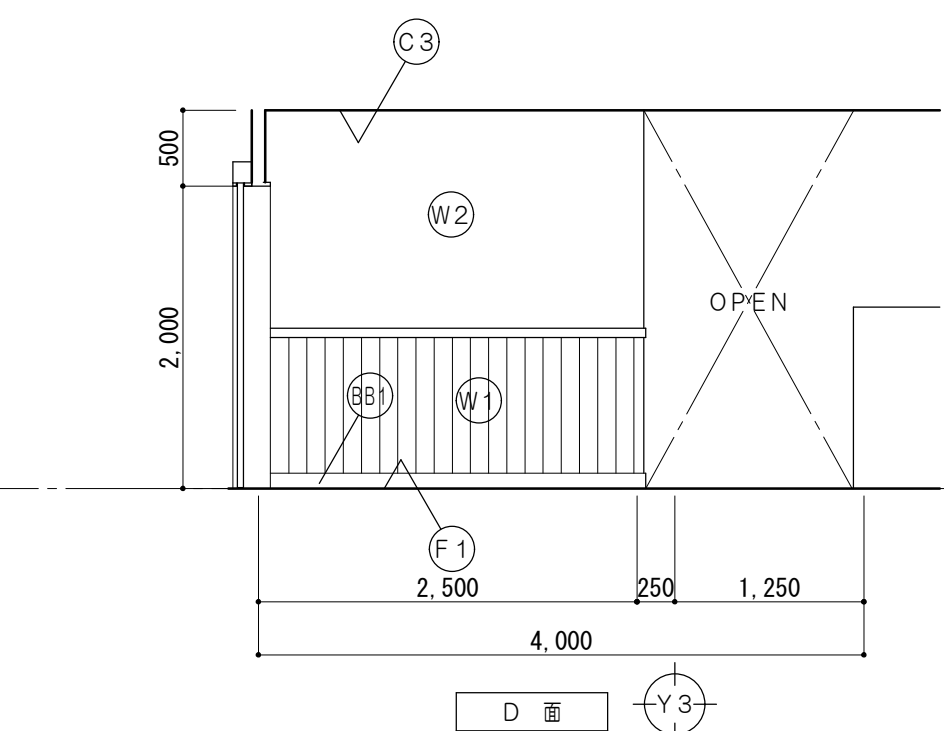
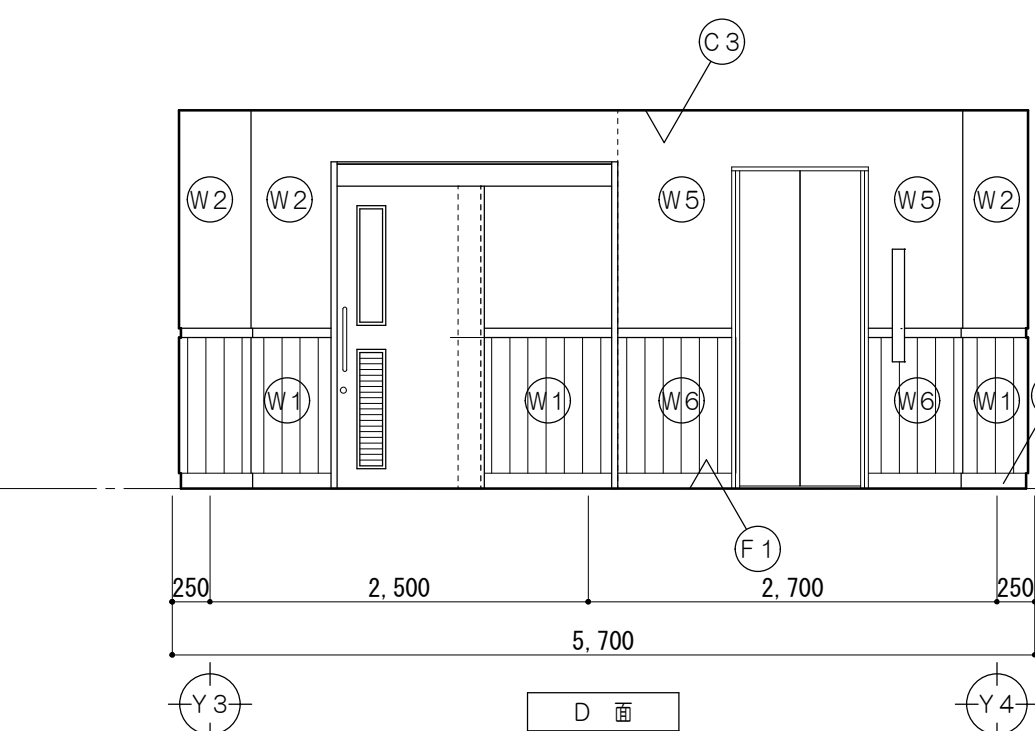
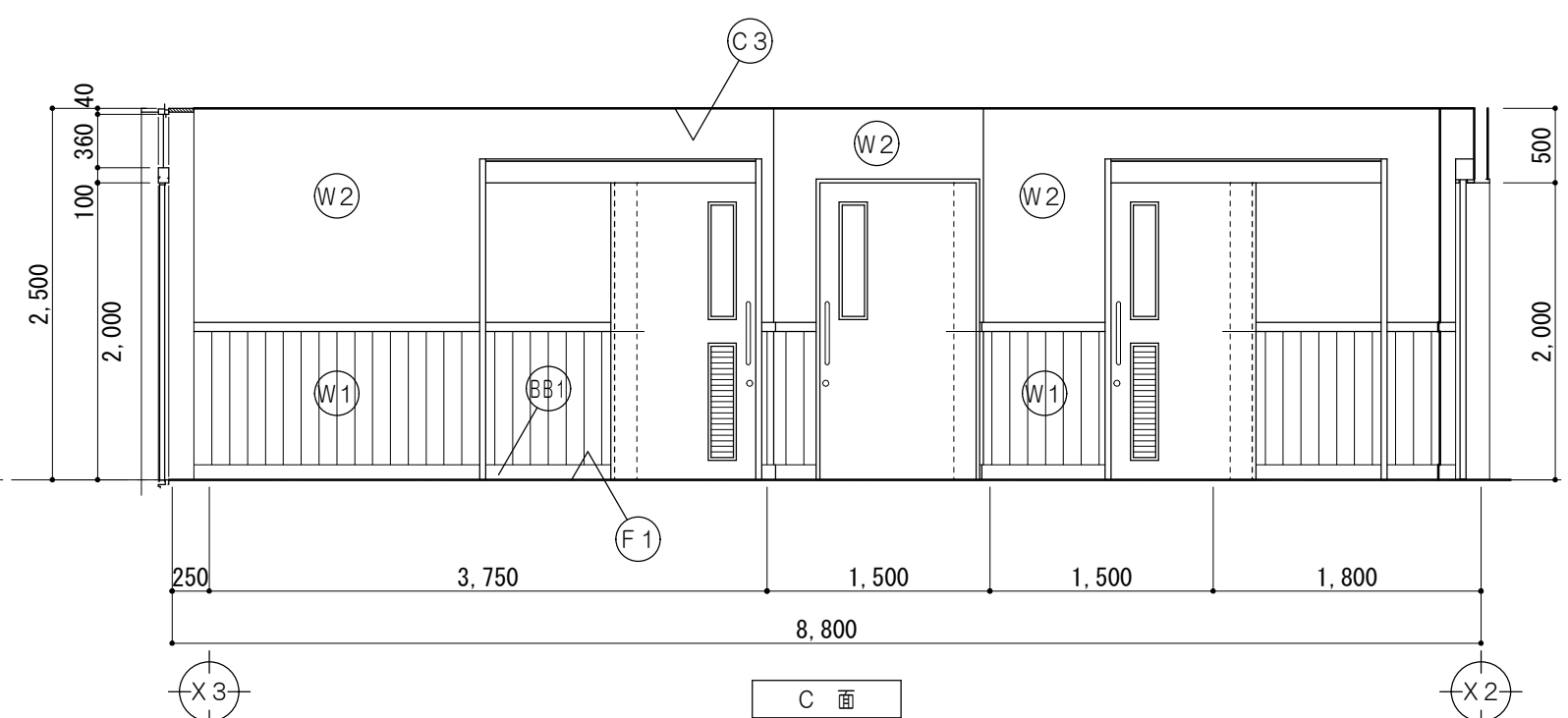
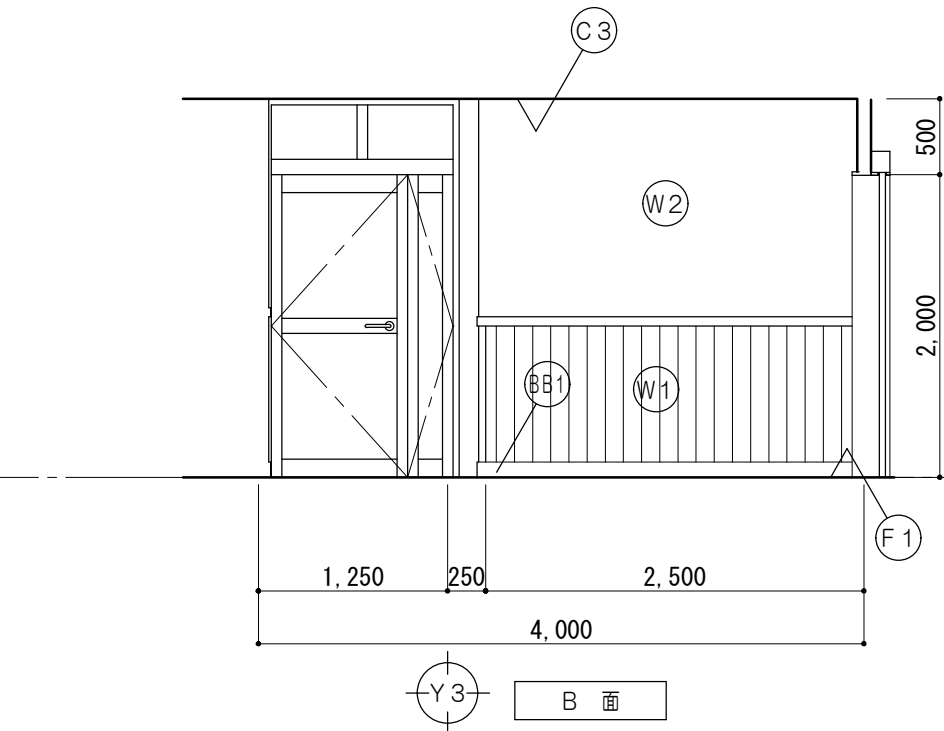
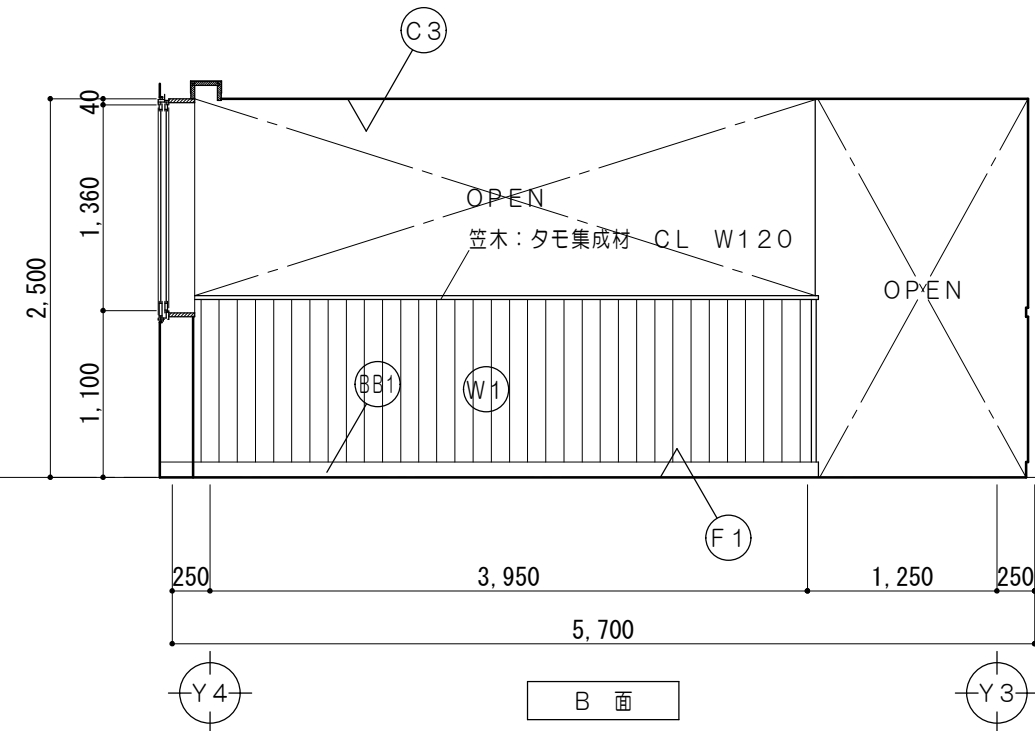
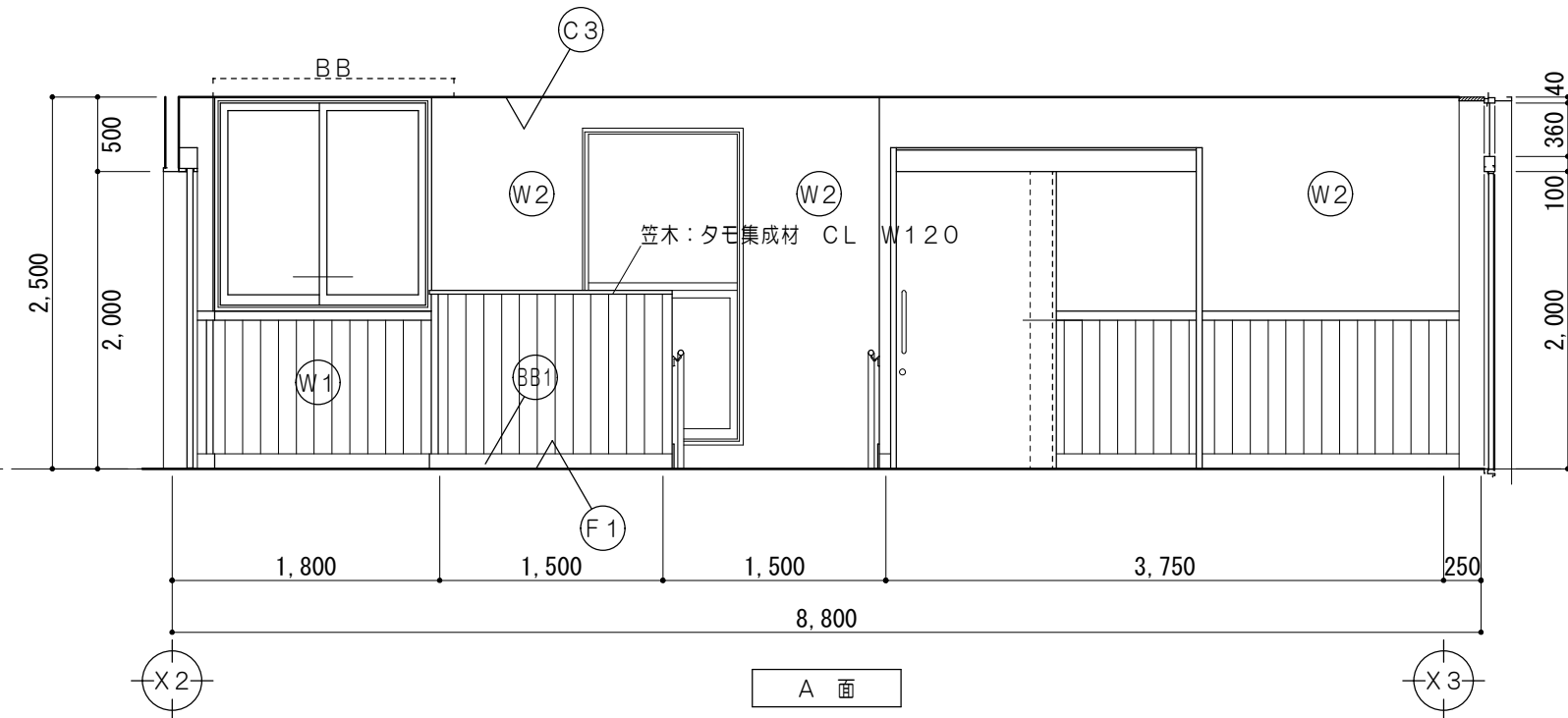
特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士 第117489号 前野 初俊 一級建築士 第320204号 前野 将輝

一級建築士 第307846号 三橋 五百子
一級建築士 第360917号 前田 祐作

一級建築士 第304509号 水谷 浩

設計年月日	工事名称	(仮称)津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	A-35 (原図:A2)
	図面名称	展開図No.7	縮尺	1/50



仕上凡例

(F1)	床 : 複合フローリングア12 直張 (塗装品)
(BB1)	巾木 : 木製巾木 (杉) CL塗 H100
(W1)	腰壁 : PBア12.5 杉羽目板ア12 CL塗 見切: 杉 24×60 CL塗
(W2)	壁 : PBア12.5 ビニルクロス張
(W5)	壁 : PBア12.5+PBア12.5 ビニルクロス張
(W6)	壁 : PBア12.5+PBア12.5 杉羽目板ア12 CL塗 見切: 杉 24×60 CL塗
(C3)	天井 : 化粧PBア9.5張
BB	ブラインドBOXを示す(ダブル) ※柱廻り 腰壁出隅(杉)45×45 ビニルクロス張り壁見切縁

特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士 第117489号 前野 初 像 一級建築士 第320204号 前野 将 輝

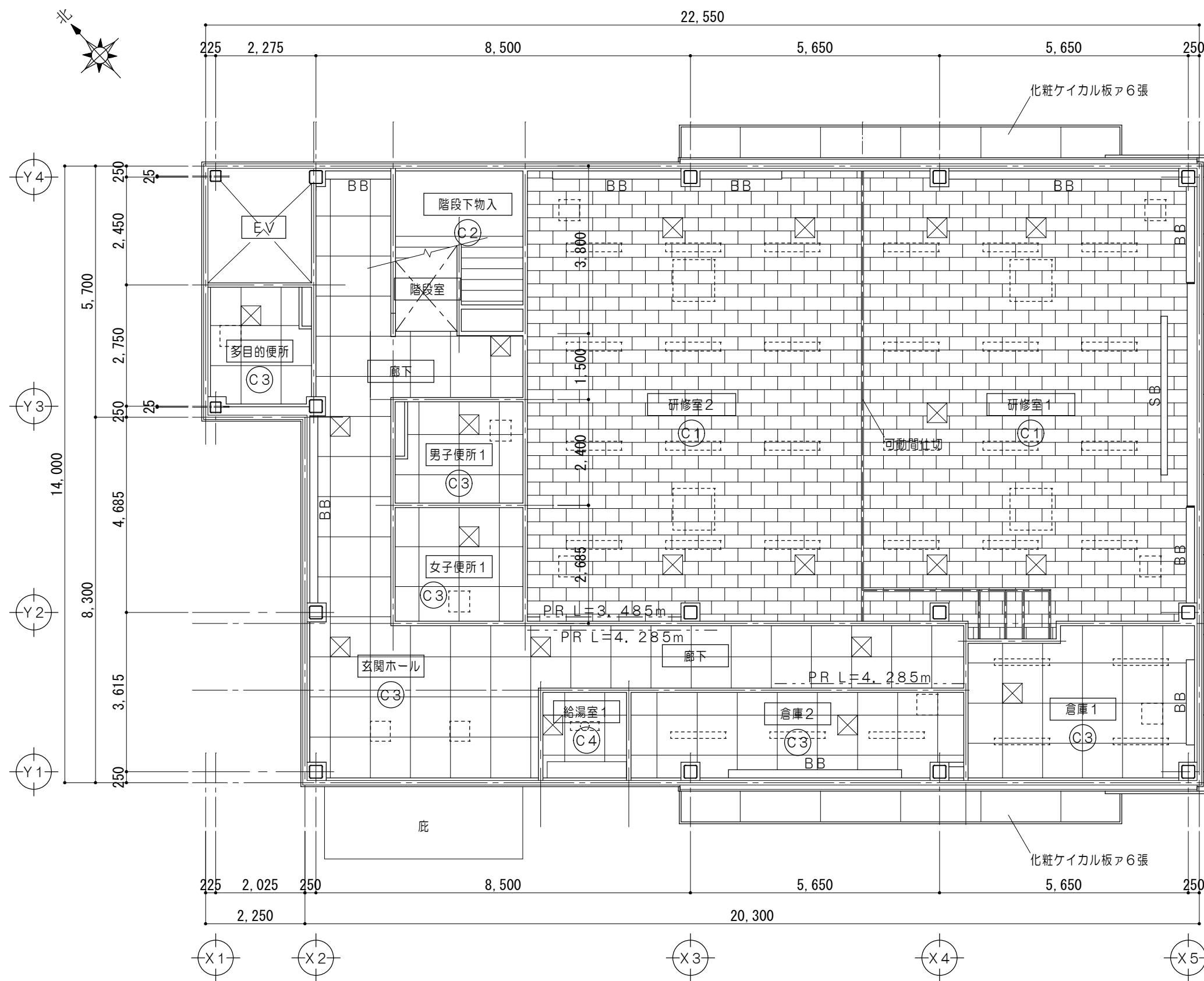
一級建築士 第307846号 三橋 五百子
一級建築士 第360917号 前田 祐作

一級建築士 第304509号 水谷 浩

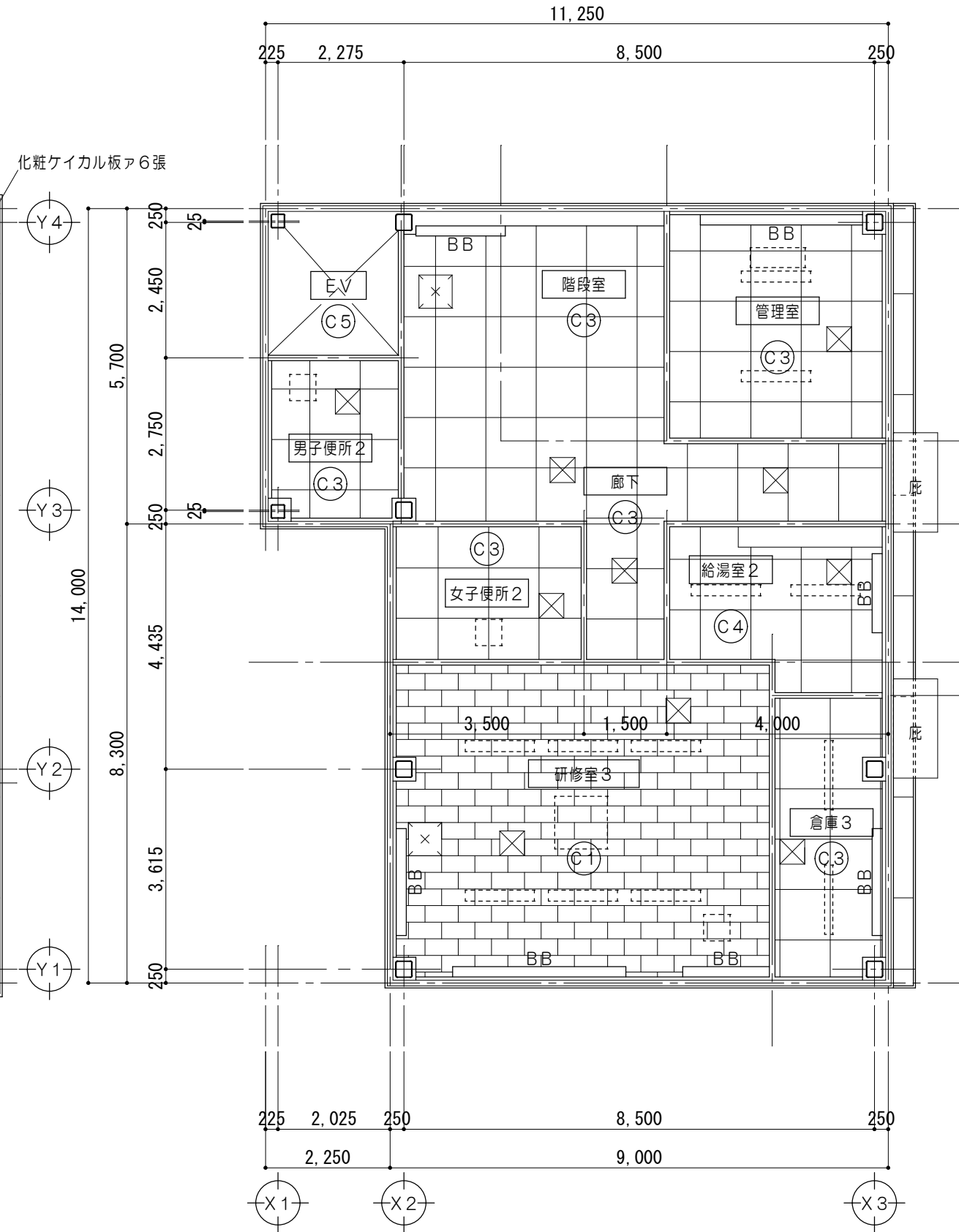
設計年月日 工事名称

(仮称) 津市豊が丘会館別館建築工事
図面名称 展開図 No. 8

図面番号 A-36 (原図:A2)
縮尺 1/50



1階天井伏図 1/100



2階天井伏図 1/100

凡例			
Ⓒ1	石膏ボードA12、5下張り ロックウール化粧吸音板A9	SB	スクリーンボックス：W150×H150×L3600 (珪藻成材)
Ⓒ2	段裏表シ サビ止め	BB	ブラインドボックス：W150×H100(27-2) パネジアンブラインド：74製 17幅25 横型操作棒式
Ⓒ3	化粧PBA9、5張	PR	ピクチャーレール
Ⓒ4	ケイカル板ア6 NAD塗	⊗	天井点検口 アルミ製 450角
Ⓒ5	屋根表シ	⊗	天井点検口 アルミ製 600角
		⊞	設備用開口補強

特記事項

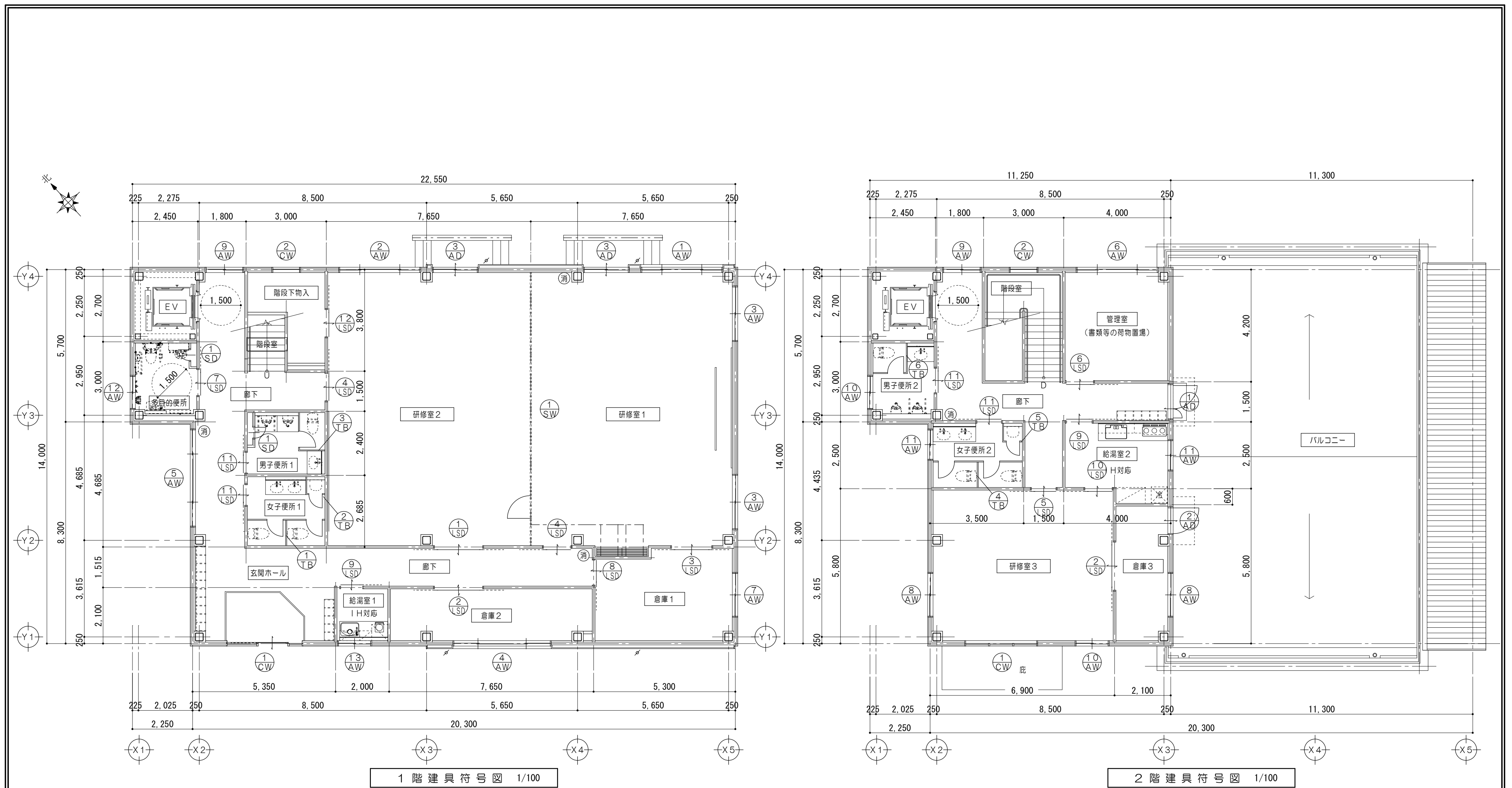
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士 第117489号 前野初俊 一級建築士 第320204号 前野将輝

一級建築士 第307846号 三橋 五百子
一級建築士 第360917号 前田 祐作

一級建築士 第304509号 水谷 浩


設計年月日 工事名称 (仮称) 津市豊が丘会館別館建築工事
図面名称 1階・2階天井伏図

図面番号 A-37 (原図:A2)
縮尺 1/100



1階建具符号図 1/100

2階建具符号図 1/100

特記事項		 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士 第117489号 前野初俊 一級建築士 第320204号 前野将輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	(仮称)津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	A-38 (原図:A2)
				一級建築士 第360917号 前田 祐作			図面名称	1階・2階建具符号図	縮尺

符号名称数量	① AD ランマF I X付親子アルミドア	1	② AD ランマF I X付片開キアルミドア	1	③ AD ランマ外倒シ付引違いアルミ戸	2				
姿 図										
見込 硝子	70	強化ガラスA5	70	強化ガラスA4	70	強化ガラスA5				
仕 上	カラーアルミ		カラーアルミ		カラーアルミ					
金 物	シリンダー錠、レバーハンドル、戸当り、DC、丁番、アングルピース フランス落シ、付属金物一式		シリンダー錠、レバーハンドル、戸当り、DC、丁番、アングルピース 付属金物一式		クレセント、引手、アングルピース、ステイダンパー、網戸（サラ）、 隠蔽式オペレーター装置、外部アルミ顔縁25×112、付属金物一式					
備 考	2階：廊下		2階：倉庫3		1階：研修室1、研修室2					
符号名称数量	④ AW ランマ外倒シ付両袖引違いアルミサッシ	1	⑤ AW ランマ外倒シ付両袖引違いアルミサッシ	1	⑥ AW ランマ外倒シ付引違いアルミサッシ	2	⑦ AW 両袖引違いアルミサッシ	1	⑧ AW 両袖引違いアルミサッシ	1
姿 図										
見込 硝子	70	強化ガラスA5	70	強化ガラスA5	70	強化ガラスA5	70	強化型ガラスA4	70	強化ガラスA5
仕 上	カラーアルミ		カラーアルミ		カラーアルミ		カラーアルミ		カラーアルミ	
金 物	クレセント、引手、アングルピース、ステイダンパー、隠蔽式オペレーター装置、 網戸（サラ）、水切L115、外部アルミ顔縁25×112、付属金物一式		クレセント、引手、アングルピース、ステイダンパー、網戸（サラ）、 隠蔽式オペレーター装置、付属金物一式		クレセント、引手、アングルピース、ステイダンパー、網戸（サラ）、 隠蔽式オペレーター装置、付属金物一式		アングルピース、クレセント、網戸（サラ）、 水切L115、外部アルミ顔縁25×112、付属金物一式		アングルピース、クレセント、網戸（サラ）、付属金物一式	
備 考	1階：研修室1		1階：研修室2		1階：研修室1		1階：倉庫2		1階：廊下	
符号名称数量	⑨ AW 両袖引違いアルミサッシ	1	⑩ AW 引違いアルミサッシ	1	⑪ AW 引違いアルミサッシ	2	⑫ AW 引違いアルミサッシ	2	⑬ AW 引違いアルミサッシ	2
姿 図										
見込 硝子	70	強化ガラスA5	70	強化型ガラスA4	70	研修室3：強化ガラスA5 倉庫3：強化型ガラスA4	70	強化ガラスA5	70	研修室3：強化ガラスA5 男子便所2：強化型ガラスA4
仕 上	カラーアルミ		カラーアルミ		カラーアルミ		カラーアルミ		カラーアルミ	
金 物	アングルピース、クレセント、網戸（サラ）、付属金物一式		アングルピース、クレセント、網戸（サラ）、付属金物一式		アングルピース、クレセント、網戸（サラ）、付属金物一式		アングルピース、クレセント、網戸（サラ）、付属金物一式 木額縁幅（1F：W160、2F：W330）		アングルピース、クレセント、網戸（サラ）、付属金物一式	
備 考	2階：管理室		1階：倉庫1		2階：研修室3、倉庫3		1、2階：廊下		2階：研修室3、男子便所2	

特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士 第117489号 前野 初俊 一級建築士 第320204号 前野 将輝

一級建築士 第307846号 三橋 五百子
一級建築士 第360917号 前田 祐作

一級建築士 第304509号 水谷 浩


設計年月日 工事名称 (仮称)津市豊が丘会館別館建築工事

図面名称 建具表No.1

図面番号 A-39 (原図:A2)
縮尺 1/50

符号名称数量	①AW 引違イアルミサッシ 2	①2 AW 引違イアルミサッシ 1	①3 AW 引違イアルミサッシ 1
姿 図			
見込 硝子	70 強化型ガラスA4	70 強化型ガラスA4	70 強化型ガラスA4
仕 上	カラーアルミ	カラーアルミ	カラーアルミ
金 物	アングルピース、クレセント、網戸(サラン)、付属金物一式	アングルピース、クレセント、網戸(サラン)、付属金物一式	アングルピース、クレセント、網戸(サラン)、付属金物一式
備 考	2階：女子便所2、給湯室2	1階：多目的便所	1階：給湯室1
符号名称数量	① CW カーテンウォール (突出シアルミサッシ(90°開放)) 1	② CW カーテンウォール (突き出しアルミサッシ) 1	
姿 図			
見込 硝子			
仕 上			
金 物			
備 考			
符号名称数量			① SW スライディングウォール 1
姿 図			
見込 硝子	強化ガラスA5	強化ガラスA5	50 化粧鋼板A.6
仕 上	カラーアルミ	カラーアルミ	化粧鋼板A.6
金 物	自動ドアエンジン、カムラッチハンドル、丁番、アオリ止め、アーム、光電センサー、網戸(サラン)、アルミ額縁、付属金物一式	カムラッチハンドル、丁番、アオリ止め、アーム、網戸(サラン)、アルミ額縁(1F:W160、2FW330)、付属金物一式	ハンガーレール、ランナー、ケースハンドル、丁番、レール取付鉄骨下地、付属金物一式
備 考	1階：玄関 2階：研修室3	1階：階段室	1階：研修室1、研修室2

特記事項


 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
 株式会社 前野建築設計
 一級建築士 第117489号 前野 初 俊 一級建築士 第320204号 前野 将 輝

一級建築士 第307846号 三橋 五百子
 一級建築士 第360917号 前田 祐作

一級建築士 第304509号 水谷 浩

設計年月日 工事名称

(仮称)津市豊が丘会館別館建築工事

図面番号 A-40 (原図:A2)
縮尺 1/50

図面名称 建具表No.2

符号名称数量	① LSD 引分ケ軽量スチールドア (外付) 1	② LSD 引分ケ軽量スチールドア (外付) 2	③ LSD 引分ケ軽量スチールドア (外付) 1	④ LSD 片引キ軽量スチールドア (外付) 2	⑤ LSD 片引キ軽量スチールドア (外付) 1
姿 図	※避難方向へ鍵を用いずに手動開放可能 有効開口 1,600 150 150 2,000 750 FL	有効開口 1,600 2,000	有効開口 1,210 2,200	※避難方向へ鍵を用いずに手動開放可能 有効開口 900 150 2,000 750	※避難器具設置諸室のため鍵なし 有効開口 900 150 2,000 750
見込 硝子	戸40 (枠240) 強化型ガラスA4	戸40 (枠220)	戸40 (枠220)	戸40 (枠240) 強化型ガラスA4	戸40 (枠240) 強化型ガラスA4
仕 上	化粧鋼板A0.6	化粧鋼板A0.6	化粧鋼板A0.6	化粧鋼板A0.6	化粧鋼板A0.6
金 物	自閉制御装置、オイルダンパー、引手ハンドル (樹脂製) L=450 ガイドローラー、引戸用錠、沓摺、付属金物一式	自閉制御装置、オイルダンパー、引手ハンドル (樹脂製) L=450 ガイドローラー、引戸用錠、沓摺、付属金物一式	自閉制御装置、オイルダンパー、引手ハンドル (樹脂製) L=450 ガイドローラー、引戸用錠、沓摺、付属金物一式	自閉制御装置、オイルダンパー、引手ハンドル (樹脂製) L=450 ガイドローラー、引戸用錠、沓摺、付属金物一式	自閉制御装置、オイルダンパー、引手ハンドル (樹脂製) L=450 ガイドローラー、引戸用錠、沓摺、付属金物一式
備 考	1階: 研修室2	2階: 倉庫3 1階: 倉庫2	1階: 倉庫1	1階: 研修室1、研修室2	2階: 研修室3
符号名称数量	⑥ LSD 片引キ軽量スチールドア (外付) 1	⑦ LSD 片引キ軽量スチールドア (外付) 1	⑧ LSD 片引キ軽量スチールドア (外付) 1	⑨ LSD 片引キ軽量スチールドア (外付) 2	⑩ LSD 片引キ軽量スチールドア (外付) 1
姿 図	有効開口 900 2,000 750 FL	有効開口 900 150 アルミガラリ 2,000 750	有効開口 810 2,000	有効開口 800 150 アルミガラリ 2,000 750	有効開口 800 150 2,000 750
見込 硝子	戸40 (枠220)	戸40 (枠220) 強化型ガラスA4	戸40 (枠220)	戸40 (枠220) 強化型ガラスA4	戸40 (枠220)
仕 上	化粧鋼板A0.6	化粧鋼板A0.6	化粧鋼板A0.6	化粧鋼板A0.6	化粧鋼板A0.6
金 物	自閉制御装置、オイルダンパー、引手ハンドル (樹脂製) L=450 ガイドローラー、引戸用錠、沓摺、付属金物一式	自閉制御装置、オイルダンパー、引手ハンドル (樹脂製) L=450 ガイドローラー、大型サムターン、表示錠、沓摺、付属金物一式	自閉制御装置、オイルダンパー、引手ハンドル (樹脂製) L=450 ガイドローラー、引戸用錠、沓摺、付属金物一式	自閉制御装置、オイルダンパー、引手ハンドル (樹脂製) L=450 ガイドローラー、引戸用錠、沓摺、付属金物一式	自閉制御装置、オイルダンパー、引手ハンドル (樹脂製) L=450 ガイドローラー、引戸用錠、沓摺、付属金物一式
備 考	2階: 管理室	1階: 多目的便所	1階: 倉庫1	2階: 給湯室2 1階: 給湯室1	2階: 給湯室2
符号名称数量	⑪ LSD 片引キ軽量スチールドア (外付) 4	⑫ LSD 片引キ軽量スチールドア (外付) 1	⑬ LSD スチール点検ドア 2		
姿 図	有効開口 800 150 アルミガラリ 2,000 750	有効開口 900 1,500	400 600		
見込 硝子	戸40 (枠220) 強化型ガラスA4	戸40 (枠220)	戸30 (枠105)		
仕 上	化粧鋼板A0.6	化粧鋼板A0.6	スチールA1.6 SOP		
金 物	自閉制御装置、オイルダンパー、引手ハンドル (樹脂製) L=450 ガイドローラー、沓摺、付属金物一式	自閉制御装置、オイルダンパー、引手ハンドル (樹脂製) L=450 ガイドローラー、引戸用錠、沓摺、付属金物一式	平面ハンドル錠、丁番、戸当りゴム、スチール四方枠、付属金物一式		
備 考	2階: 男子便所2、女子便所2 1階: 男子便所1、女子便所1	1階: 階段下物入	1階: 多機能便所、男子便所		

特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士 第117489号 前野 初俊 一級建築士 第320204号 前野 将輝

一級建築士 第307846号 三橋 五百子
一級建築士 第360917号 前田 祐作

一級建築士 第304509号 水谷 浩

設計年月日 工事名称 (仮称)津市豊が丘会館副館建築工事

図面名称 建具表No.3

図面番号 A-41 (原図:A2)

縮尺 1/50

符号名称数量	① TB トイレブース 1	② TB トイレブース 1	③ TB トイレブース 1	④ TB トイレブース 1	⑤ TB トイレブース 1
姿 図					
見込 硝子	40	40	40	40	40
仕 上	メラミン化粧板貼	メラミン化粧板貼	メラミン化粧板貼	メラミン化粧板貼	メラミン化粧板貼
金 物	表示付スライドラッチ、グレビティJ番、ステンレス巾木、非常時外開き開放アルミ頭ツナギ(フタ付)、アルミRエッジ、付属金物一式	取手、グレビティJ番、ステンレス巾木、アルミ頭ツナギ(フタ付)、アルミRエッジ、付属金物一式	表示付スライドラッチ、取手、グレビティJ番、ステンレス巾木、非常時外開き開放アルミ頭ツナギ(フタ付)、アルミRエッジ、付属金物一式	表示付スライドラッチ、グレビティJ番、ステンレス巾木、非常時外開き開放アルミ頭ツナギ(フタ付)、アルミRエッジ、付属金物一式	取手、グレビティJ番、ステンレス巾木、アルミ頭ツナギ(フタ付)、アルミRエッジ、付属金物一式
備 考	1階：女子便所1	1階：女子便所1	1階：男子便所1	2階：女子便所2	2階：女子便所2
符号名称数量	⑥ TB トイレブース 1				
姿 図					
見込 硝子	40				
仕 上	メラミン化粧板貼				
金 物	表示付スライドラッチ、グレビティJ番、ステンレス巾木、非常時外開き開放アルミ頭ツナギ(フタ付)、アルミRエッジ、付属金物一式				
備 考	2階：男子便所2				
符号名称数量					
姿 図					
見込 硝子					
仕 上					
金 物					
備 考					

特記事項



一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士 第117489号 前野 初 像 一級建築士 第320204号 前野 将 輝

一級建築士 第307846号 三橋 五百子
一級建築士 第360917号 前田 祐作

一級建築士 第304509号 水谷 浩

設計年月日 工事名称
図面名称

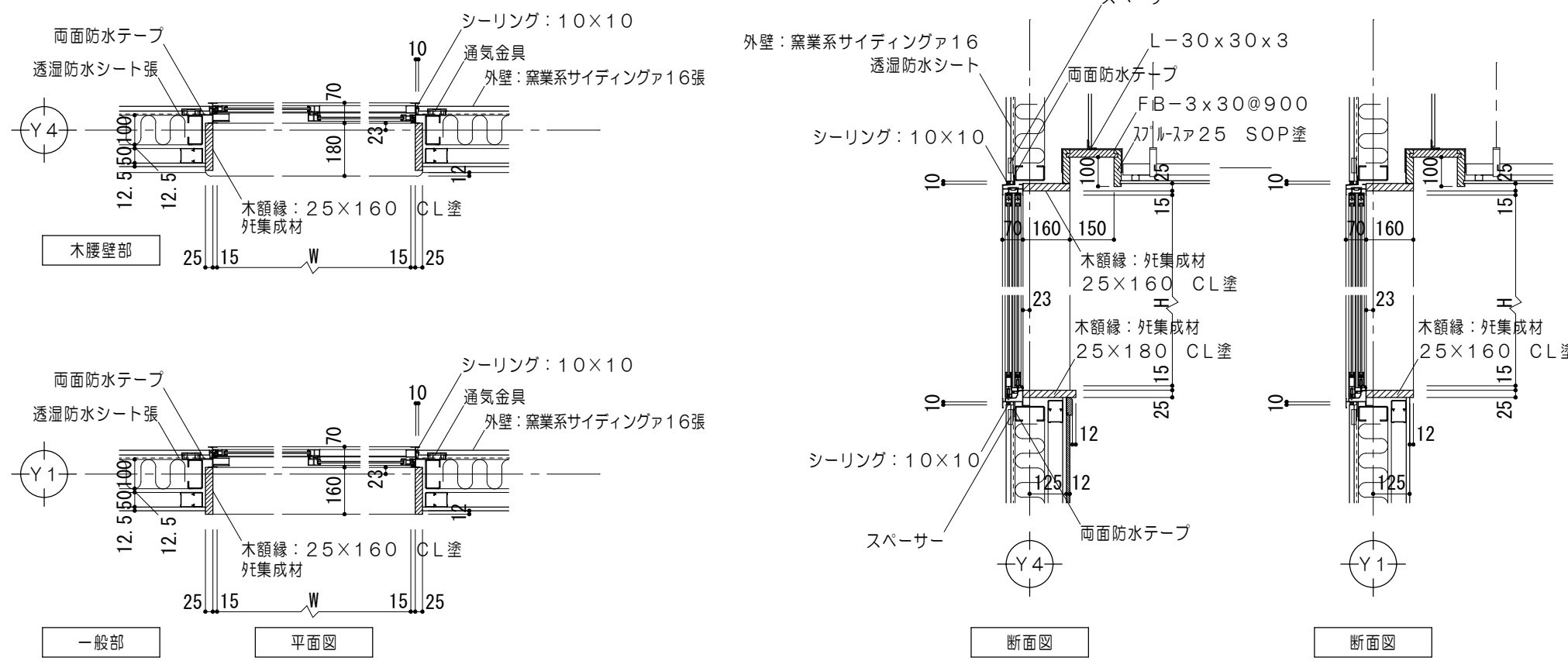
(仮称)津市豊が丘会館別館建築工事
建具表No. 4

図面番号 A-42 (原図:A2)
縮 尺 1/50

各部詳細図 No. 1

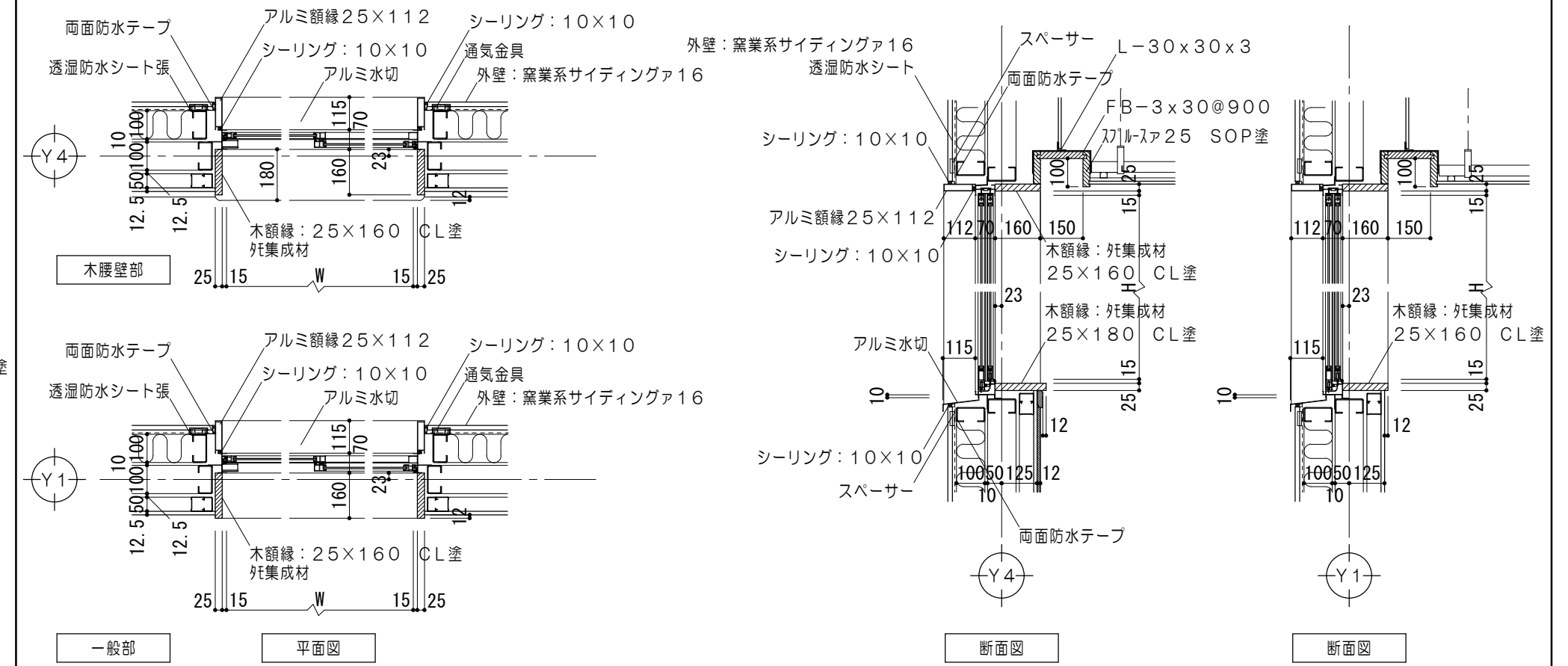
①D アルミサッシ詳細図（窯業系サイディング）＜一般部＞

1/20



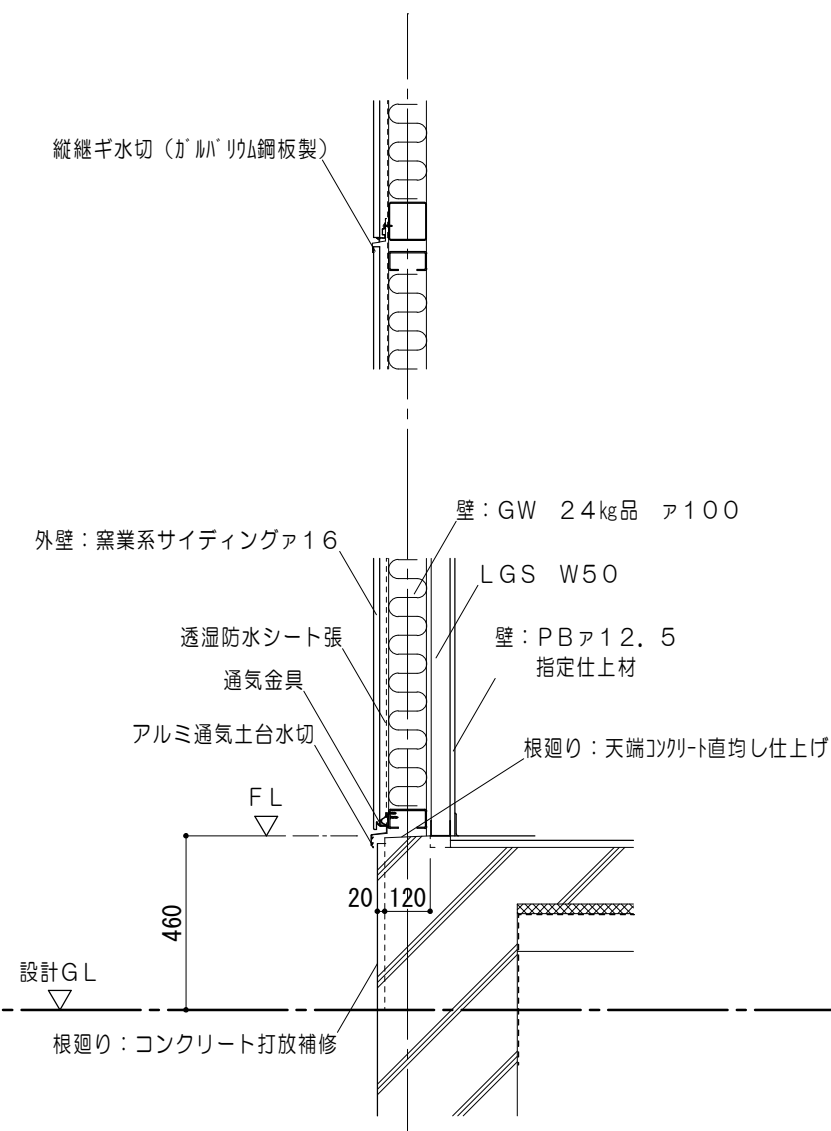
②D アルミサッシ詳細図（窯業系サイディング）＜AD3・AW1・AW4＞

1/20



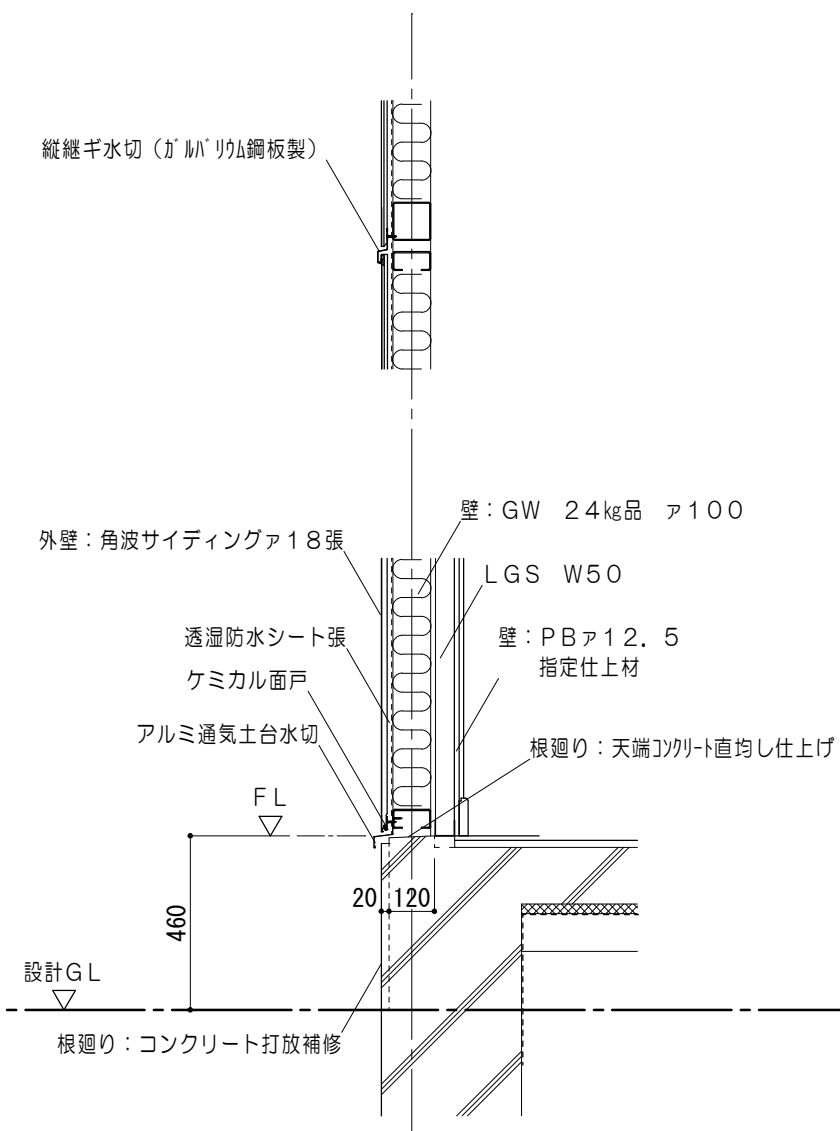
③D 窯業系外壁詳細図（基礎・縦継ぎ部）

1/20



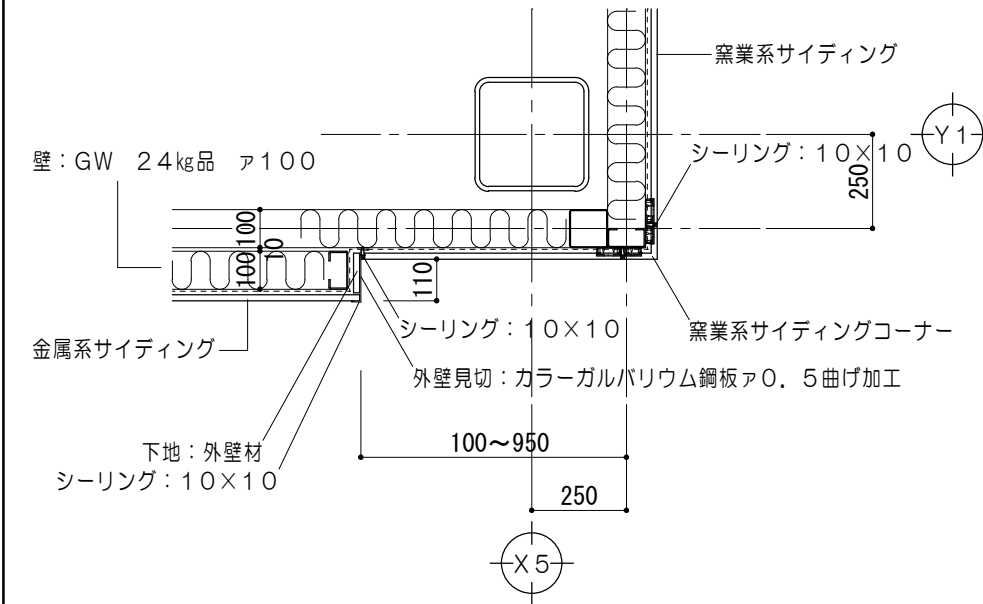
④D 角波サイディング詳細図（基礎・縦継ぎ部）

1/20



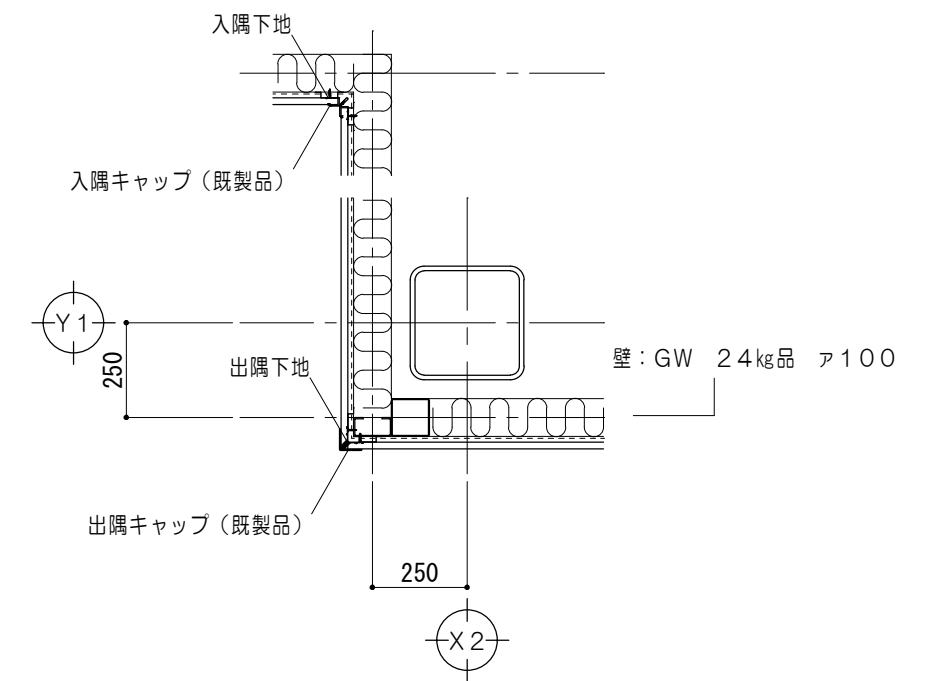
⑤D 窯業系外壁コーナー部詳細図

1/20



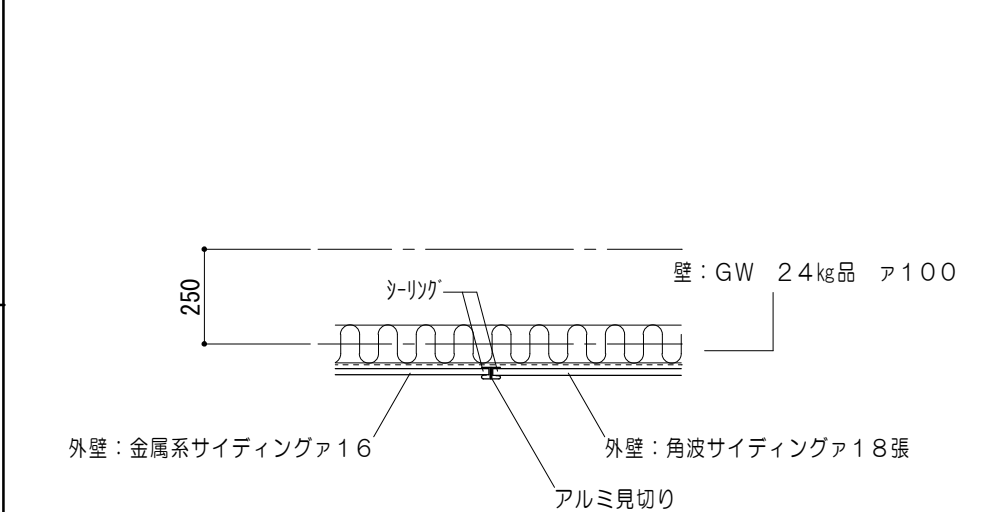
⑥D 金属系外壁コーナー部詳細図

1/20



⑥A D 金属系外壁一角波サイディング取合詳細図

1/20



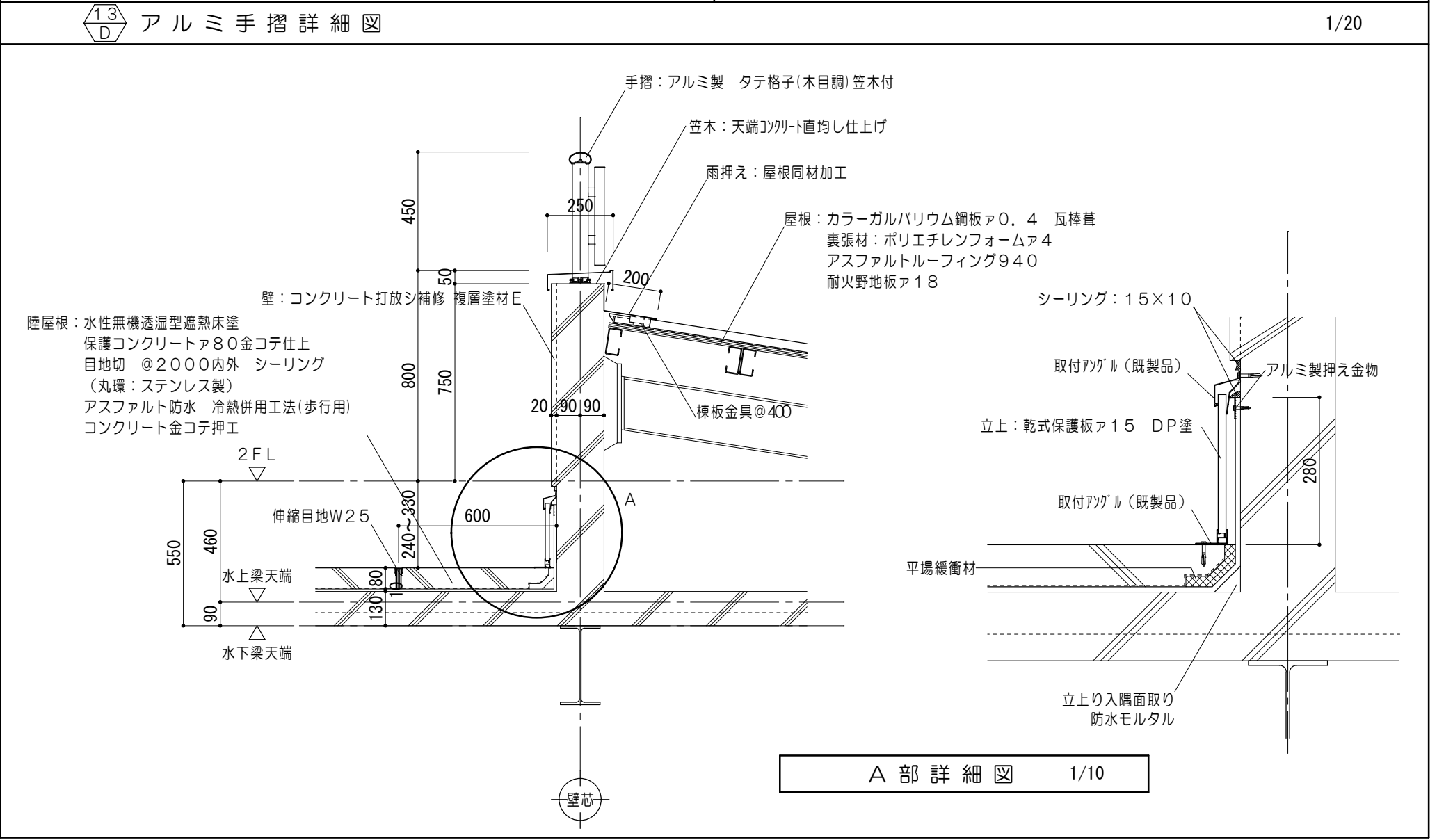
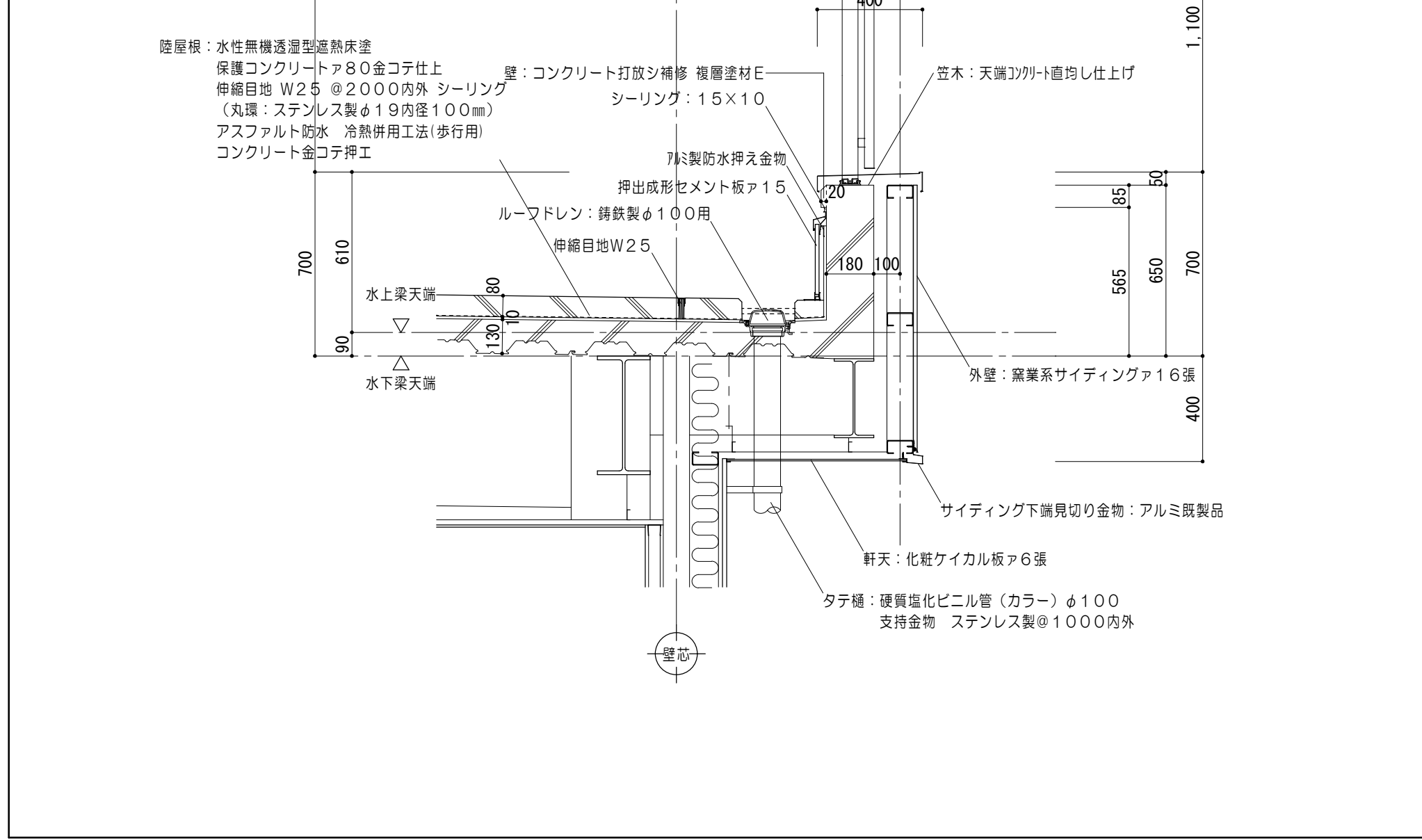
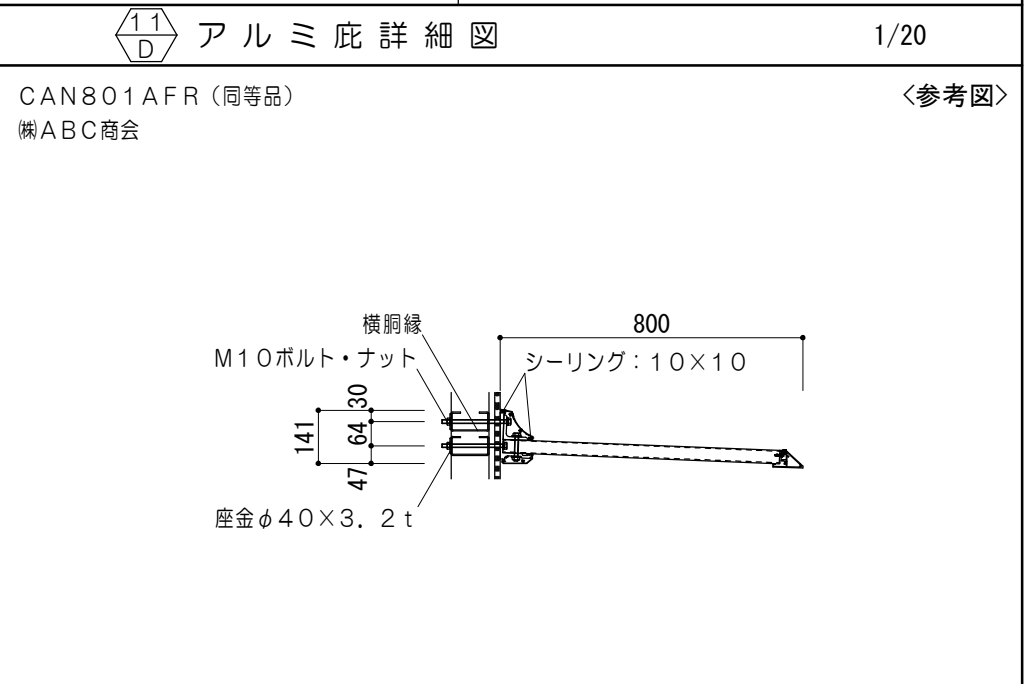
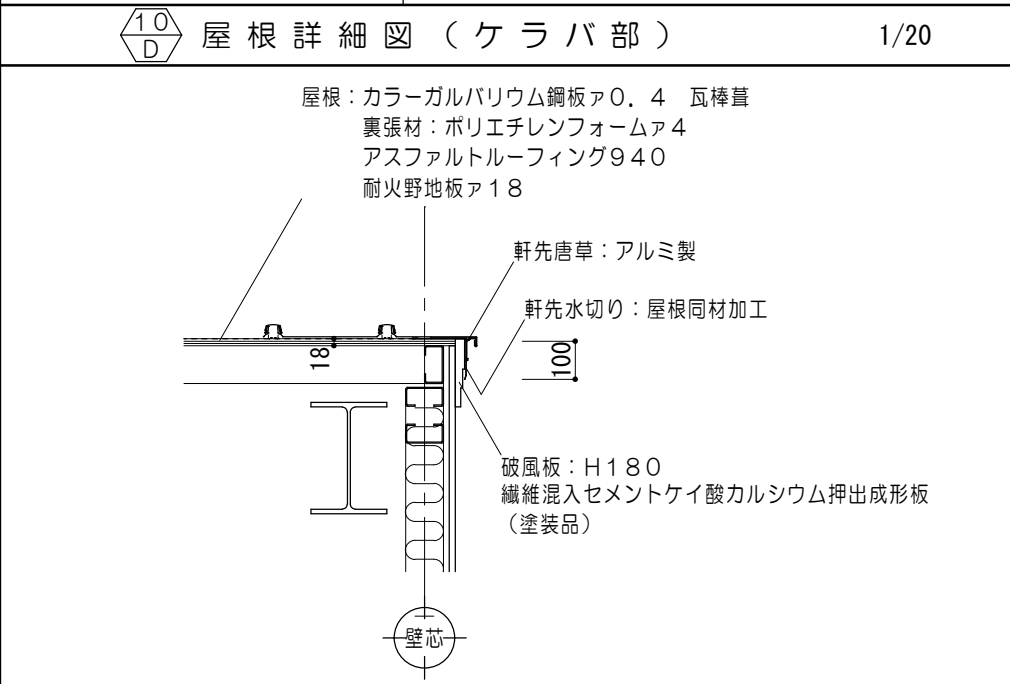
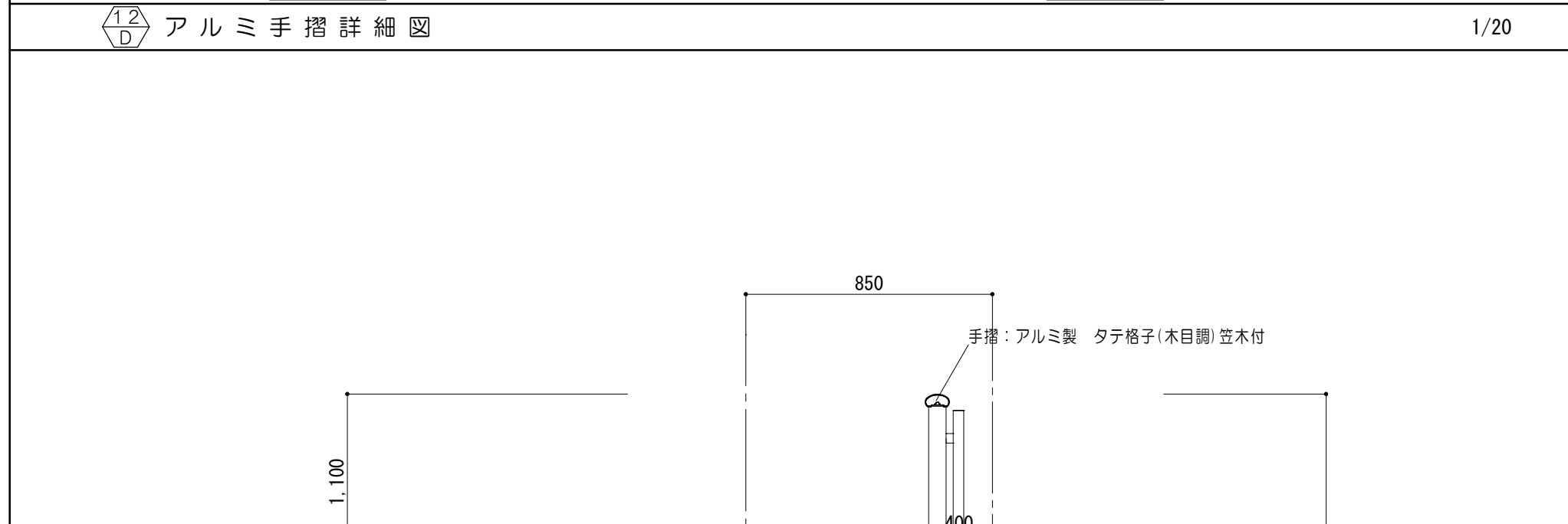
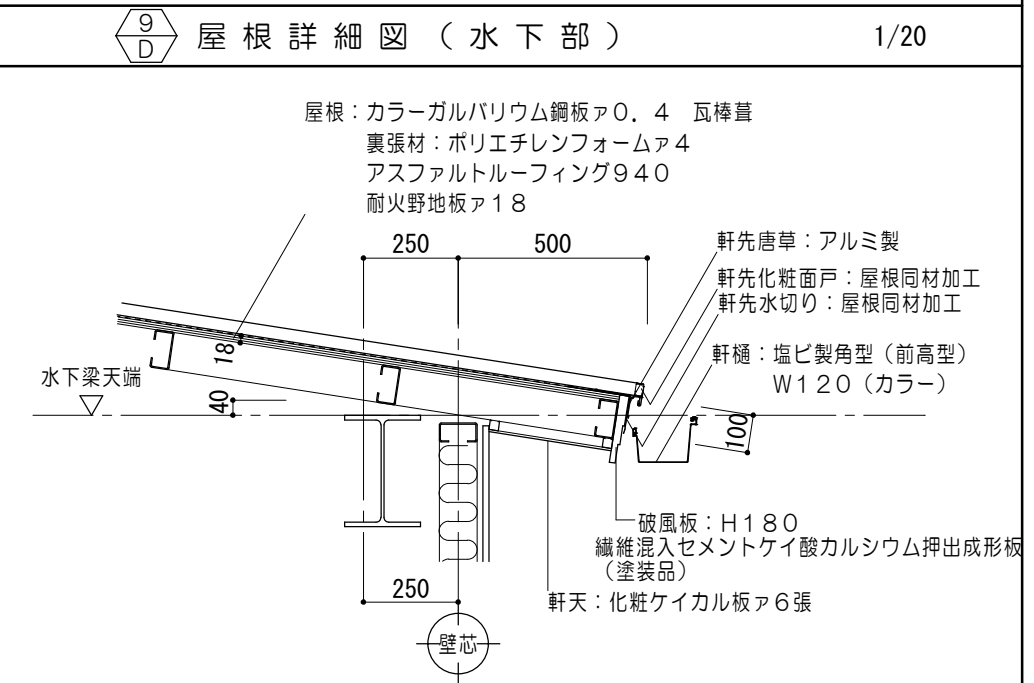
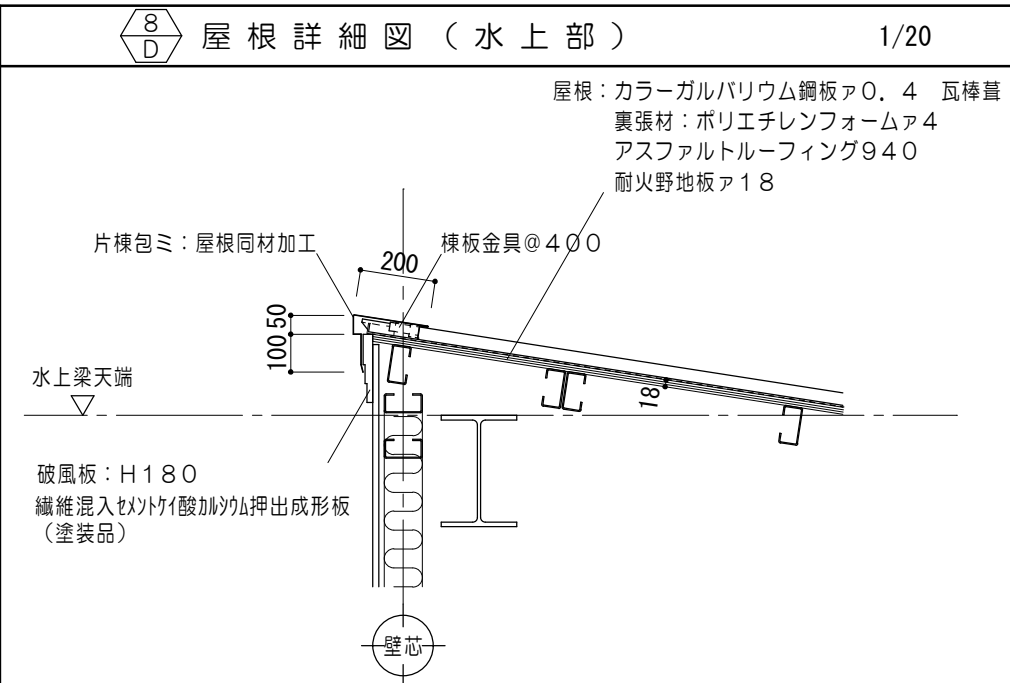
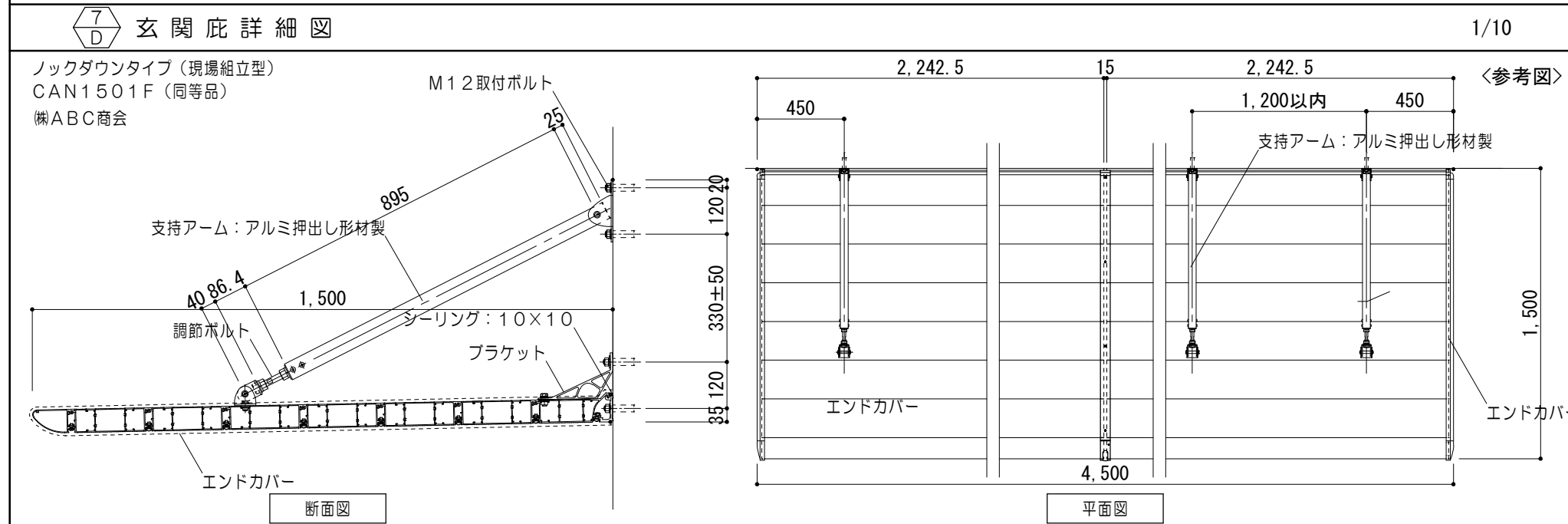
特記事項	
------	--

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
前野建築設計
 株式会社
 一級建築士 第117489号 前野 初俊
 一級建築士 第320204号 前野 将輝

一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第304509号 水谷 浩
一級建築士 第360917号 前田 祐作	

設計年月日	工事名称	(仮称) 津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	A-43 (原図: A2)
	図面名称	各部詳細図No. 1	縮尺	1/20

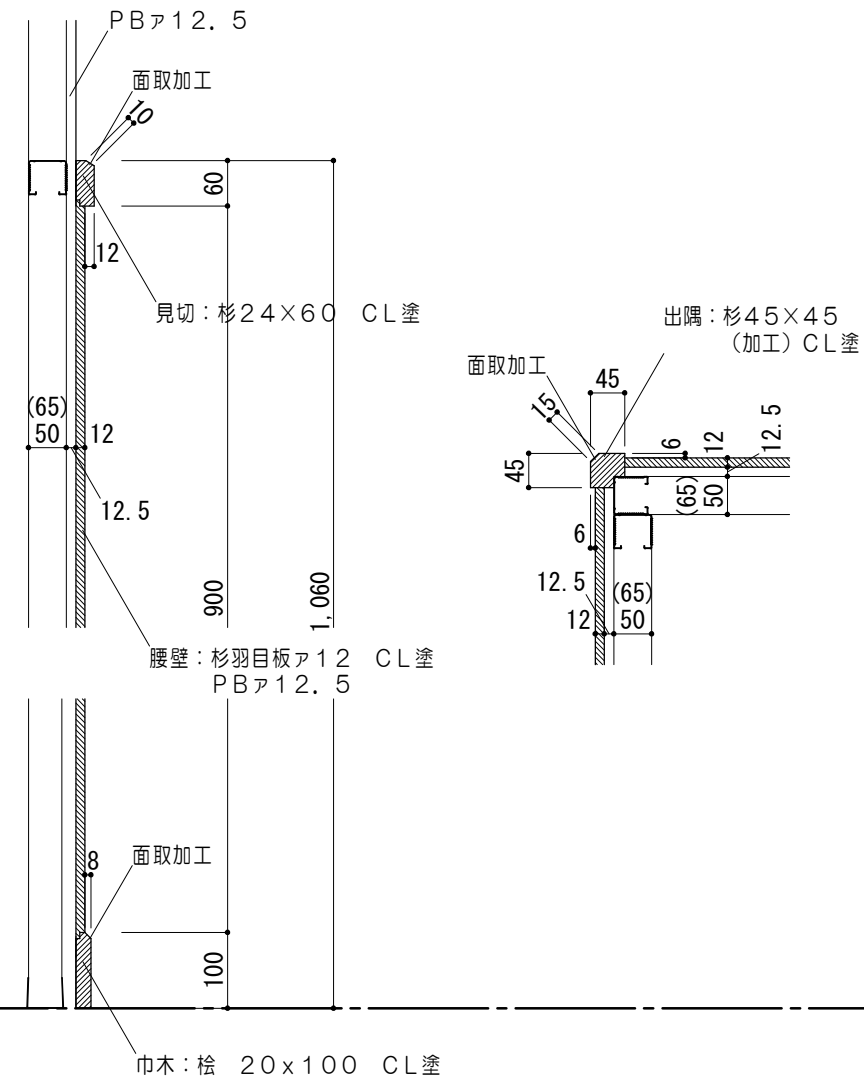
各部詳細図 No. 2



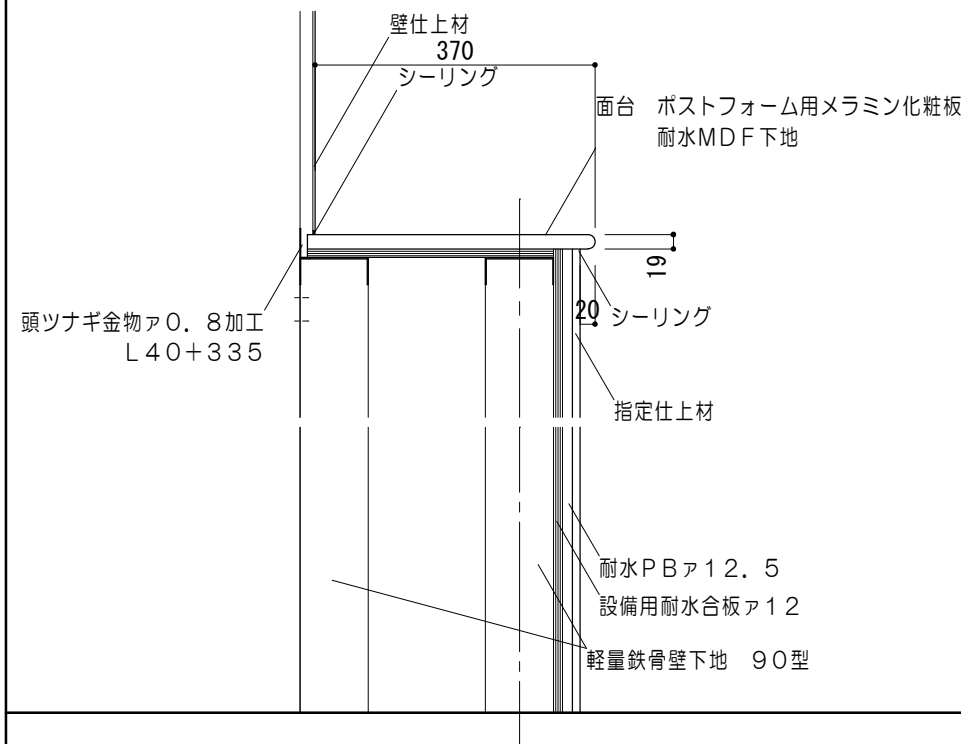
特 記 事 項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	(仮称)津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	A-44 (原図:A2)
	株式会社 前野建築設計	一級建築士 第360917号 前田 祐作			図面名称	各部詳細図No.2	縮尺	1/20
	一級建築士 第117489号 前野 初俊	一級建築士 第320204号 前野 将輝						

各部詳細図 No. 3

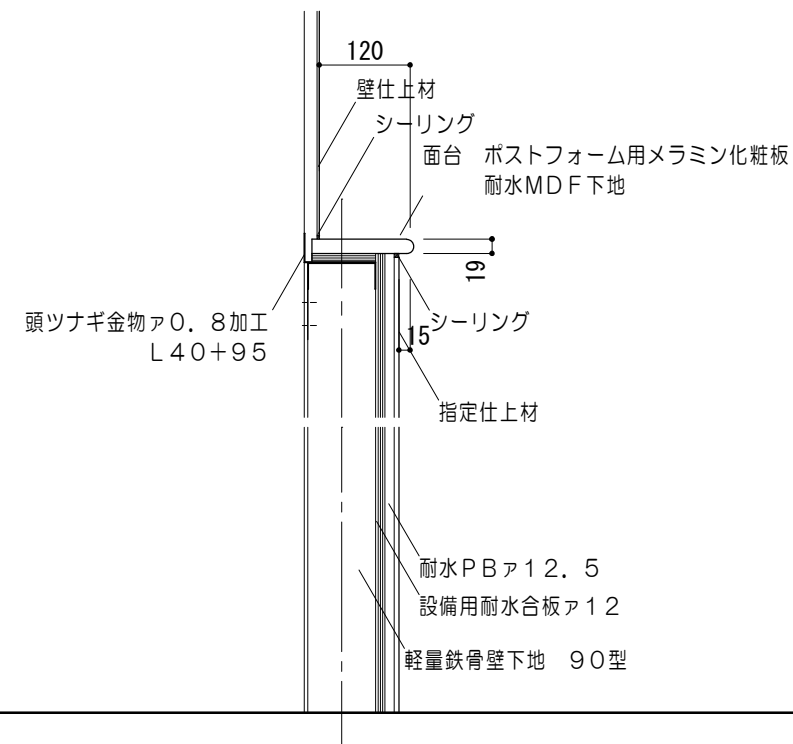
14/D 木壁詳細図 (研修室・廊下) 1/10



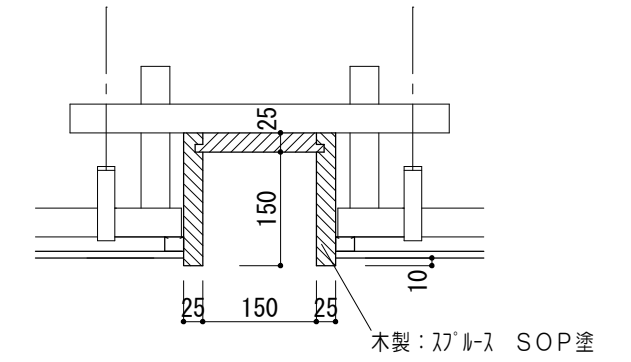
15/D ポストフォーム面台 (男子便所2) 1/10



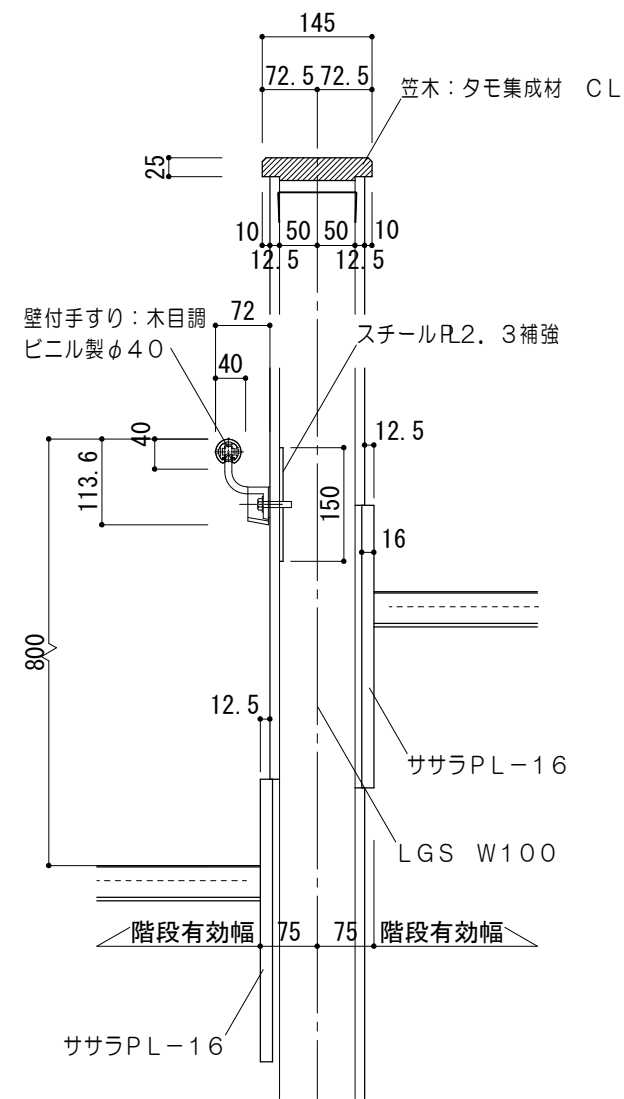
16/D ポストフォーム面台 (一般部) 1/10



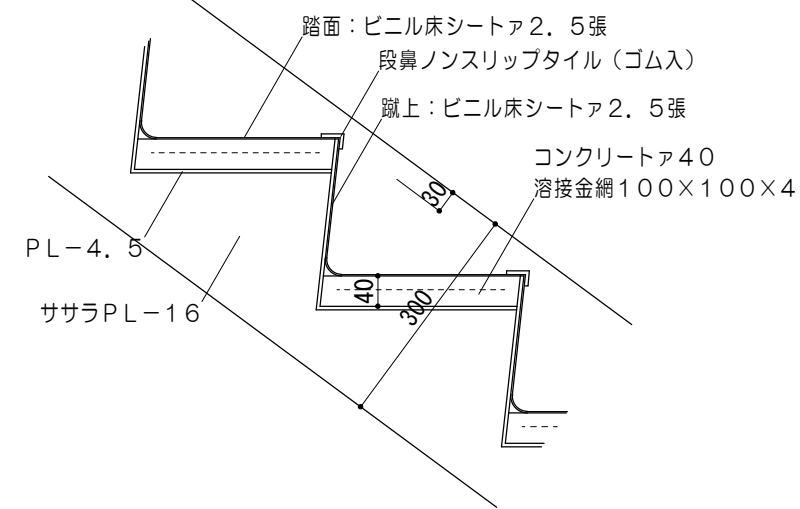
17/D スクリーンボックス 1/10



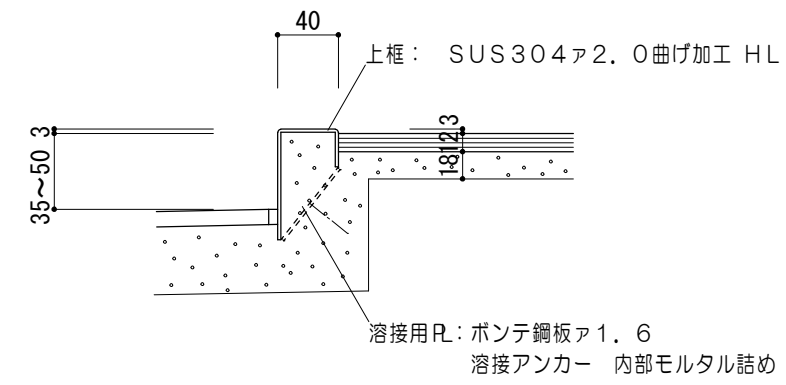
18/D 階段笠木詳細図 1/10



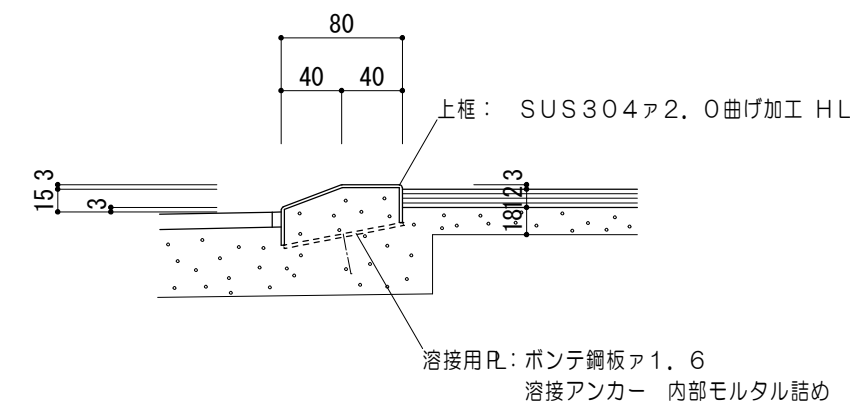
19/D 階段詳細図 1/10



20/D 上框詳細図 1/10



21/D スロープ上框詳細図 1/5



特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
 株式会社 前野建築設計
 一級建築士 第117489号 前野 初俊 一級建築士 第320204号 前野 将輝

一級建築士 第307846号 三橋 五百子
 一級建築士 第360917号 前田 祐作

一級建築士 第304509号 水谷 浩

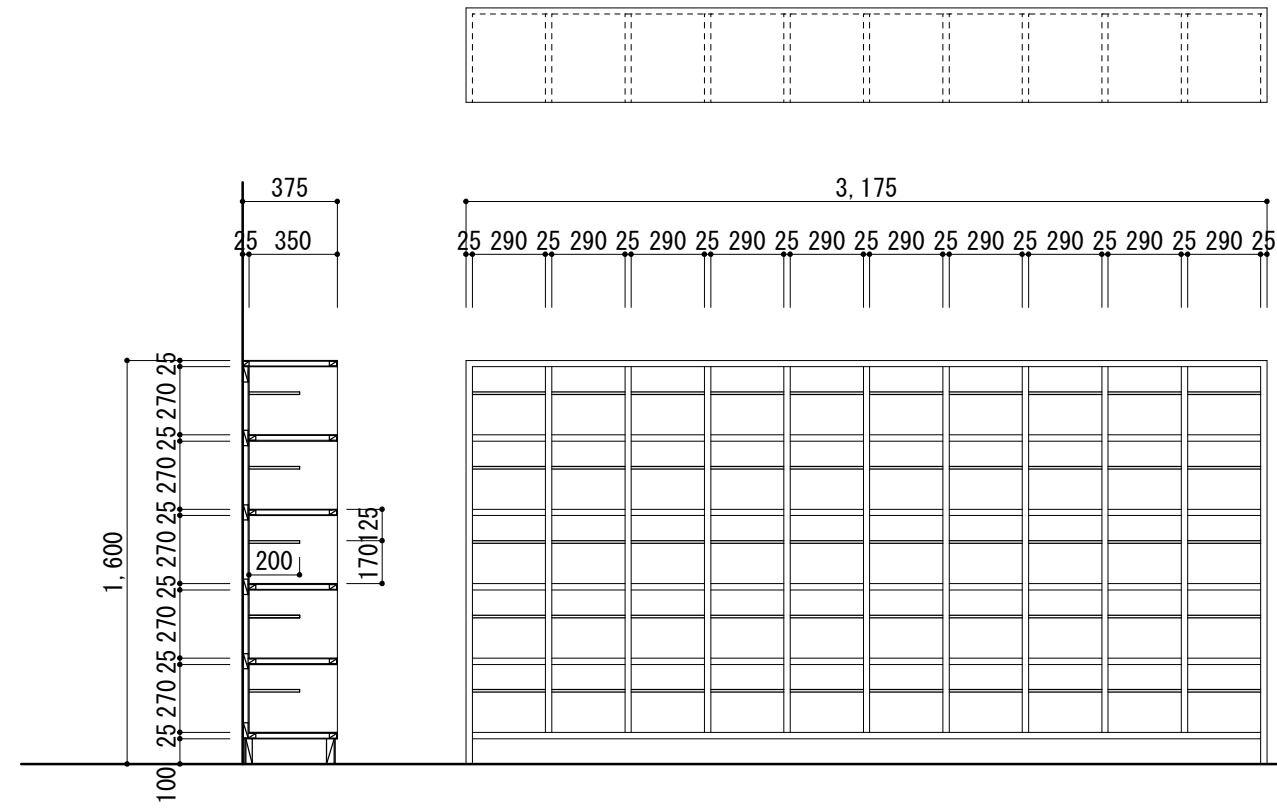
設計年月日 工事名称 (仮称) 津市豊が丘会館別館建築工事
 図面名称 各部詳細図No.3
 図面番号 A-45 (原図:A2)
 縮尺 1/10

22/D 下駄箱詳細図

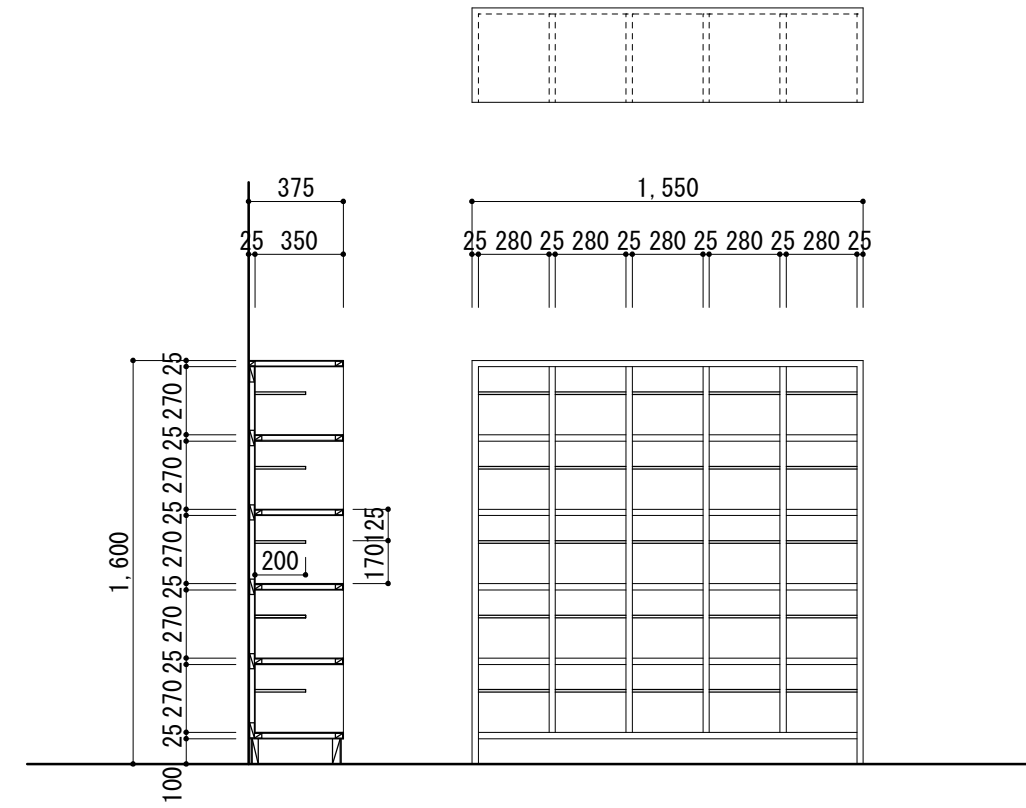
1/30

23/D 下駄箱詳細図

1/30



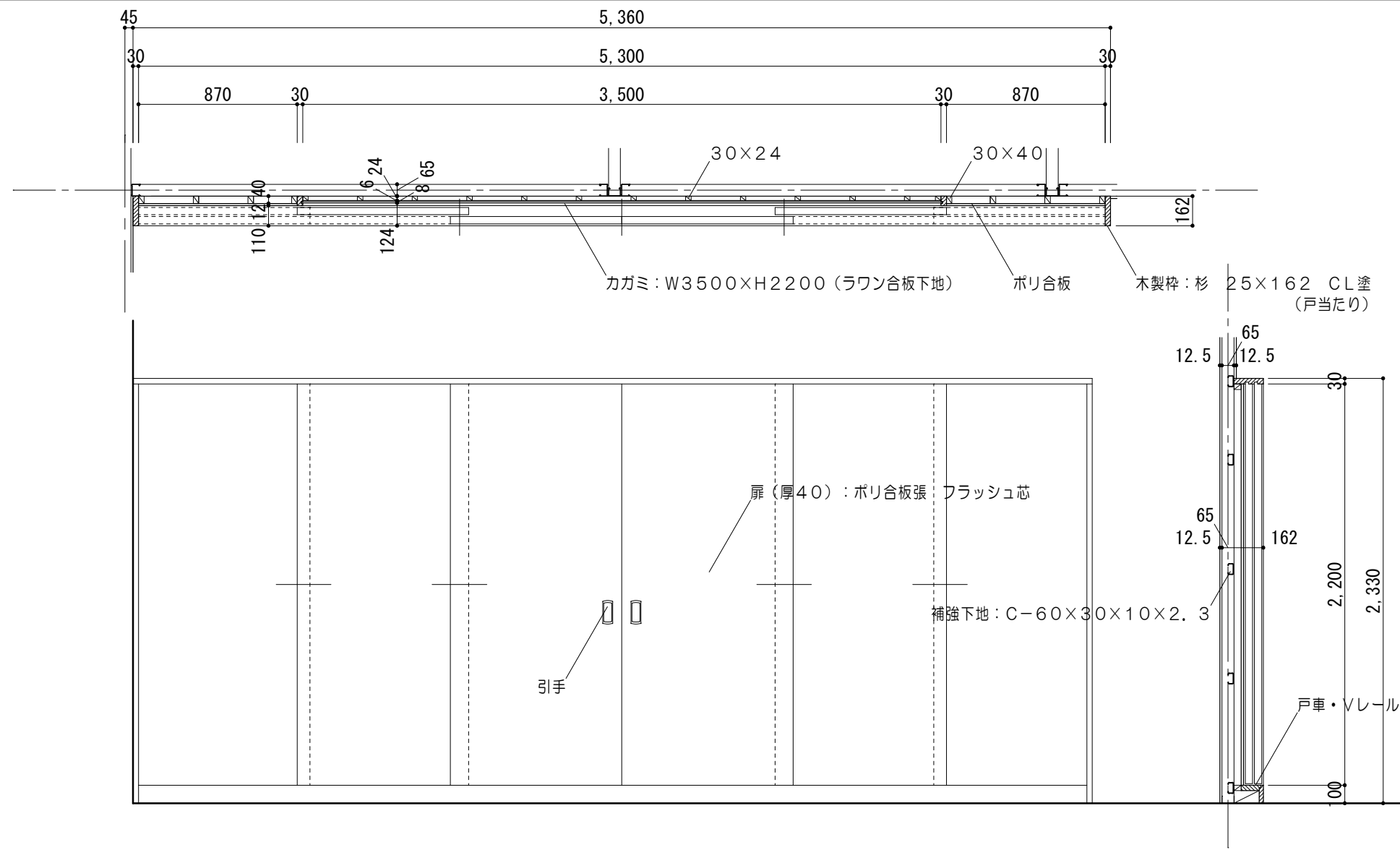
数	1ヶ所	
仕 様	天板	化粧メラミンパーティクルボード ア25 エッジ：セフティーエッジ ア3
	本体	化粧メラミンパーティクルボード ア25 エッジ：樹脂シート ア0.45
	側板	ポリエステル樹脂合板ア4 片面フラッシュ
	棚板	化粧メラミンパーティクルボード ア20
	裏板	ポリエステル樹脂合板ア4 片面フラッシュ
	巾木	化粧メラミンパーティクルボード ア20



数	1ヶ所	
仕 様	天板	化粧メラミンパーティクルボード ア25 エッジ：セフティーエッジ ア3
	本体	化粧メラミンパーティクルボード ア25 エッジ：樹脂シート ア0.45
	棚板	化粧メラミンパーティクルボード ア20
	裏板	ポリエステル樹脂合板ア4 片面フラッシュ
	巾木	化粧メラミンパーティクルボード ア20

25/D 鏡詳細図

1/30



特
記
事
項



一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

株式会社 前野建築設計

一級建築士 第117489号 前野 初俊

一級建築士 第320204号 前野 将輝

一級建築士 第307846号

三橋 五百子

一級建築士 第360917号
前田 祐作

一級建築士 第304509号

水谷 浩

設計年月日

工事名称

(仮称) 津市豊が丘会館別館建築工事

図面名称

各部詳細図No. 4

図面番号

A-46
(原図:A2)

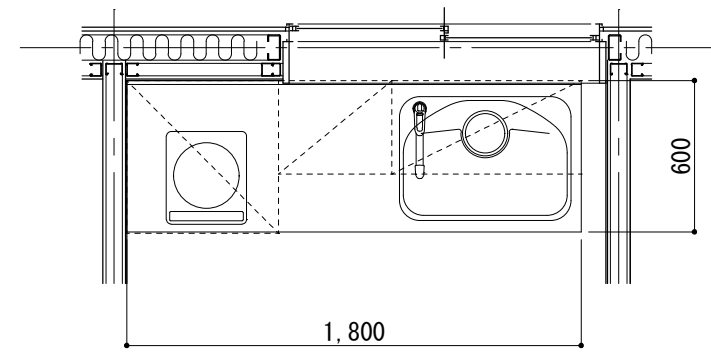
縮尺

1/20

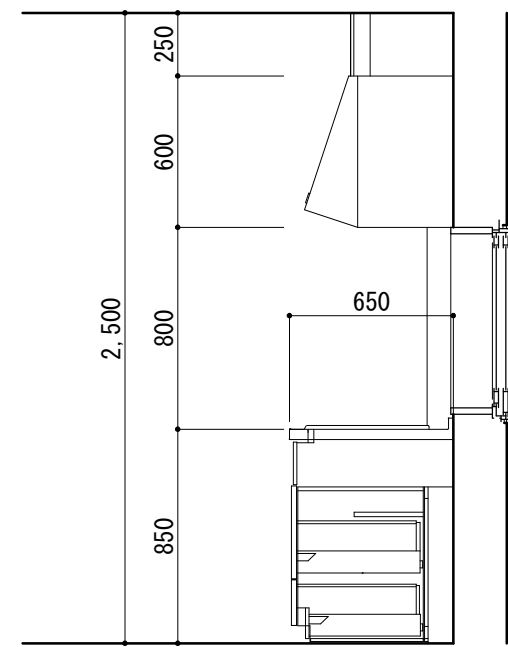
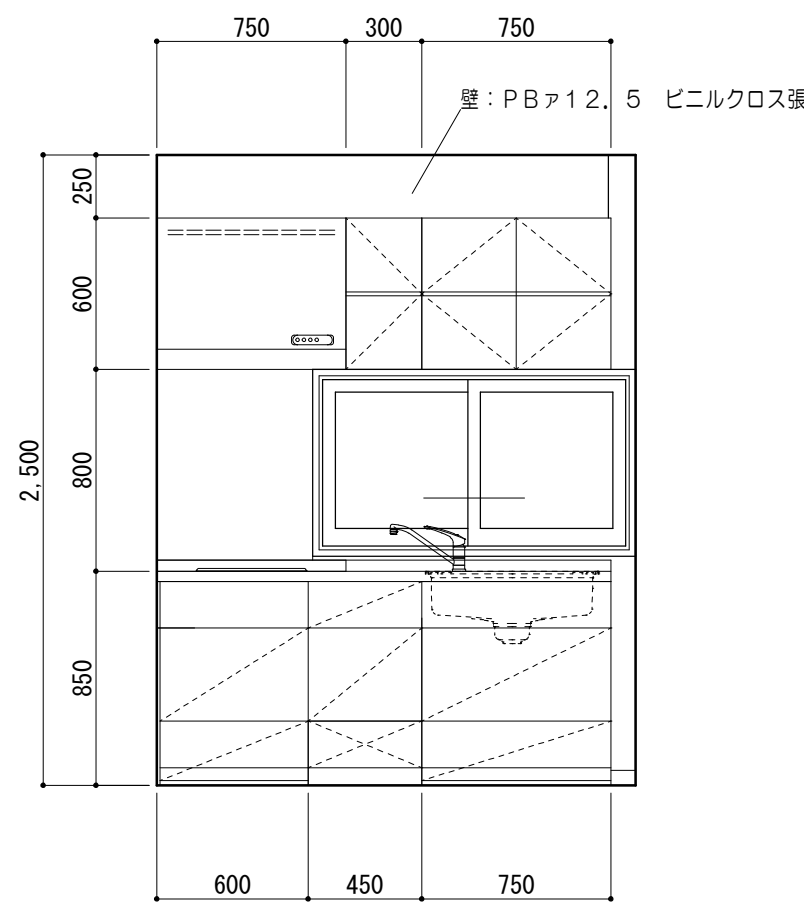
26/D キッチン詳細図

1/30

参考図



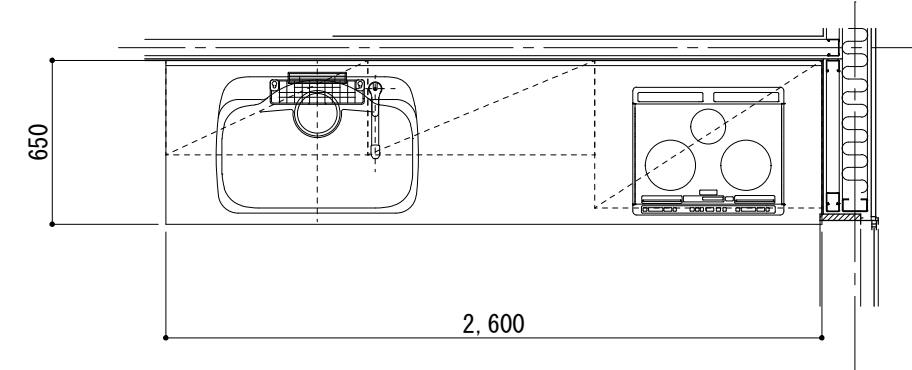
システムキッチン 仕様	
天板	ステンレス
扉	グループ1 ファミリアシリーズ
レンジ	ビルトインIHクッキングヒーター
水栓	シングルレバー混合栓
その他	トラップ
参考品名	LIXIL テオ 同等品



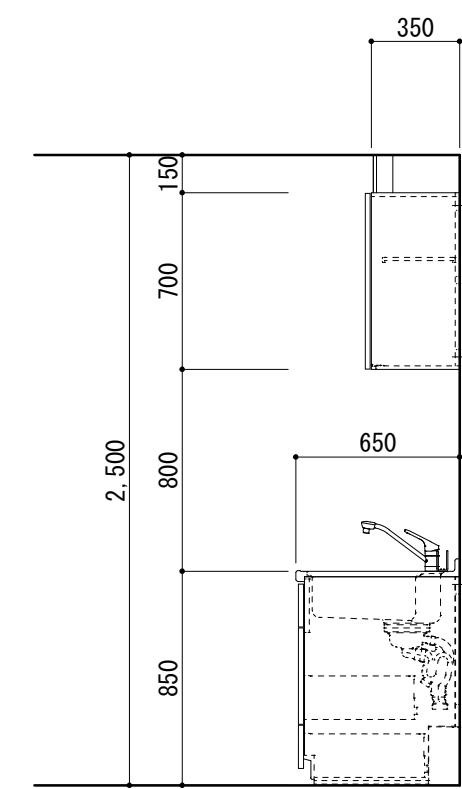
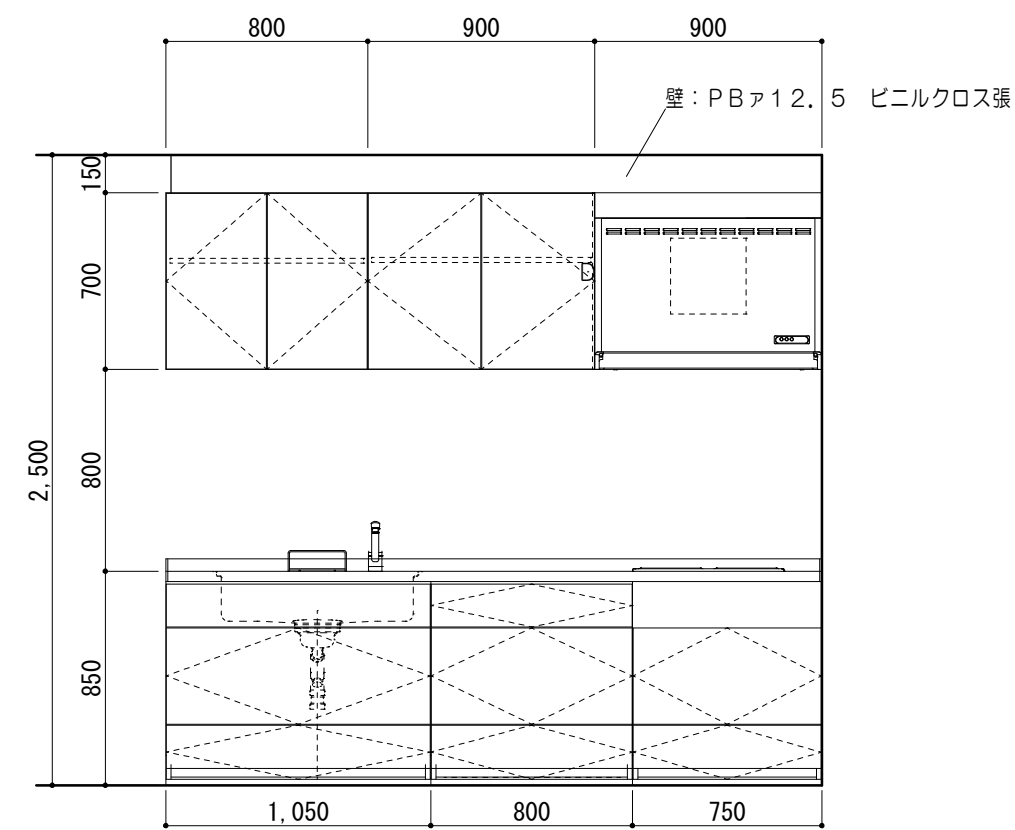
27/D キッチン詳細図

1/30

参考図



システムキッチン 仕様	
天板	ステンレス
扉	グループ3 ミストラインシリーズ
レンジ	ビルトインIHクッキングヒーター
水栓	シングルレバー混合栓
その他	トラップ
参考品名	LIXIL シエラ 同等品



28/D 館名板詳細図

1/10

ステンレス箱文字 180×180

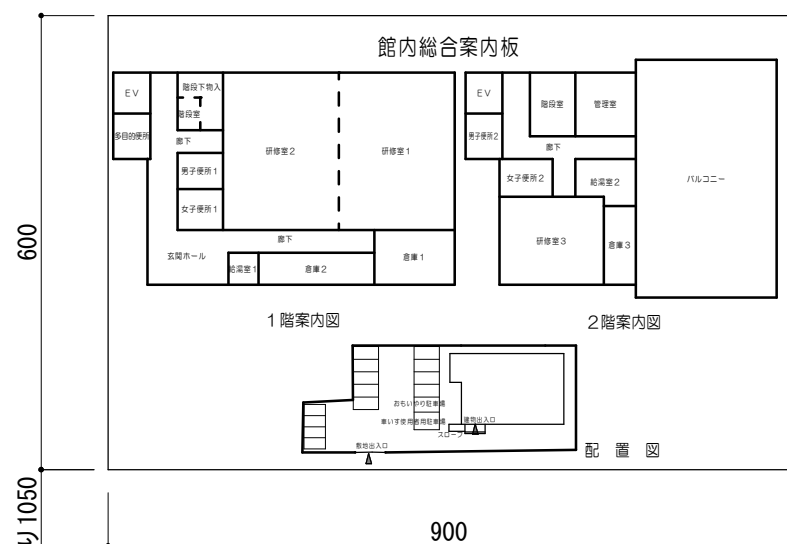
おおぞら会館

豊が丘会館別館

ステンレス箱文字 120×120

案内板

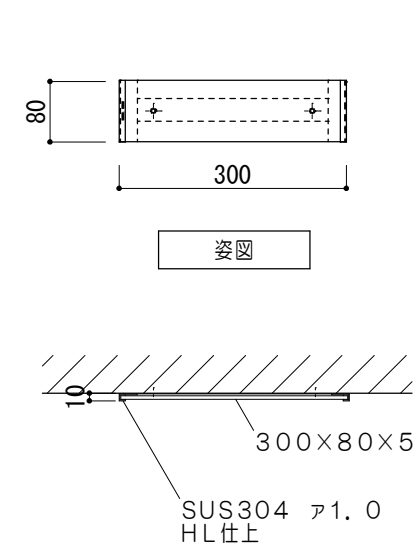
1/10



※レイアウト、内容は監督員と協議すること
※本体：アクリル板ア5
※表示：カッティングシート
(点字もしくは文字等の浮き彫り)

29/D 室名札(平付)

1/10

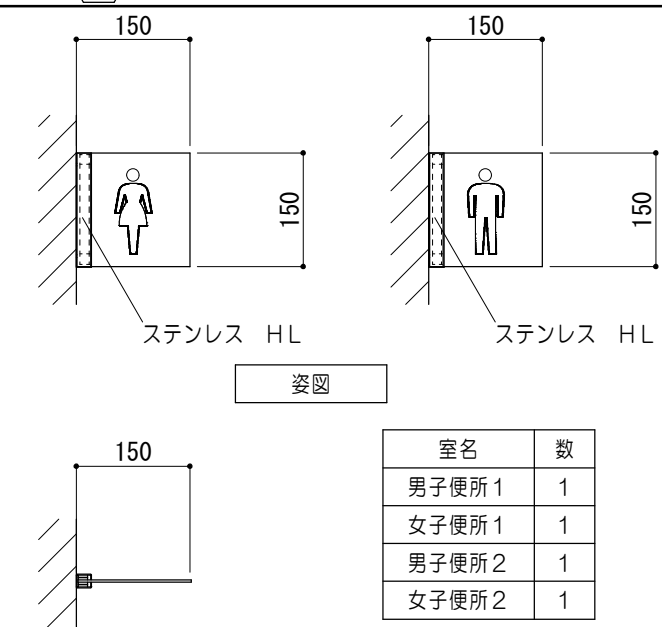


室名	数
研修室1	1
研修室2	1
階段下物入	1
給湯室1	1
倉庫1	1
倉庫2	1
研修室3	1
管理室	1
給湯室2	1
倉庫3	1

※基材：アクリル板ア5
※表示：カッティングシート

30/D ピクトサイン(突出シ)

1/10

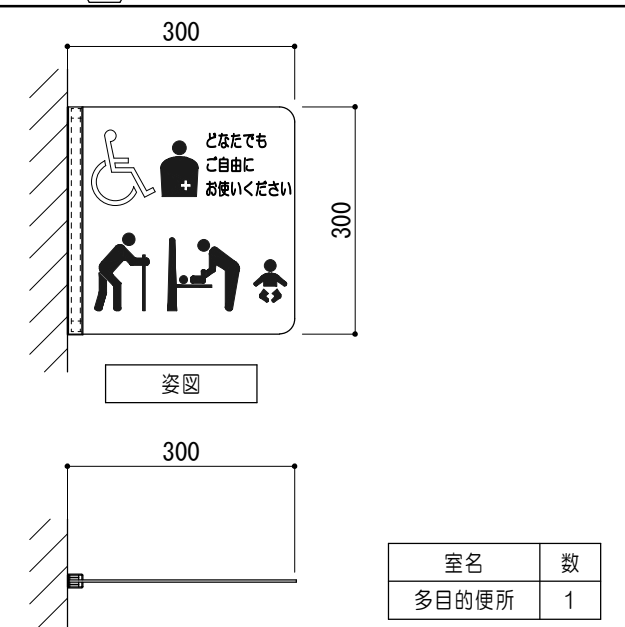


室名	数
男子便所1	1
女子便所1	1
男子便所2	1
女子便所2	1

※基材：アクリル板ア5
※表示：カッティングシート

31/D ピクトサイン(突出シ)

1/10



室名	数
多目的便所	1

※基材：アクリル板ア5
※表示：カッティングシート

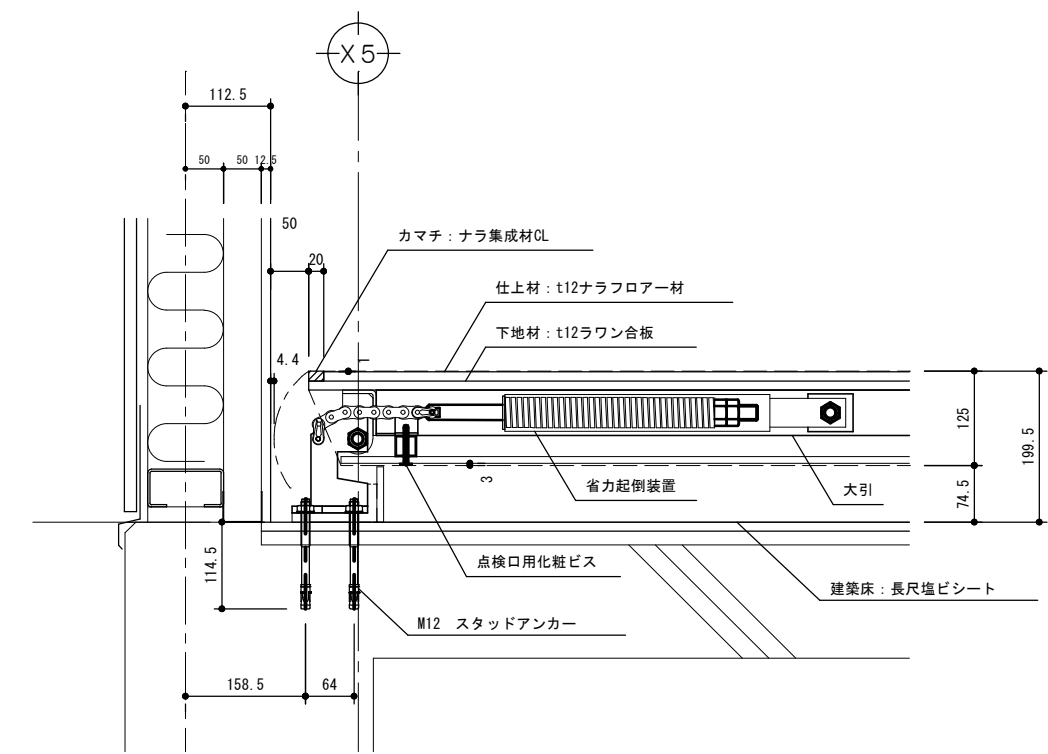
特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士 第117489号 前野 初俊 一級建築士 第320204号 前野 将輝

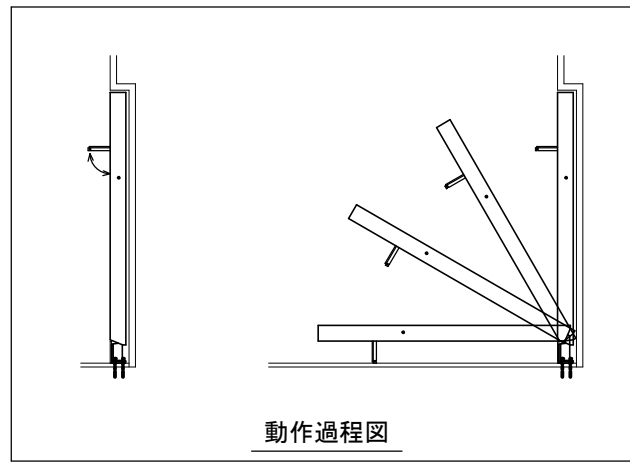
一級建築士 第307846号 三橋 五百子
一級建築士 第360917号 前田 祐作

一級建築士 第304509号 水谷 浩

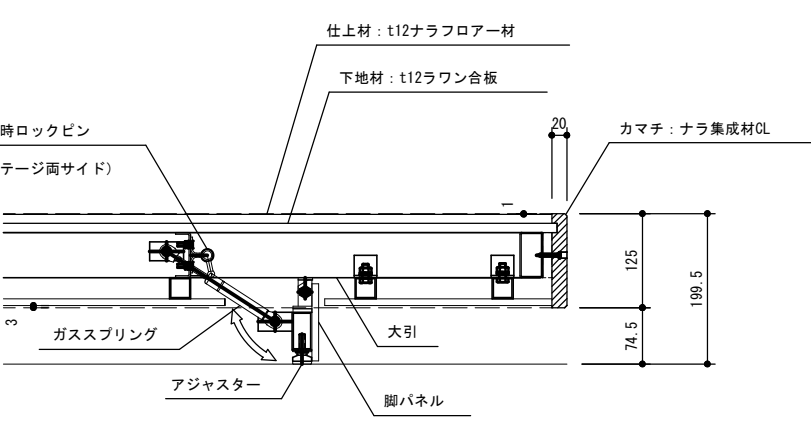
設計年月日 工事名称 (仮称)津市豊が丘会館別館建築工事 図面番号 A-47 (原図:A2)
図面名称 各部詳細図 No. 5 縮尺 1/10.30



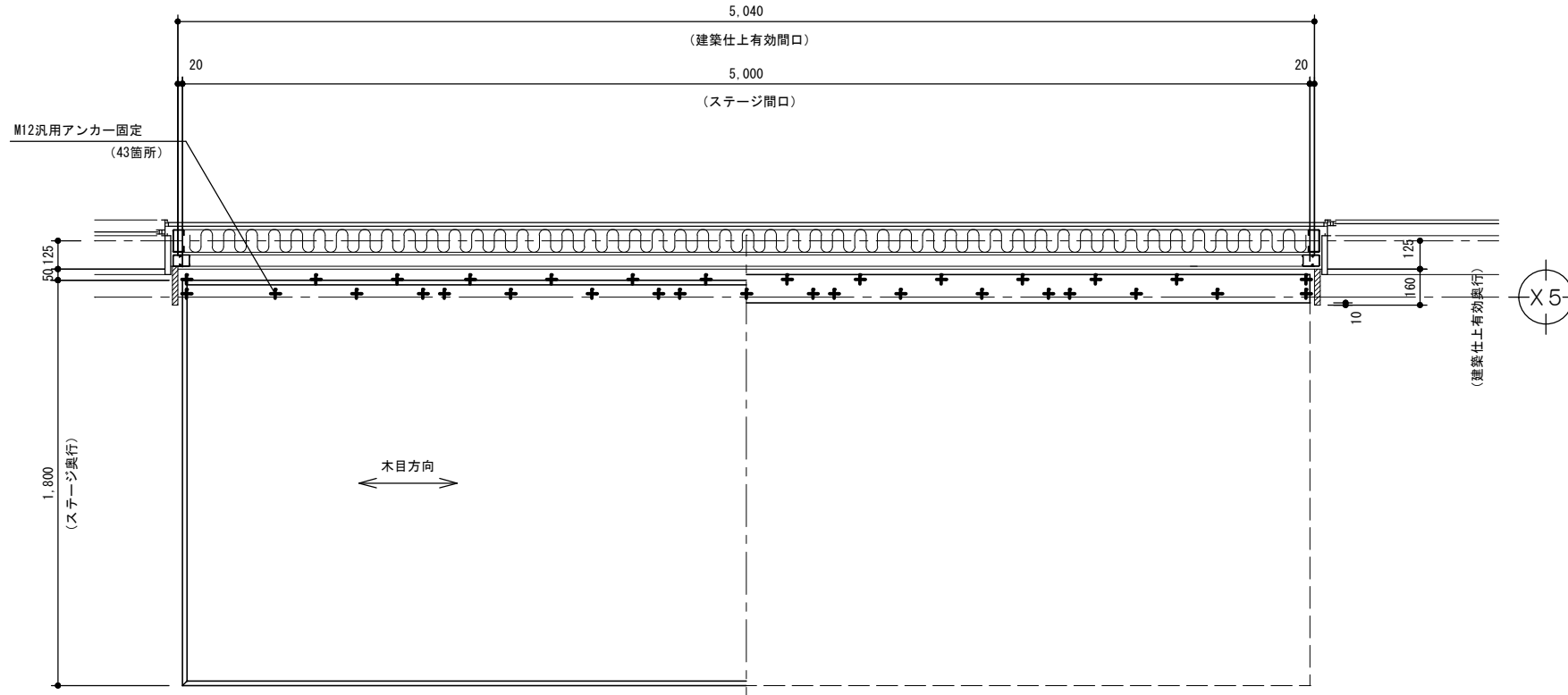
A部詳細図 (S=1:10)



動作過程図



B部詳細図 (S=1:10)



展開時平面図

収納時平面図

手動式壁面収納ハネアゲステーシ

ステージサイズ	W: 5000 D: 1800 H: 200 (mm)
最大積載荷重	
最小操作人員	4名

参考図

本体主要構成部品

品名	仕様	備考
フローア材	t12ナラフローリング化粧合板	F☆☆☆☆
下地材	t12ラワン合板	F☆☆☆☆
カマチ	ナラ集成材	クリアラッカー塗装
ステージ裏面下地	t9シナ合板またはt6ラワン合板	F☆☆☆☆
省力駆動装置	偏平線コイルバネ+チェーン	
収納時ロックピン	丸薄とし式	
脚パネルダンパー	ガススプリング	
脚先アジャスター	レベルアジャスター	

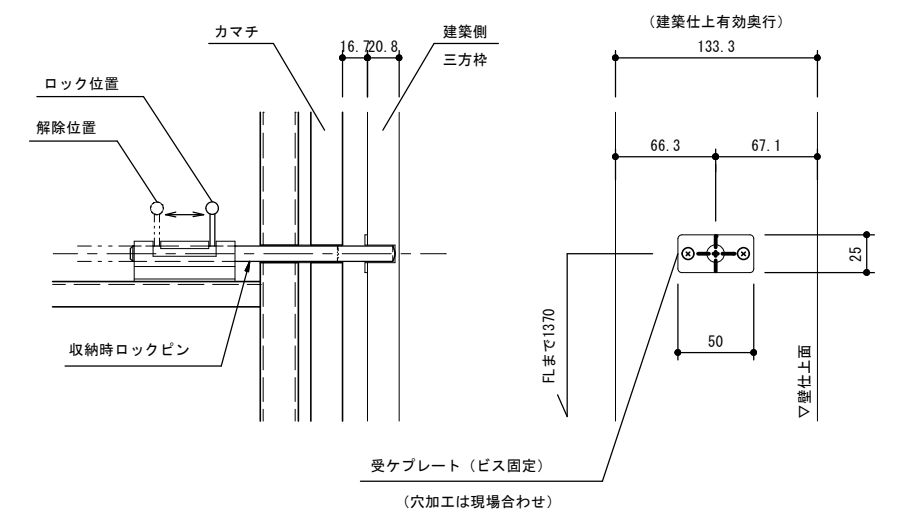
本体主要構成フレーム

品名	仕様	表面処理
大引	角鋼管 60×30×t1.6	合成樹脂塗装 (ライトブラウン)
パネルフレーム	角鋼管 28×28×t1.6	合成樹脂塗装 (ライトブラウン)
脚パネルフレーム	角鋼管 50×26×t1.6	合成樹脂塗装 (ライトブラウン)

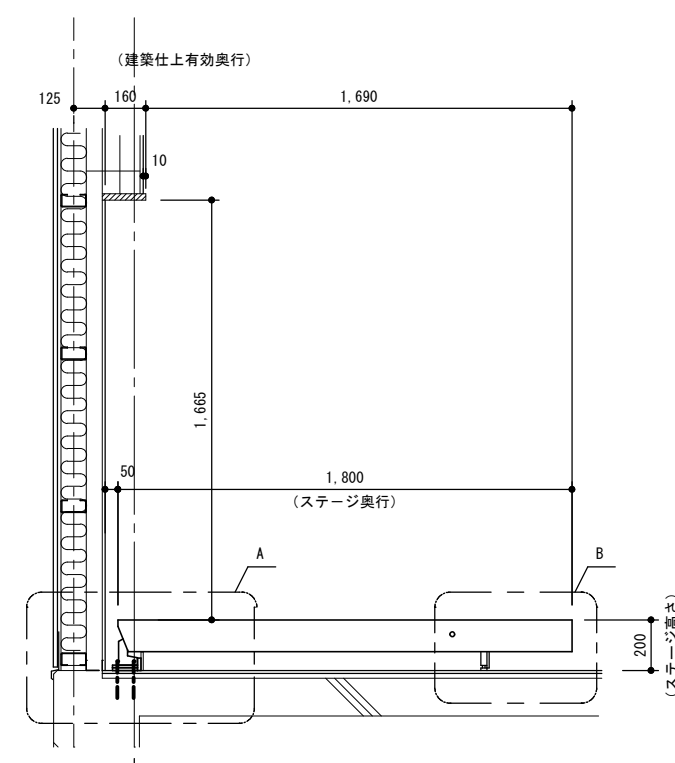
ステージ工事外項目

ステージ裏面仕上	クロス貼り ※下地の目地部、ビス打ち部のパテ埋め処理も含む または t3化粧合板貼り ※木口処理も含む
建築床収納部	コンクリート下地

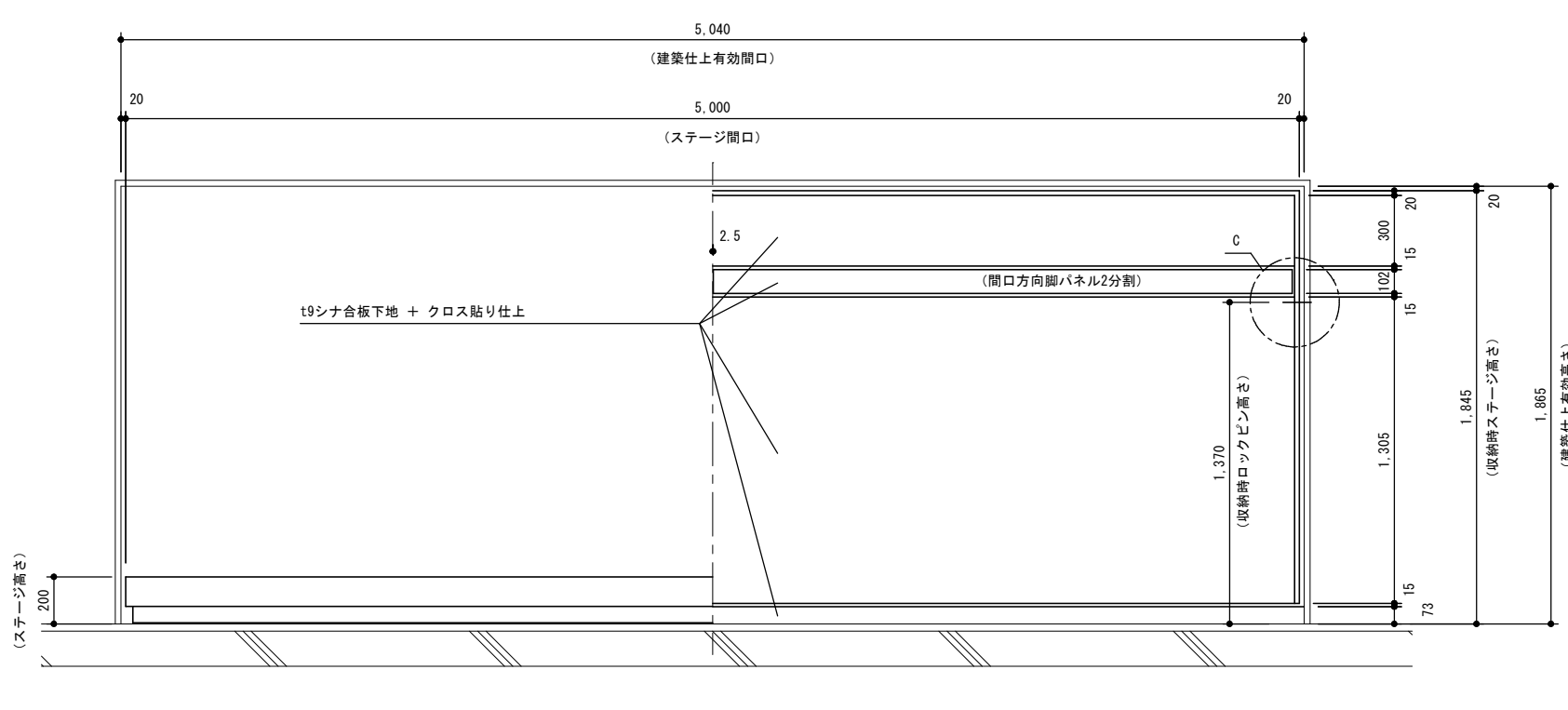
設置階: 1階



C部 (収納時ロックピン) 詳細図 (S=1:5)

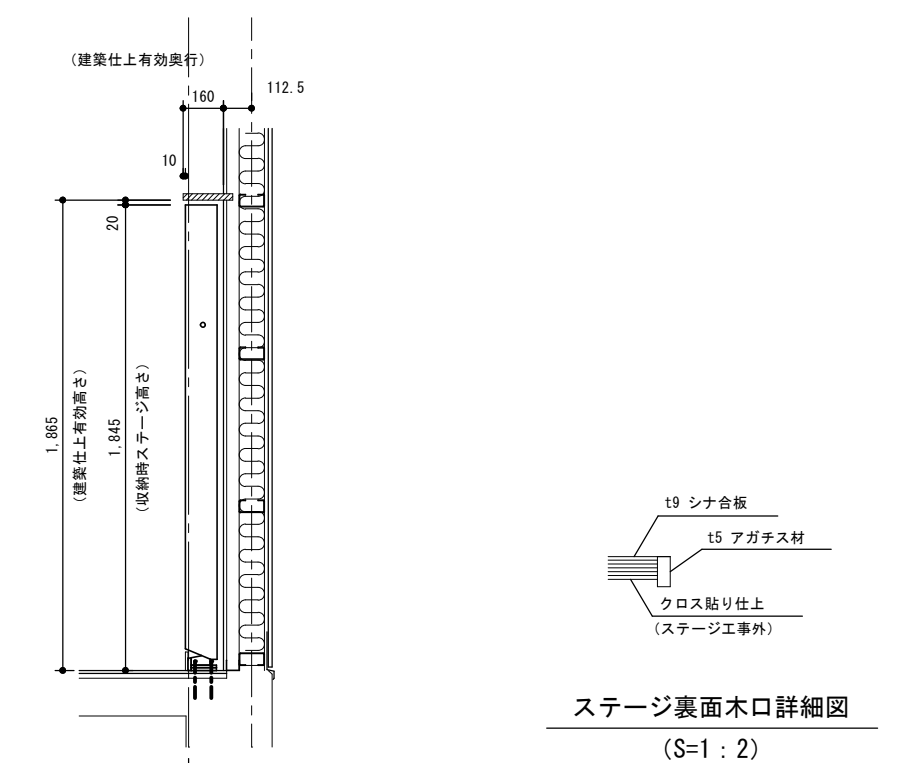


展開時側面図

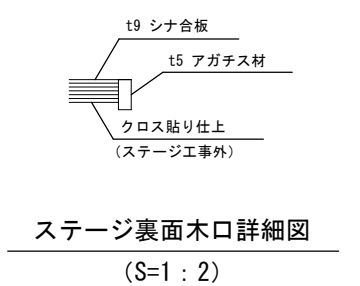


展開時正面図

収納時正面図



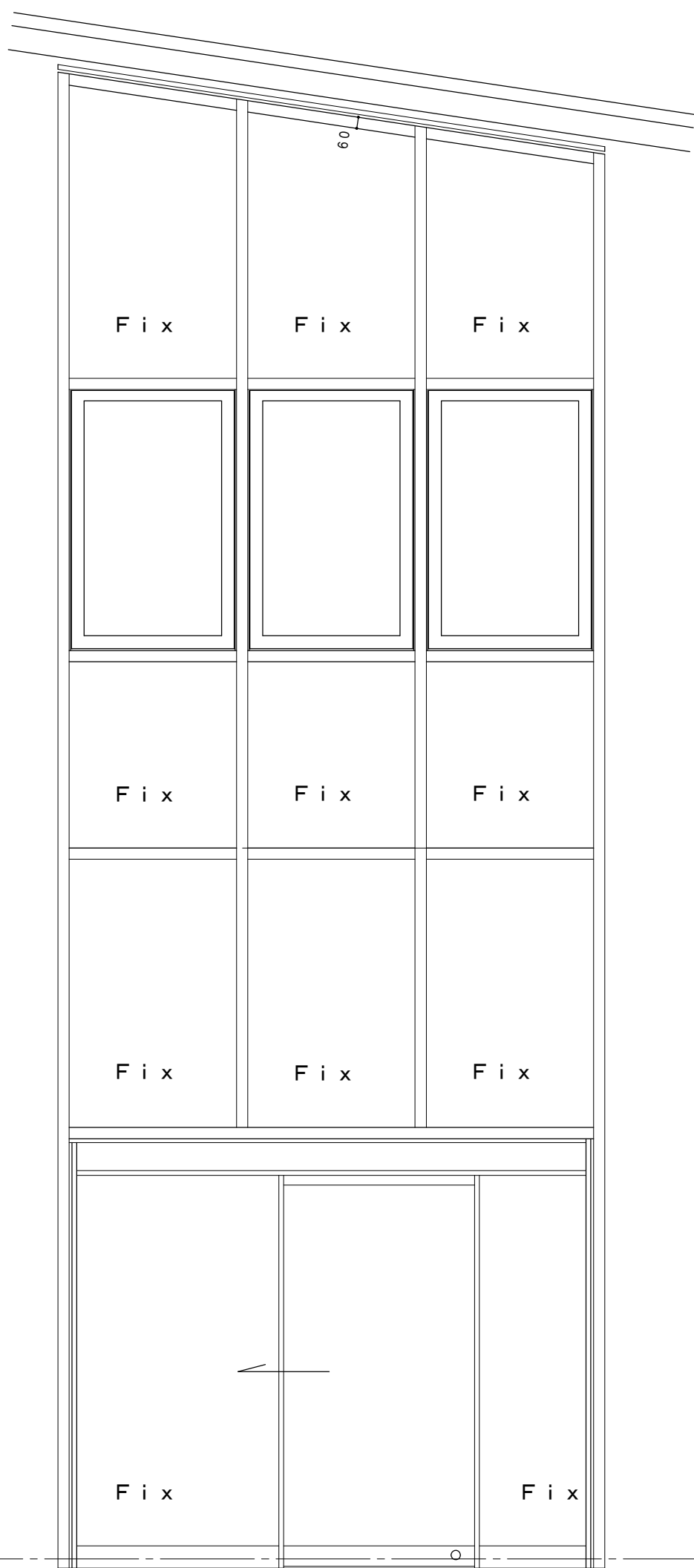
側面図 (収納時)



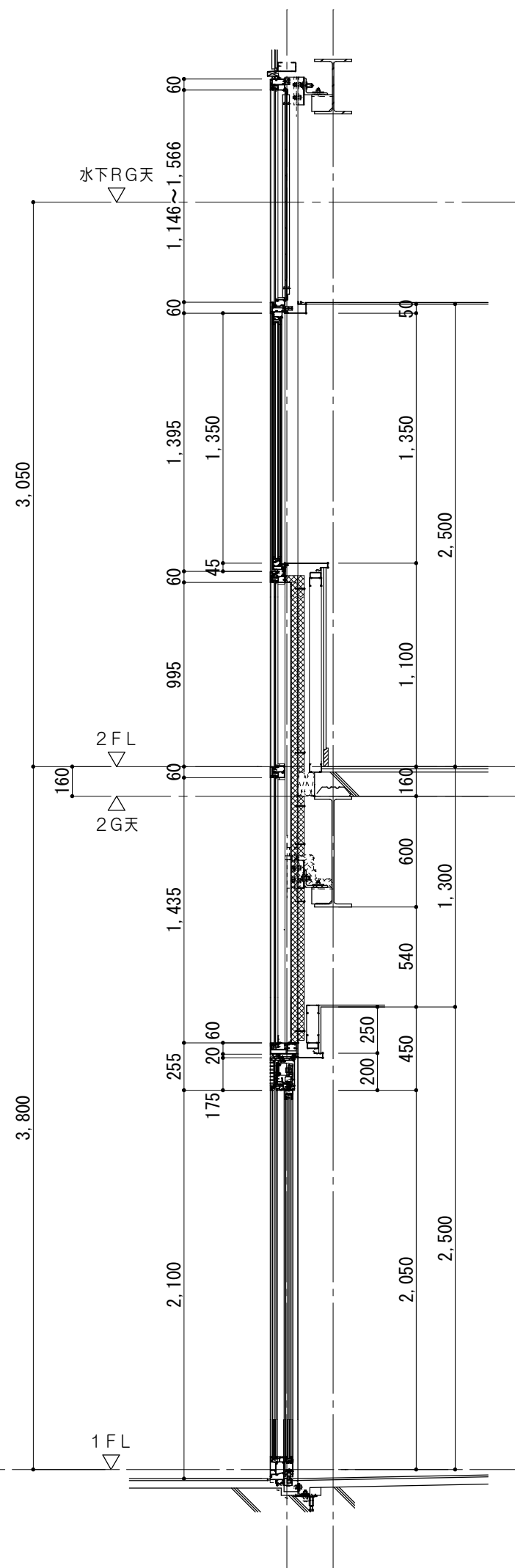
ステージ裏面木口詳細図 (S=1:2)

カーテンウォール詳細図

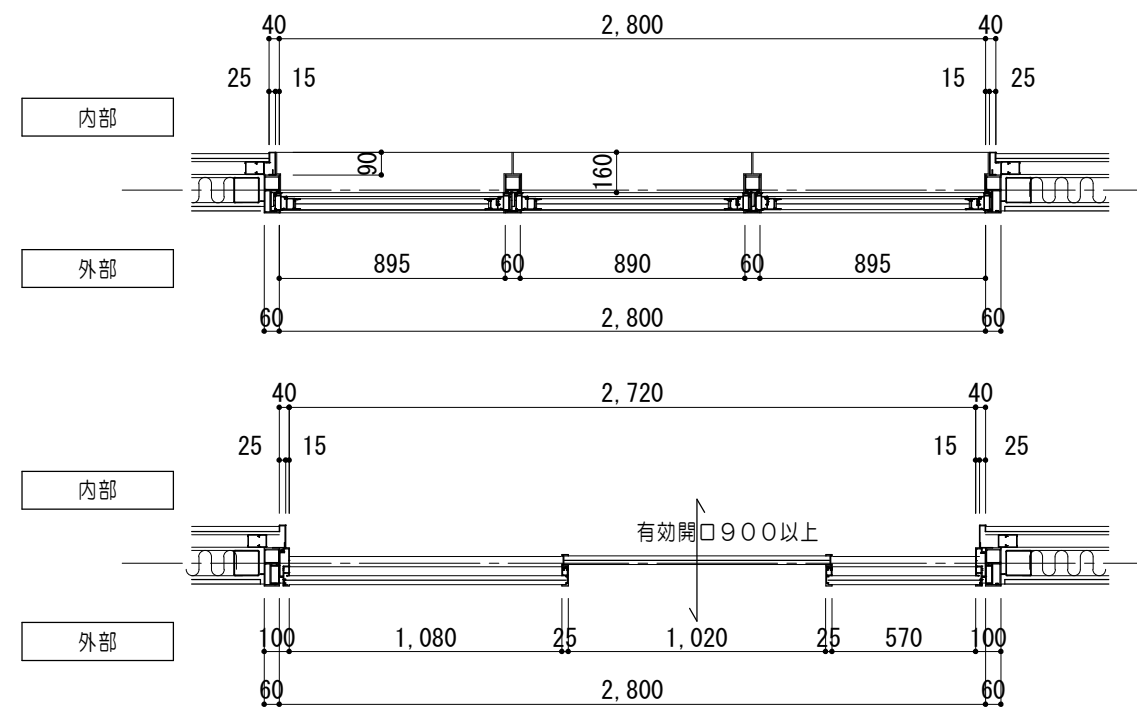
参考図



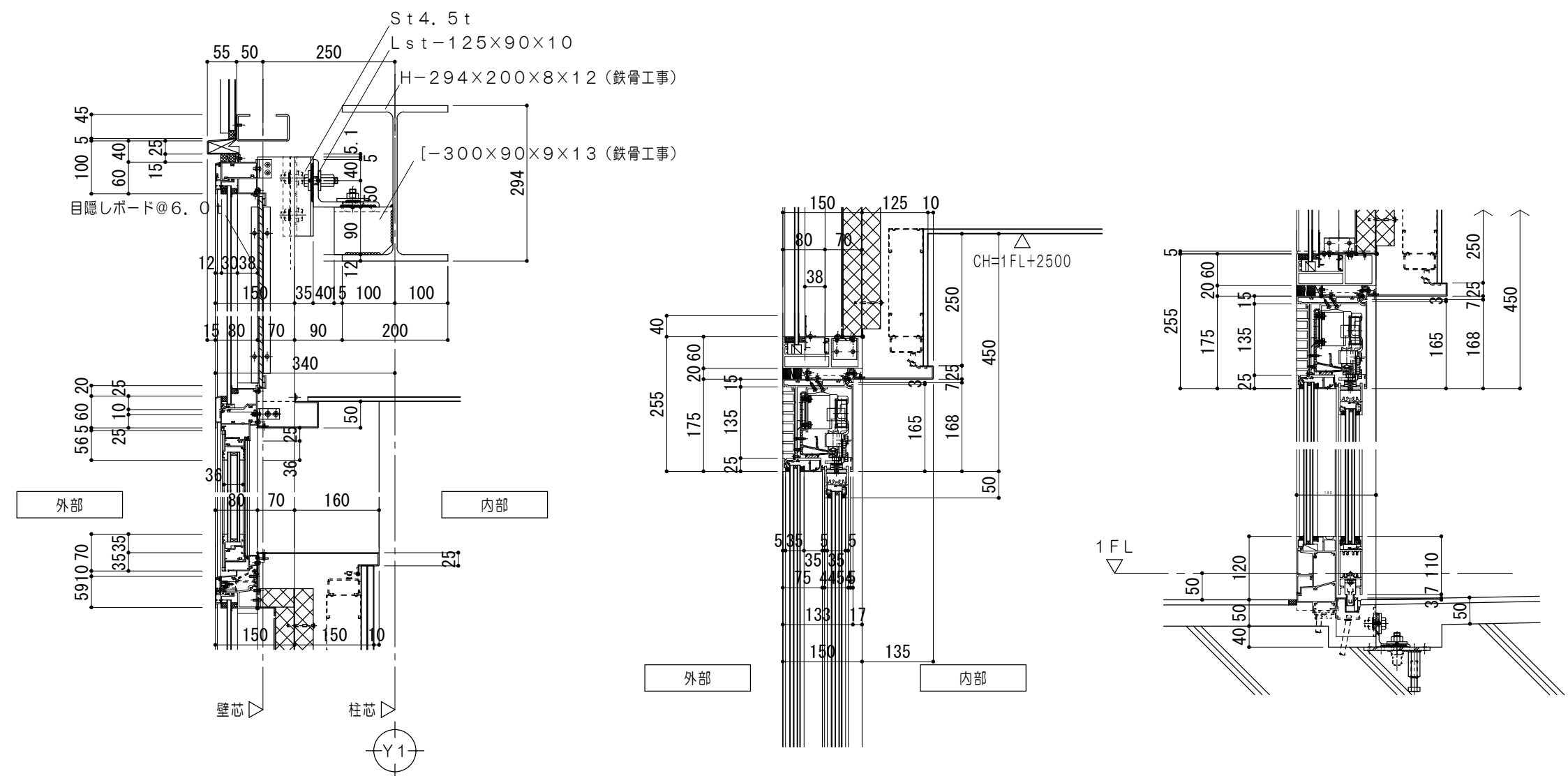
外観姿図 1/30




断面詳細図 1/30

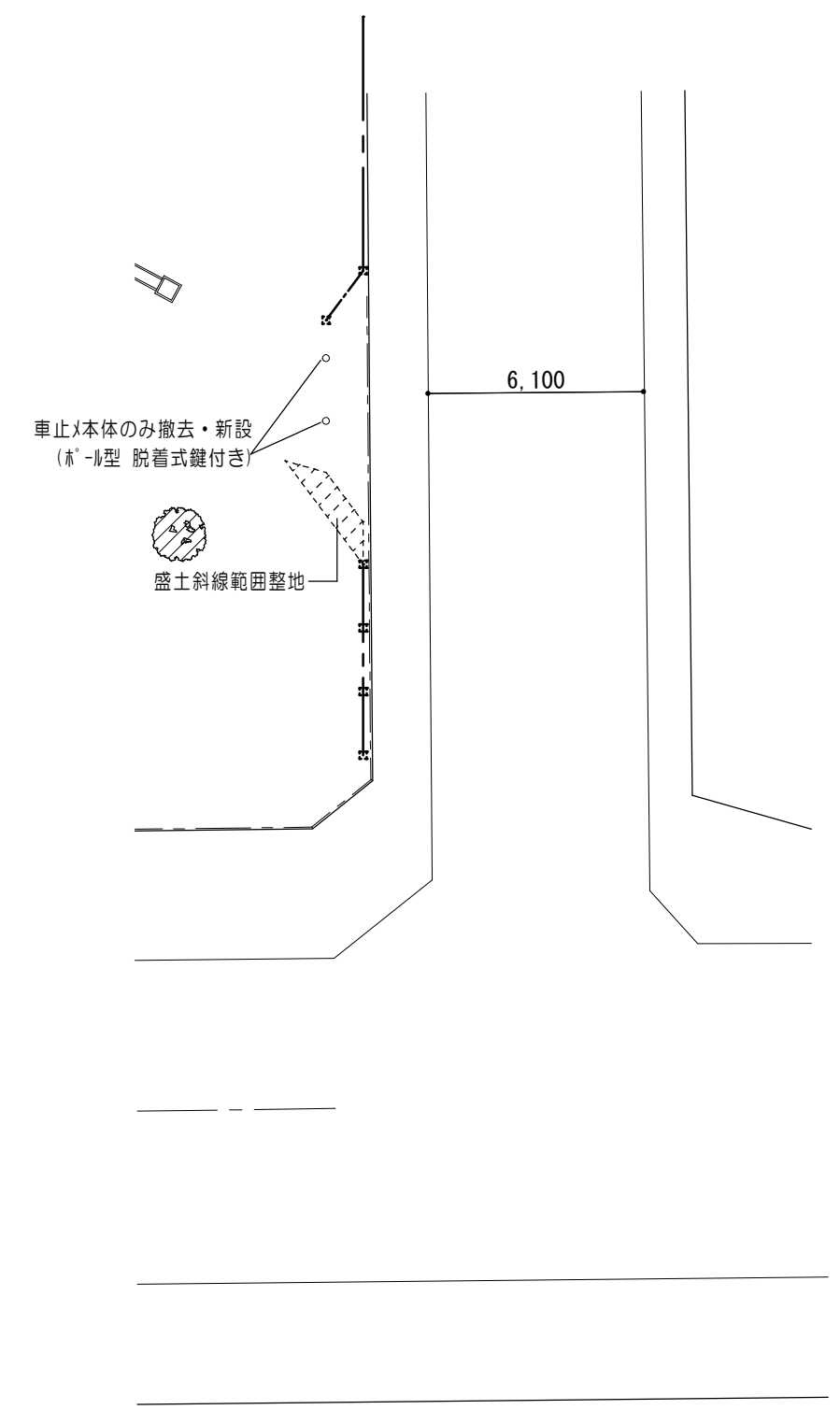
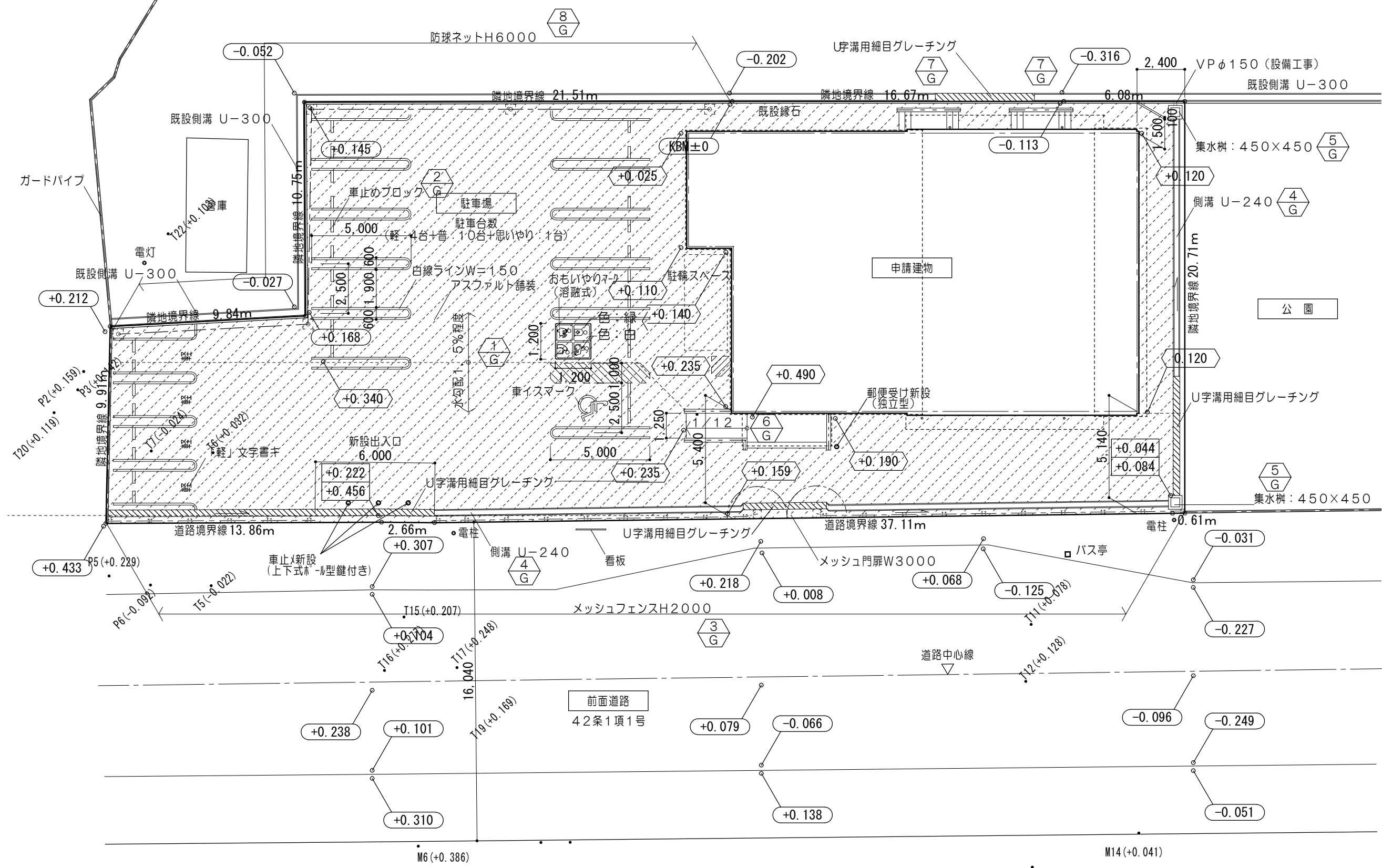
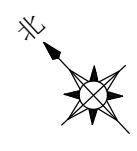


平面詳細図 1/30



- 耐風圧性 S-4 (2000pa)
- 水密性能 w-5 (500pa)
- 気密性能 A-4 (2等級線)
- 防火設備 無

特 記 事 項		 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士 第117489号 前野 初俊 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	(仮称) 津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	A-49 (原図:A2)
				一級建築士 第360917号 前田 祐作			図面名称	各部詳細図 No. 7	縮尺

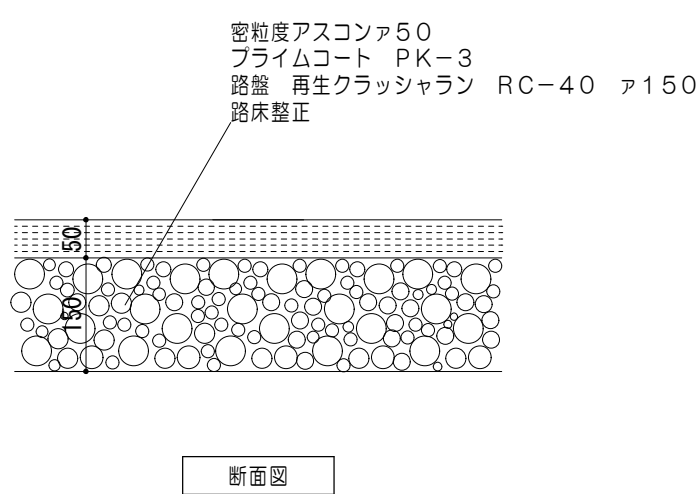


外構配置図 1/200

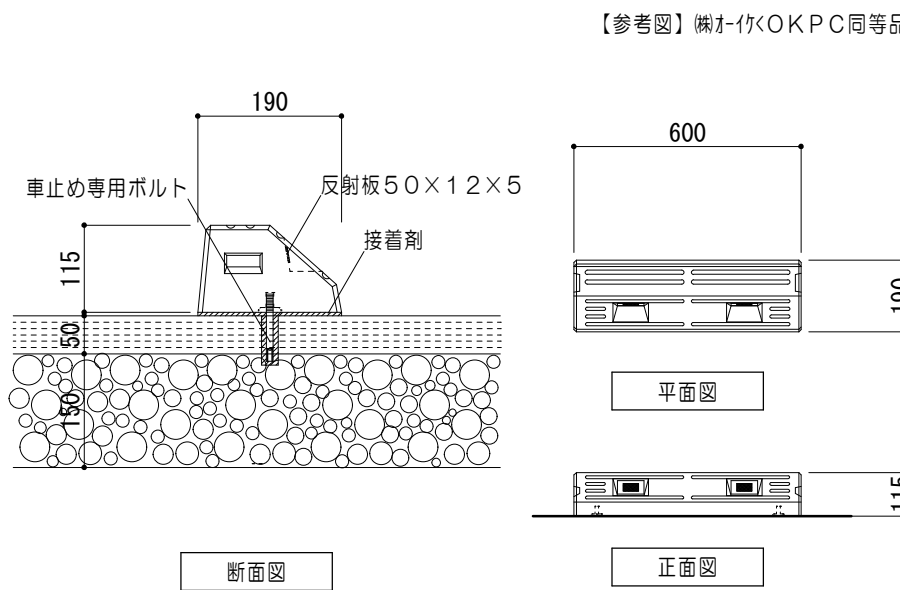
凡例			
±0	上段: KBMからの計画レベルを示す 下段: KBMからの現状レベルを示す		アスファルト舗装
±0	KBMからの現状レベルを示す		車止めブロック
±0	KBMからの計画レベルを示す		メッシュフェンス
±0	建物高さ(設計GLからのレベルを示す)		側溝 U-240
	平均地盤面 KBM+8.0 = 設計GL		集水樹
	駐車区画ライン引き (文字・車印マーク共)		W=150 実線(ゼブラマークW=300)

外構詳細図 No. 1

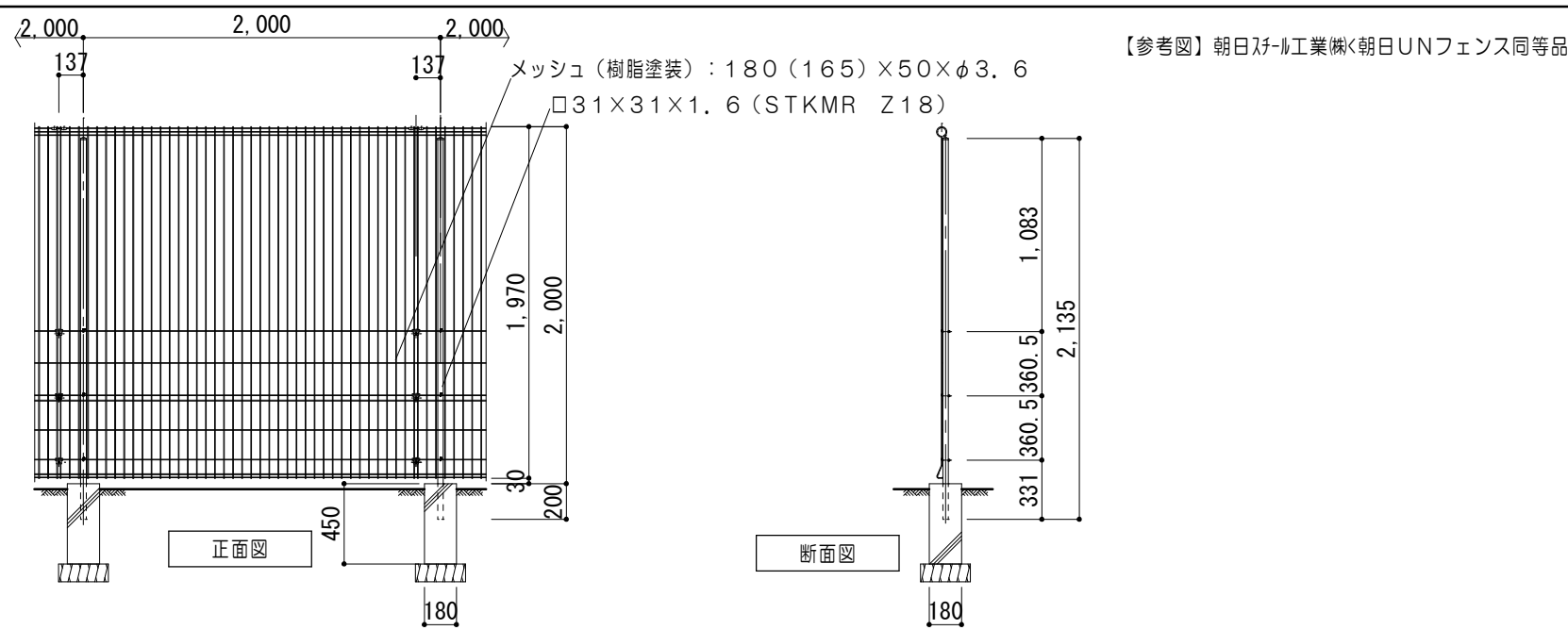
1/G アスファルト舗装詳細図 1/10



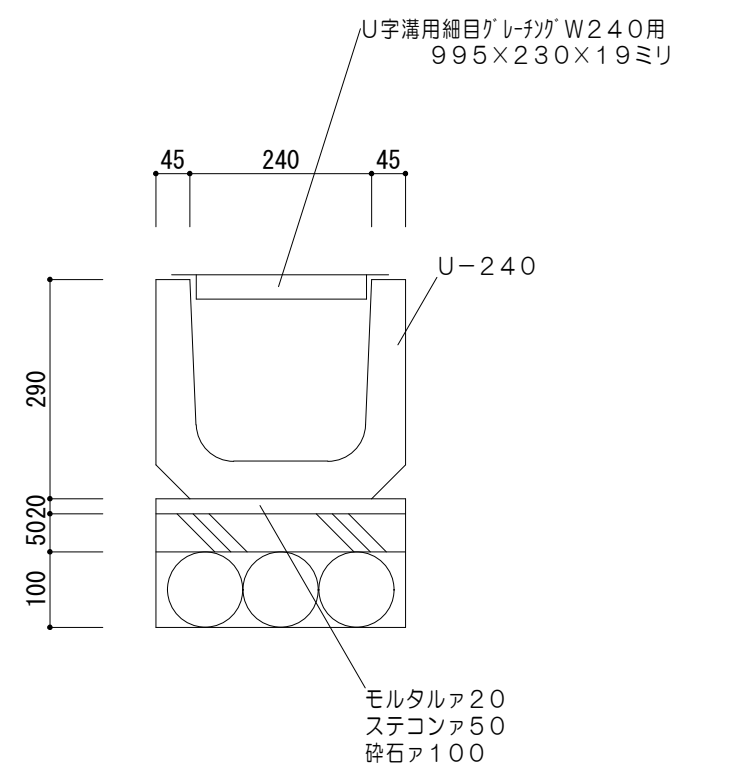
2/G 車止めブロック詳細図 1/10.1/20



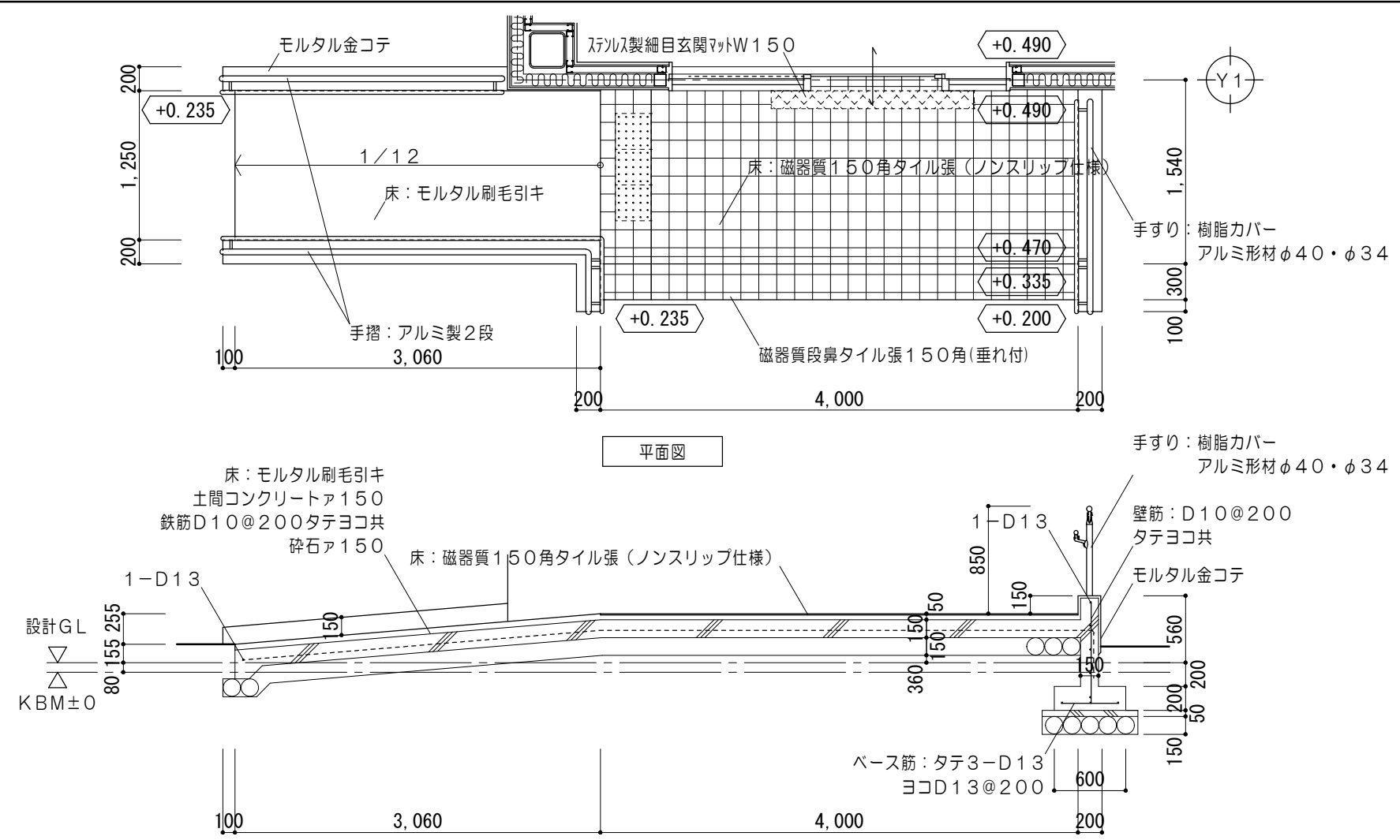
3/G メッシュフェンス詳細図 1/40



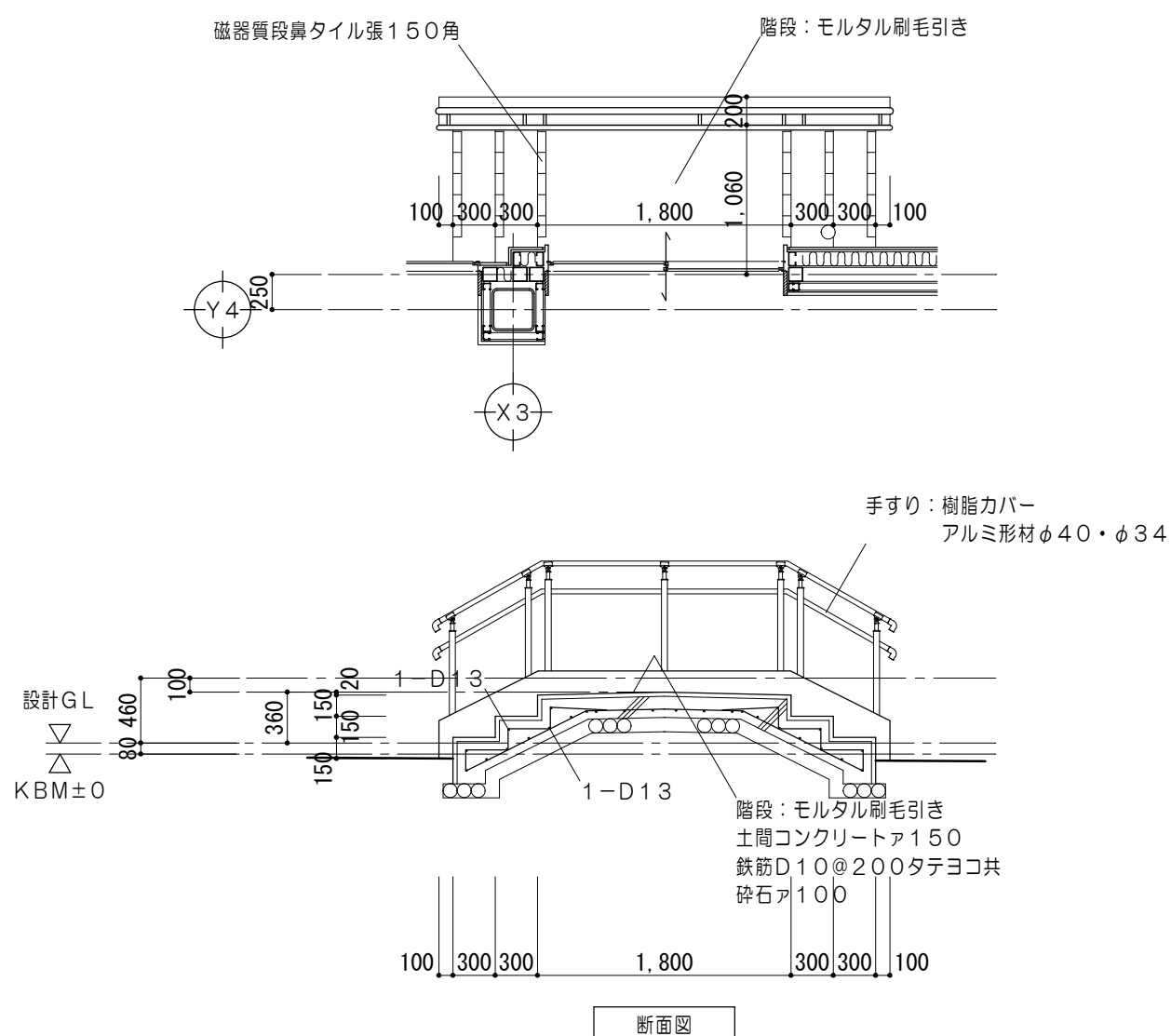
4/G U字側溝詳細図 1/10



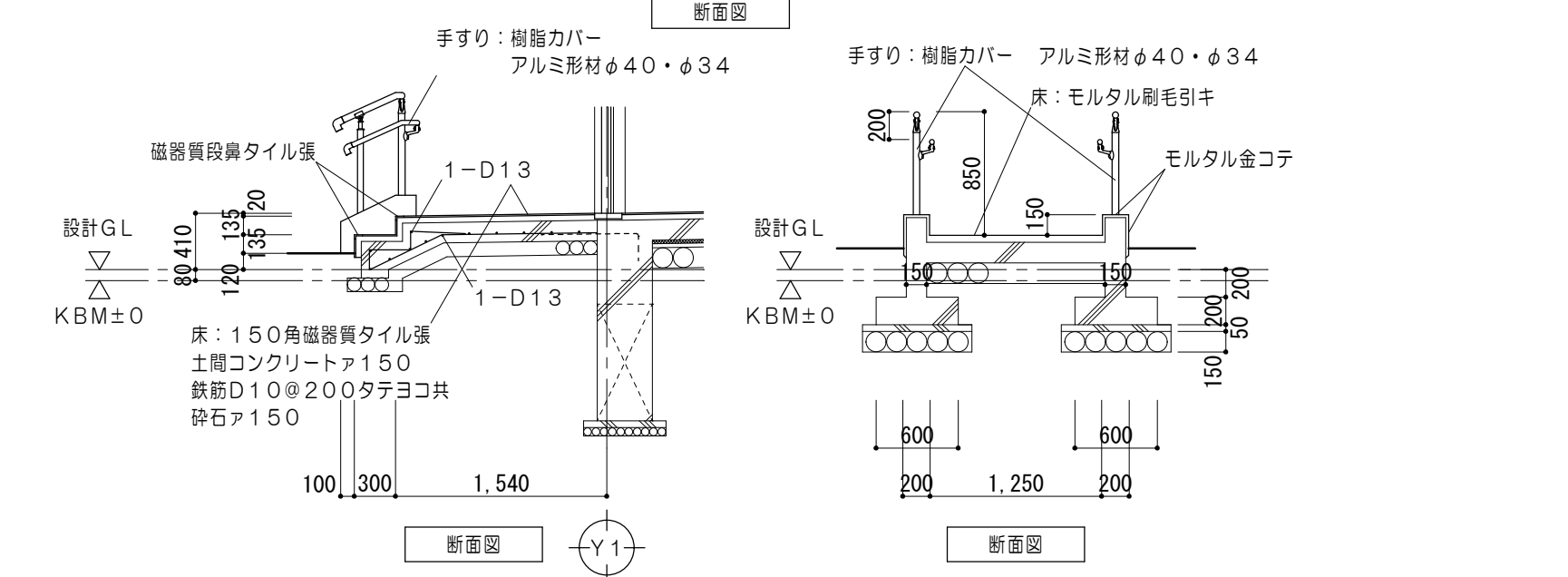
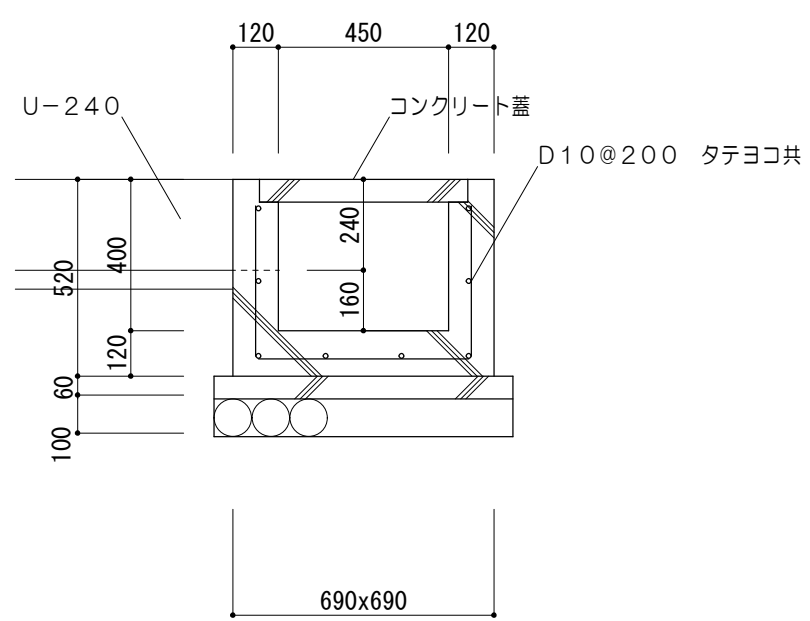
6/G スロープ詳細図



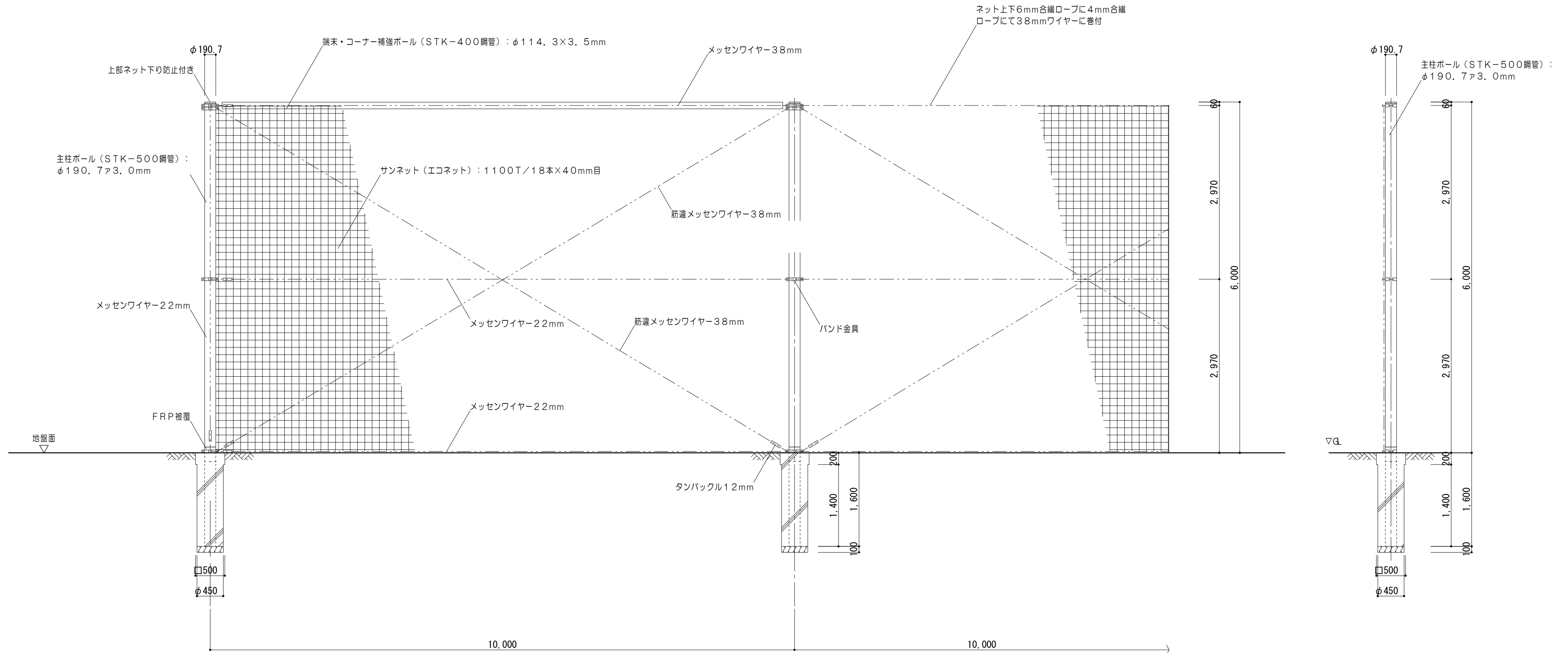
7/G 階段詳細図 1/50



5/G 集水桝詳細図 1/20



特 記 事 項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称	(仮称) 津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	A-51 (原図:A2)
	株式会社 前野建築設計	一級建築士 第360917号 前田 祐作			図面名称	外構詳細図No.1	縮尺	1/10, 20, 30, 50
	一級建築士 第117489号 前野 初像	一級建築士 第320204号 前野 将輝						



- 仕様について
- ・主柱、末端ポール、バンド金具、ボルトは溶融亜鉛メッキ仕上げとする
 - ・主柱ポール基礎部 (GL) はFRP被覆補強とする
 - ・上部 (補強ポール・ネット) 下り防止金具付きとする
 - ・ネット仕様はエコネット1100T/18本×40mm目とする

特
記
事
項



一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

株式会社 前野建築設計

一級建築士 第117489号 前野 初俊

一級建築士 第320204号 前野 将輝

一級建築士 第307846号

三橋 五百子

一級建築士 第360917号

前田 祐作

一級建築士 第304509号

水谷 浩

設計年月日

工事名称

(仮称) 津市豊が丘会館別館建築工事

図面名称

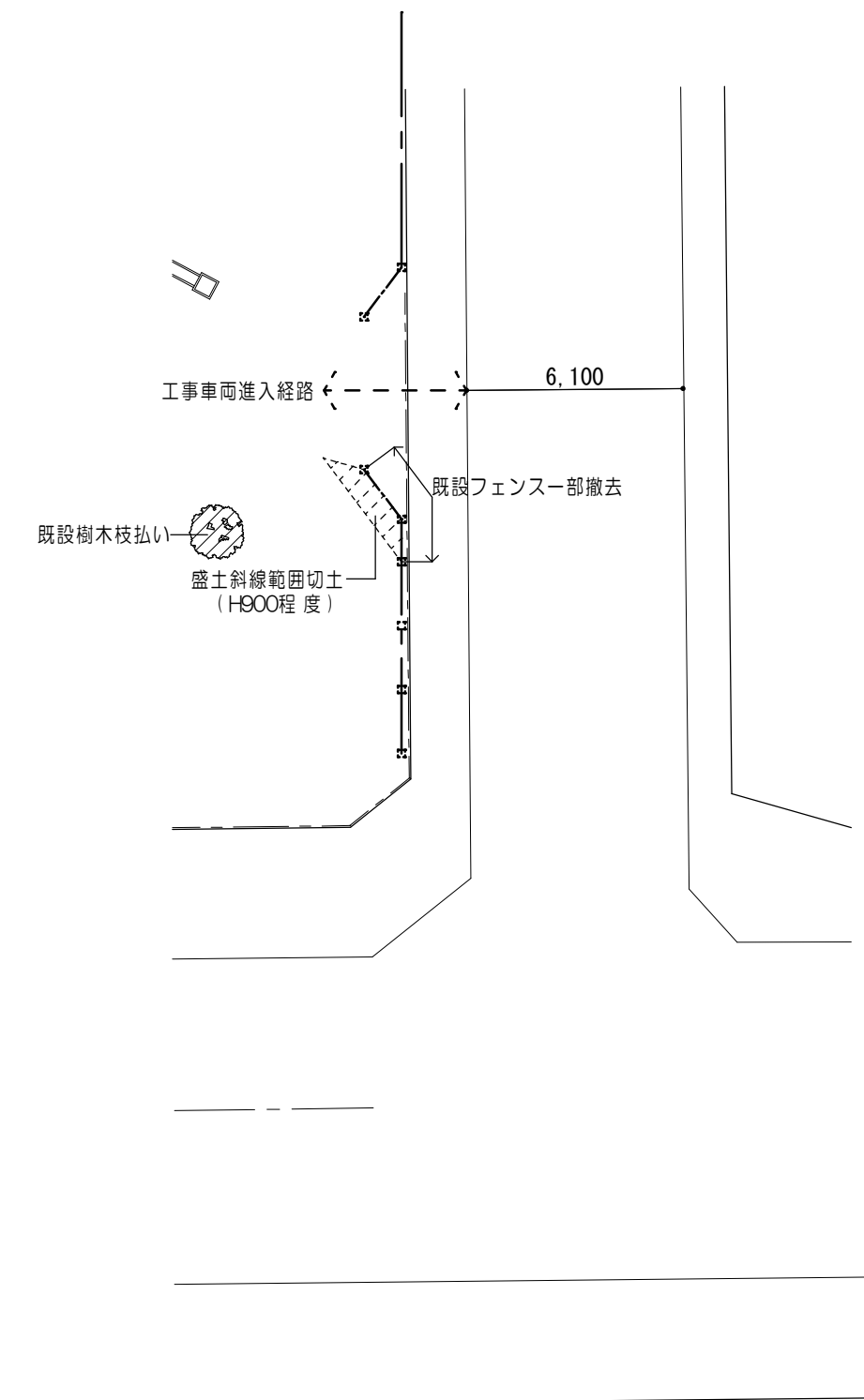
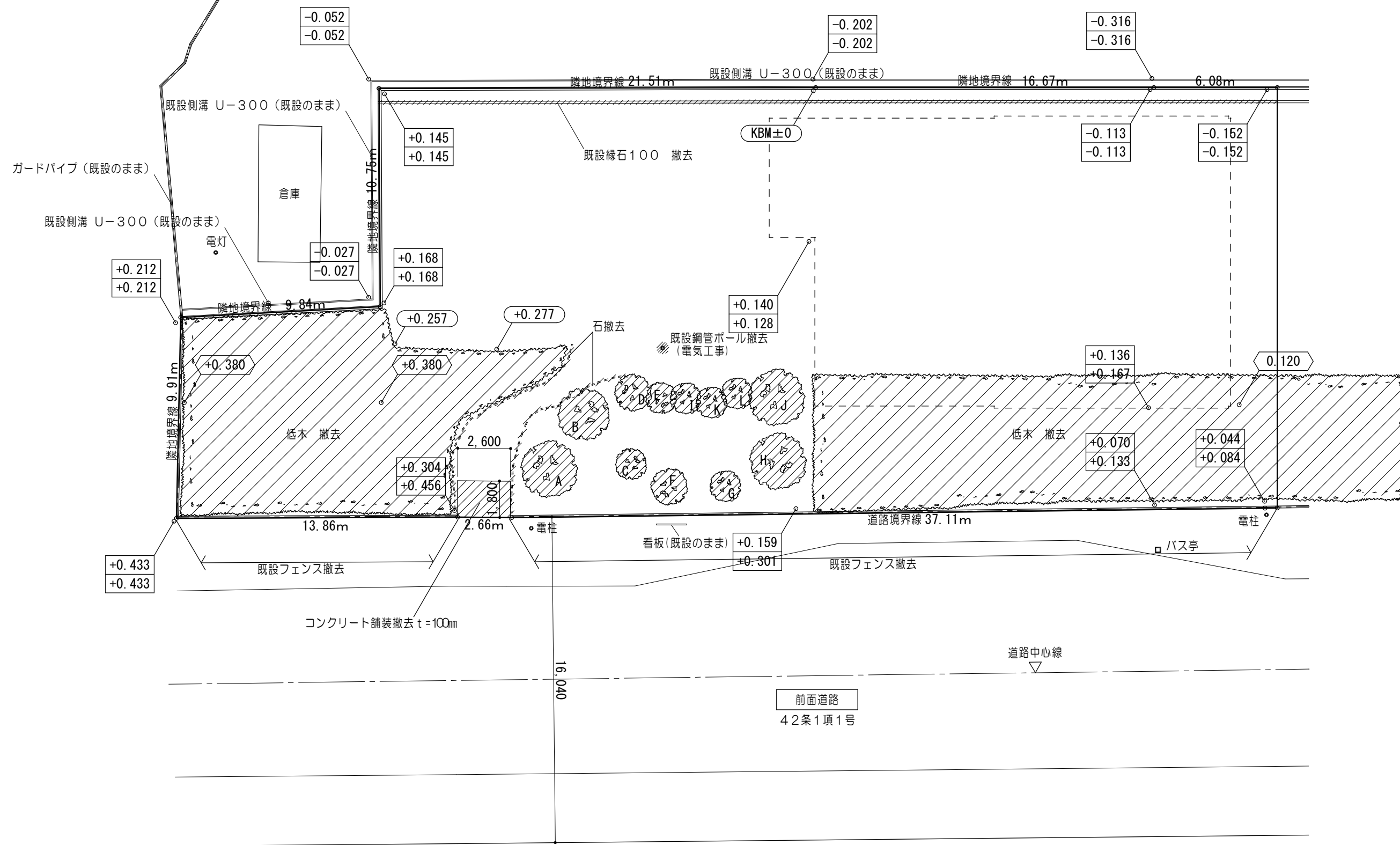
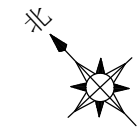
外構詳細図No. 2

図面番号

A-52
(原図:A2)

縮尺

1/50



外構撤去図 1/200

凡例	
±0	上段：KBMからの計画レベルを示す 下段：KBMからの現状レベルを示す
○±0	KBMからの現状レベルを示す
◇±0	KBMからの計画レベルを示す
▨	撤去を示す
平均地盤面 KBM+80 =設計GL	

撤去樹木リスト			
記号	幹径 (m)	枝幅 (m)	高さ (m)
A	0.3	2.5	2.5
B	0.3	2.5	2.5
C	0.1	1.5	2.0
D	0.1	2.0	2.0
E	0.1	1.5	2.0
F	0.15	2.0	2.0
G	0.1	1.5	2.0
H	0.3	3.0	3.0
I	0.1	1.5	2.0
J	0.4	3.0	3.0
K	0.1	1.5	2.0
L	0.17	1.5	2.0

特記事項

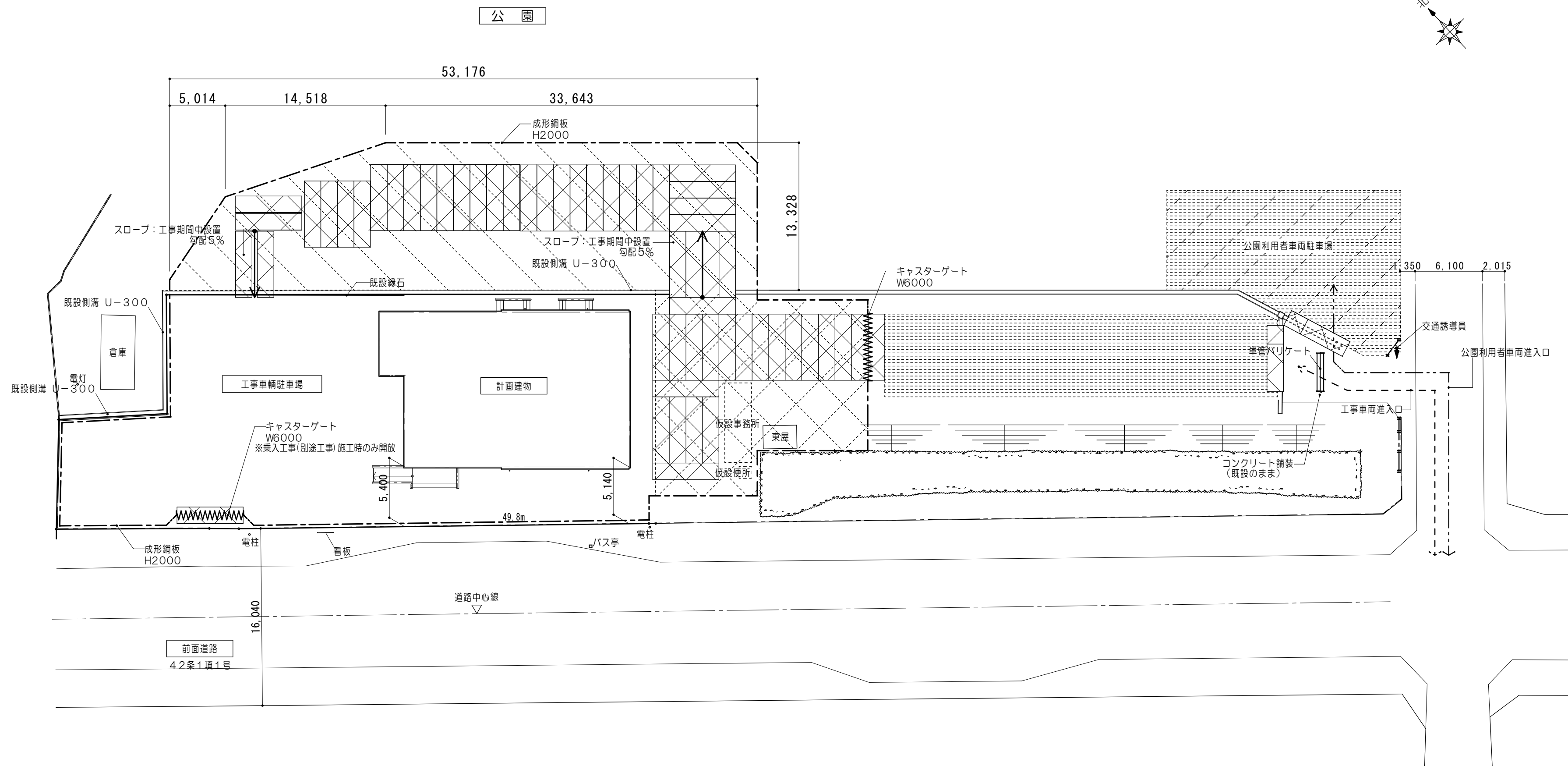
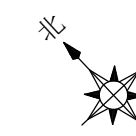
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
 株式会社 前野建築設計
 一級建築士 第117489号 前野初俊 一級建築士 第320204号 前野将輝

一級建築士 第307846号 三橋五百子
 一級建築士 第360917号 前田祐作

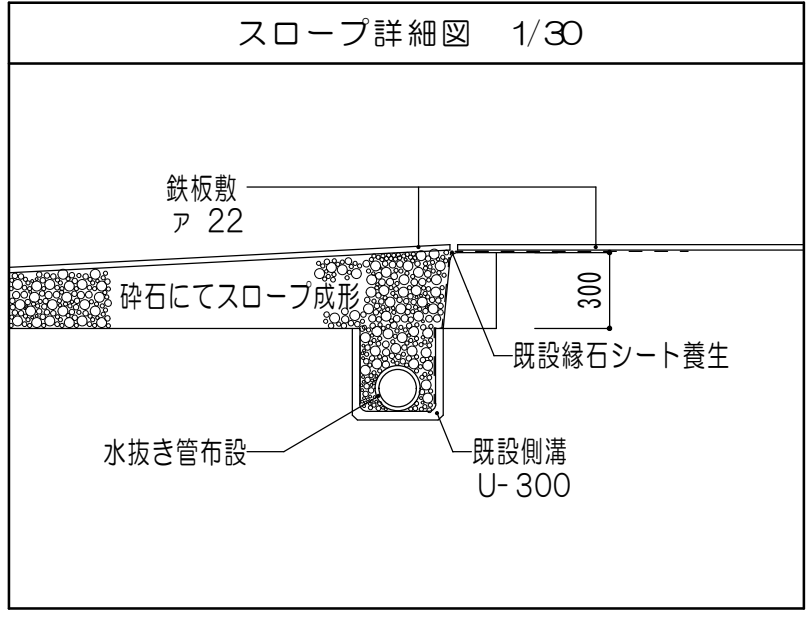
一級建築士 第304509号 水谷浩

設計年月日 工事名称 (仮称)津市豊が丘会館別館建築工事
 図面名称 外構撤去図

図面番号 A-53 (原図:A2)
 縮尺 1/200



仮設計画図 1/300



凡例	
---	仮囲: 成形鋼板 H2.0m
	ジャバラゲート W6.0m×H1.8m
XXXX	仮設鉄板敷 ア22 6000×1500程度
□□□□	足場: 枠組本足場 建地W=900 手すり先行方式 2段手摺り、巾木板共、メッシュシート張
	工事車両進入経路 切込砕石 ア50 敷均し転圧
□□□□	切込み砕石撤去後、不陸整地範囲(購入良質土ア50)
□□□□	仮設敷き鉄板撤去後、不陸整地範囲(購入良質土ア50)
□□□□	仮設敷き鉄板・仮設事務所等撤去後、不陸整地範囲 (切込砕石ア50)
←--→	工事車両進入口
←---→	公園利用者車両進入口
⦿	交通誘導員配置 交通誘導員は工事車両を工事現場まで誘導すること。 (大型車両進入時、公園内作業時等かつ 夏休み期間中は常時配置すること)

特 記 事 項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士 第117489号 前野 初俊 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第304509号 水谷 浩	設計年月日	工事名称 (仮称) 津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号 A-54 (原図:A2)
			一級建築士 第360917号 前田 祐作			図面名称 仮設計画図	縮尺 1/300-1/30

構造特記仕様書

§ 1 一般事項 選択項目は○印を適用し、○印がない場合は*印を適用する。○印が複数ある場合は、*に適用する。

- 1-1 使用材料は原則として JIS規格品、又は大臣認定品とする。
1-2 設計図書優先順位は下記による。
1) 本特記仕様書
2) 設計図
3) 標準図
4) 仕様書
5) 日本建築学会標準仕様書
1-3 各工事に際して、施工計画書及び施工図を提出し、工事監理者の承認を得る。
1-4 構造関係材料及び各種試験成績書・検査報告書を作成し提出する。
1-5 設計図書に示されていない材料、工法等を採用する場合は文書にて工事監理者の承認を得る。
1-6 重要位置、径、及び箇所数は()で示し、()で示す。
1-7 その他

§ 2 仮設工事

§ 3 土工事

- 3-1 山留め、盛切り
3-2 埋戻し土、盛土、残土処分
埋戻し土
盛土
残土処分

§ 4 地業工事

Table with columns: 場所, 捨てコンクリート厚さ, 厚さ. Rows include 基礎, 地中梁, 構造スラブ, 土間コンクリート.

注(1) アンカーボルト支持用フレームの、あと施工アンカーを打込む部分は100以上とする。
(2) 端部aは100以上とする。

- 4-2 設計地耐力
4-3 地盤改良
4-4 既設コンクリート杭

- 1) 杭種
2) 工法
3) 杭径、設計耐力表

Table with columns: 杭径(底部)mm, 長期kN, 短期kN, 終局kN, 備考

Table with columns: 杭径(底部)mm, 上杭, 中杭, 下杭, 全長(m), 本数

- 5) 杭間補強
4-5 場所打設鉄筋コンクリート杭、場所打鋼管コンクリート杭
1) 工法
2) 杭径、設計耐力、本数表(杭底部は施工径を示す)

Table with columns: 杭径(底部)mm, 鋼管mm, 長期kN, 短期kN, 終局kN, 本数, 備考

- 3) 杭先端深さ
4) 孔壁強度(2方向)
5) 使用材料
4-6 鋼管杭、その他特殊杭

- 1) 杭種
2) 工法
3) 杭径、設計耐力、本数表

Table with columns: 杭径(底部)mm, 鋼管mm, 長期kN, 短期kN, 終局kN, 本数, 備考

- 4-7 杭打地業共通事項
1)
2)
3)

§ 5 鉄筋工事

Table with columns: 種類, 径, 継手

- 5-2 溶接部の検査
5-3 梁貫通補強
5-4 その他

§ 6 コンクリート工事

- 6-1 設計基準強度
6-2 耐久設計基準強度
6-3 流和材
6-4
6-5 試験
6-6
6-7
6-8

- 7-1 材料及び使用箇所
7-2 高力ボルト
7-3 普通ボルト、アンカーボルト
7-4 預けスタッド
7-5 溶接材料
7-6 スカップ形状

- 7-7 継手
7-8 溶接手法及び管理
7-9 デッキプレート
7-10 錆止め塗料
7-11 溶接部の検査

Table with columns: 検査箇所, 検査方法, 検査率又は検査数, 備考

- 注1) 現場溶接部については原則として第三者による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行うこと
注2) 知事が定める重大な不具合が発生した場合は、最正前に対応策を建築主事に報告すること

- 7-12 教育製作工場

§ 8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板・PCa板工事

- 8-1 コンクリートブロック
8-2 ALCパネル
8-3 押出成形セメント板
8-4 PCa板

特記事項

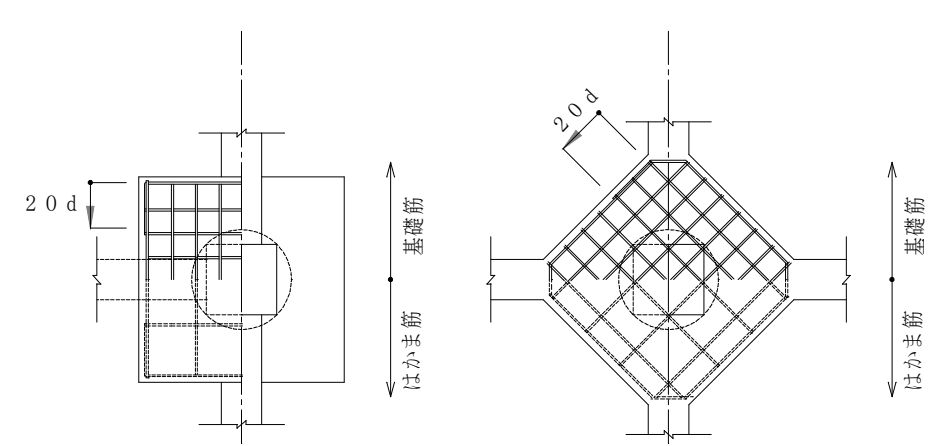
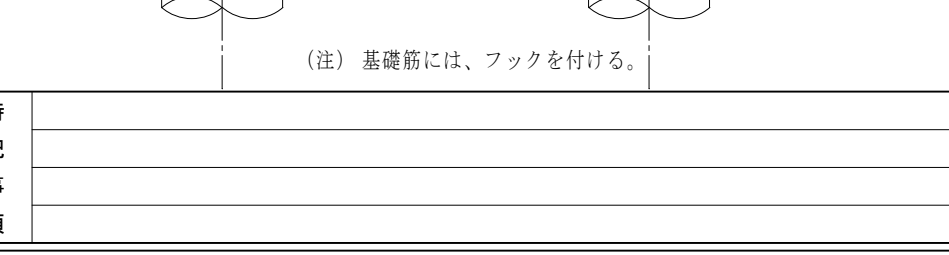
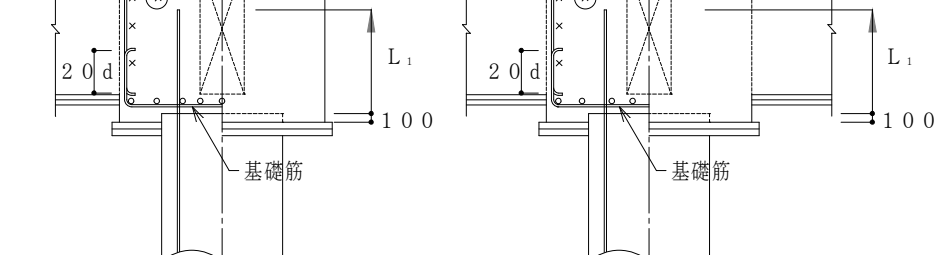
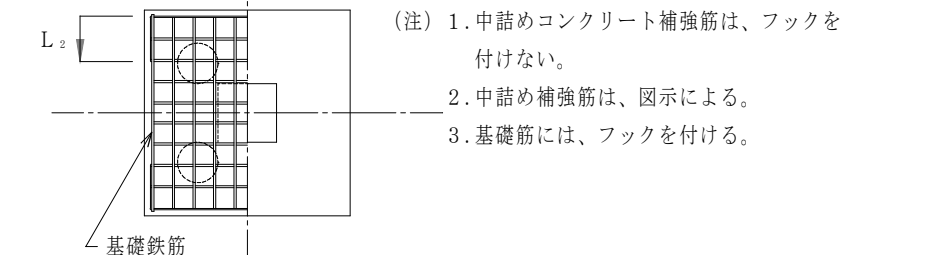
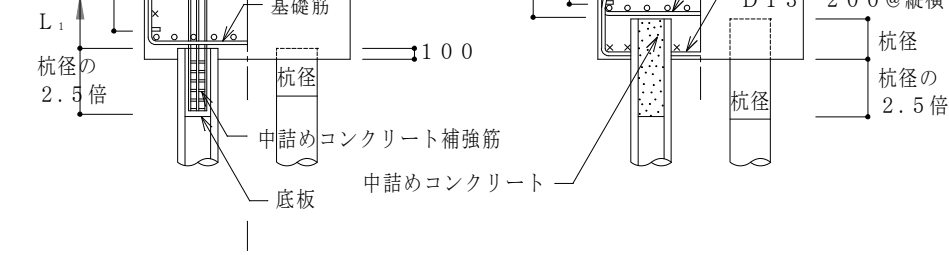
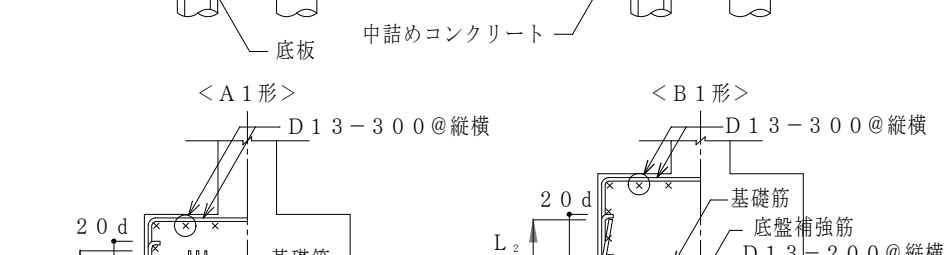
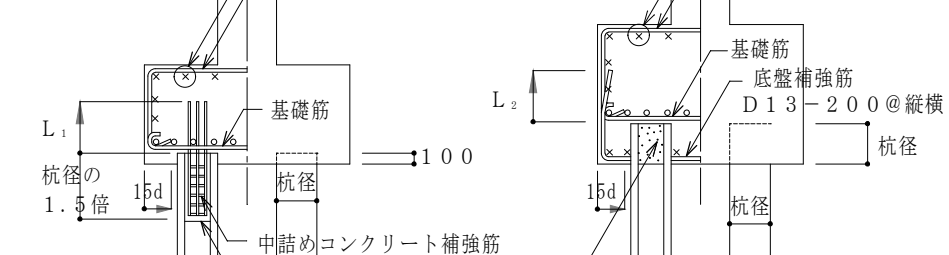
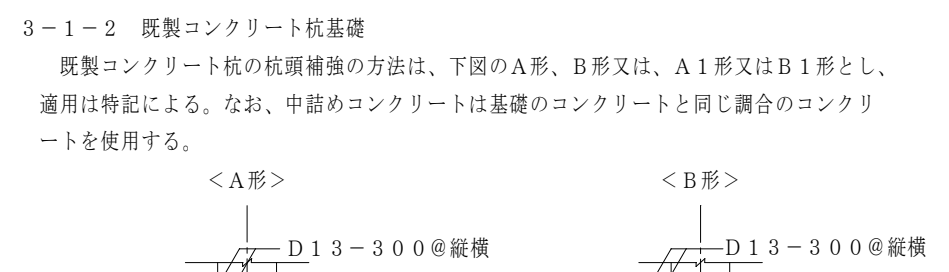
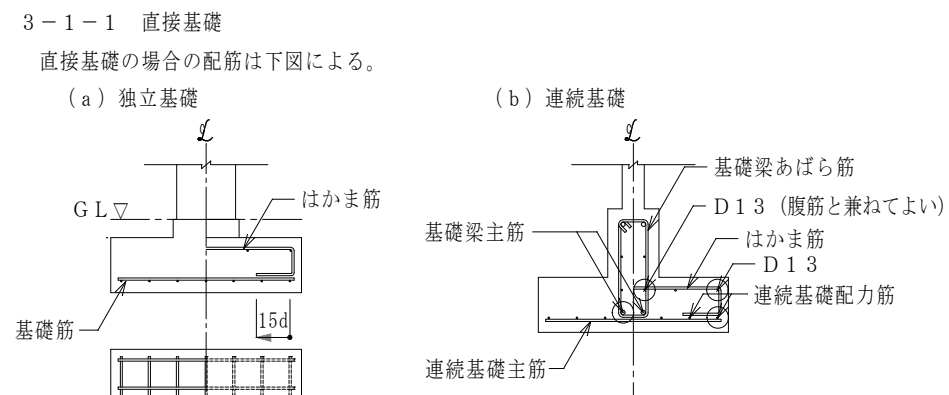
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士 第117489号 前野 初 俊
一級建築士 第320204号 前野 将 輝

一級建築士 第360917号 前田 祐 作
一級建築士 第277259号 鈴木 丈 宣

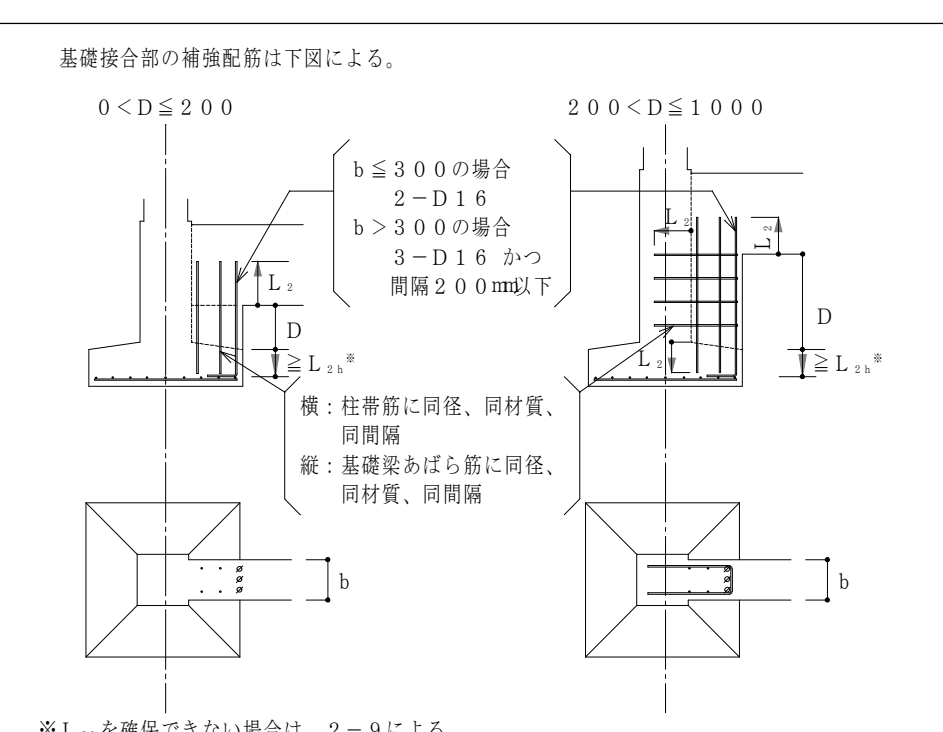
設計年月日 工事名称 (仮称)津市豊が丘会館別館建築工事
図面番号 S-01 (原図:A2)
図面名称 構造特記仕様書 縮尺 NS

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 No.2

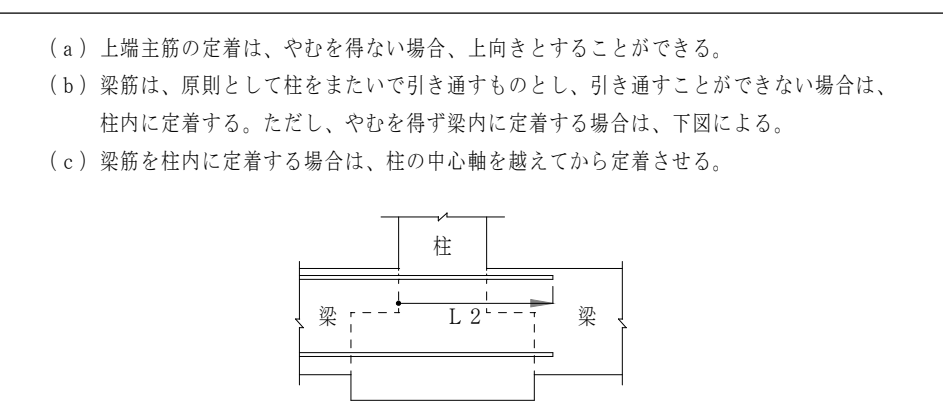
3-1 基礎の配筋及び杭頭補強の方法



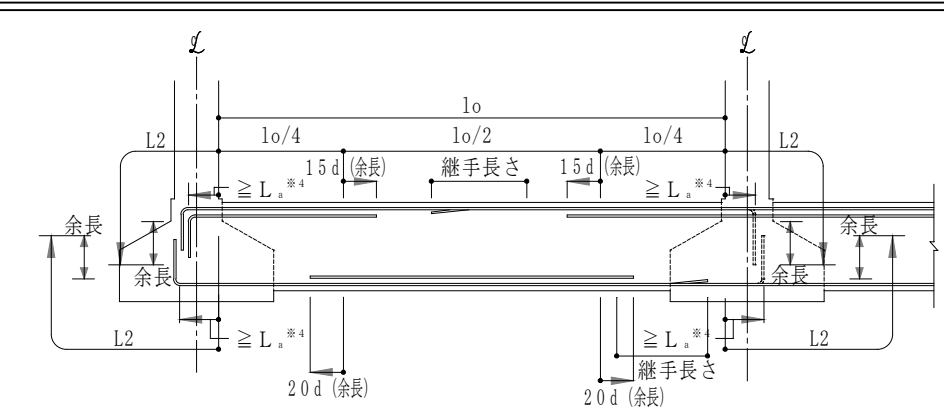
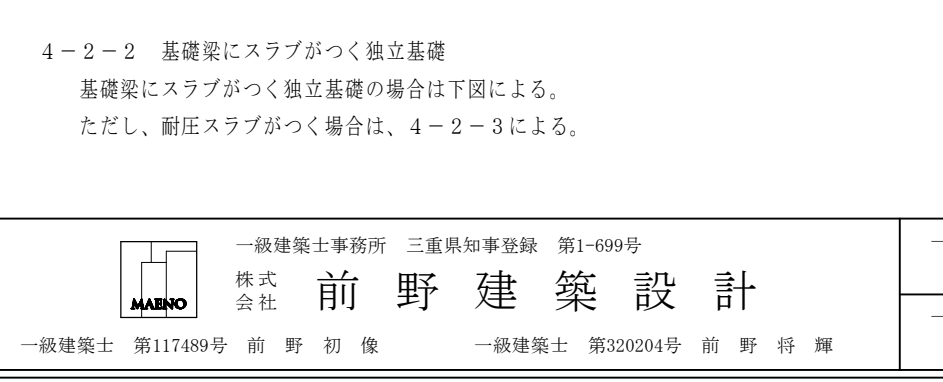
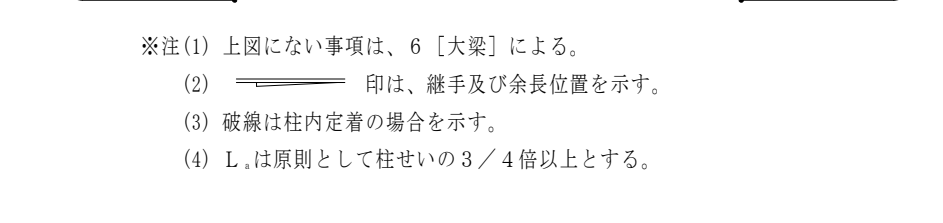
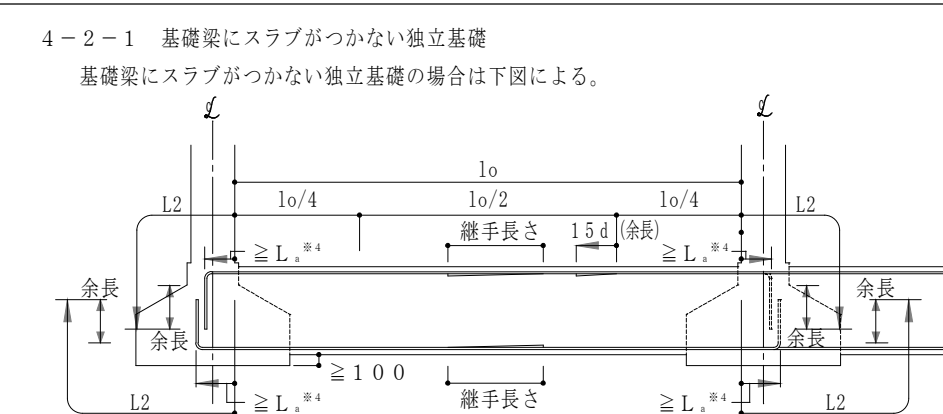
3-2 基礎接合部の補強



4-1 基礎梁主筋の継手及び定着

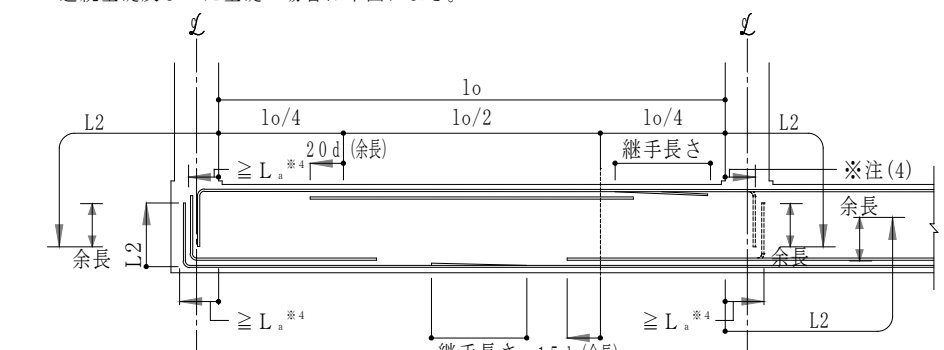


4-2 基礎梁主筋の継手、定着及び余長



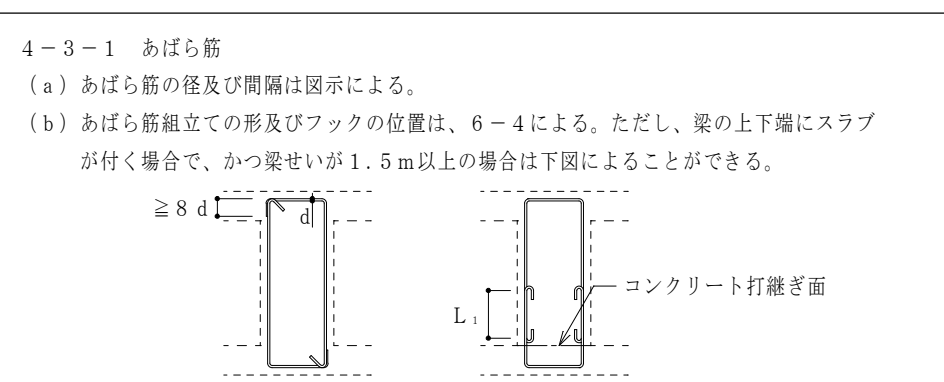
※注(1) 上図にない事項は、6 [大梁] による。
(2) 印は、継手及び余長位置を示す。
(3) 破線は柱内定着の場合を示す。
(4) L₁は原則として柱せいの3/4倍以上とする。

4-2-3 連続基礎及びべた基礎 連続基礎及びべた基礎の場合は下図による。



※注(1) 上図にない事項は、6 [大梁] による。
(2) 印は、継手及び余長位置を示す。
(3) 破線は柱内定着の場合を示す。
(4) L₁は原則として柱せいの3/4倍以上とする。

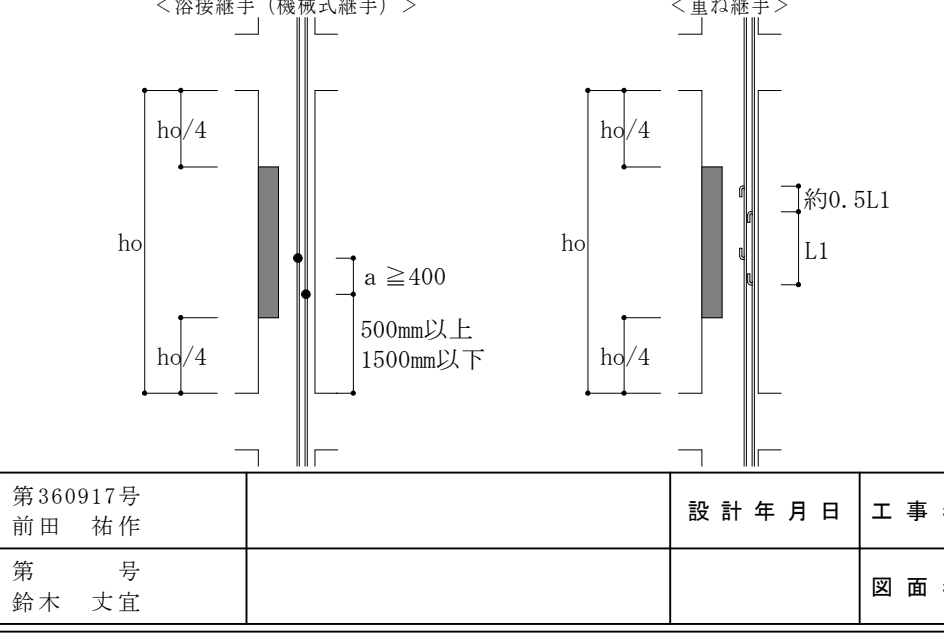
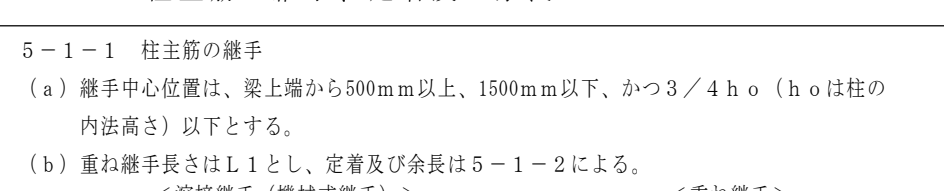
4-3 基礎梁のあばら筋、腹筋及び幅止め筋



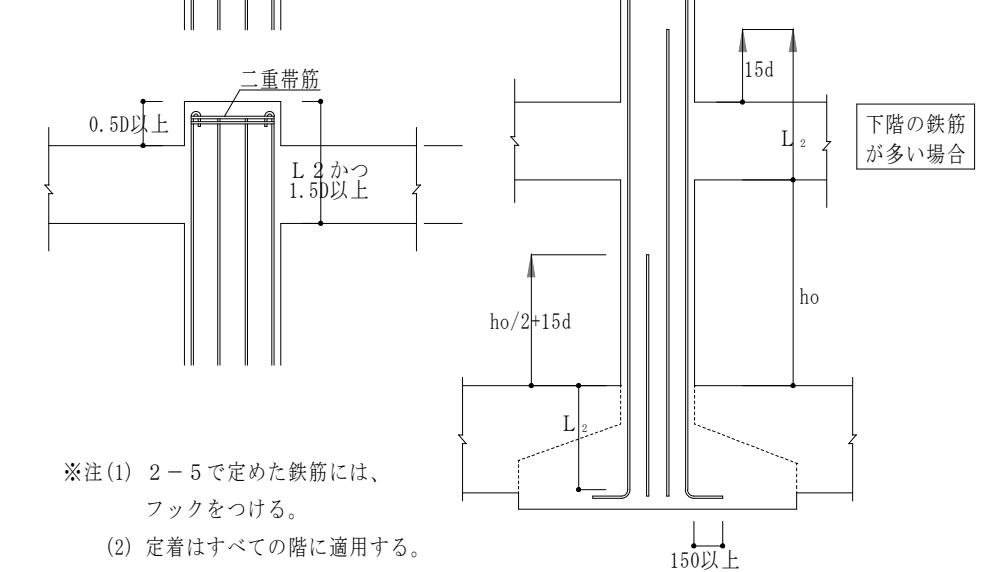
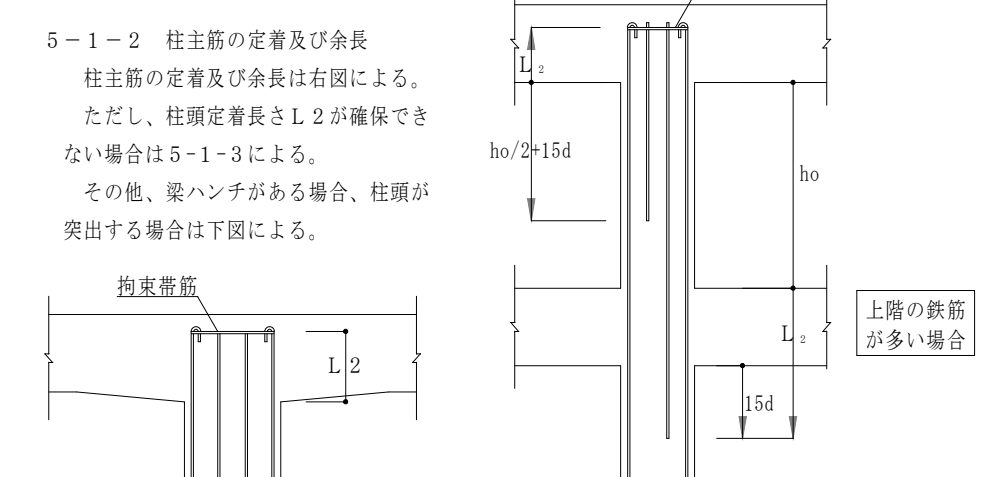
4-3-2 あばら筋の割付け あばら筋の割付けは、6-6による。

4-3-3 腹筋及び巾止め筋 腹筋及び巾止め筋は、6-3及び6-5による。ただし、梁せいが1.5mを超える場合は特記による。

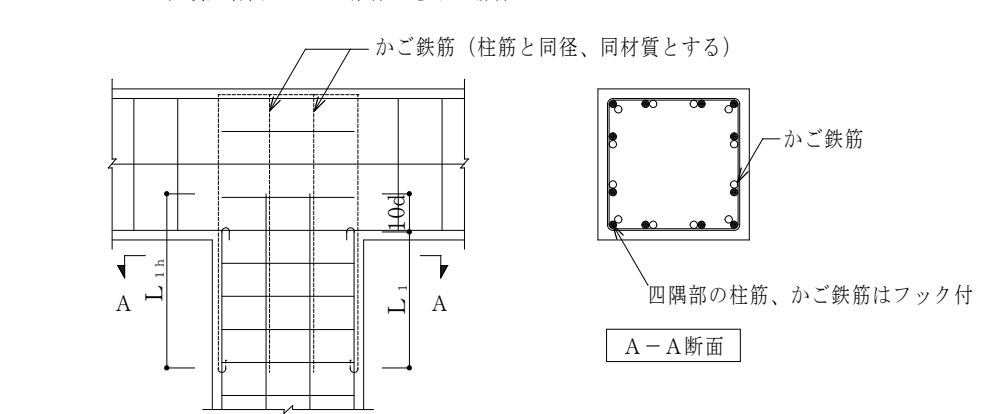
5-1 柱主筋の継手、定着及び余長



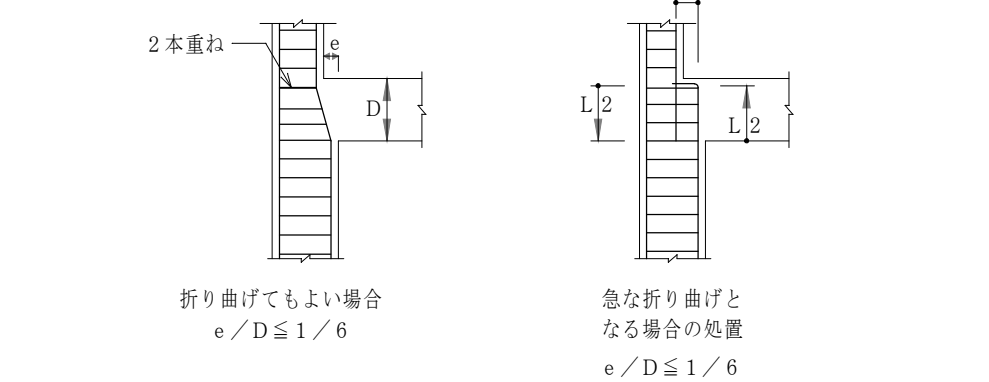
※注(1) 印内に継手中心部を設けることを原則とする。
(2) 2-5で定めた鉄筋には、フックをつける。
(3) 隣合う継手の位置は2-10による。
(4) 継手はすべての階に適用する。



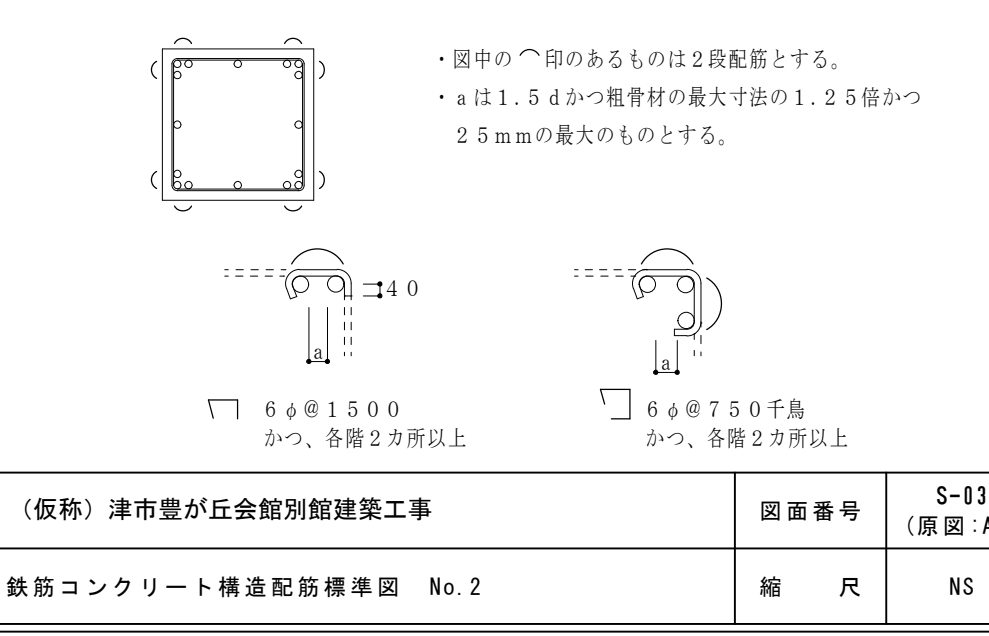
5-1-3 柱頭定着長さL₂が確保できない場合



5-1-4 柱上下の断面寸法が異なる場合



5-1-5 柱2段配筋 2段筋のスペーサーは下図による。



特記事項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	一級建築士 第360917号	設計年月日	工事名称	(仮称)津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	S-03
	株式会社 前野建築設計	前田 祐作					(原図:A2)
	一級建築士 第117489号 前野 初俊	一級建築士 第 号	図面名称	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 No.2	縮尺	NS	

鉄骨工作標準図 (1)

§ 1 一般事項

1-1 基本事項

- 1) 使用材料、工法等は構造特記仕様書による。
- 2) 設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。また本標準図に明記なき場合は構造特記仕様書1-2-4, 5に指定した共通仕様書および標準仕様書による。
- 3) 製作精度等に関しては、JASS6の付則6「鉄骨精度検査基準」による。
- 4) 本標準図に示す単位は特記なき限りすべてmmとする。

1-2 その他

§ 2 共通事項

2-1 略号

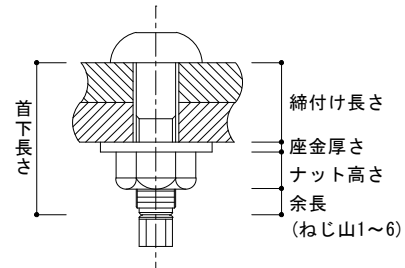
- ・ AB ----- アンカーボルト
- ・ BPL ----- ベースプレート
- ・ DFPL ----- ダイアフラム
- ・ FPL ----- フランジプレート
- ・ HTB ----- 高力ボルト
- ・ SPL ----- スプライズプレート
- ・ WPL ----- ウェブプレート
- ・ BH ----- 組立てH形鋼
- ・ CHPL ----- フィッパプレート
- ・ FB ----- フラットバー
- ・ GPL ----- ガセットプレート
- ・ RPL ----- リブプレート
- ・ TB ----- ターンバックル
- ・ W1~W9 ----- 溶接記号 (§ 4参照)

§ 3 ボルト接合

3-1 高力ボルト

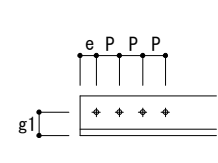
ボルトの長さ

ボルトの呼び径	締付け長さに加える長さ	
	F8T, F10T	S10T
M16	30	25
M20	35	30
M22	40	35
M24	45	40



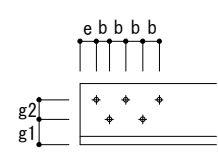
1. 特記以外はすべてS10T (トルシア形高力ボルト、上図) 又はF10Tとする。
2. 本総めに使用するボルトと、仮締めボルトの兼用はしてはならない。
3. ボルトの接合面の処理は、締め付け摩擦面を平グライNDER掛け等を行い、黒皮を除去して一様に赤さびを自然発生させる。ただし、ショットプラスト等を行なった場合はこの限りでない。締め付けは1次締め付け後、マーキングを入れてから本締めをする。
4. 亜鉛メッキボルトの場合は、すべてF8Tとする。

3-2 高力ボルトのピッチ



呼び径	M16	M20	M22	M24	
					標準
最小	60	60	60	70	
はしあき	40	50 (50)	40 (55)	45 (60)	
最小縁端距離	せん断、手動ガス切断線	28	34	38	44
	圧延線、自動ガス切断線	22	26	28	32

()内はボルトが応力方向に3本以上並べない場合を示す。



ゲージ	千鳥打ちのピッチ b	
	M16, 20, 22	M24
g2	50	65
40	45	60
55	25	45

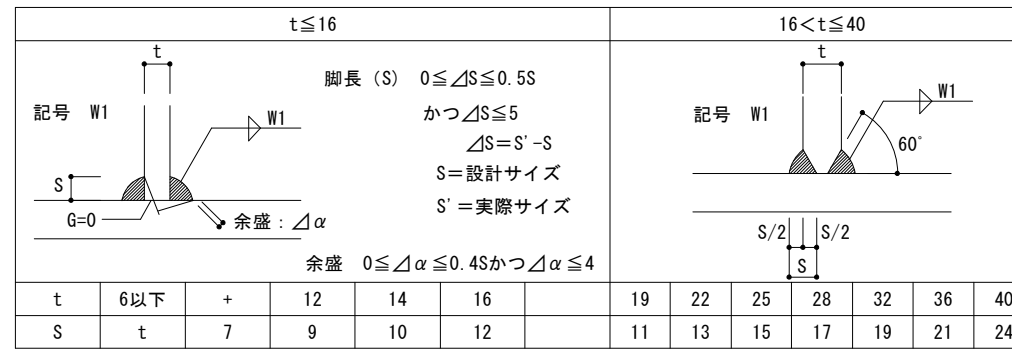
3-3 形鋼のゲージ

A or B	g1	g2	最大軸径	B					
				g1	g2	最大軸径			
**50	30	16	**100	60	16	**50	30	16	
60	35	16	125	75	16	65	35	20	
65	35	20	150	90	22	70	40	20	
70	40	20	175	105	22	75	40	22	
75	40	22	200	120	24	80	45	22	
80	45	22	250	150	24	90	50	24	
90	50	24	*300	150	40	24	100	55	24
100	55	24	350	140	70	24			
125	50	35	400	140	90	24			
130	50	40							
150	55	55							
175	60	70							
200	60	90							

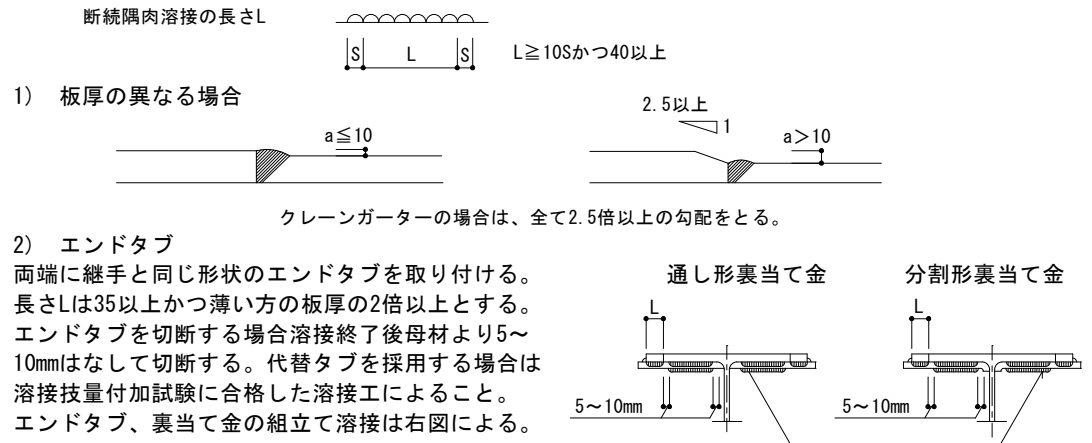
*B=300は千鳥打ちとする。
**印の欄のg及び最大軸径の値は強度上支障がないとき最小縁端距離の規定にかかわらず用いることができる。

4-1 隅肉溶接

§ 4 溶接接合

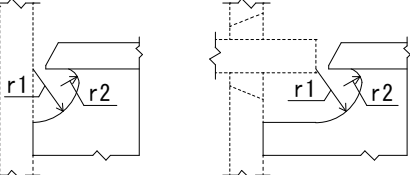


4-2 完全溶込み溶接 (突合せ溶接)



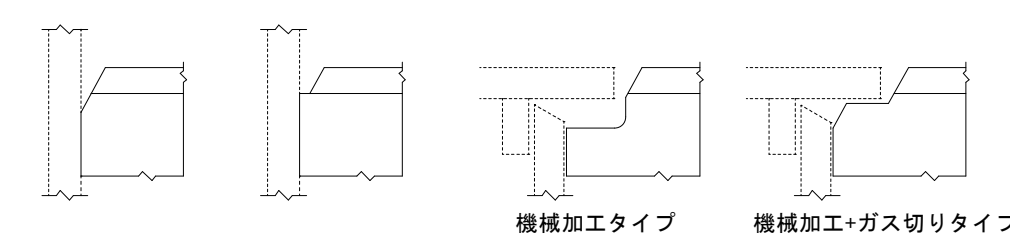
3) 開先加工 (下図は参考とする。)

a) スカラップ工法



- ・ スカラップの円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工する。r1は35程度、r2は10程度とする。なお複合円は滑らかに仕上ること。
- ・ 完全溶込み溶接部以外のスカラップはr=25程度とする。

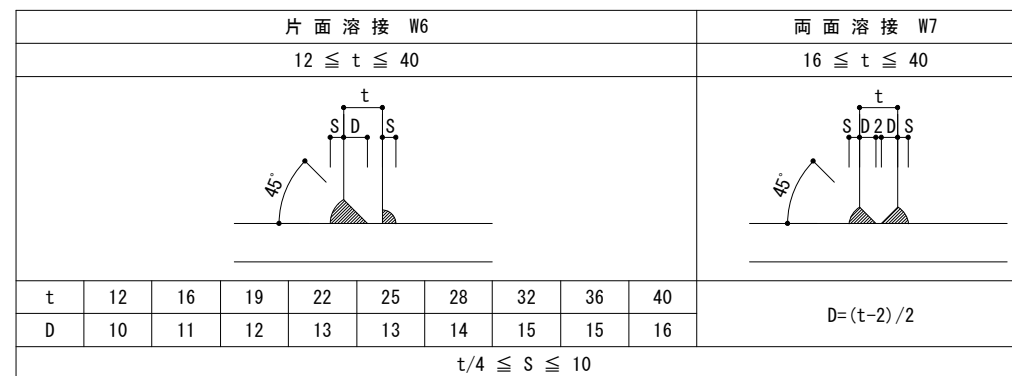
b) ノンスカラップ工法



4) 開先形状

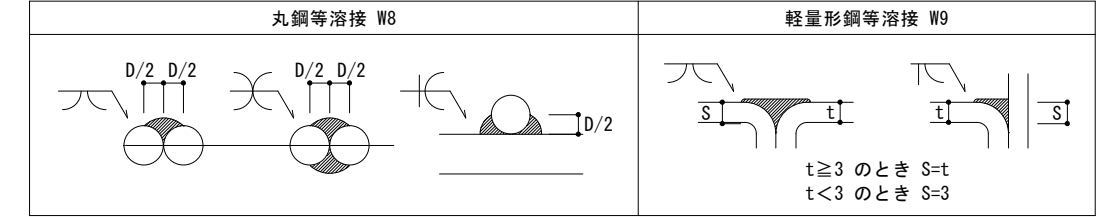
記号	形状	適用板厚	寸法	
			アーク手溶接	ガスシールドアーク溶接
W2		6 ≤ T	G	7 +2 -2
			R	2 +1 -2
			α1	45° -5°
			α2	45° -5°
MC-BL-B1 GC-BL-B1		6 ≤ T	G	9 +2
			R	2 +1 -2
			α1	35° -5°
			α2	35° -5°
W3		6 ≤ T ≤ 19	G	0 +4 -0
			R	2 +2 -2
			α1	45° -5°
			α2	45° -5°
W4		6 < T	G	0 +4 -0
			d1	2/3 (T-R)
			R	2 +2 -2
			d2	1/3 (T-R)
MC-BK-2 GC-BK-2		6 < T	α1	45° -5°
			α2	60° -5°
			G	T -2
W5 MC-B1-B1 GC-B1-B1		3~6	G	T -2
		6~9	G	6 -2

MC...はアーク手溶接 GC...はガスシールドアーク溶接・セルシールドアーク溶接の記号を示す。



4-3 部分溶込み溶接

4-4 フレア溶接

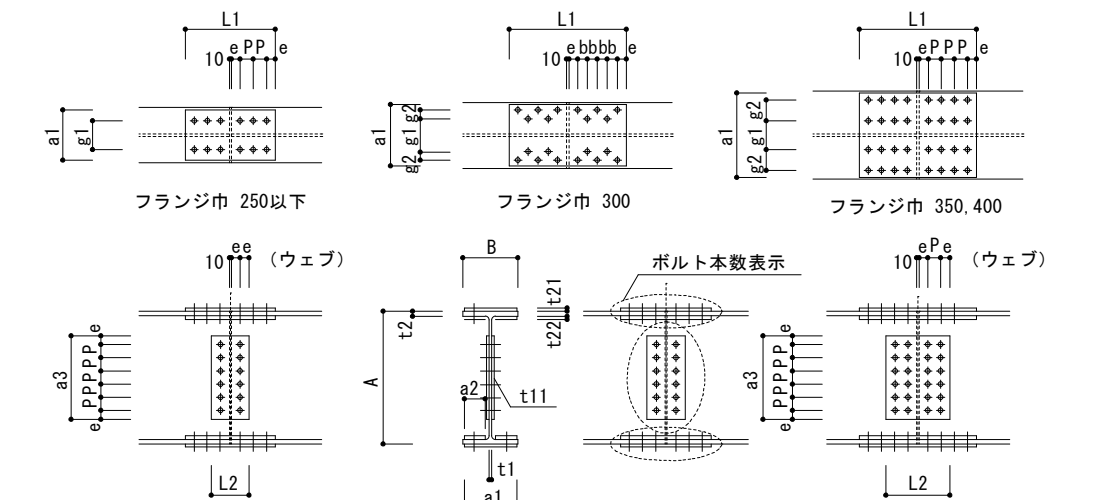


4-5 その他

加工工程中及び現場建方後においてもアークストライク、ショートビートをしてはならない。

5-1 継手リスト

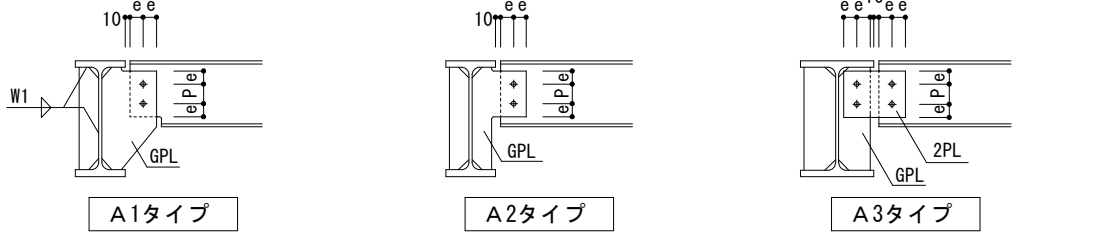
§ 5 継手



材種	主材	高力ボルト	フランジ		ウェブ	
			ボルト本数	外側添板	ボルト本数	添板
H	A × B × t1 × t2	2PL-	t21 × a1 × L1	4PL-	t11 × a3 × L2	ピッチ
BH	A × B × t1 × t2	×	×	×	×	×
H	×	×	×	×	×	×
H	×	×	×	×	×	×
H	×	×	×	×	×	×
H	×	×	×	×	×	×
H	×	×	×	×	×	×
H	×	×	×	×	×	×
H	×	×	×	×	×	×
H	×	×	×	×	×	×
H	×	×	×	×	×	×
H	×	×	×	×	×	×
H	×	×	×	×	×	×
H	×	×	×	×	×	×

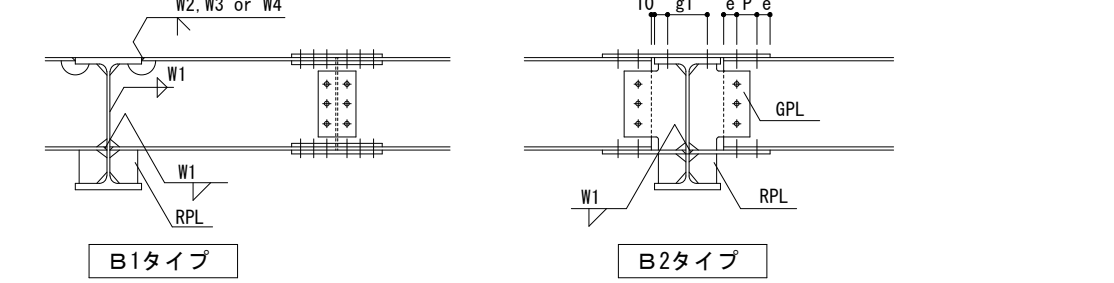
1. フランジPL面もしくはウェブPL面で、段差1mmを超える場合は、フィラーPLを入れて調整すること。
2. a3は原則として梁成の2/3以上確保すること。

5-2 小梁仕口



ピン接合 Aタイプ

剛接合 Bタイプ

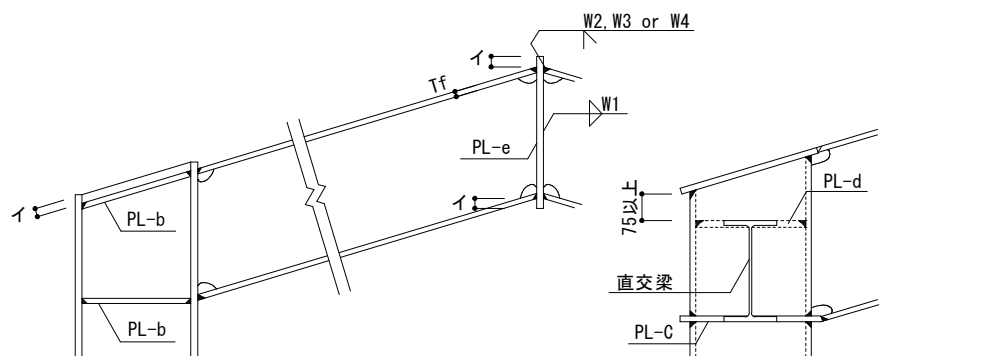


1. GPL, RPLは材種、板厚とも小梁のWPLと同等以上とする。
2. 継手プレート及び高力ボルトはリストによる。

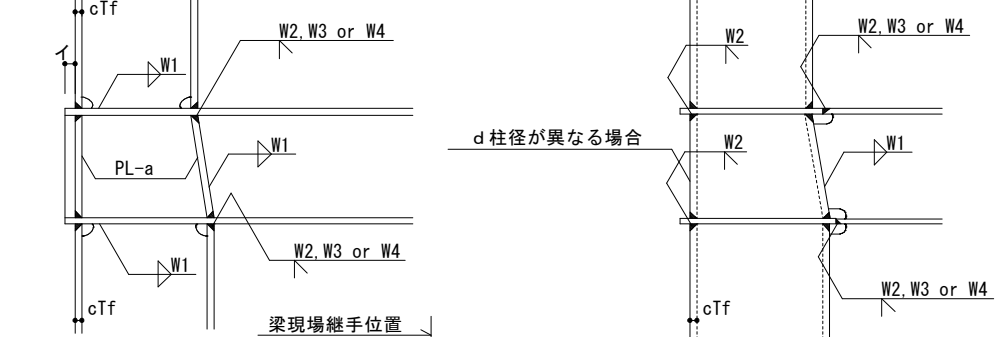
鉄骨工作標準図(2)

§ 6 柱梁接合部及び継手

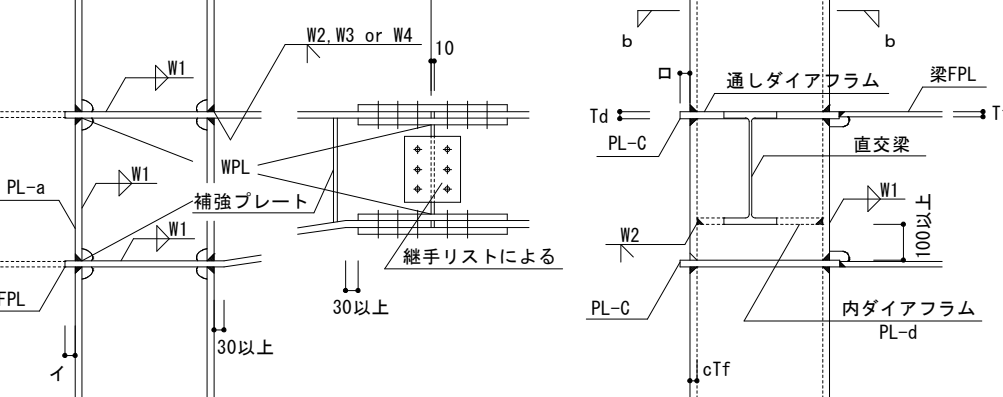
6-1 勾配屋根



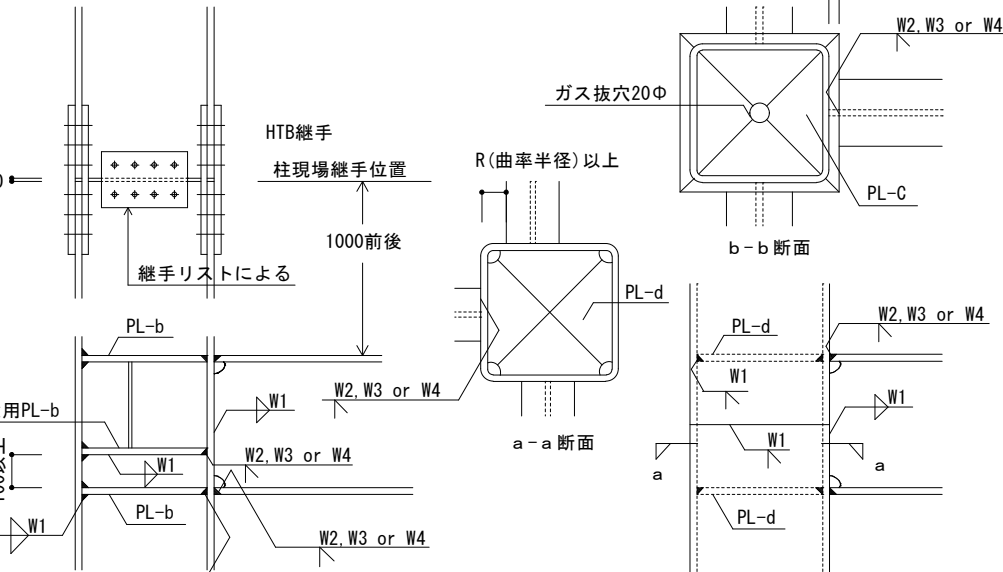
6-2 梁通し



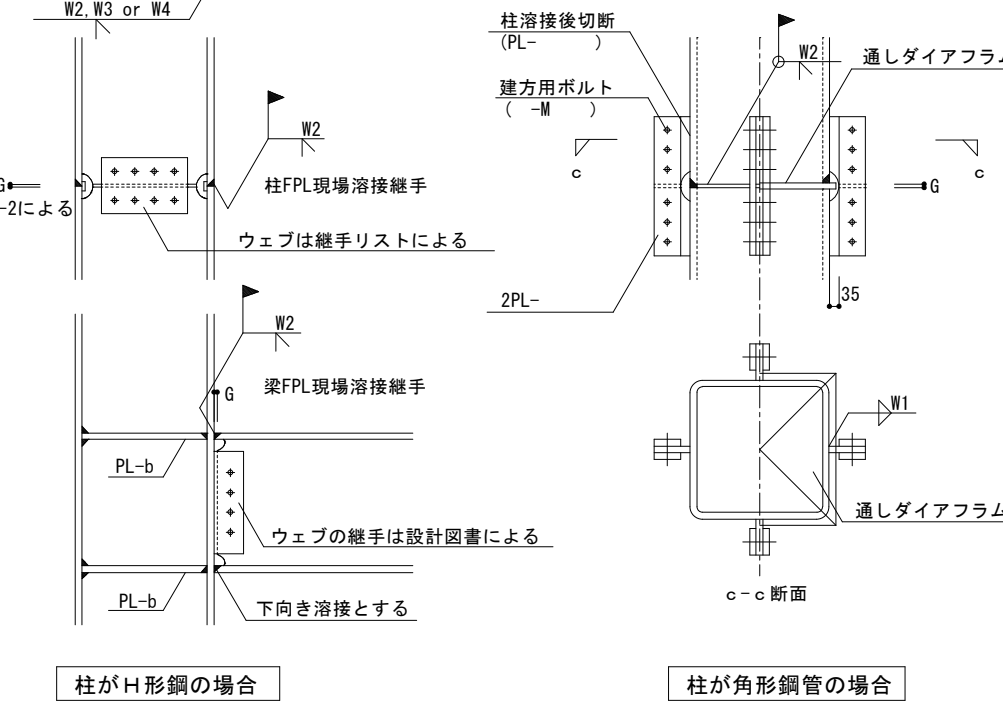
6-3 仕口と継手



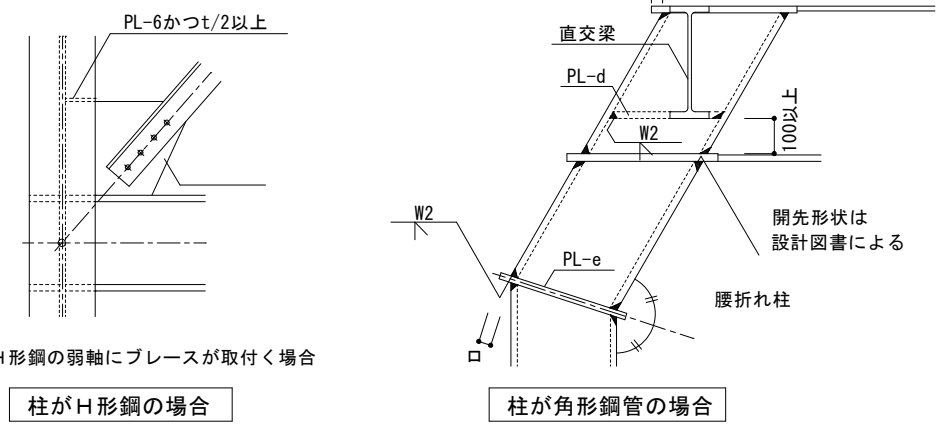
6-4 柱通し



6-5 現場溶接継手



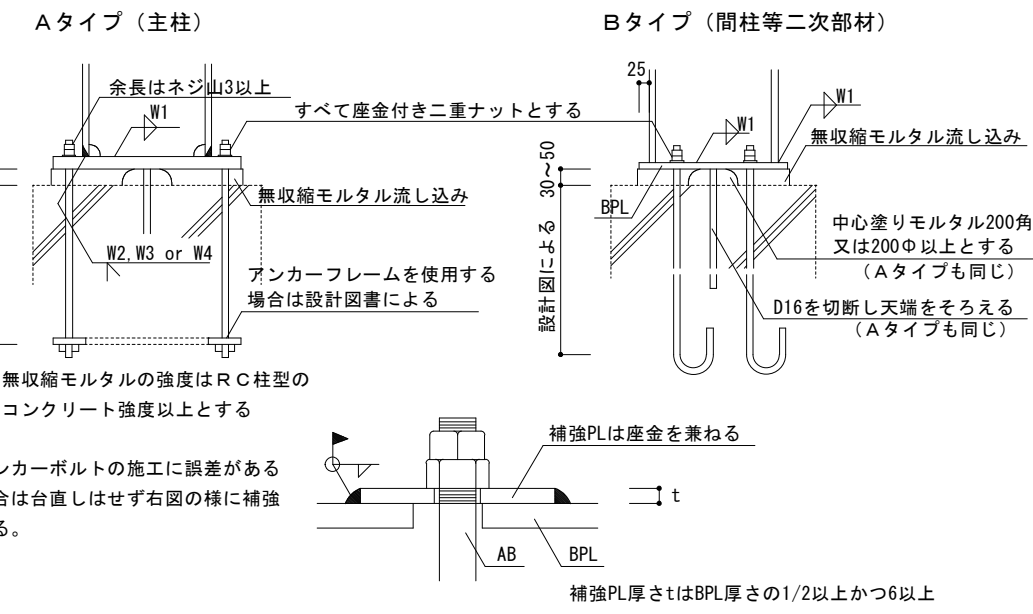
6-6 その他



- 1) パネルゾーンのPLの書き
1. PL-a (鉛直スチフナ) 上下柱のFPLの厚い方より1サイズUP以上
 2. PL-b (水平スチフナ) 仕口部に集結する梁の最大FPLより1サイズUP以上
 3. PL-c (通しダイアフラム) 仕口部に集結する梁の最大FPLより2サイズUP以上かつ柱のFPL以上
 4. PL-d (内ダイアフラム) 仕口部に集結する梁の最大FPLより2サイズUP以上
 5. PL-e (折れ曲がり部) 梁(柱)のFPLより1サイズUP以上
- 2) 出寸法
- イ 25mmかつcTf以上
 - ロ cTf ≤ 25の場合 25
 - ハ cTf ≥ 28の場合 30
- 3) 注記
1. ダイアフラムの材質は特記仕様書による。特記なき場合は、接続する柱及び梁の1ランク上質とする。また接続する柱及び梁の強度及び材質の異なる場合は、強度は大きいほうに同じとし、材質は上の方の1ランク上質とする。
 2. d (6-2項) 上下階で柱径が異なる場合の板厚は上下階の厚い方、材質は上下階柱と同質以上とし、折り曲げ加工又は溶接加工とする。
 3. ハンチ部で、FPLを折り曲げる場合は、 $R \geq 10Tf$ とし補強プレートを入れる。ただし、勾配のゆるい場合(1/6程度)は不要。
 4. ダイアフラムと梁フランジの溶接部は、梁フランジはダイアフラムの厚みの内部で溶接すること。(告示1464)
 5. 現場溶接を行なう場合は工事監理者の承諾を得、養生に十分配慮して行なう。

7-1 一般柱脚

§ 7 柱脚



8-1 プレースリスト

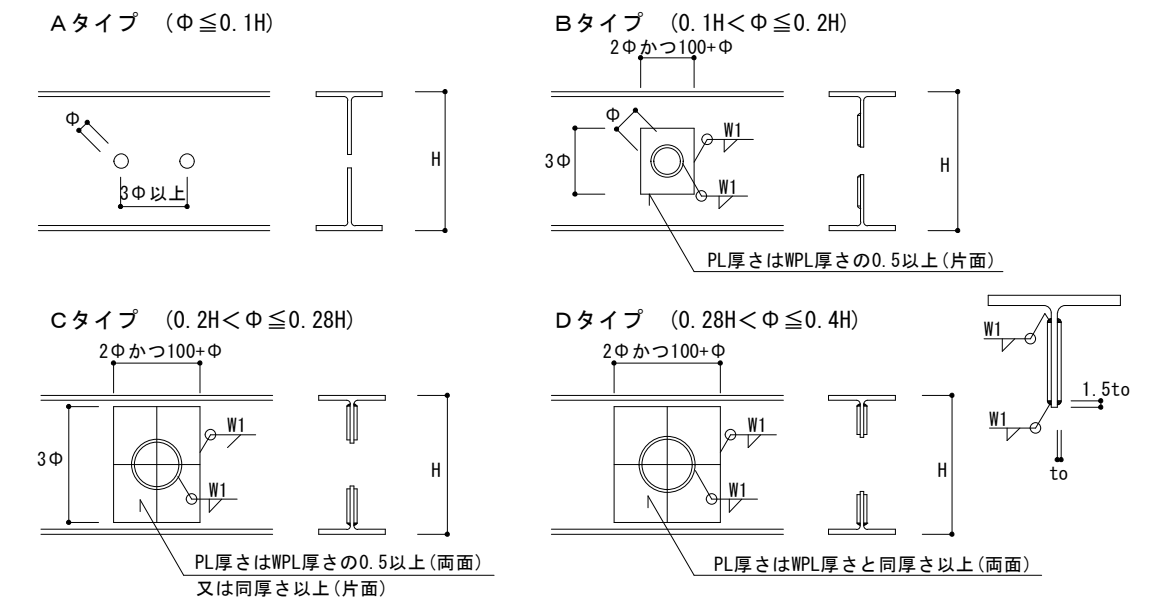
§ 8 壁面ブレース

符号	部材	高力ボルト		GPL		溶接	
		径	本数	t	Le	脚長	ΣL

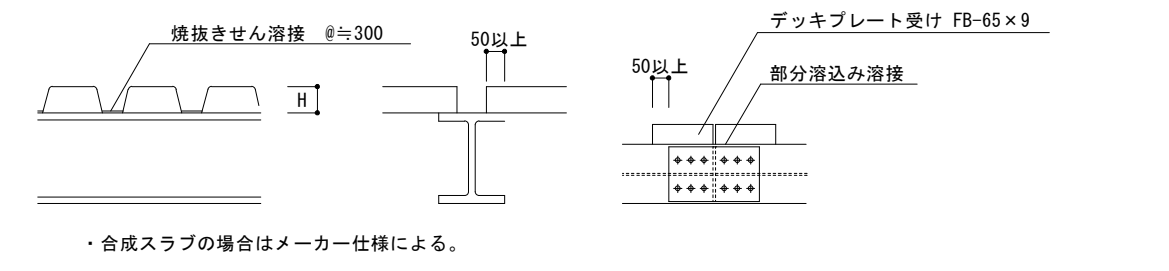
1. GPLの最小幅Leが確保できない場合は、設計者の指示により板厚を変更する。
2. 丸鋼を使用する場合は、丸鋼、ターンバックル共JIS規格品を使用する。
3. 床面ブレースは設計図書に明記なき場合は壁面に準ずる。

§ 9 その他

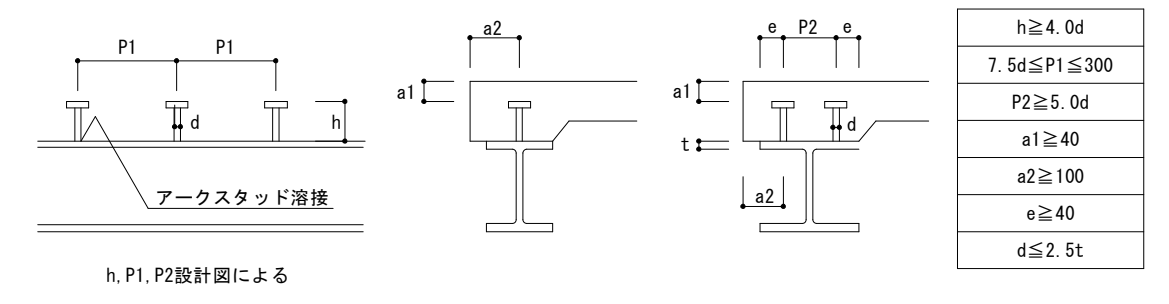
9-1 貫通補強



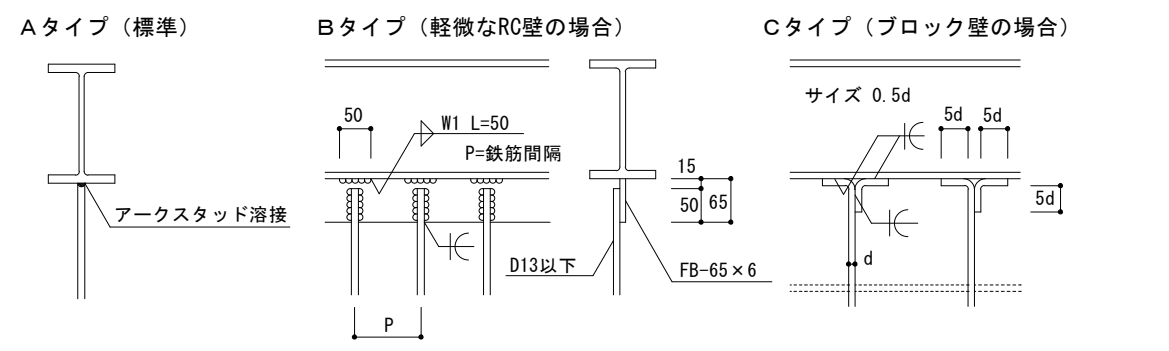
9-2 デッキプレート



9-3 スタッドジベル

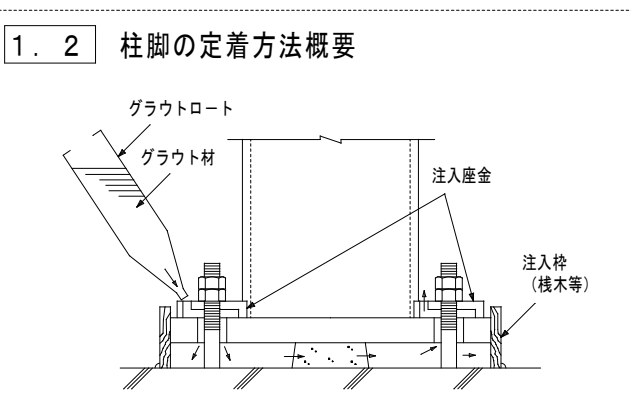
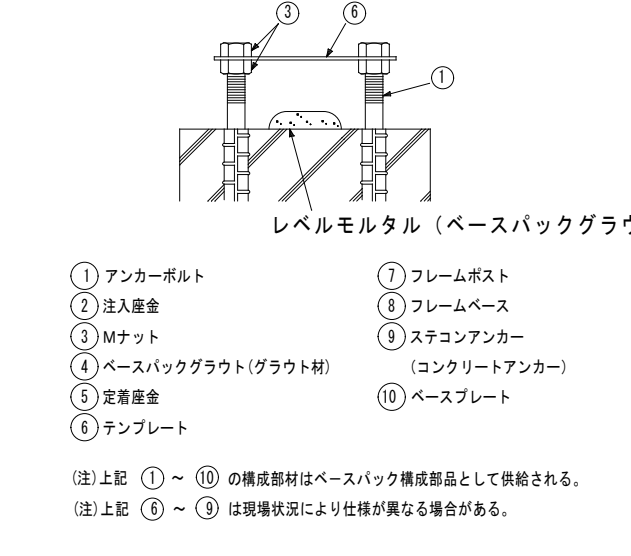
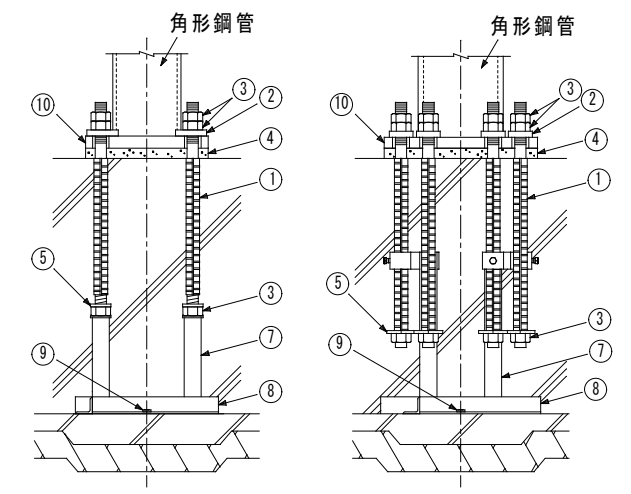


9-4 壁筋の溶接



1. 工法概要

1.1 構成部材

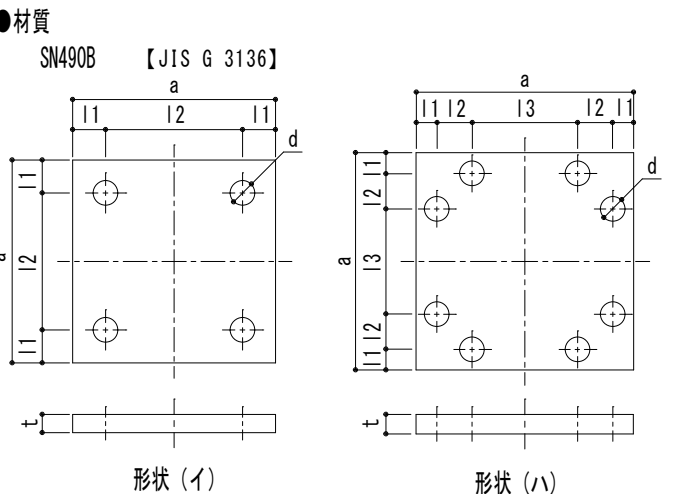


2. 柱

F値 (N/mm ²)	鋼種	採用
235	BCP235	
	STKR400	
295	BCR295	●

3. 構成部材・寸法

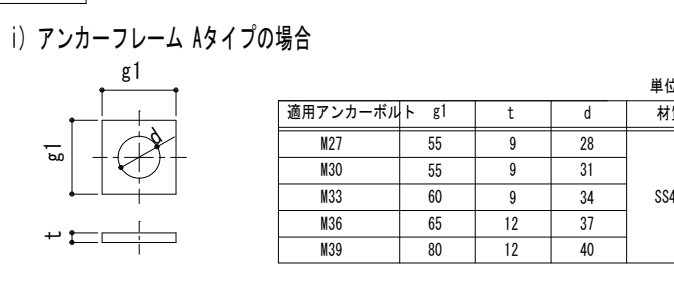
3.1 ベースプレート



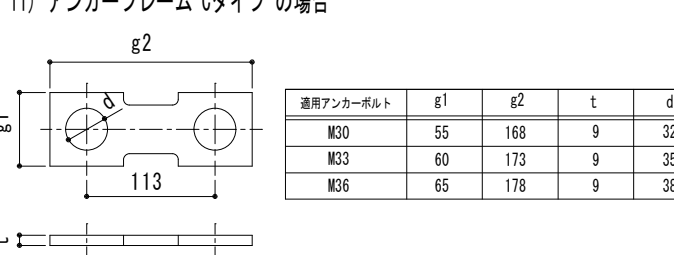
3.3 Mナット

呼び	A	B	(e)	単位 mm
M27	22	41	47	
M30	24	46	53	
M33	26	50	58	
M36	29	55	64	
M39	31	60	69	

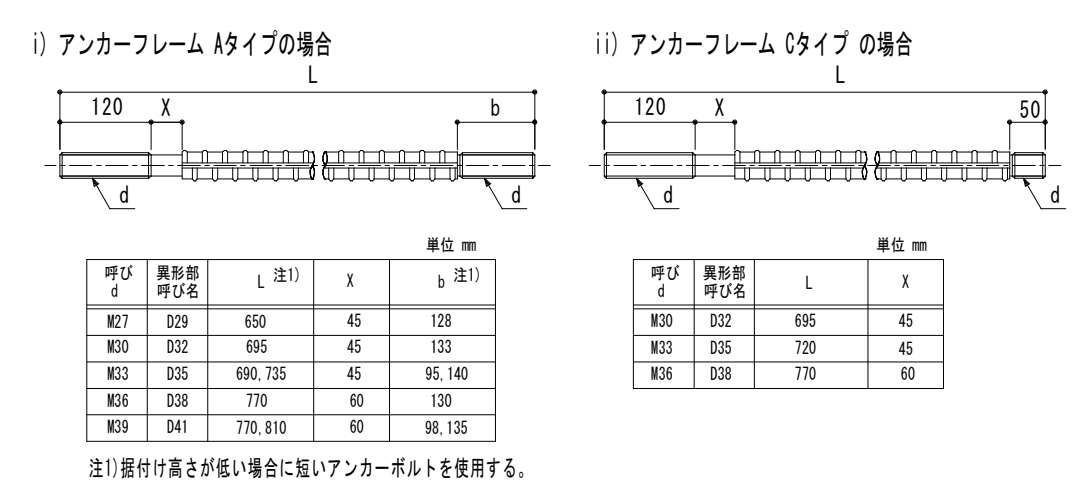
3.4 定着座金



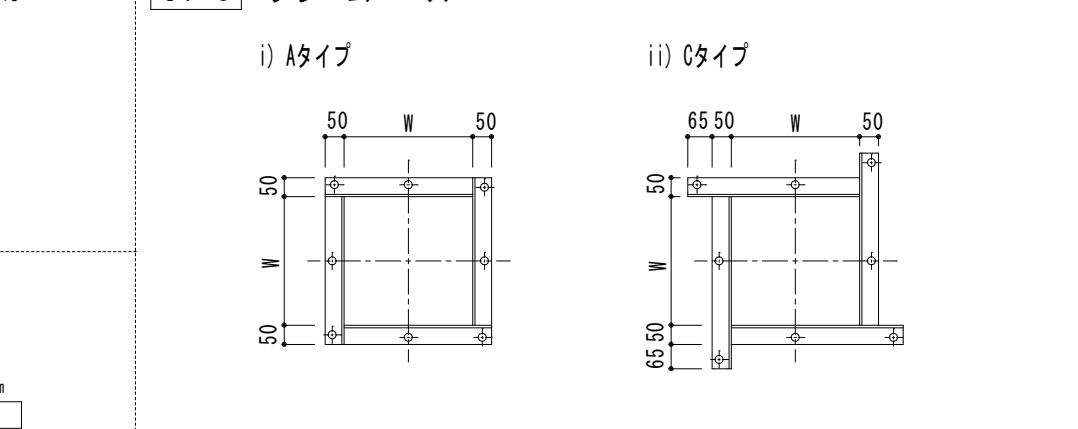
3.5 注入座金



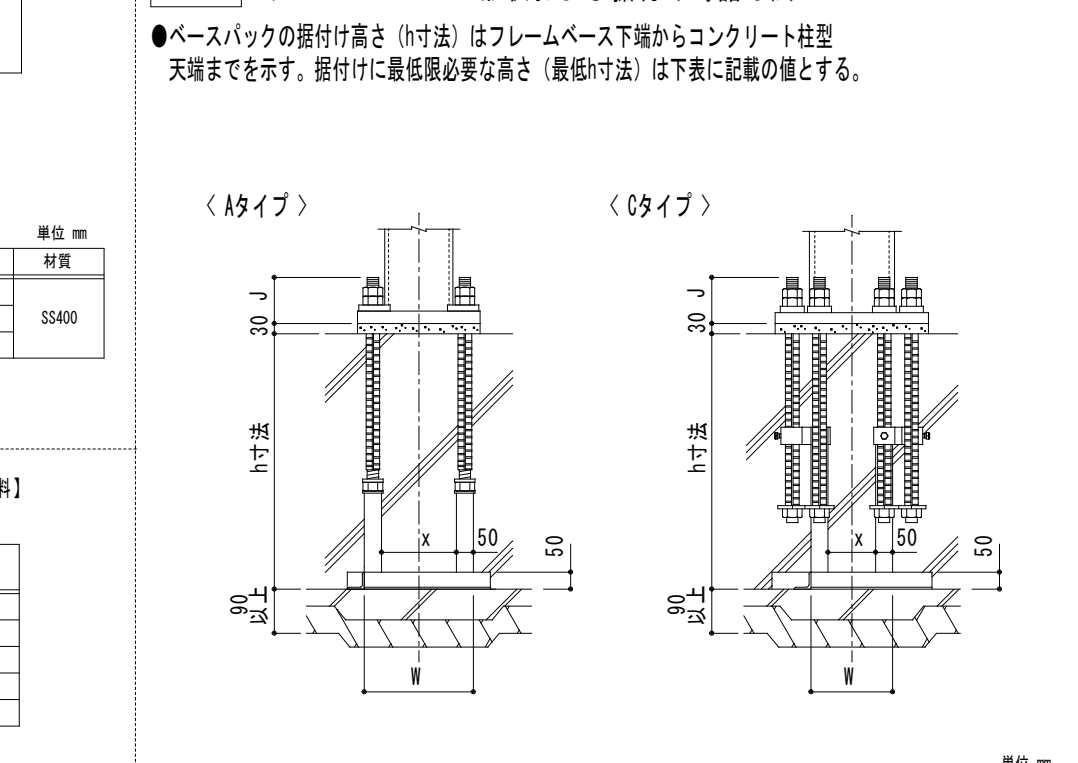
3.2 アンカーボルト (Mアンカーボルト)



3.6 フレームベース

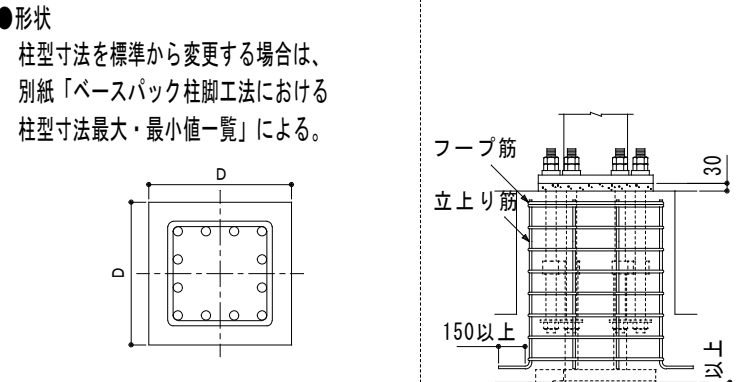


3.7 アンカーフレーム形状および据付け時諸寸法

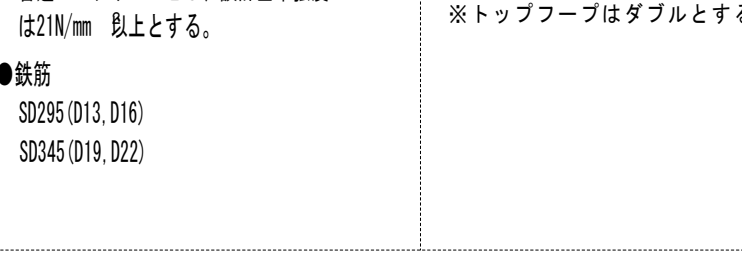


4. コンクリート柱型

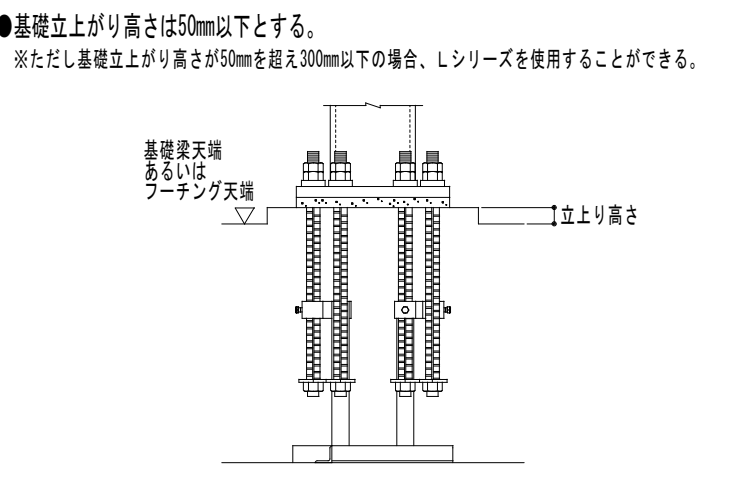
4.1 形状・材質



4.2 配筋



4.3 基礎立上がり



5. 工場製作 (溶接)

図	溶接方法	適用板厚 t (mm)	ルート間隔 G (mm)		ルート面 R (mm)		開先角度 α (°)		溶接姿勢
			標準値	許容差	標準値	許容差	標準値	許容差	
被覆アーク溶接	ガスシールドアーク溶接	6~	7	-2,+0 (-3,+0)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1: 45	-2.5,+0 (-5,+0)	下向き
		9	-2,+0 (-3,+0)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1: 35			
セルシールドアーク溶接	ベースプレート	6~	6	-2,+0 (-3,+0)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1: 45	-2.5,+0 (-5,+0)	下向き
		7	-2,+0 (-3,+0)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1: 35			

6. 工事場施工

6.1 基礎工事

●柱脚部の倍コンの厚さは30mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

6.2 アンカーボルト据付け

●アンカーボルト (フレーム) の組立ては、4隅のアンカーボルト4本で組立てを行う。
●フレームベースはステコンアンカーにより水平に固定する。
●位置決めは、テンプレートの中心線と地墨等の柱心を合致させることにより行い、標準許容差は下図による。

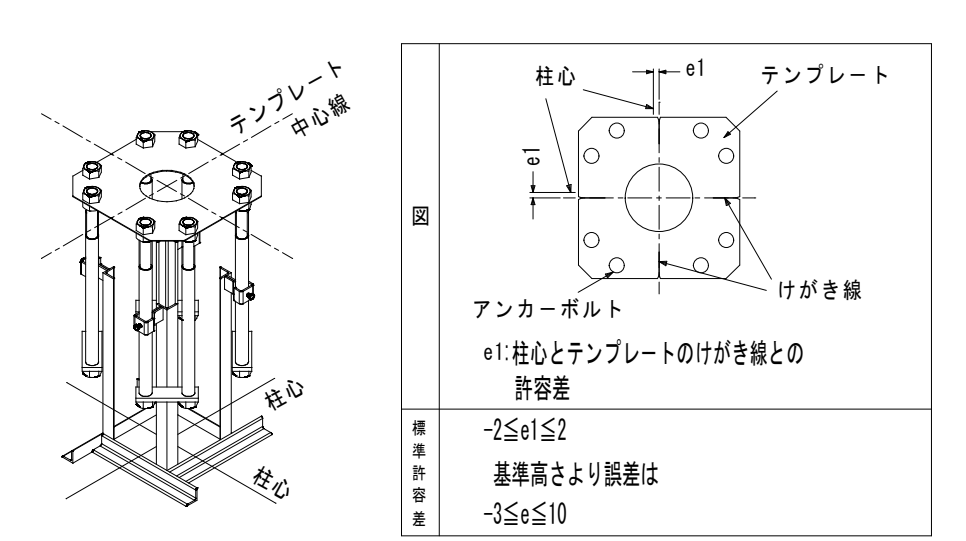


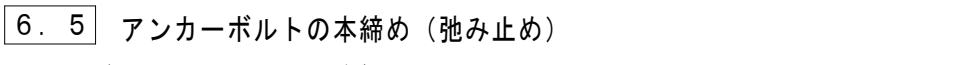
図 標準許容差
e1: 柱心とテンプレートのけがき線との許容差
-2 ≤ e1 ≤ 2
基準高さより誤差は -3 ≤ e ≤ 10

6.3 配筋およびコンクリート打設

●配筋はアンカーボルト (フレーム) との取り合いを考慮する。
●コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する。

6.4 建方

●レベルモルタルはベースパックグラウト (グラウト材) を使用し、大きさは右図による。



6.5 アンカーボルトの本締め (弛み止め)

●本締めはグラウト材の充填前に行い、ダブルナットを標準とする。

6.6 ベースパックグラウト (グラウト材) の注入

●グラウト材のカクハンは、グラウト材1袋 (6kg) に対して、計量カップで1.0~1.1 ℓの水を加え、電動カクハン機で混練することにより行う。
●グラウト材の注入は、グラウトロートを注入座金にセットし、グラウト材の自重により他の注入座金からグラウト材が噴き出るまで行う。

7. 本工法の施工及び施工管理

●本工法は、管理者又は施工者 (元請) の管理のもとで実施するものとする。

●本工法のうち6.2アンカーボルト据付け及び6.6ベースパックグラウトの注入は、ベースパック施工技術委員会によって認定された有資格者 (ベースパック施工管理技術者・施工技能者) が施工を実施し、チェックシート等により施工管理を行うものとする。

●ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作者に属する鉄骨製作管理技術者等による。

採用	ベースパック記号	柱		ベースプレート					アンカーボルト		コンクリート柱型				フレームベース		フレームポスト間		最低h寸法 (mm)	J寸法 (mm)		
		外径 (mm)	板厚 (mm)	材質	形状	寸法 (mm)					本数-呼び	材質	寸法 (mm)	配筋		設計基準強度 (N/mm ²)	寸法 (mm)	寸法 (mm)				
						a	t	l1	l2	l3				d	D						立上り筋	フープ筋
	15-12V	□-150×150	t ≤ 12	SN490B	(イ)	300	28	50	200	-	φ45	4-M27	SD490	A	500	12-D16	D13#100	21以上	250	150	550	135
	17-12V	□-175×175	t ≤ 12	SN490B	(イ)	320	32	45	230	-	φ45	4-M30	SD490	A	530	12-D19	D13#100	21以上	280	180	600	135
	20-09V	□-200×200	t ≤ 9	SN490B	(イ)	360	28	50	260	-	φ45	4-M30	SD490	A	560	12-D16	D13#100	21以上	310	210	600	135
	20-12V	□-200×200	t ≤ 9	SN490B	(イ)	360	32	50	260	-	φ50	4-M33	SD490	A	560	12-D19	D13#100	21以上	310	210	600	135
	25-09V	□-250×250	t ≤ 9	SN490B	(イ)	420	32	55	310	-	φ55	4-M36	SD490	A	610	12-D19	D13#100	21以上	360	260	650	150
●	25-12V	□-250×250	t ≤ 12	SN490B	(イ)	420	36	55	310	-	φ55	4-M39	SD490	A	630	12-D19	D13#100	21以上	370	270	650	150
	25-16V	□-250×250	t ≤ 16	SN490B	(ハ)	450	32	60	80	190	φ50	8-M33	SD490	C	620	12-D19	D13#100	21以上	240	140	650	135
	30-09V	□-200×200	t ≤ 9	SN490B	(イ)	480	36	60	360	-	φ55	4-M39	SD490	A	680	12-D22	D13#100	21以上	420	320	650	150
	30-12V	□-300×300	t ≤ 12	SN490B	(ハ)	520	32	50	80	260	φ50	8-M30	SD490	C	700	12-D22	D13#100	21以上	310	210	650	135
●	30-16V	□-300×300	t ≤ 16	SN490B	(ハ)	520	40	50	80	260	φ55	8-M36	SD490	C	710	12-D22	D13#100	21以上	310	210	700	150
●	30-19V	□-300×300	t ≤ 19	SN490B	(ハ)	550	50	50	80	290	φ55	8-M36	SD490	C	740	12-D22	D13#100	21以上	340	240	700	150

特記事項 ※柱脚は参考図の仕様と同等以上の性能を有するものとする

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士 第117489号 前野 初俊 一級建築士 第320204号 前野 将輝

一級建築士 第360917号 前田 祐作
一級建築士 第277259号 鈴木 丈宜

設計年月日 工事名称 (仮称)津市豊が丘会館別館建築工事
図面番号 S-06 (原図:A2)
図面名称 露出型弾性固定柱脚標準図 縮尺 NS

角形鋼管柱・H形鋼はり接合工法 NDコア設計・施工標準仕様書【基本仕様編】

・本仕様書は別紙「NDコア設計・施工標準仕様書【柱・はり組合せ編】」と合わせて使用すること。
・本仕様書に記載の無い事項は、「NDコアカタログ」の他、日本建築学会「建築工事標準書・同解説 JASS6鉄骨工事」、(財)日本建築センター「2008年版冷間成形形鋼管設計・施工マニュアル」および関連標準に従うこと。

1. NDコア仕様

部材記号	長さ(mm)	設計記号 ^{※1}	数量(個)	斜め切断(勾配)
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 ■ND300 □ND350	900	ND300-900	3	□斜め切断 () 度、寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 ■ND300 □ND350	400	ND300-400	5	□斜め切断 () 度、寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350				□斜め切断 () 度、寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350				□斜め切断 () 度、寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350				□斜め切断 () 度、寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350				□斜め切断 () 度、寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350				□斜め切断 () 度、寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350				□斜め切断 () 度、寸

※1 設計記号は、部材記号-長さ(mm)で記入する。(例) ND300-600、ND200-550

(1) NDコアの形状寸法および重量

部材記号	外径 ^{※2} (mm)	公差	板厚 ^{※3} (mm)	単位質量 (kg/m)	長さ範囲 ^{※3} (mm)	材質	断面形状 ^{※4}
ND150	152	+2.0	16.5	69.8	150~	JIS G 3136	ND150~ND200
ND175	177		17.0	85.1			
ND200	202	-2.0	22.0	124	+3.0 -0	SM490B	ND250~ND350
ND250	252		24.0	184			
ND300	302		29.0	265			
ND350	352		33.8	360			

※2 コラムとの食い違い防止のため、NDコアの外径を基準寸法としている。

※3 NDコアの長さは1.0mmピッチで対応。

※4 NDコア側面には溶接ビードの盛り上がりがあるため、はり取付時はグラインダで仕上げをするなど適切に処置すること。

(2) 適用する柱およびはり材

a) 適用する柱材の材質および規格

- ・建築構造用冷間成形形鋼管 BCR295
- ・一般構造用角形鋼管 (JIS G 3466) STKR400

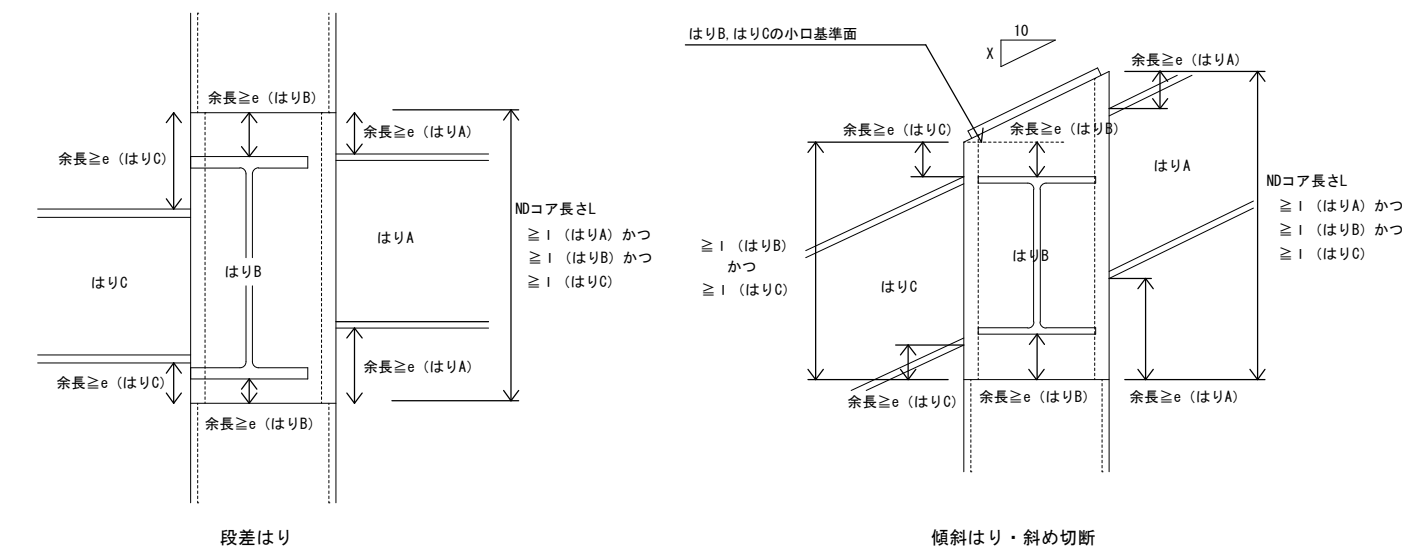
b) 適用するはり材の材質および規格：下記規格のH形鋼

- ・建築構造用圧延鋼材 (JIS G 3136) SM400B、C
- ・一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101) SS400
- ・溶接構造用圧延鋼材 (JIS G 3106) SM400A、B

2. NDコア仕様の決め方

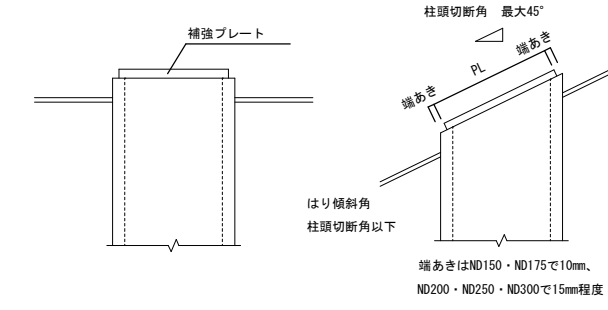
(1) NDコア長さの設定方法と注意点

- NDコアの長さLは、取付各はり(最大で4方向)全てに対して、最小余長eを確保し、かつ最小長さl以上となるようにする。
最小余長e、最小長さlははりの組合せで決まっている寸法であり、「設計・施工標準仕様書【柱はり組合せ編】」を参照する。
- はりに傾斜がある場合には、はり取り付き部の長さの増加を加えてNDコア長さを設定すること。
- 柱頭部上部を斜め切断仕様とする場合は、それぞれの接合面に対応する小口において、最小余長e、最小長さlを確保する。
小口が傾斜している面では、低い位置を基準として最小余長e、最小長さlを確保する。
- 柱頭部の斜め切断の勾配は45°(10寸勾配)以下とする。



(2) 柱頭部仕様

- 柱頭部では、NDコア小口面に下表に示す補強プレートを取り付けること。
- 柱頭部を斜め切断する場合は、片流れの切断とし、切断角度は45°以下とする。
- 柱頭部を斜め切断した場合は、はりの傾斜は切断角度以下とする。
- どぶ付けめっきのため補強プレートに開口を設ける場合は、断面欠損を考慮し、板厚を割増すことが望ましい。

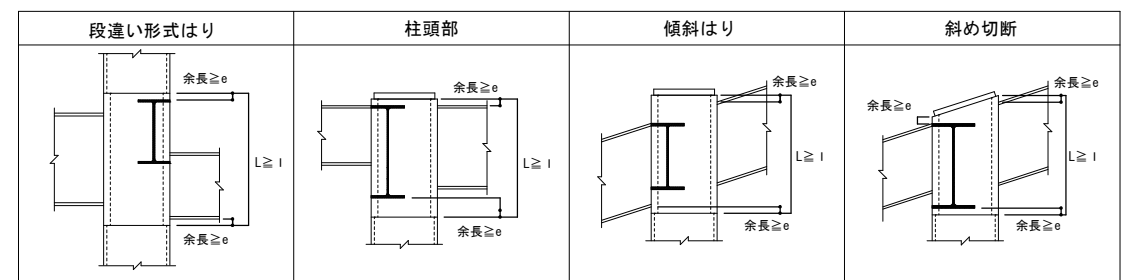


補強プレート仕様

NDコア 部材記号	斜め切断無し		斜め切断有り	
	寸法 (mm)	板厚 (mm)	寸法 (mm)	板厚 (mm)
ND150	130×130	≥6	130×PL	≥6
ND175	155×155	≥6	155×PL	≥6
ND200	170×170	≥9	170×PL	≥9
ND250	220×220	≥9	220×PL	≥9
ND300	270×270	≥12	270×PL	≥12
ND350	310×310	≥12	310×PL	≥12

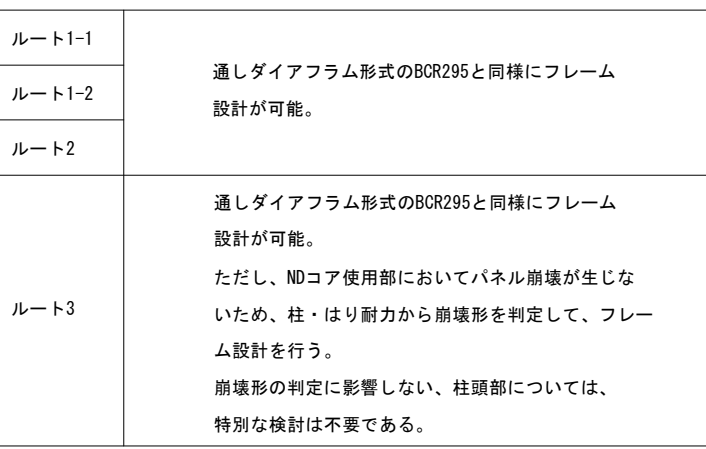
材質：SM400A、B、C、SS400、SM400A、B、C

【NDコア長さの採り方例】



3. 鉄骨躯体の設計方法

- NDコアは柱・はり組合せ表の範囲において柱、はりに対して、許容応力度設計、保有耐力接合条件を満足しており、あらかじめ接合部の検討は不要である(【柱はり組合せ編】参照)。
- NDコアを用いた柱はり接合部では、通しダイヤフラム形式の架構と同様に節点を剛とし、柱およびはりを線材置換して、鉄骨フレームの設計を行うことができる。
- NDコアを用いた柱およびはり等の鉄骨フレームの設計については、下記の規基準等によるものとし、通常の設計フローに従って、部材の設計、架構解析、耐力の確認等を行う。ただし、ルート3を用いて設計をする場合、NDコアは適用範囲においてパネル崩壊とならないため、柱はり耐力比から崩壊形を判定して保有耐力の検討を行う。
 - ・平成20年5月23日施行改正建築基準法
 - ・平成19年国土交通省告示第593号、第594号、第595号、第596号
 - ・(財)日本建築センター「2007年版建築物の構造関係技術基準解説書」
 - ・同「2008年版冷間成形形鋼管設計・施工マニュアル」



4. NDコア鉄骨製作要領

(1) 鉄骨製作方法

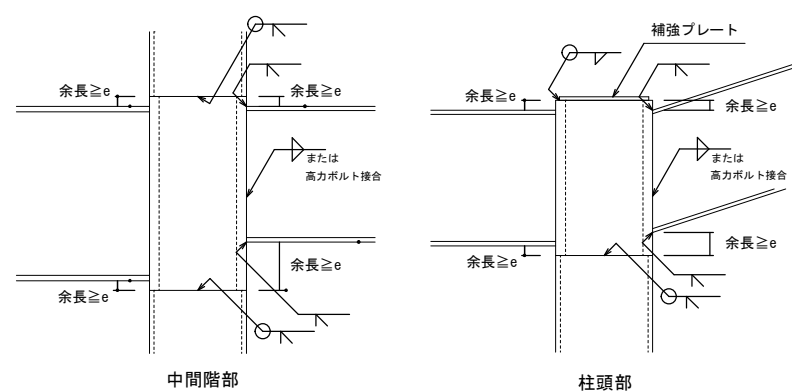
- NDコアと柱およびはりの接合は鉄骨製作者が行い、施工管理は鉄骨製作者に属する鉄骨製作管理技術者が行う。鉄骨製作に関し特に確認すべき事項については「NDコア鉄骨加工要領書」に示す。
- 記載なき事項については、(社)日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説 JASS6鉄骨工事」、同「鉄骨工事技術指針」、および(財)日本建築センター「2008年版冷間成形形鋼管設計・施工マニュアル」による。

(2) 接合方法

- NDコアと柱およびはりフランジとの接合は完全溶け込み溶接とし、NDコアとはりウェブとの接合は隅肉溶接または高力ボルト接合とする。
- NDコアとはりの接合はNDコア小口面から余長e以上を確保して接合する。余長eは別紙「柱はり対応表」にて特記の無い限りは25mmとする。
- NDコアは、NDコア小口面から余長eを除いた全ての部分ではりの取り付けが可能だが、はり外面合せの場合、NDコアの角部分と裏当て金に隙間が生じたときは、隙間を溶接で埋めて本溶接を行う等適切に処置する。
- NDコアとはりとの接合の際、NDコア製作時の溶接余盛とはりが接触する場合は、グラインダで平滑に仕上げる等適切に処置する。

(3) 柱頭部補強プレート取り付け方法

- 柱頭部は、NDコア小口面に右表に示す仕様の補強プレートを全周隅肉溶接により取り付ける。
- 全周隅肉溶接は右表に示す溶接サイズで、490N級の溶接ワイヤを用いて行う。
- 柱頭部を斜め切断すると、NDコア小口面の長さが増加するため、右図を参考に、実状に合わせて補強プレートを準備する。



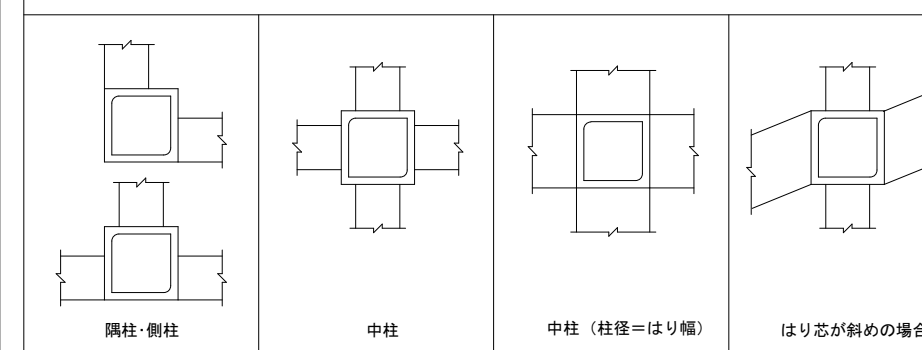
補強プレート取り付け仕様

NDコア 部材記号	斜め切断無し		斜め切断有り		隅肉溶接仕様 溶接サイズ (mm)
	寸法 (mm)	板厚 (mm)	寸法 (mm)	板厚 (mm)	
ND150	130×130	≥6	130×PL	≥6	≥6
ND175	155×155	≥6	155×PL	≥6	≥6
ND200	170×170	≥9	170×PL	≥9	≥9
ND250	220×220	≥9	220×PL	≥9	≥9
ND300	270×270	≥12	270×PL	≥12	≥12
ND350	310×310	≥12	310×PL	≥12	≥12

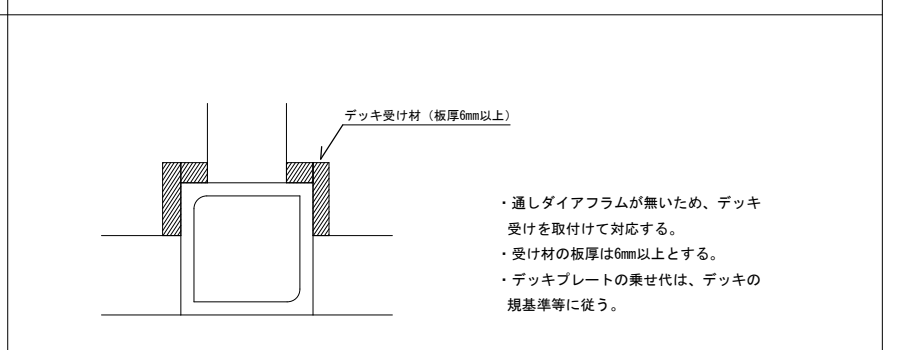
材質：SM400A、B、C、SS400、SM400A、B、C

5. NDコア納まり例

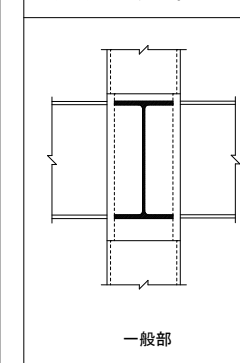
(1) はり取り付け位置



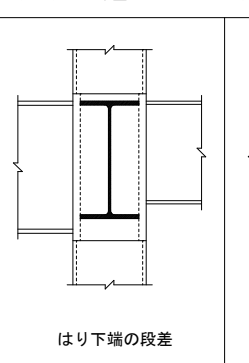
(6) デッキプレート納まり



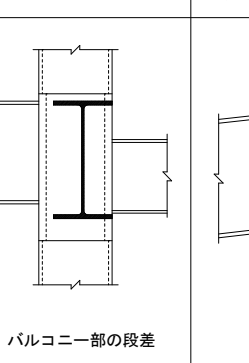
(2) 一般部



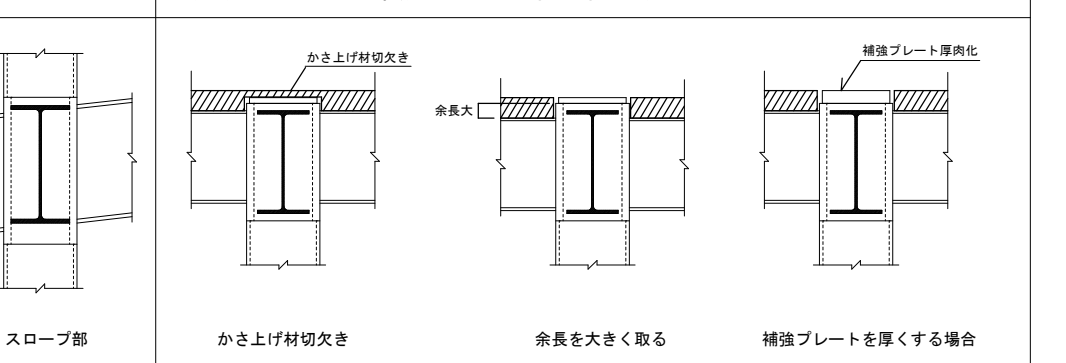
(3) 段違い形式はり



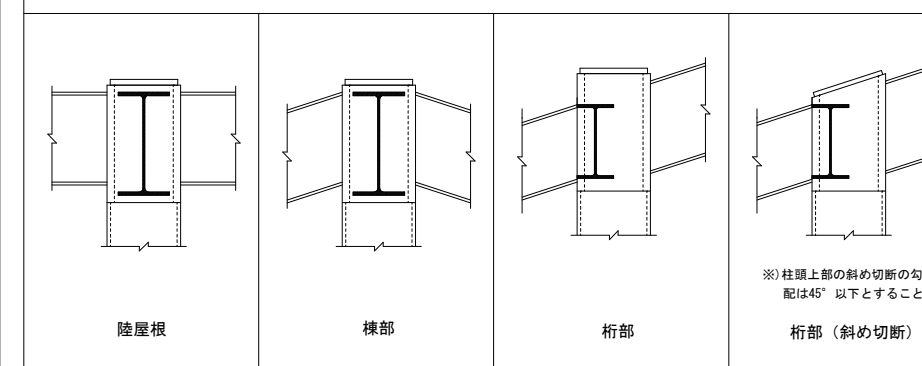
(4) スロープ



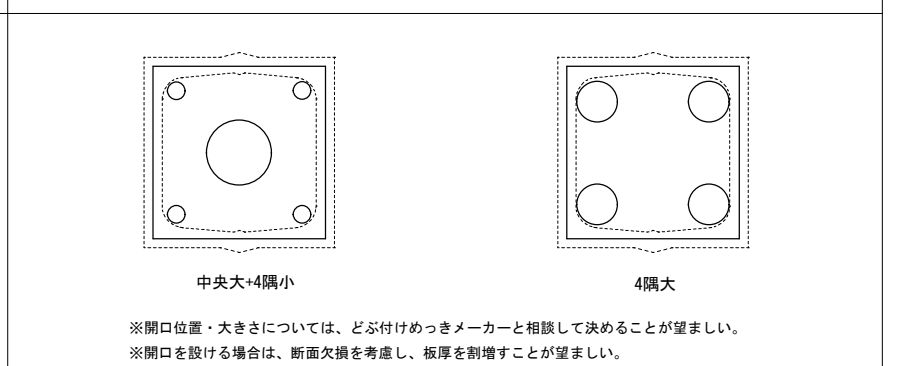
(7) NDコアと屋根用かさ上げ材の納まり



(5) 柱頭部



(8) 補強プレートどぶ付けめっき用開口



特記事項 ※ノンダイヤコアは参考図の仕様と同等以上の性能を有するものとする

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士 第117489号 前野 初俊
一級建築士 第320204号 前野 将輝

一級建築士 第360917号 前田 祐作
一級建築士 第277259号 鈴木 丈宜

設計年月日 工事名称 (仮称)津市豊が丘会館別館建築工事
図面名称 ノンダイヤコア標準図1
図面番号 縮尺 S-08 (原図:A2) NS

角形鋼管柱・H形鋼はり接合法

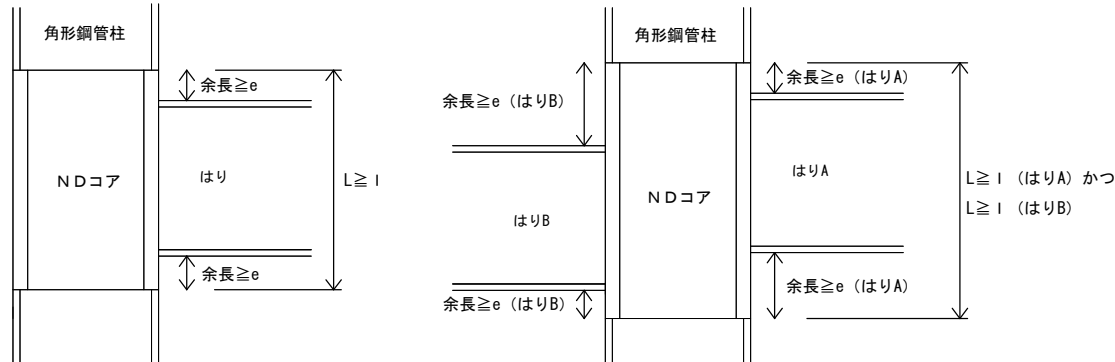
NDコア設計・施工標準仕様書 【柱・はり組合せ編・別表 1/2 はり細幅】

1. 表の見方

使用する柱（横軸）、はり（縦軸）を選択し、NDコアの必要最小長さlと余長の必要最小寸法eを^{※1}を確認する。

- 柱材：BCR295およびSTKR400の冷間ロール成形角形鋼管
・はり材：400N級（SS400、SM400、SN400B・C等）のJIS G 3192記載のH形鋼
・NDコア長さL：NDコアの長さ
・最小長さl：柱はり組合せで決まるNDコアの最小長さ
・余長：NDコア小口面から はりフランジ端面までの距離
・最小余長e：確保する余長の最小値

※1 記載の無い場合は25mmとする。記載がある場合、数値以上の余長を確保する。



2. NDコアの形状および寸法

Table with columns for part number, outer diameter, tolerance, plate thickness, unit weight, length range, material, and cross-section. It lists specifications for ND150, ND175, ND200, ND250, ND300, and ND350.

※2 コラムとの食い違い防止のため、NDコアの外径Bを標準寸法としている。
※3 NDコアの長さは1.0mmピッチで対応。
※4 NDコア側面には溶接ビードの盛り上がりがあるため、はり取付時はグラインダで仕上げをするなど適切に処置すること。

3. 注意点

- 組合せ表の最小長さl、最小余長eは、はりの短期降伏耐力をはり全断面を有効として設定している。
・NDコアの標準的な納まり等は、「NDコア設計・施工標準仕様書【基本仕様編】」に記載している。

4. NDコア最小長さlと余長e

4-1. ND150~ND200

Main table for ND150~ND200 showing required length l and minimum remaining length e for various beam types (H-100 to H-606) across different core types (ND150, ND175, ND200).

4-2. ND250~ND350

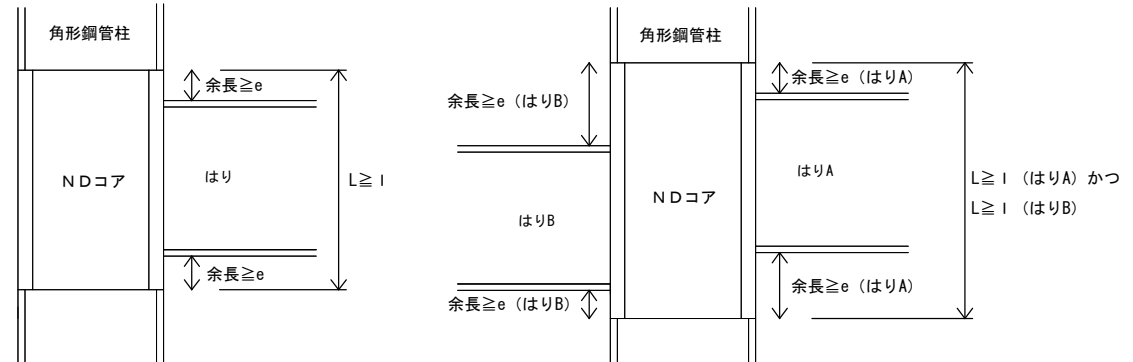
Main table for ND250~ND350 showing required length l and minimum remaining length e for various beam types (H-100 to H-606) across different core types (ND250, ND300, ND350).

1. 表の見方

使用する柱（横軸）、はり（縦軸）を選択し、NDコアの必要最小長さlと余長の必要最小寸法eを^{※1}を確認する。

- 柱材：BCR295およびSTKR400の冷間ロール成形角形鋼管
・はり材：400N級（SS400、SM400、SN400B・C等）のJIS G 3192記載のH形鋼
・NDコア長さL：NDコアの長さ
・最小長さl：柱はり組合せで決まるNDコアの最小長さ
・余長e：NDコア小口面からはりフランジ端面までの距離
・最小余長e：確保する余長の最小値

※1 記載の無い場合は25mmとする。記載がある場合、数値以上の余長を確保する。



2. NDコアの形状および寸法

Table with columns for part number, outer diameter, tolerance, plate thickness, unit weight, length range, material, and cross-section. It lists specifications for ND150, ND175, ND200, ND250, ND300, and ND350.

※2 コラムとの食い違い防止のため、NDコアの外径Bを基準寸法としている。
※3 NDコアの長さは1.0mmピッチで対応。
※4 NDコア側面には溶接ビードの盛り上がりがあるため、はり取付時はグラインダで仕上げをするなど適切に処置すること。

3. 注意点

- 組合せ表の最小長さl、最小余長eは、はりの短期降伏耐力をはり全断面を有効として設定している。
・NDコアの標準的な納まり等は、「NDコア設計・施工標準仕様書【基本仕様編】」に記載している。

4. NDコア最小長さlと余長e

4-1. ND150~ND200

Main table for ND150~ND200 showing required length l and minimum core thickness e for various column and beam combinations. Columns are grouped by ND core size (ND150, ND175, ND200) and beam type (中幅系列, 広幅系列).

4-2. ND250~ND350

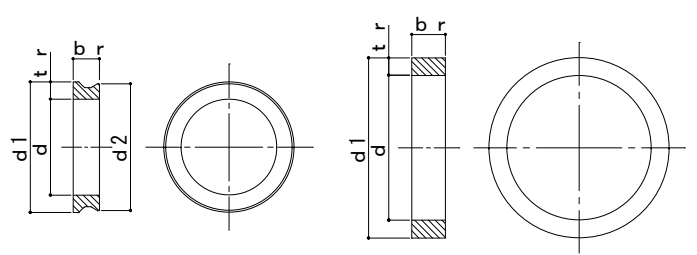
Main table for ND250~ND350 showing required length l and minimum core thickness e for various column and beam combinations. Columns are grouped by ND core size (ND250, ND300, ND350) and beam type (中幅系列, 広幅系列).

鉄骨梁貫通孔補強工法 OSリング®工法設計施工標準図

一般財団法人日本建築センターによる一般認定「BCJ認定-ST0135-07」（平成24年8月17日付）

2015年6月作成

1. OSリング形状寸法



鋼材の種類および製造方法

タイプI 国土交通大臣認定材
認定番号：MSTL-0352
(SNR490B相当)
ローリング鍛造加工

タイプII STKN490B 鋼管切断加工 または
SN490B 厚板切断加工

※1：原則、梁ウェブ貫通孔径は適用貫通孔径の範囲とする。ただし、OSリング内径(d)の75%まで小さくすることができる。

※2：300L、350L、400S、400L、450S、450Lおよび500Sは、梁ウェブ貫通孔径をOSリング内径(d)まで拡げることができる。

※3：内径(d)は仕様上、表数値よりタイプIで最大4mmタイプIIで最大11mm小さくなる事があるので納まりに注意する。

※4：括弧内の数値は、梁鋼種がSA440の場合の必要隅肉溶接サイズを示す。

標準貫通孔径	適用※1貫通孔径 dw	タイプ	品名	寸法 (mm)					必要隅肉溶接サイズ S※4
				d※3	d1	d2	br	tr	
φ100	φ75~φ100	I	100S	100	122	120	20	11	5(6)
			100L	100	144	140	33	22	9
φ125	φ101~φ125	I	125S	125	151	149	24	13	5(6)
			125L	125	177	171	39	26	9
φ150	φ126~φ150	I	150S	150	178	176	27	14	5(6)
			150L	150	208	202	44	29	9
φ175	φ151~φ175	I	175S	175	207	203	30	16	6
			175L	175	241	233	50	33	9
φ200	φ176~φ200	I	200S	200	234	230	32	17	6
			200L	200	270	262	53	35	9
φ250	φ201~φ250	I	250S	250	290	286	39	20	6
			250L	250	332	322	63	41	9
φ300	φ251~※2φ300	II	300S	300	346	340	43	23	7
			300L	313	391	-	64	39	12
φ350	φ301~※2φ350	I	350S	350	400	394	47	25	7
			350L	350	448	394	73	42.5	12
φ400	φ351~※2φ400	II	400S	413	461	-	48	24	7
			400L	413	508	-	84	47.5	13
φ450	φ401~※2φ450	II	450S	463	525	-	44	31	7
			450L	463	568	-	88	52.5	13
φ500	φ451~※2φ500	II	500S	513	575	-	51	31	8
			600S	613	683	-	57	35	8

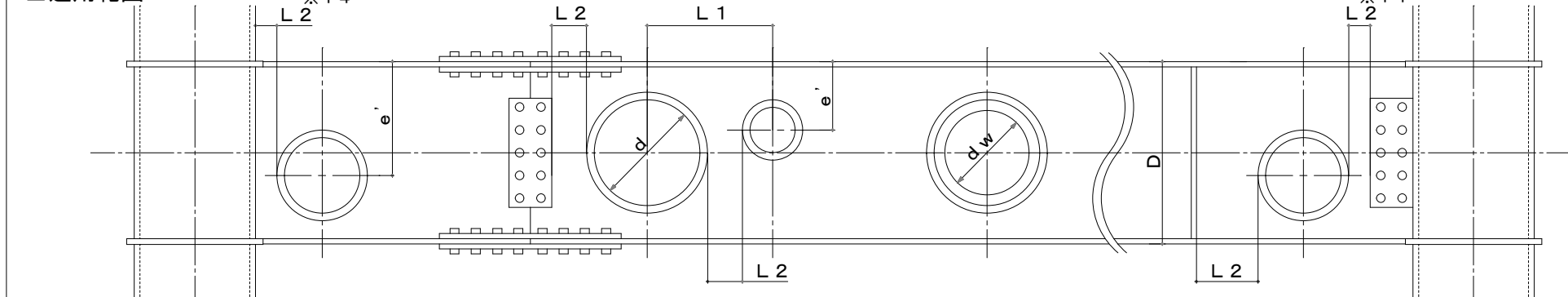
2. 設計

OSリングの採用を検討の際は、「OSリング工法設計ハンドブック」を必ず確認すること。

■検討および使用の決定

貫通孔無しで構造計算を行った結果から得られる貫通孔部分の存在応力が、OSリング工法を用いた貫通孔部分の耐力を上回らないことを確認する必要があるため、OSリングの使用の決定は構造設計者により行う。

■適用範囲



■適用範囲の梁

断面形状	H形断面
梁せい	1500mm以下
フランジ幅	600mm以下
ウェブ厚	32mm以下※5
鋼種	SS400, SM400, SN400※6, SM490, SN490, SM520, F≤440の大臣認定建築構造用鋼材
梁の※7部材種別	FA, FB, FC, FD※8

■貫通孔の規定

dw	2/3・D以下※9、かつ D-2(tf+a+tr)以下
貫通孔の偏心量 e'	1/2・D-(1/3・De-1/2 dw)以上、※10 1/2・D+(1/3・De-1/2 dw)以下、※10 かつ tf+a+tr+1/2・dw以上、D-(tf+a+tr+1/2・dw)以下
L1	1.5dw以上(dwは大きい方)
L2	70mm以上※14

D：梁せい、dw：貫通孔径、tf：フランジ厚、tr：OSリング肉厚
a=max(30, r+1.8S)、ただし、B>400の場合、a=max(40, r+1.8S)
B：はり幅、S：OSリングの隅肉溶接サイズ
r：H形鋼のフィレット寸法またはビルトH鋼の溶接サイズ
De=D、ただしD>1200の場合De=1200

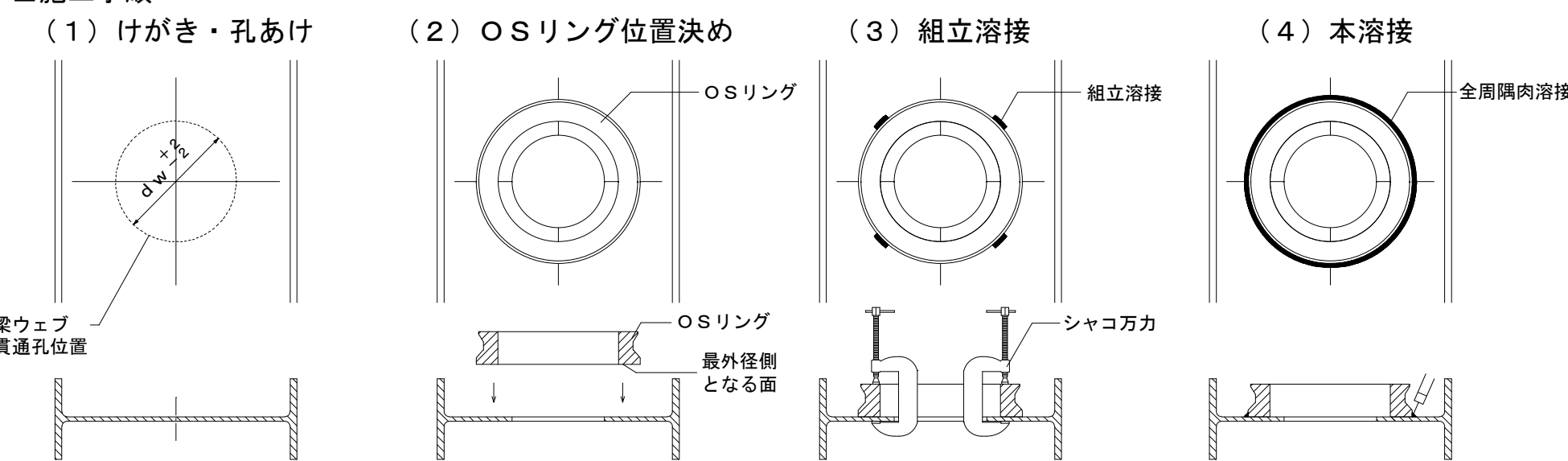
※5：梁がSS、SM材またはSN400Aの場合は25mm以下とする。
※6：SN400Aは塑性化部に適用不可とする。
※7：部材種別がFC・FDランクの場合は塑性化部に適用不可とする。
※8：ただし、ウェブ幅厚比は $96\sqrt{235}/F$ 以下とする。(F：はりの許容応力度の基準強度)
※9：F>385の場合は、1/2・D以下とする。
※10：F>385の場合は、1/2・D-(1/4・De-1/2・dw)以上、1/2・D+(1/4・De-1/2・dw)以下とする。
※11：梁に軸力が作用する場合は適用不可とする。
※12：梁せい方向に連続して設けた貫通孔は適用不可とする。
※13：OSリングを両面に取り付ける場合は、同じOSリングを取り付ける。
※14：梁端部近くは応力が大きくなり、設置不可となる場合があるので注意する。

3. 施工

■施工および施工管理

鉄骨製作者に属する鉄骨製作管理技術者による施工管理のもと、溶接施工を行うこと。
OSリングを溶接施工する際は、納品時に付属している「OSリング溶接施工マニュアル」を必ず確認すること。

■施工手順



所定位置に梁ウェブ貫通孔径 dw をけがく。梁ウェブに円形貫通孔をあける。貫通孔径 dw の最大許容差は±2mmとする。貫通孔まわりの切断バリはグラインダー等で除去する。貫通孔径 dw は適用貫通孔径の範囲(※15)とする事ができる。

OSリングと貫通孔の中心が合うように位置決めをする。OSリングと貫通孔の中心のずれの管理値は「OSリング溶接施工マニュアル」による。OSリングタイプIは図に示すように厚肉面(最外径側となる面)をウェブ溶接面に密着させる。

OSリング取付面をシャコ万力等によりウェブ面に十分密着させる。OSリング外周に組立溶接を行う。組立溶接は等間隔に3~4箇所、1箇所の場合は40mm以上、1パスとし、ショートビードにならないように注意する。

シャコ万力等を取り外し、本溶接を行う。OSリングの溶接部とH形鋼のフィレット部またはビルトH形鋼のフランジとウェブの溶接部が重ならないように十分注意する。

(注) OSリングの重量は500S及び300Lが約23kg、600Sおよび350Lが約35kg、400Lは約50kg、450Lは約60kgと重量物となるため、移動の際はクレーンを用いる等、取扱には十分に注意する事。

※15 適用貫通孔径

品名	100S	125S	150S	175S	200S	250S	300S	350S	400S	450S	500S	600S
適用貫通孔径 dw	φ75~φ100	φ101~φ125	φ126~φ150	φ151~φ175	φ176~φ200	φ201~φ250	φ251~φ300	φ301~φ350	φ351~φ400	φ401~φ450	φ451~φ500	φ501~φ600

■溶接方法

溶接はOSリング外周の全周隅肉溶接とし、溶接姿勢は水平隅肉溶接とする。必ず鉄骨ウェブ面を上面向け、溶接条件(溶接姿勢・環境etc)を確保する。OSリングを溶接する際の予熱温度は「OSリング溶接施工マニュアル」による。

■溶接材料

溶接材料は下記の表に示す規格を満たし、溶接金属の引張強さが490N/mm²以上の材料を使用する。

溶接方法	種類
被覆アーク溶接	軟鋼、高張力鋼及び低温用鋼用被覆アーク溶接棒 (JIS Z 3211)
ガスシールドアーク溶接	軟鋼および高張力鋼用マグ溶接ソリッドワイヤ (JIS Z 3312) 軟鋼、高張力鋼および低温用鋼用アーク溶接フラックス入りワイヤ (JIS Z 3313)

■溶接面の清掃

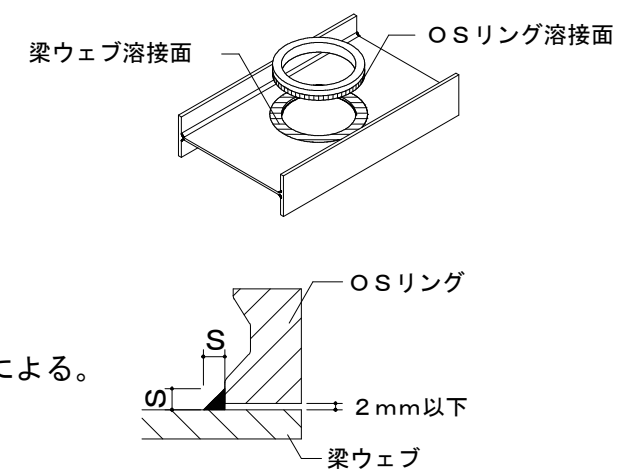
OSリングおよび梁ウェブの溶接面は溶接に先立ち、水分・スラグ・ごみ・さび・油・塗料・はがれやすいスケール、およびその他溶接に支障となるものはあらかじめ適切な方法で除去する。

■検査

本溶接の隅肉溶接サイズは、各OSリングそれぞれに定められた必要隅肉溶接サイズS以上でなければならない。また、OSリングと梁ウェブのすき間は2mm以下とする。

OSリングとウェブ貫通孔の中心のずれの管理値は「OSリング工法溶接施工マニュアル」による。

その他、外観・表面欠陥検査の合格判定は、「日本建築学会：鉄骨精度検査基準」による。不合格となった欠陥箇所は適切な処置を行う。



特記事項 ※鉄骨梁貫通孔は参考図の仕様と同等以上の性能を有するものとする



一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

株式会社 前野建築設計

一級建築士 第117489号 前野 初俊

一級建築士 第320204号 前野 将輝

一級建築士 第360917号 前田 祐作

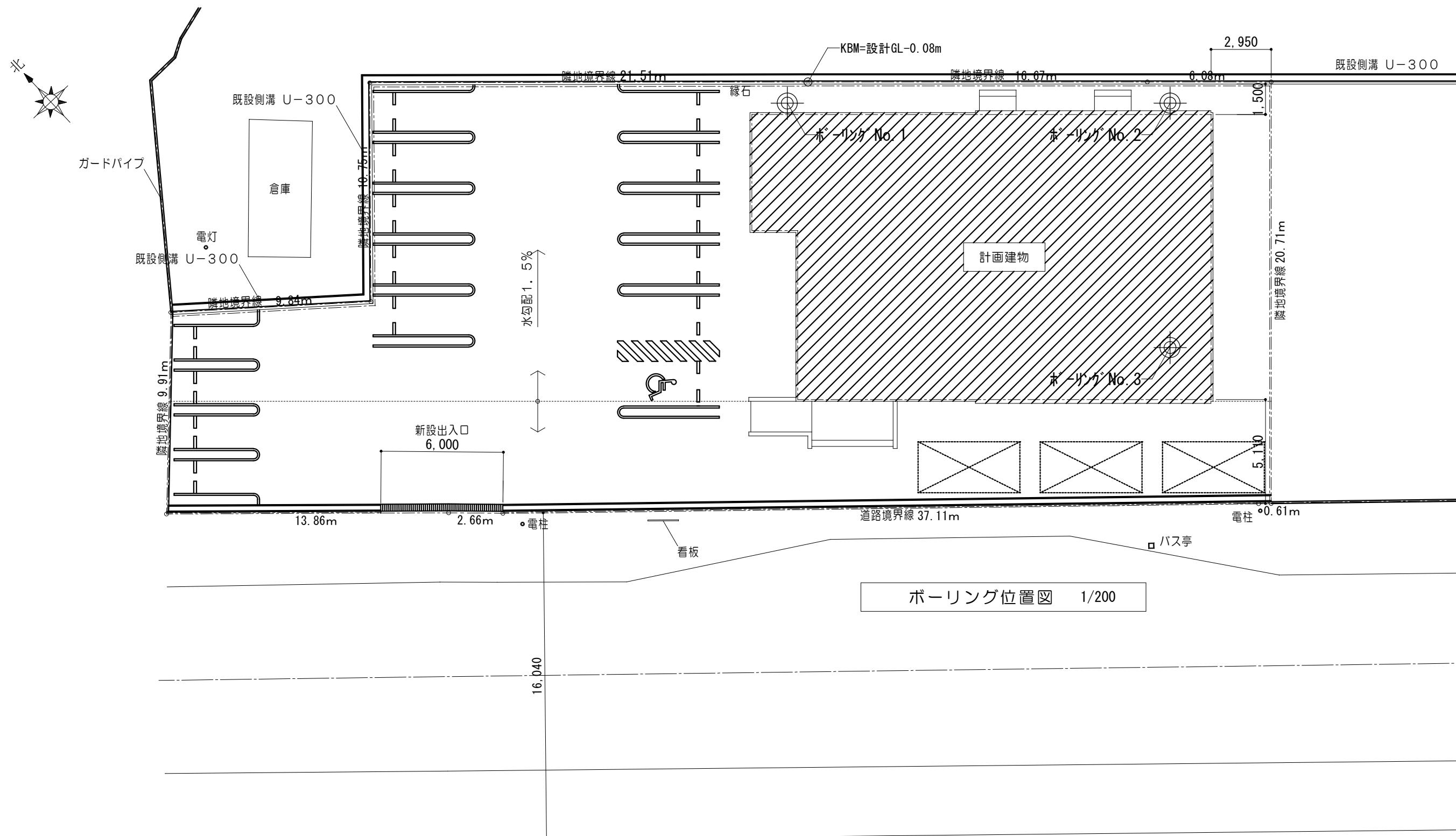
一級建築士 第277259号 鈴木 文宣

設計年月日 工事名称 (仮称)津市豊が丘会館別館建築工事

図面名称 鉄骨梁貫通孔標準図

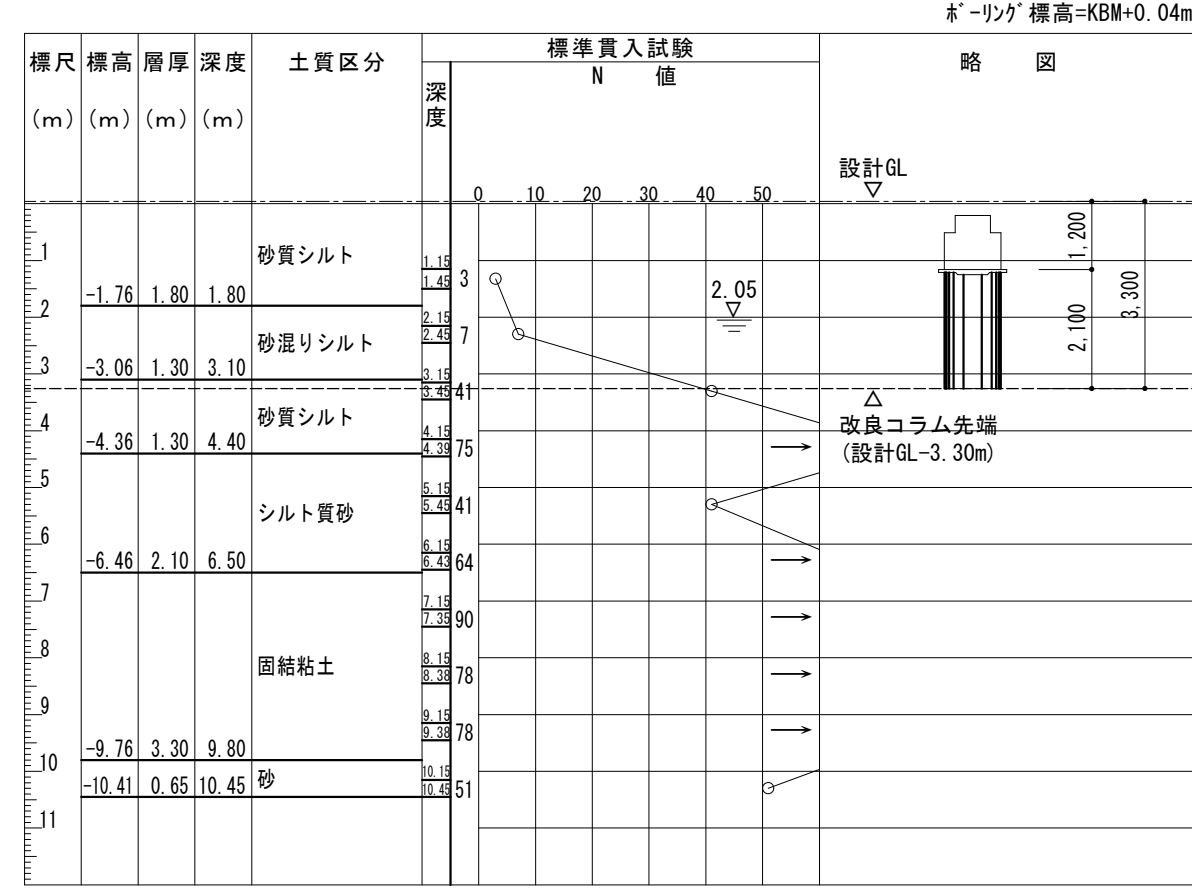
図面番号 S-11 (原図:A2)

縮尺 NS

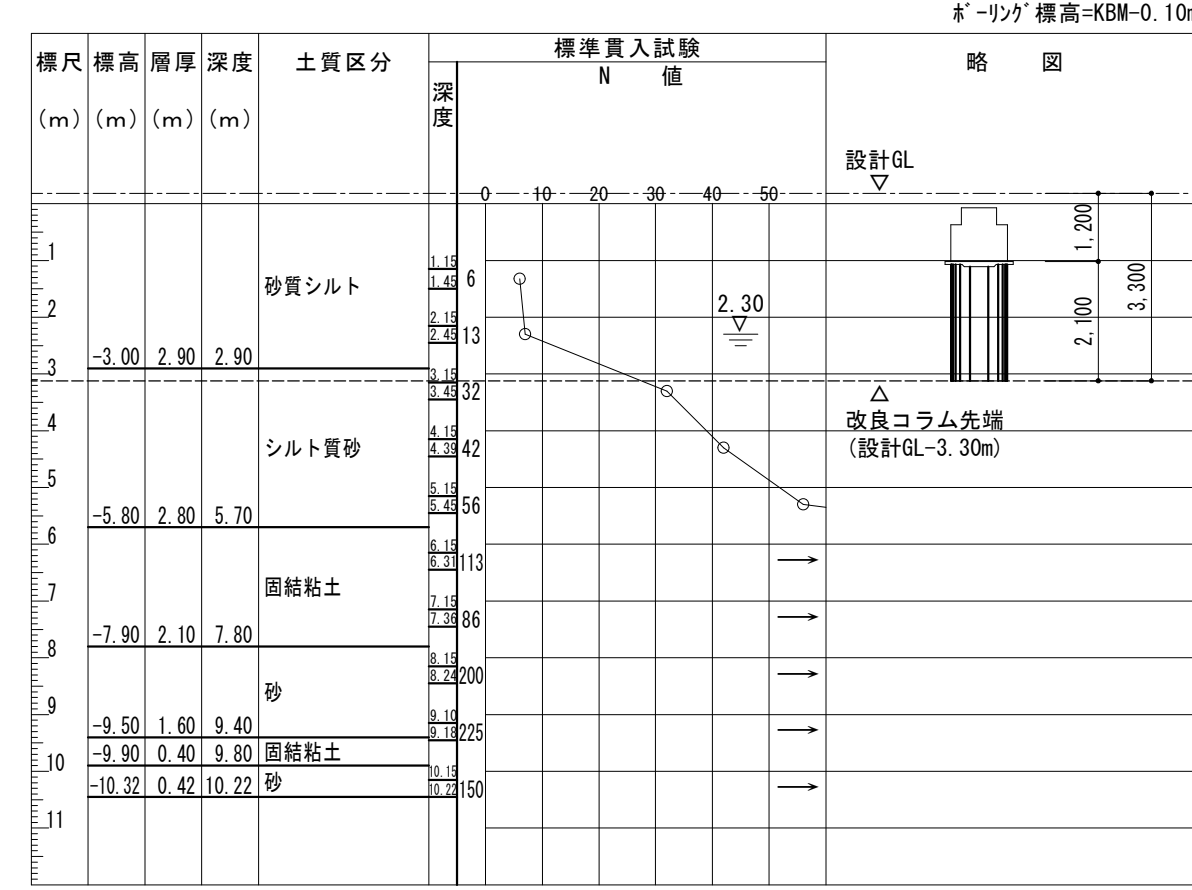


ボーリング位置図 1/200

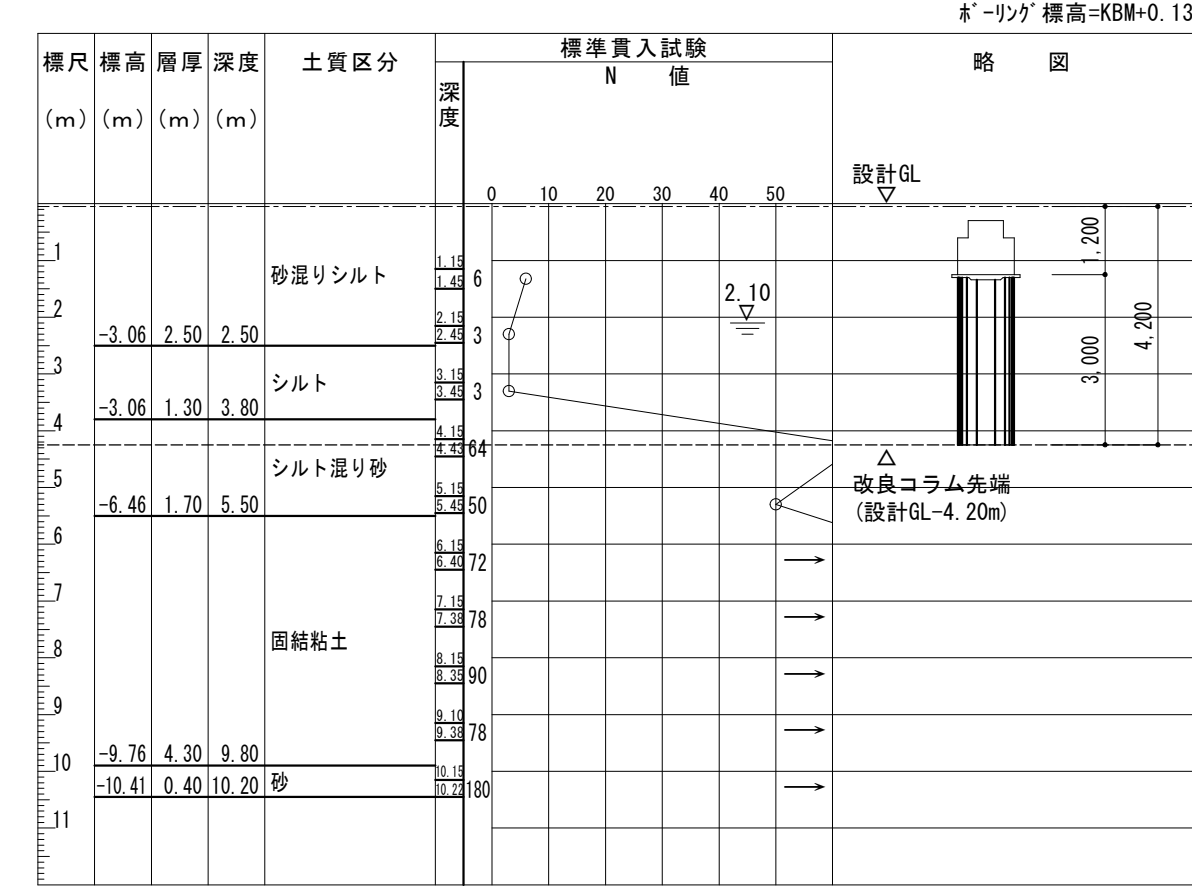
ボーリング No. 1 柱状図



ボーリング No. 2 柱状図



ボーリング No. 3 柱状図



地盤柱状改良工事特記仕様書

1. 工事概要

本事業は柱状地盤改良による地盤改良工であり、その工法概要はスラリー状のセメント系固化材を機械的に地中で混合攪拌し、所定の強度を持った円柱状の改良体を造成するものである。なお、技術基準は「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」日本建築センター発行による。

2. 特記概要

1. 本工事の施工業者は、本工法の施工技術に精通したものとす。
2. 改良の径、掘削深度（改良長+空掘長）、本数、配置等は設計図による。
3. 改良の設計基準強度は $F_c = 900 \text{ KN/m}^2$ とする。

3. 一般事項

1. 改良の径、長さ、本数、位置及び固化材の配合等は、土質や地盤状況により変更することがある。

2. 柱状改良数量表

設計基準強度 $F_c = 900 \text{ KN/m}^2$					
改良径	平均掘削長 設計GL3引	平均改良長 スポン含む	平均空掘長 設計GL3引	改良本数	
φ1000mm	4.20m/本	3.00m/本	1.20m/本	21本	
φ1000mm	3.30m/本	2.10m/本	1.20m/本	22本	
φ1000mm	3.30m/本	1.80m/本	1.50m/本	6本	
合 計				49本	

※改良長は支持層により調整する。

3. 工事に先立ち、施工計画書を提出する。

施工計画書は次の事項を明記する。

- ① 工事内容（改良径・改良長・空掘長・改良本数・設計基準強度）
- ② 施工方法
- ③ 施工機械器具
- ④ 配合管理（使用固化材・配合量・注入量等）
- ⑤ 施工管理
- ⑥ 品質管理

4. 施 工

1. 固化材液の充填方法は、掘削時充填方法とする。
2. 改良頭部の余長は10cm以上とする。
3. 本工法により排出される土は、場内処理とする。
4. 施工に対して異常が生じた場合は、ただちに監督員と協議し、その指示を受ける。

5. 施工機器

1. スラリー状のセメント系固化材と現状土を確実に混合攪拌する事が出来未改良土の共回り現象を防止する攪拌装置を装備した施工機械とする。
2. 改良機本体は、施工時のデータを記録できる装置（施工管理用計測器）を装備したもので、自走式とする。
3. セメントミルク作成用の混合プラントは、所定吐出量を十分供給できるものとする。

6. 固化材液の配合及び使用量

1. 固化材液に使用する固化材は、六価クロム対応型セメント系固化材とする。

※使用固化材は、土質を確認し、最終決定すること。

2. 配合強度は下記の式より求める。

$$X_f = a_t \times F_c$$

X_f : 配合強度 (KN/m²、N/mm²)

a_t : 割増し係数 (8. 品質管理抜き取り個所数Nより)

F_c : 設計基準強度 (KN/m²、N/mm²)

3. 固化材液の配合

※配合試験を行い添加量を決定する事。

対象土は、#-リグNo.1 GL-1.80mまでの砂質シルト(暗灰色)層とする。

試験により添加量の変更があった場合、再見積にて精算するものとする。

固化材添加量 : $\lambda = 350 \text{ Kg/m}^3$

固化材液濃度 : W/C = 60~100 % (土質により調整する)

4. 六価クロム溶出試験

- ・ 所定強度を満足する供試体から六価クロム溶出量を測定し、環境庁告示第46号による環境基準値 (0.05mg/l) 以下であることを確認する。

7. 施工管理

1. 施工過程における管理方法は次のとおりとする。

- ・ 鉛直度 : 改良機本体のリーダー内に設置された傾斜計にて確認

- ・ 固化材液の作液

水の計量 : 水量計で計測を行う。

固化材の計量 : 1ton練りミキサーによりton袋にて確認

- ・ 掘削深度 : 改良機本体に設置された深度計で計測する。

ジャッキアップを行う。

2. 支持層の確認 : 改良機本体に設置されたH計で計測する。

調査資料(#-リグ資料)と同等を確認する。

3. 試験掘削 : オーガーにより計画深度まで掘下げ資料土を採取し

調査資料(#-リグ資料)と同等を確認する。

試料土にてpH測定を行う。

4. 改良天端処理

改良体頭部の位置を所定の仕上がり高さにするため、施工後適切な

時期にバックホー等で改良体頭部を削り取って天端処理を行う。

ただし、深基礎等、現場状況により改良天端処理が不可能な場合は、

根切り工掘削時に改良体を損傷しないように改良体頭部を削り取ること。

8. 品質管理

1. 改良土の一軸圧縮強度試験

- ・ 圧縮試験は第三者で行うものとする。

- ・ 改良49本中2カ所、各6本ずつ採取

(材令7日と28日にそれぞれ3本)

検査手法は品質のバラツキを想定する場合の検査手法Aにより行う。

$$X_N \geq X_L = F_c + k_a \cdot \sigma_d$$

$$= F_c + k_a \cdot [F_c \cdot V_d / (1 - 1.3V_d)]$$

X_N : Nヶ所の一軸圧縮強さの平均値 (KN/m²、N/mm²)

X_L : 合格判定値 (KN/m²、N/mm²)

F_c : 設計基準強度 (KN/m²、N/mm²)

k_a : 合格判定係数

σ_d : 設計で想定したコア強度の標準偏差値 (KN/m²、N/mm²)

$$\sigma_d = V_d \cdot q_{ud}$$

V_d : 想定した強度の変動係数

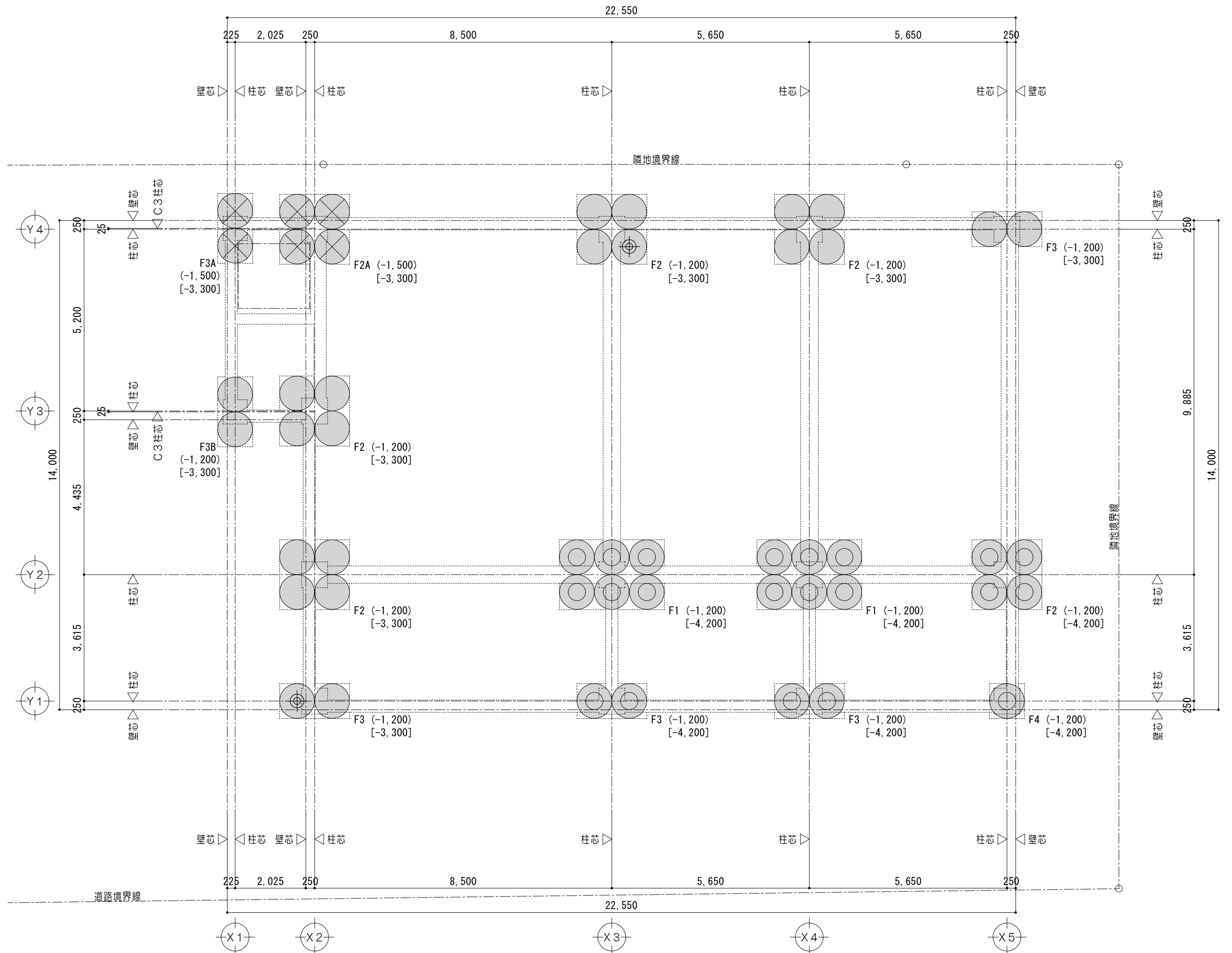
q_{ud} : 想定した現場平均一軸圧縮強さ (KN/m²、N/mm²)

採取ヶ所数 N	1	2	3	4~6	7~8	9~
合格判定係数 k_a	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3

9. 報 告

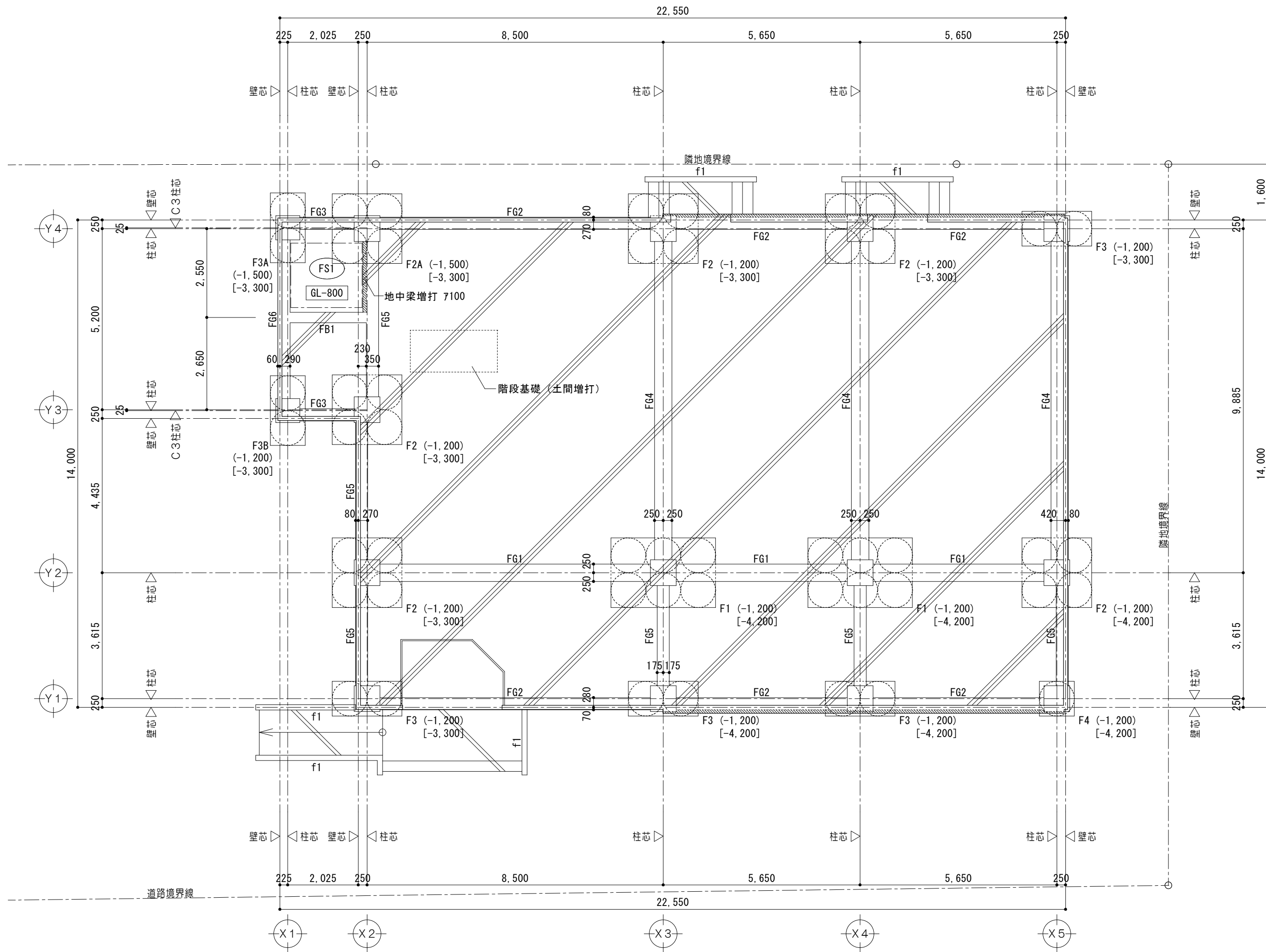
工事完了後、次の項目について報告書をまとめ、2部を監督員にすみやかに提出する。

- | | |
|---------------|--------------|
| ① 改良体伏図及び施工番号 | ⑤ 一軸圧縮強度試験結果 |
| ② 改良施工日 | ⑥ 施工記録データ |
| ③ 掘削深度及び改良長 | ⑦ 施工記録写真 |
| ④ 固化材使用量及び注入量 | ⑧ 合格判定結果 |



改良コラム伏図 1/100

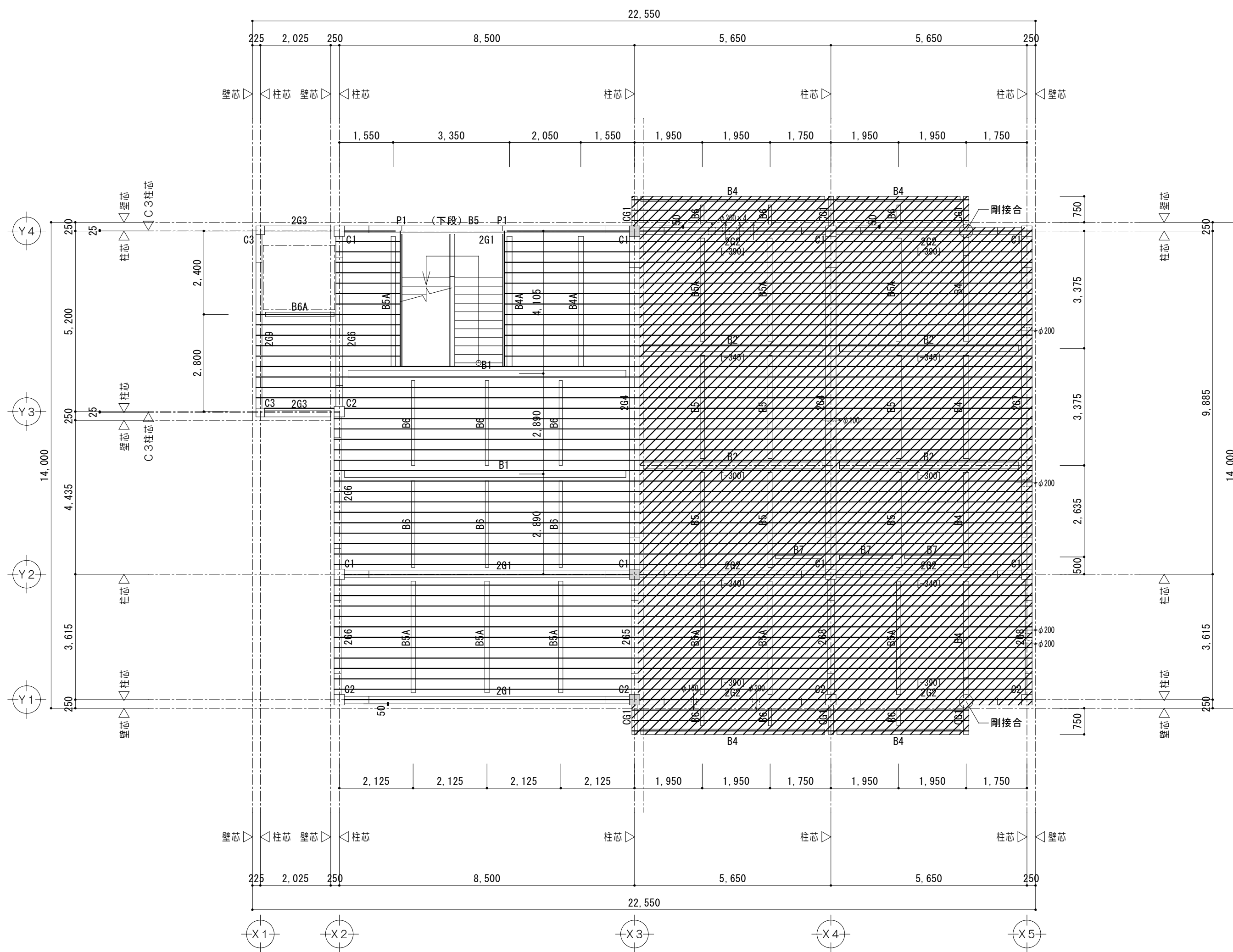
凡 例	
	試験位置を示す



基礎伏図 1/100

凡 例	
使用材料	
コンクリート強度 (N/mm ²)	躯体 24 土間 18 捨て 18
鉄 筋	SD295A (D10~D16) SD345 (D19~)
鉄 骨	BCR295 SN490B SN490C SS400 STKR400 SSC400
許容支持力	長期 qaL=200kN/m ² 短期 qaS=400N/m ²
支持層	砂質シルト (シルト混り砂、シルト質砂)
※ 改良コラムは支持層に十分、根入れすること	
符号凡例	
符 号	F1 . . . 基礎符号を示す。
(-1,200)	. . . 設計GLからの基礎底の深さを示す。
[-3,200]	. . . 設計GLからの改良コラム底の深さを示す。
伏図表記	仕 様
	土間コンクリート t=150 鉄筋: D10-@200 シングルクロス ポリスチレンフォーム t=25 防湿シート (ポリエチレンフィルム t=0.15) 砕石 t=100 土間天端 (指示のない場合GL+430)
	土間コンクリート t=150 鉄筋: D10-@200 シングルクロス 砕石 t=150

特記事項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計年月日	工事名称	(仮称)津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	S-14 (原図:A2)
	株式会社 前野建築設計	一級建築士 第277259号 鈴木 丈宜		図面名称	基礎伏図	縮尺	1/100
	一級建築士 第117489号 前野 初俊	一級建築士 第320204号 前野 将輝					



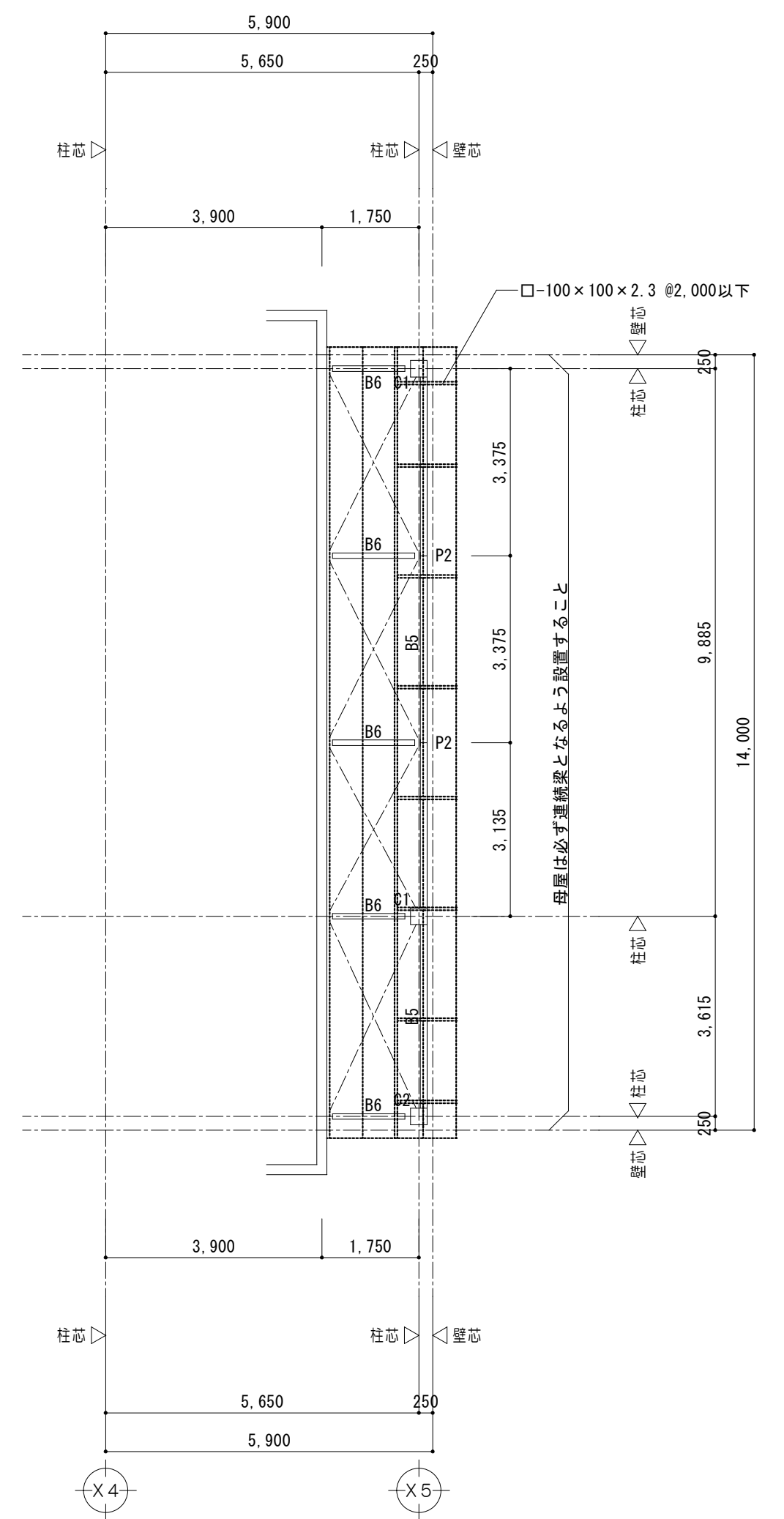
2階梁伏図 1/100

..... SL-300~390mm

合成スラブ凡例

- 合成スラブ デッキ : QL99-50-12 同等品
- コンクリート t=80
- 溶接金網 : φ6×150×150
- 焼抜き栓溶接 @500

※ 原則として連続梁とする
 ※ 単純梁となる部分は、耐火補強筋D13-@300(デッキPL各溝)を設置する



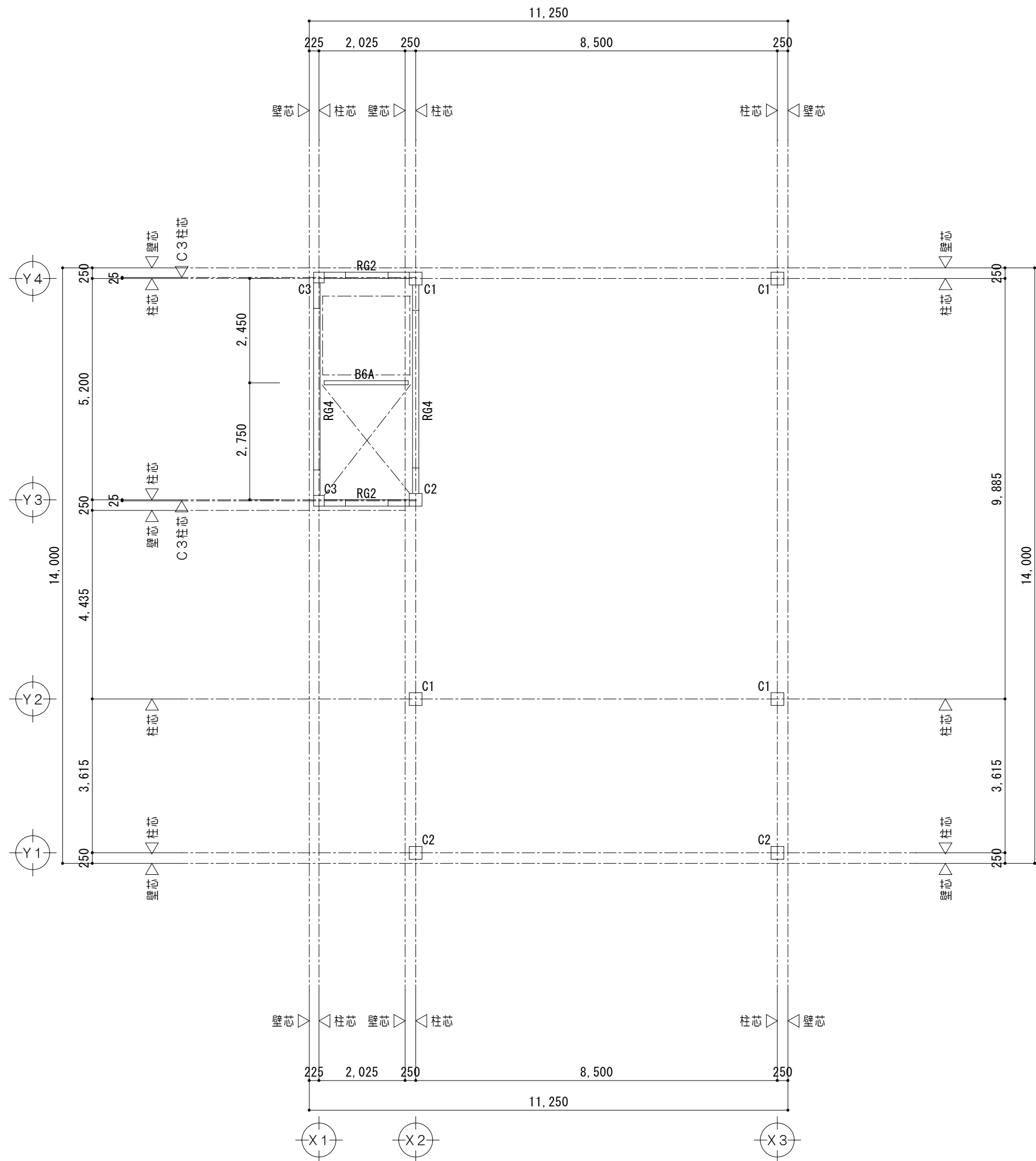
2階小屋伏図 1/100

特記事項	

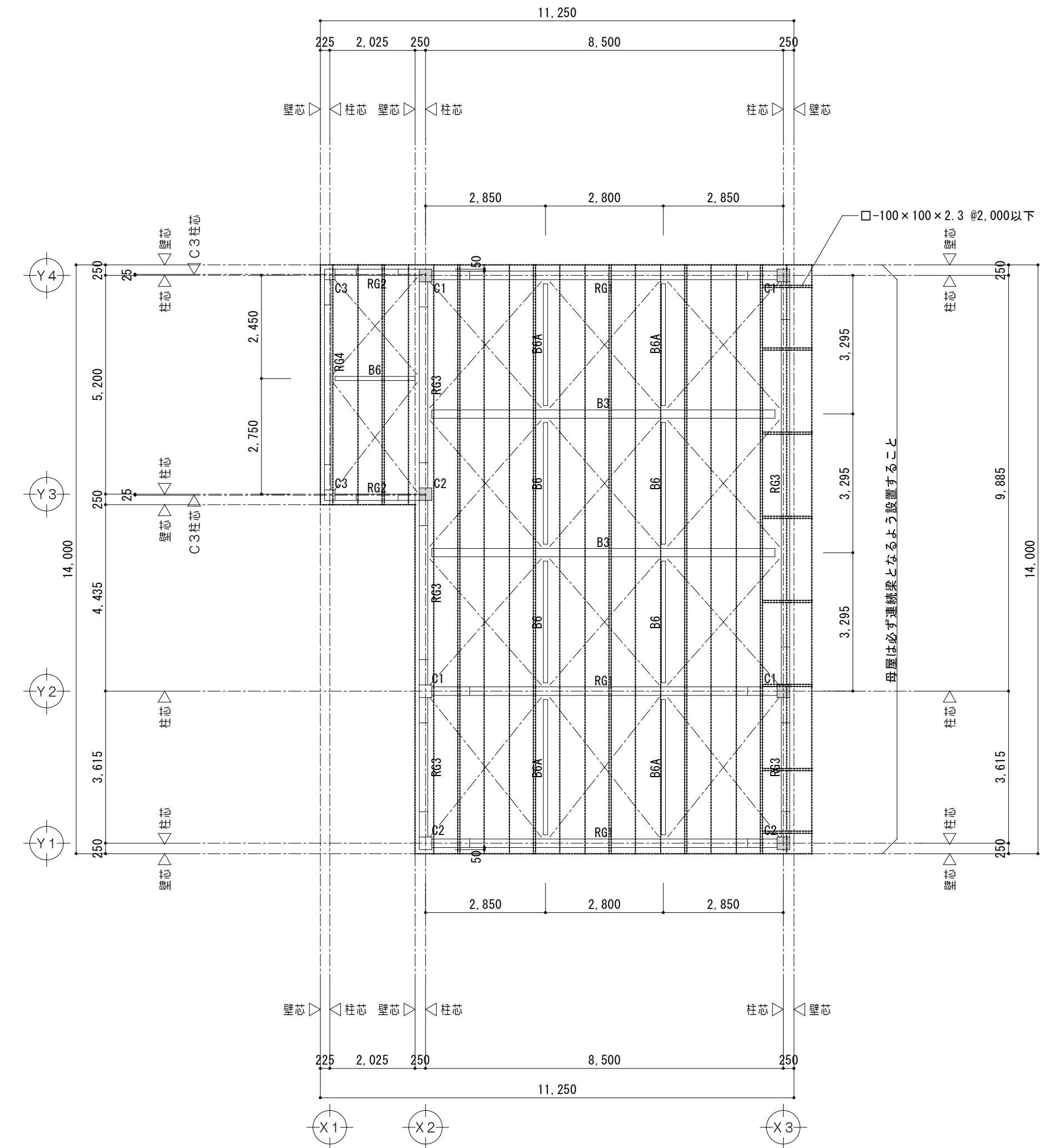
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
前野 建築設計
 株式会社
 一級建築士 第117489号 前野 初俊 一級建築士 第320204号 前野 将輝

一級建築士 第360917号 前田 祐作
一級建築士 第277259号 鈴木 丈宜


設計年月日	工事名称	(仮称) 津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	S-15 (原図:A2)
	図面名称	2階梁伏図・2階小屋伏図	縮尺	1/100



2SL+3.410伏図 1/100



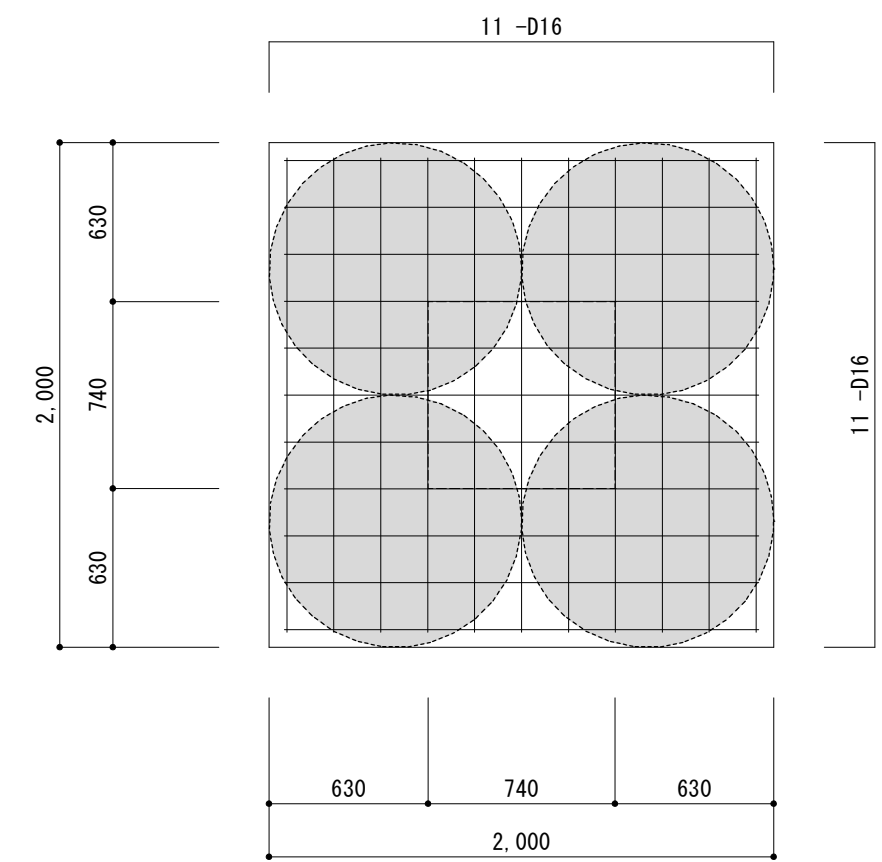
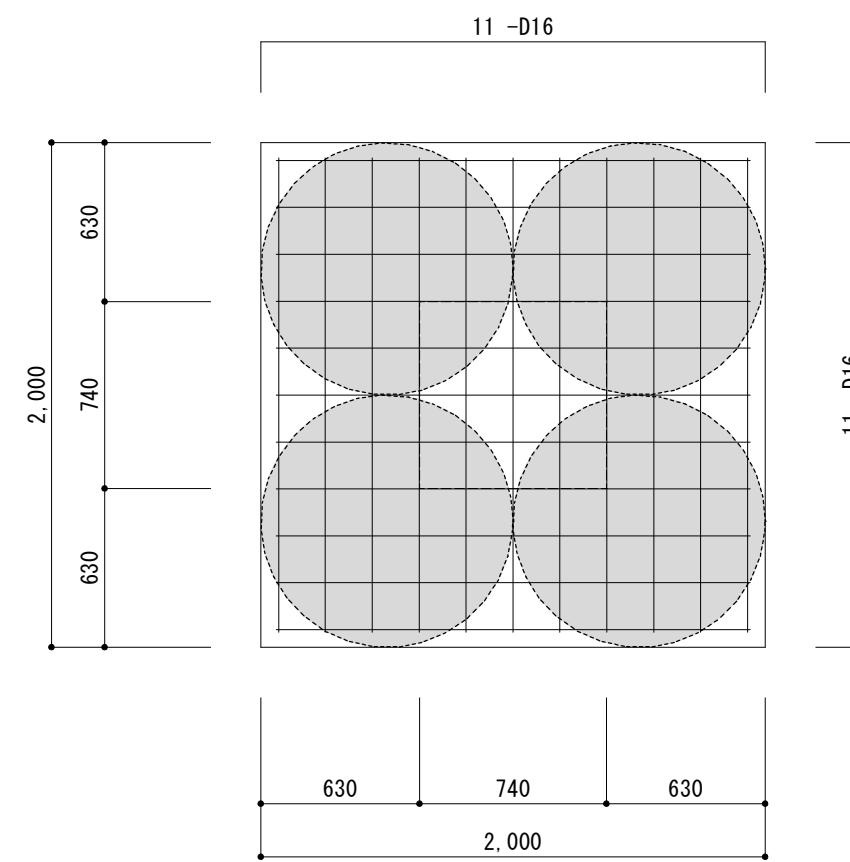
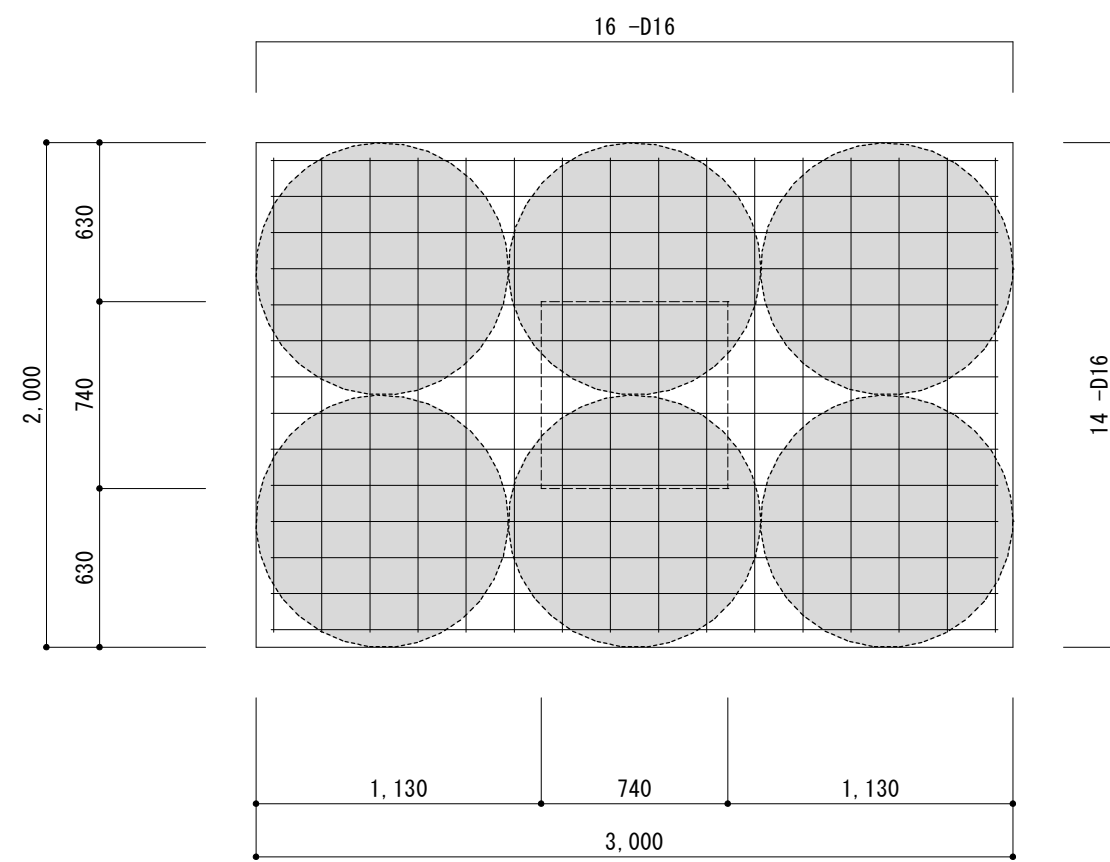
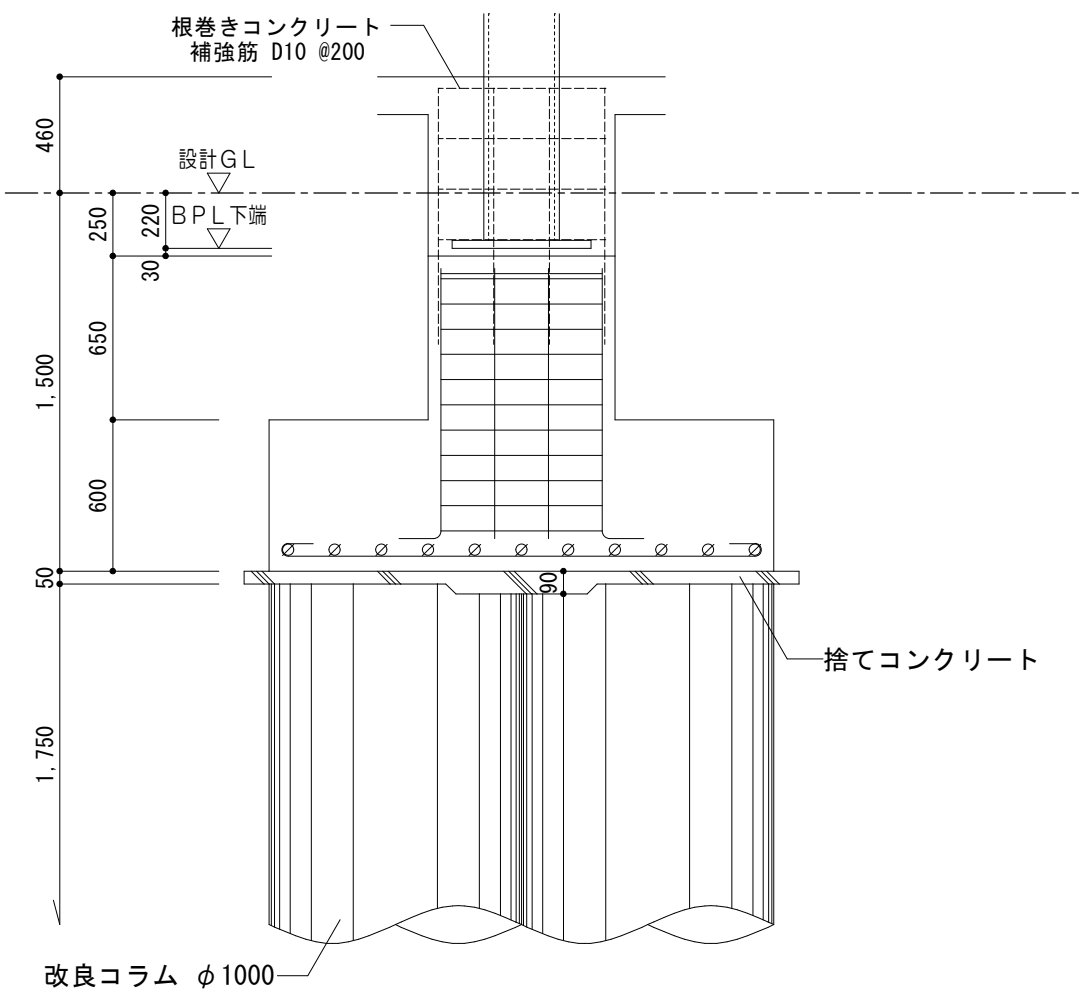
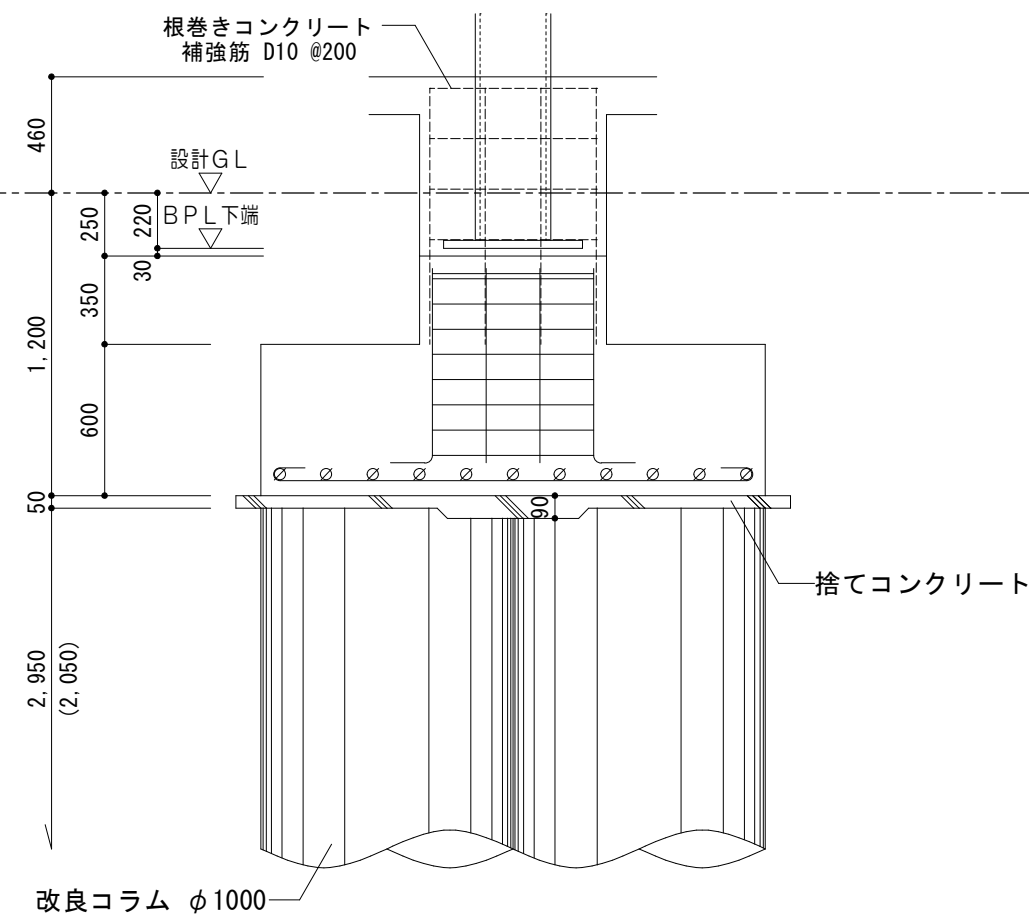
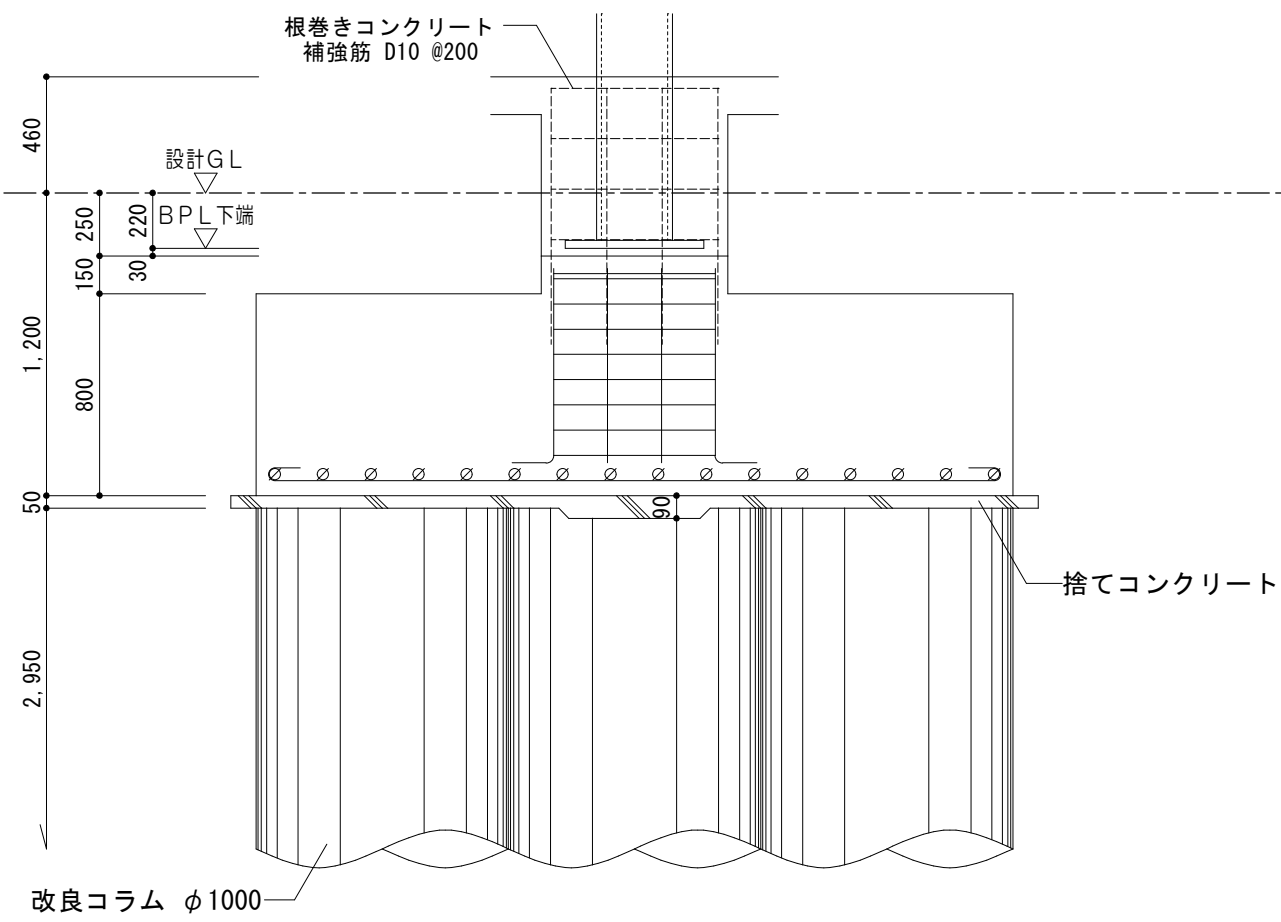
小屋伏図 1/100

特 記 事 項		 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士 第117489号 前野初俊 一級建築士 第320204号 前野将輝	一級建築士 第360917号 前田 祐作 一級建築士 第277259号 鈴木 文宜	設計年月日	工事名称	(仮称) 津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	S-16 (原図:A2)
					図面名称	2F+3.250伏図・小屋伏図	縮尺	1/100

F1

F2

F2A



特記事項 ※ベース筋は標準フック付きとする。



一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

株式会社 前野建築設計

一級建築士 第117489号 前野 初俊 一級建築士 第320204号 前野 将輝

一級建築士 第360917号

前田 祐作

一級建築士 第277259号

鈴木 丈宜

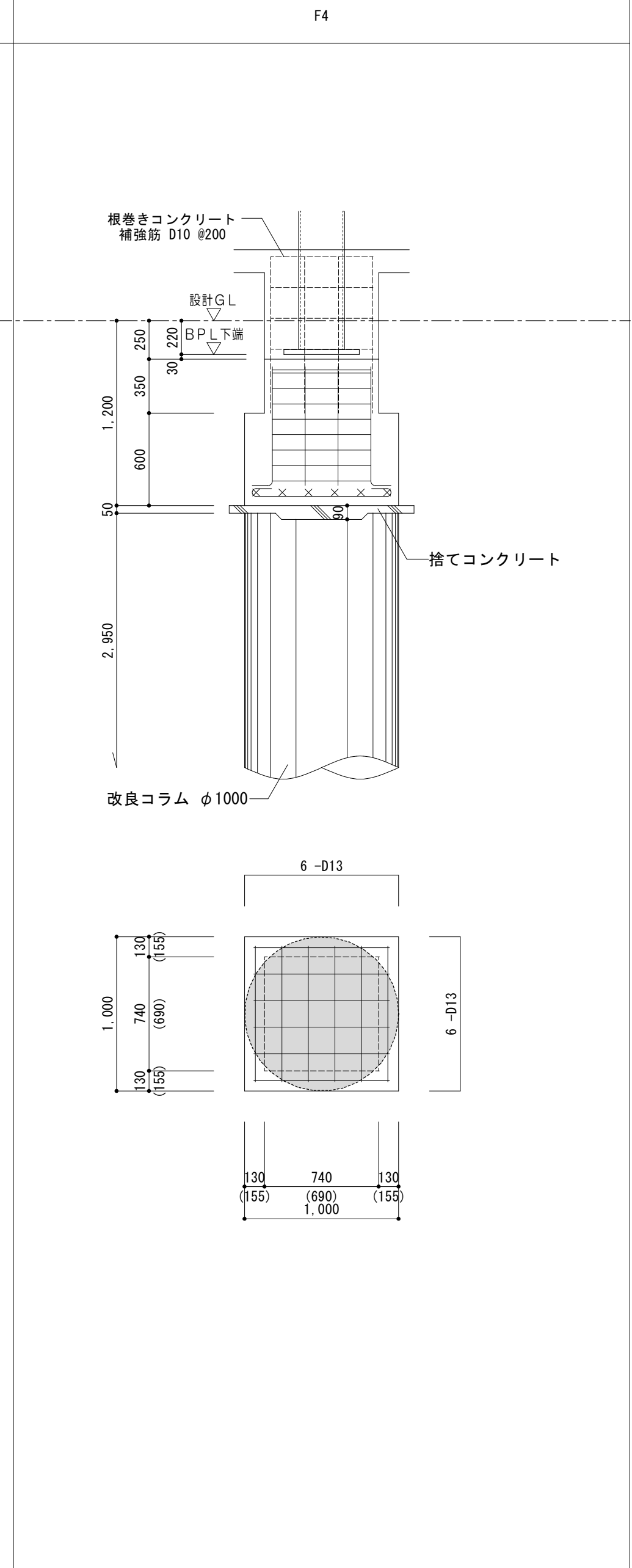
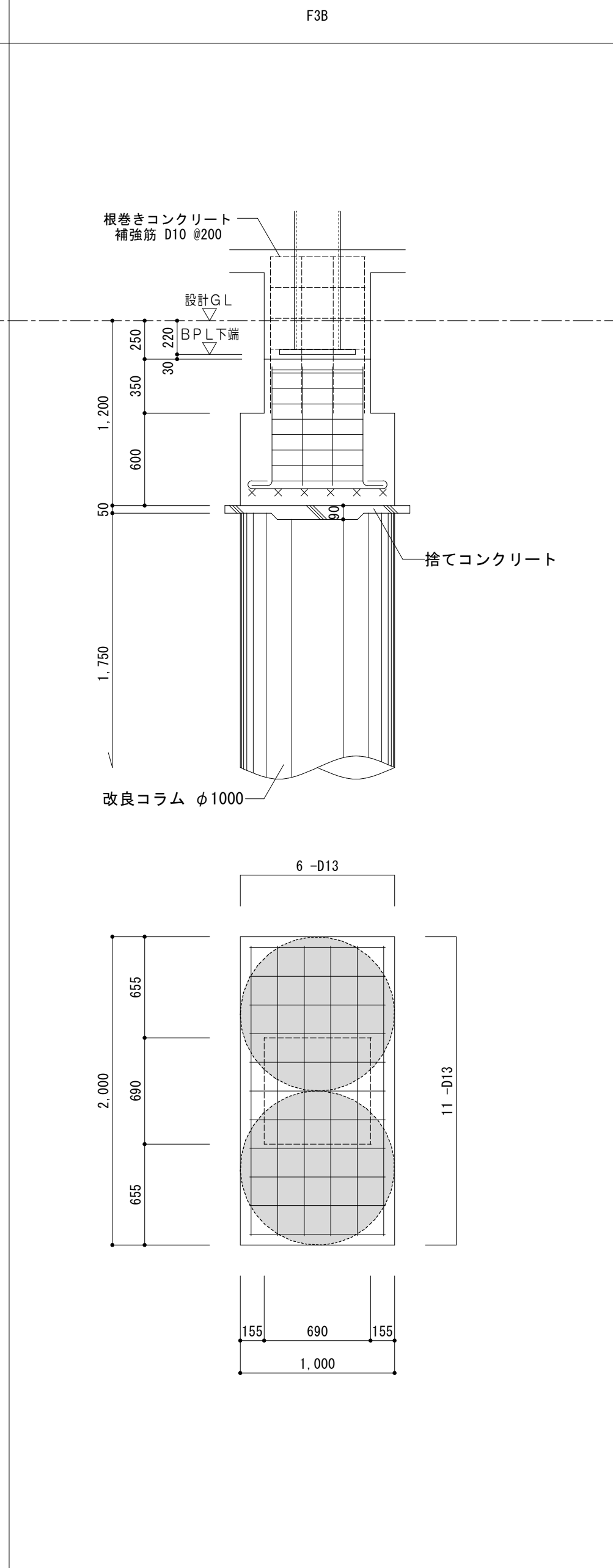
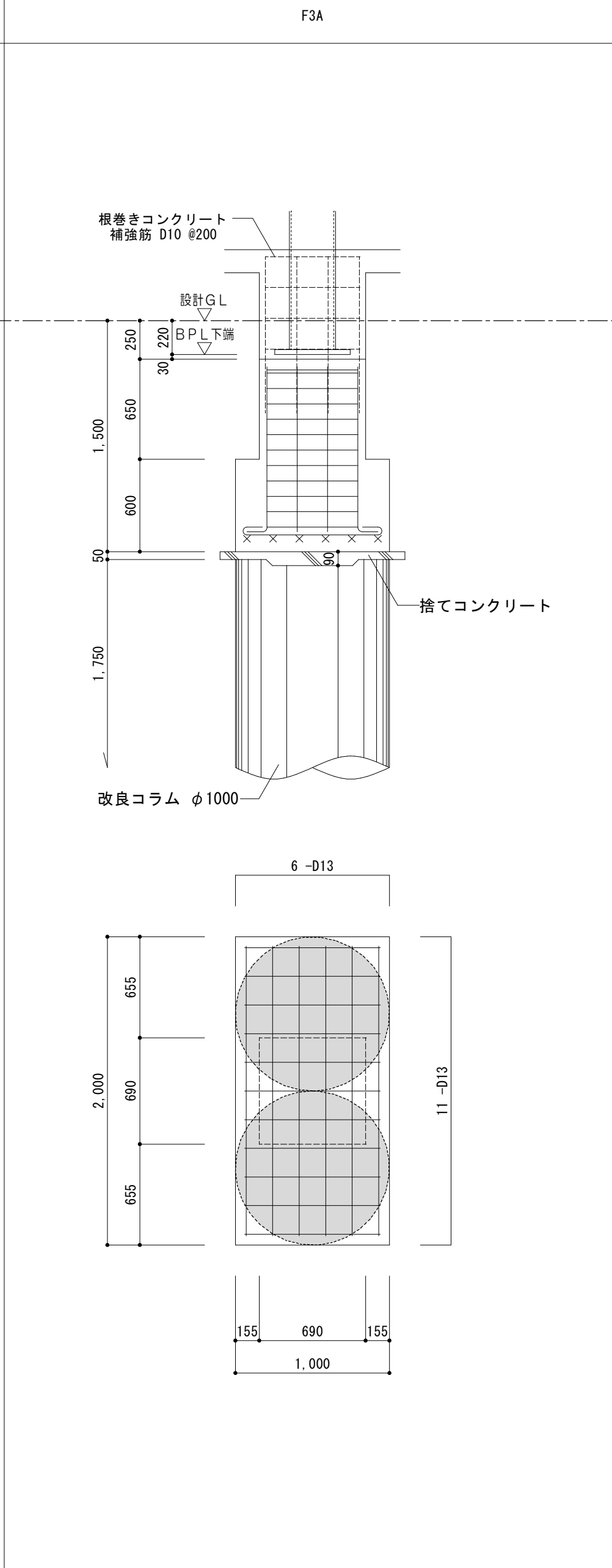
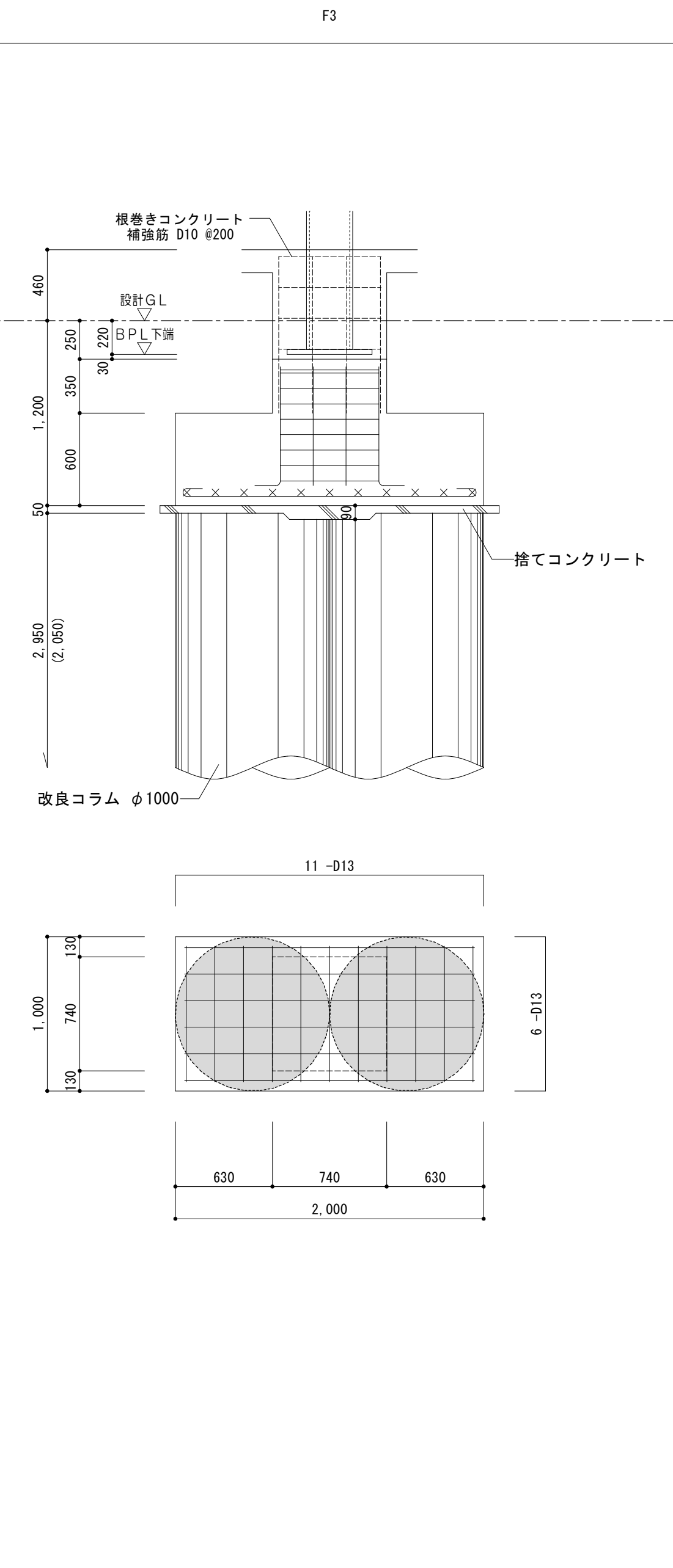
設計年月日 工事名称 (仮称)津市豊が丘会館別館建築工事

図面名称 基礎詳細図No.1

図面番号 S-17

(原図:A2)

縮尺 1/30



特記事項 ※ベース筋は標準フック付きとする。

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
一級建築士 第117489号 前野 初俊 一級建築士 第320204号 前野 将輝

一級建築士 第360917号 前田 祐作
一級建築士 第277259号 鈴木 丈宜

設計年月日	工事名称	(仮称)津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	S-18
	図面名称	基礎詳細図No.2	縮尺	1/30

地中梁リスト

S=1/30

符号	FG1	FG2	FG3	FG4	FG5	FG6	FB1
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
形状							
	巾止め筋はD10@1,000とする	巾止め筋はD10@900とする	巾止め筋はD10@900とする	巾止め筋はD10@1,000とする	巾止め筋はD10@900とする	巾止め筋はD10@900とする	巾止め筋はD10@1,000とする
B × D	500 × 850	350 × 850	350 × 850	500 × 850	350 × 850	350 × 850	350 × 850
上端筋	4 -D22	3 -D22	3 -D22	5 -D22	3 -D22	3 -D22	2 -D19
下端筋	4 -D22	3 -D22	3 -D22	5 -D22	3 -D22	3 -D22	2 -D19
STP	□ - D13 @200	□ - D10 @150	□ - D10 @150	□ - D13 @200	□ - D10 @150	□ - D10 @150	□ - D10 @200
腹筋	2 -D10	2 -D10	2 -D10(定着長さ40d)	2 -D10	2 -D10	2 -D10(定着長さ40d)	2 -D10(定着長さ40d)

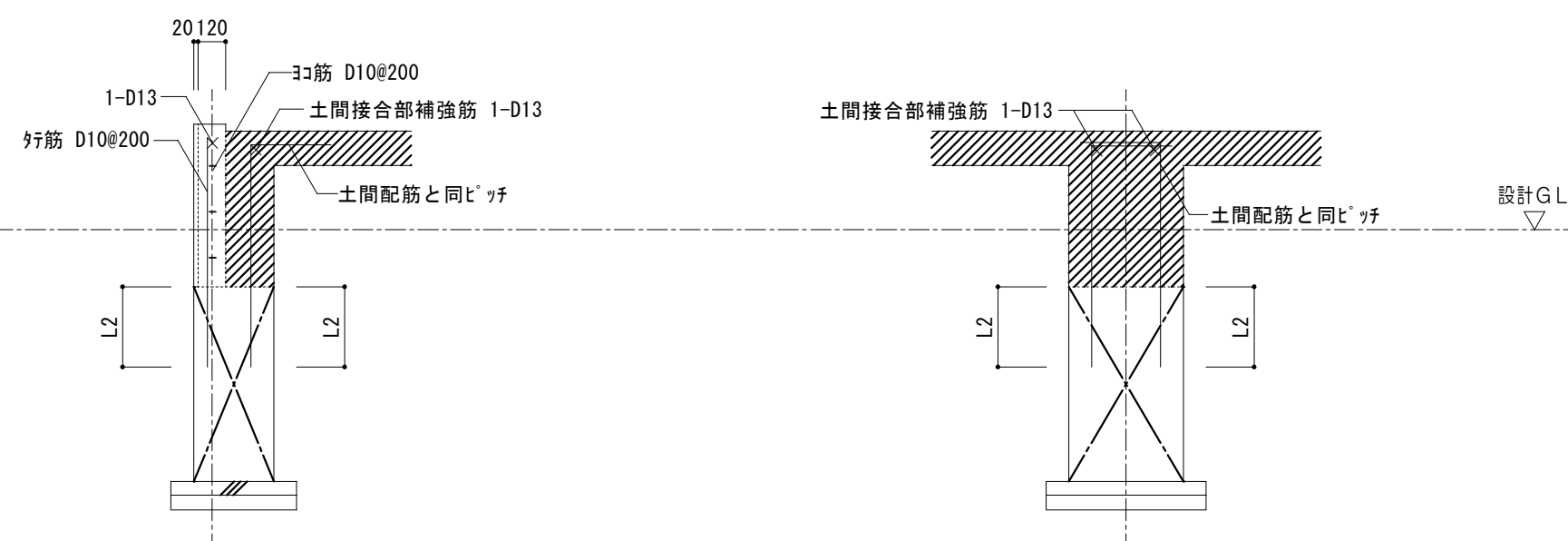
※ 主筋は上下筋ともY方向を先に敷設すること

スラブリスト

符号	厚さ	位置	短辺方向 (主筋方向)	長辺方向 (配筋筋方向)	備考
FS1	300	上端筋	D13 @200	D13 @200	モチアミ配筋 (W)
		下端筋	D13 @200	D13 @200	

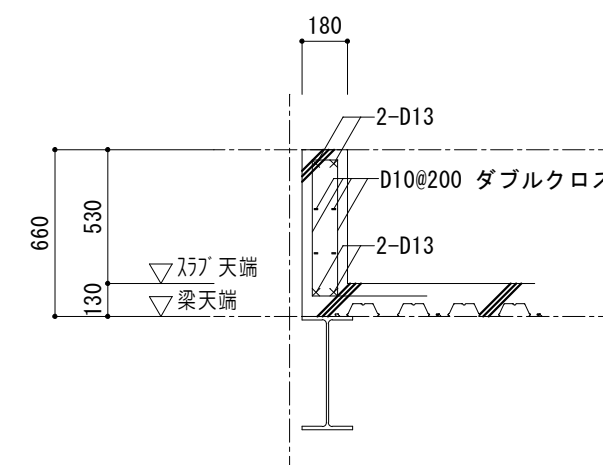
RC壁・土間増内部分配筋図

S=1/30



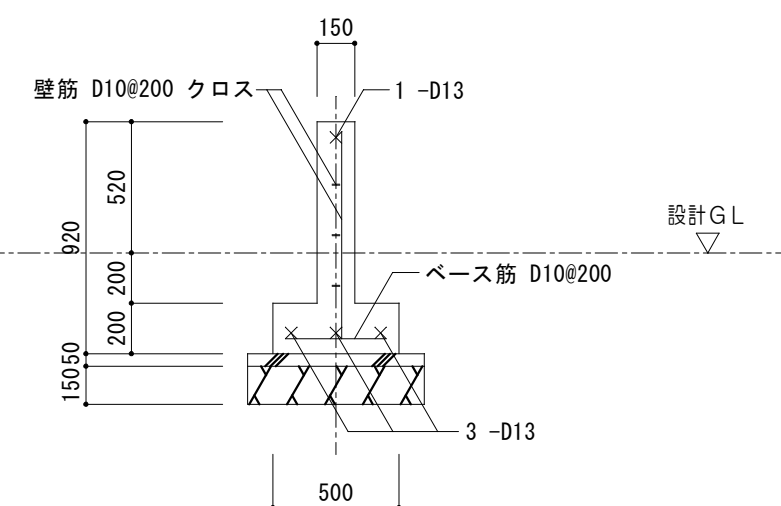
パラペット配筋図

S=1/30




f 1 配筋図

S=1/30



特記事項


 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
 株式会社 **前野建築設計**
 一級建築士 第117489号 前野 初 俊 一級建築士 第320204号 前野 将 輝

一級建築士 第360917号 前田 祐作
 一級建築士 第277259号 鈴木 丈宜

設計年月日	工事名称	(仮称) 津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	S-19 (原図:A2)
	図面名称	地中梁リスト・スラブリスト・雑配筋図	縮尺	1/30

柱リスト							S=1/30
階	符号	C1		C2		C3	
		断面	λx, λy	断面	λx, λy	断面	λx, λy
2階		□-300×300×12 (BCR295)	λx=65.9 (Y2-X2) λy=61.8 (Y4-X2)	□-300×300×12 (BCR295)	λx=65.1 (Y1-X2) λy=57.0 (Y3-X2)	□-250×250×9 (BCR295)	λx=56.3 (Y3-X1) λy=66.7 (Y3-X1)
1階		□-300×300×19 (BCR295)	λx=54.8 (Y4-X3) λy=54.8 (Y4-X3)	□-300×300×16 (BCR295)	λx=54.0 (Y4-X3) λy=48.5 (Y4-X3)	□-250×250×12 (BCR295)	λx=56.9 (Y3-X1) λy=58.3 (Y3-X1)
柱脚形状							
ベースPL		550×550×50 (SN490B)		520×520×40 (SN490B)		420×420×36 (SN490B)	
ANC・BOLT		8 - M36		8 - M36		4 - M39	
備考		柱脚はベースバック 30-19V の仕様による		柱脚はベースバック 30-16V の仕様による		柱脚はベースバック 25-12V の仕様による	
柱形状							
Dx × Dy		740 × 740		740 × 740		690 × 690	
主筋		12 -D22		12 -D22		12 -D19	
HOOP		D13 @100		D13 @100		D13 @100	
T. HOOP		2 -D13		2 -D13		2 -D13	

大梁リスト						大梁継手リスト							
符号	断面	材種	備考	径D	フランジ				ウェブ				
					ボルト nF × mF	ゲージ g1 mm, g2 mm	外添板 厚 × 長さ mm mm	内添板 厚 × 幅 mm mm	ボルト mW × nW, Pc mm	添板寸法 厚 × 幅 × 長さ mm mm mm			
RG1	H-294 × 200 × 8 × 12	SS400		M20	3 × 2	120	-	9 × 410	9 × 80	3 × 1	60	9 × 200 × 170	
RG2	H-300 × 150 × 6.5 × 9	SS400		M16	2 × 2	90	-	9 × 290	9 × 60	3 × 1	60	6 × 200 × 170	
RG3	H-294 × 200 × 8 × 12	SS400		M20	3 × 2	120	-	9 × 410	9 × 80	3 × 1	60	9 × 200 × 170	
RG4	H-300 × 150 × 6.5 × 9	SS400		M16	2 × 2	90	-	9 × 290	9 × 60	3 × 1	60	6 × 200 × 170	
2G1	H-500 × 200 × 10 × 16	SS400		M20	3 × 2	120	-	12 × 410	12 × 80	5 × 1	60	9 × 320 × 170	
2G2	H-450 × 200 × 9 × 14	SS400		M20	3 × 2	120	-	12 × 410	12 × 80	5 × 1	60	9 × 320 × 170	
2G3	H-350 × 175 × 7 × 11	SS400	右端L'ン接合 GPL-9 HTB 4-M20	M20	2 × 2	105	-	9 × 290	9 × 70	3 × 1	90	6 × 260 × 170	
2G4	H-588 × 300 × 12 × 20	SS400		M20	5 × 2	150	40	12 × 530	16 × 110	4 × 2	120	9 × 440 × 290	
2G5	H-600 × 200 × 11 × 17	SS400		M20	3 × 2	120	-	12 × 410	12 × 80	4 × 2	120	9 × 440 × 290	
2G6	H-500 × 200 × 10 × 16	SS400		M20	3 × 2	120	-	12 × 410	12 × 80	5 × 1	60	9 × 320 × 170	
2G7	H-440 × 300 × 11 × 18	SS400		M20	4 × 2	150	40	12 × 440	12 × 110	5 × 1	60	9 × 320 × 170	
2G8	H-450 × 200 × 9 × 14	SS400		M20	3 × 2	120	-	12 × 410	12 × 80	5 × 1	60	9 × 320 × 170	
2G9	H-350 × 175 × 7 × 11	SS400		M20	2 × 2	105	-	9 × 290	9 × 70	3 × 1	90	6 × 260 × 170	
CG1	H-300 × 150 × 6.5 × 9	SS400		M16	2 × 2	90	-	9 × 290	9 × 60	3 × 1	60	6 × 200 × 170	

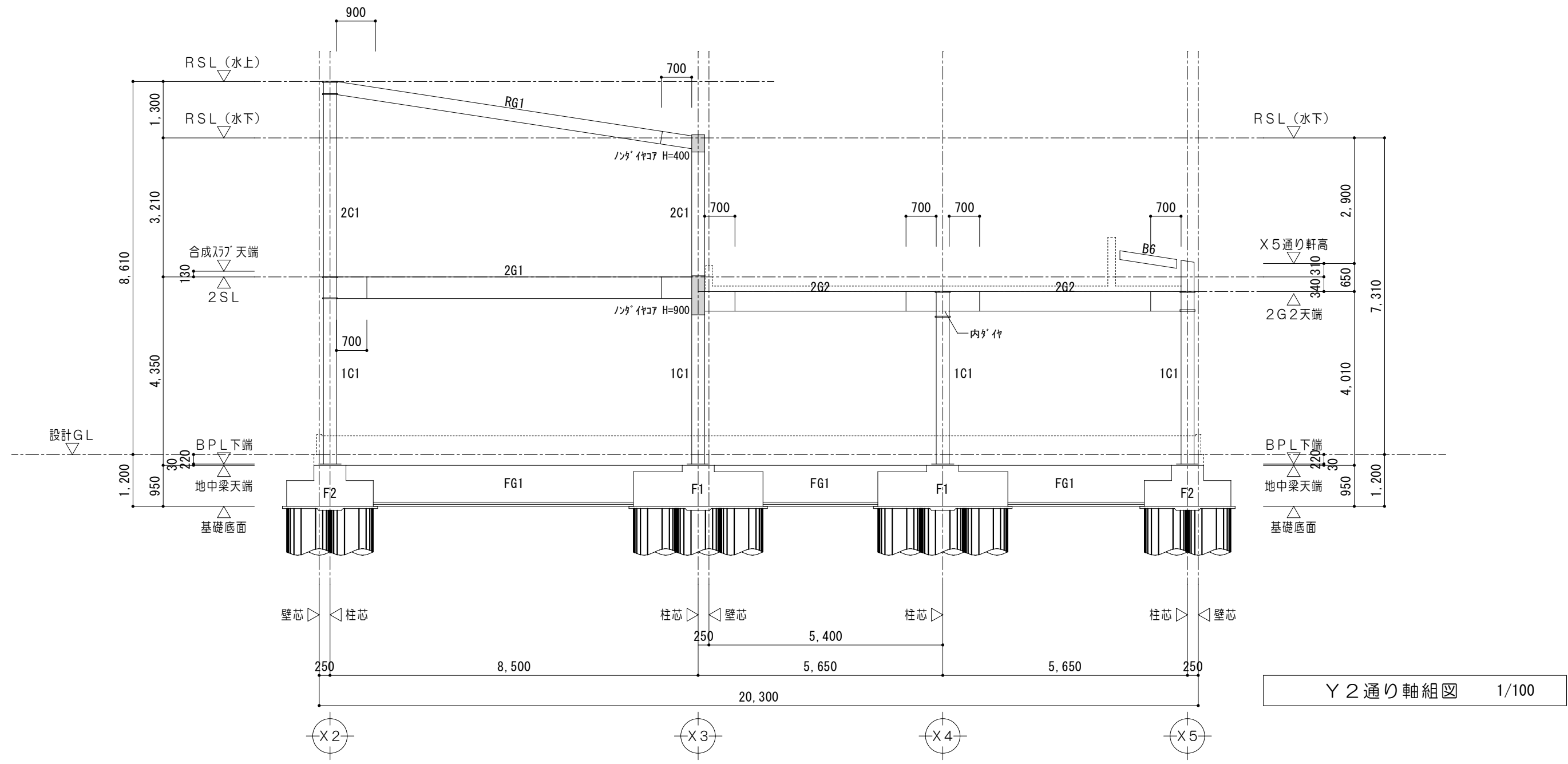
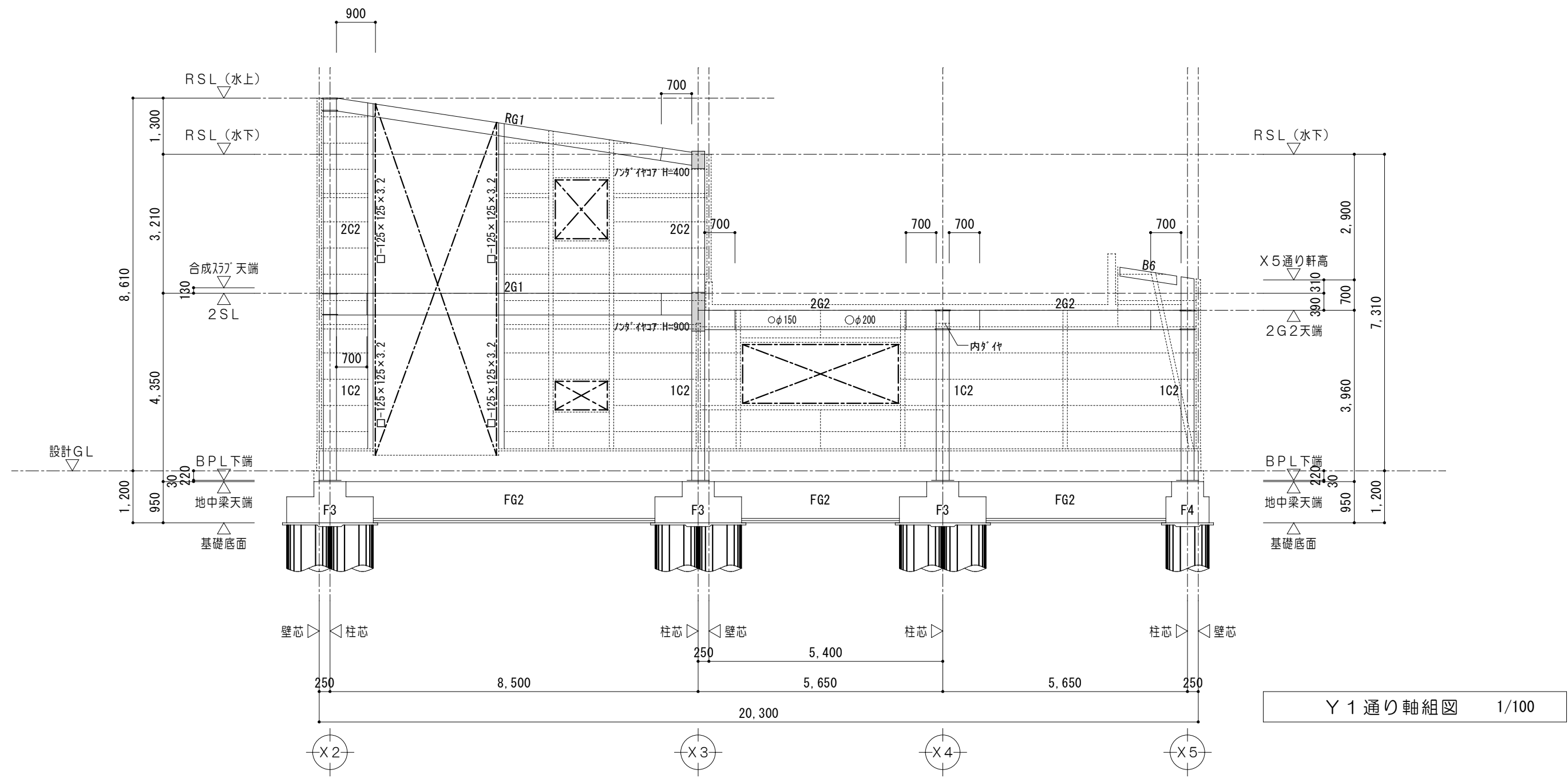
小梁リスト							その他の部材			
符号	断面	HTB	カセット	P(桁) mm	材種	備考	符号	断面	材種	備考
B1	H-600 × 200 × 11 × 17	6-M20	GPL-12	60	SS400		母屋	C-100 × 50 × 20 × 2.3 @606以下	SSC400	GPL-4.5又は既製品を 普通ボルト 2-M12
B2	H-400 × 200 × 8 × 13	4-M20	GPL-9	60	SS400			※ @1,820毎に□-100 × 100 × 2.3または20-100 × 50 × 20 × 2.3とする		
B3	H-294 × 200 × 8 × 12	3-M20	GPL-9	60	SS400		胴縁	C-100 × 50 × 20 × 2.3 @606以下	SSC400	GPL-4.5又は既製品を 普通ボルト 2-M12
B4	H-300 × 150 × 6.5 × 9	3-M16	GPL-9	60	SS400			※ 外壁材継目部分は□-100 × 100 × 2.3または20-100 × 50 × 20 × 2.3とする		
B4A	H-300 × 150 × 6.5 × 9	4-M20	GPL-9	120	SS400	P(コ)60mm	桁胴縁	□-125 × 125 × 3.2	STKR400	GPL-6又は既製品を 普通ボルト 2-M12 スパリング'クッション併用
B5	H-250 × 125 × 6 × 9	2-M16	GPL-6	80	SS400		"	□-100 × 100 × 2.3	STKR400	GPL-6又は既製品を 普通ボルト 2-M12 スパリング'クッション併用
B5A	H-250 × 125 × 6 × 9	4-M20	GPL-9	120	SS400	P(コ)60mm	P1	H-150 × 150 × 7 × 10	SS400	柱頭部 GPL-9 HTB 2-M16(@60) 柱脚部 BPL-12 A Bolt 2-M16 L=400
B6	H-200 × 100 × 5.5 × 8	2-M16	GPL-6	60	SS400		P2	H-125 × 125 × 6.5 × 9	SS400	GPL-9 HTB 2-M16(@60)
B6A	H-200 × 100 × 5.5 × 8	2-M20	GPL-9	80	SS400		小屋プレス V1	1-M16 (JIS認定品)		GPL-9 羽子板 FB-6 × 50 × 160 HTB1-M16
B7	H-200 × 100 × 5.5 × 8	2-M16	GPL-6	60	SS400					

特記事項 ※柱脚は参考図の仕様と同等以上の性能を有するものとする

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
 株式会社 前野建築設計
 一級建築士 第117489号 前野初俊 一級建築士 第320204号 前野将輝

一級建築士 第360917号 前田 祐作
 一級建築士 第277259号 鈴木 丈宜

設計年月日 平成28年10月17日
 工事名称 (仮称)津市豊が丘会館別館建築工事
 図面番号 縮尺 S-20 1/30



網線凡例

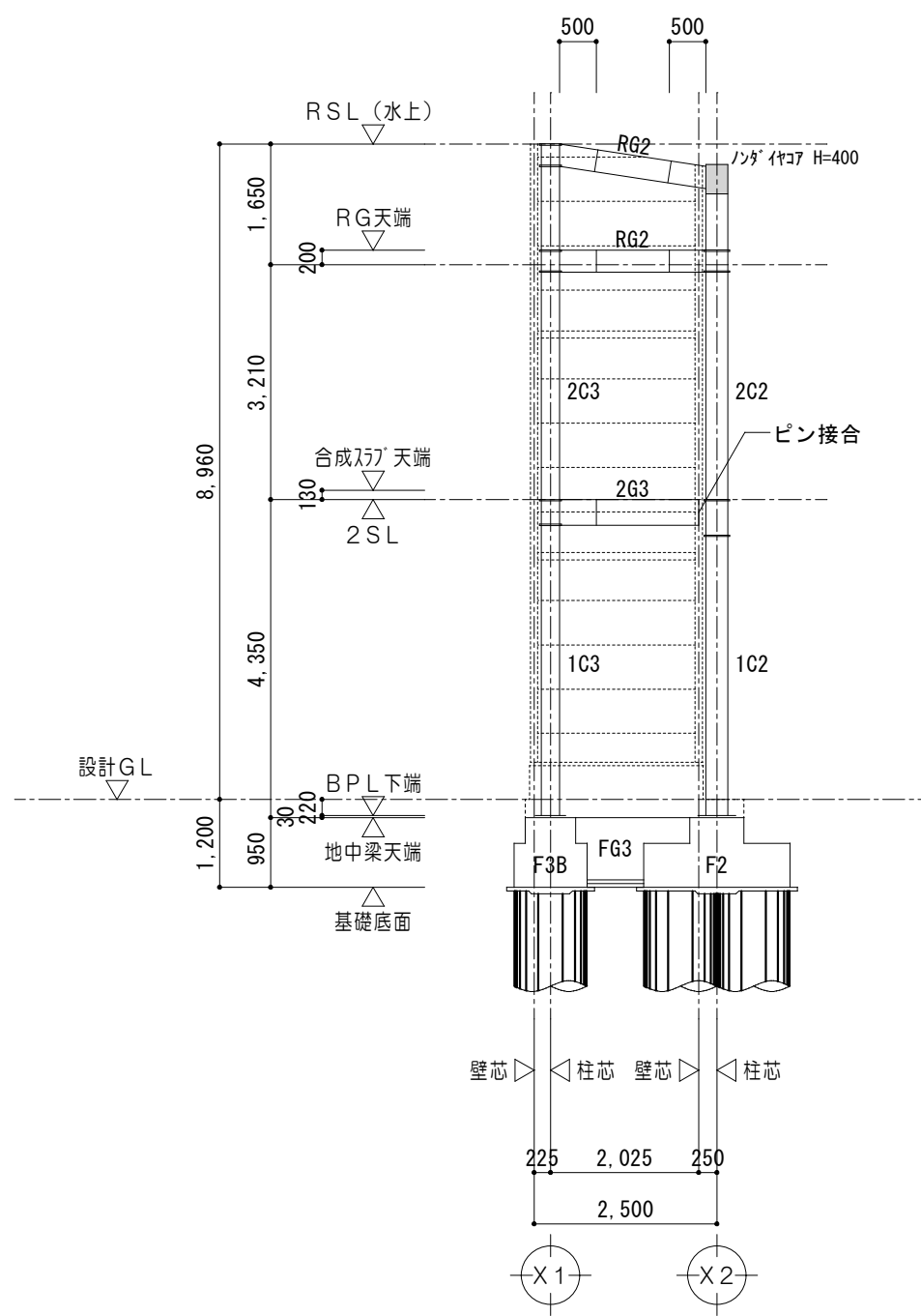
	□-125×125×3.2
	□-100×100×2.3
	C-100×50×20×2.3

特記事項 ※ 上下階で連続する桁脚線は一体で（連続梁となるよう）取り付ける事

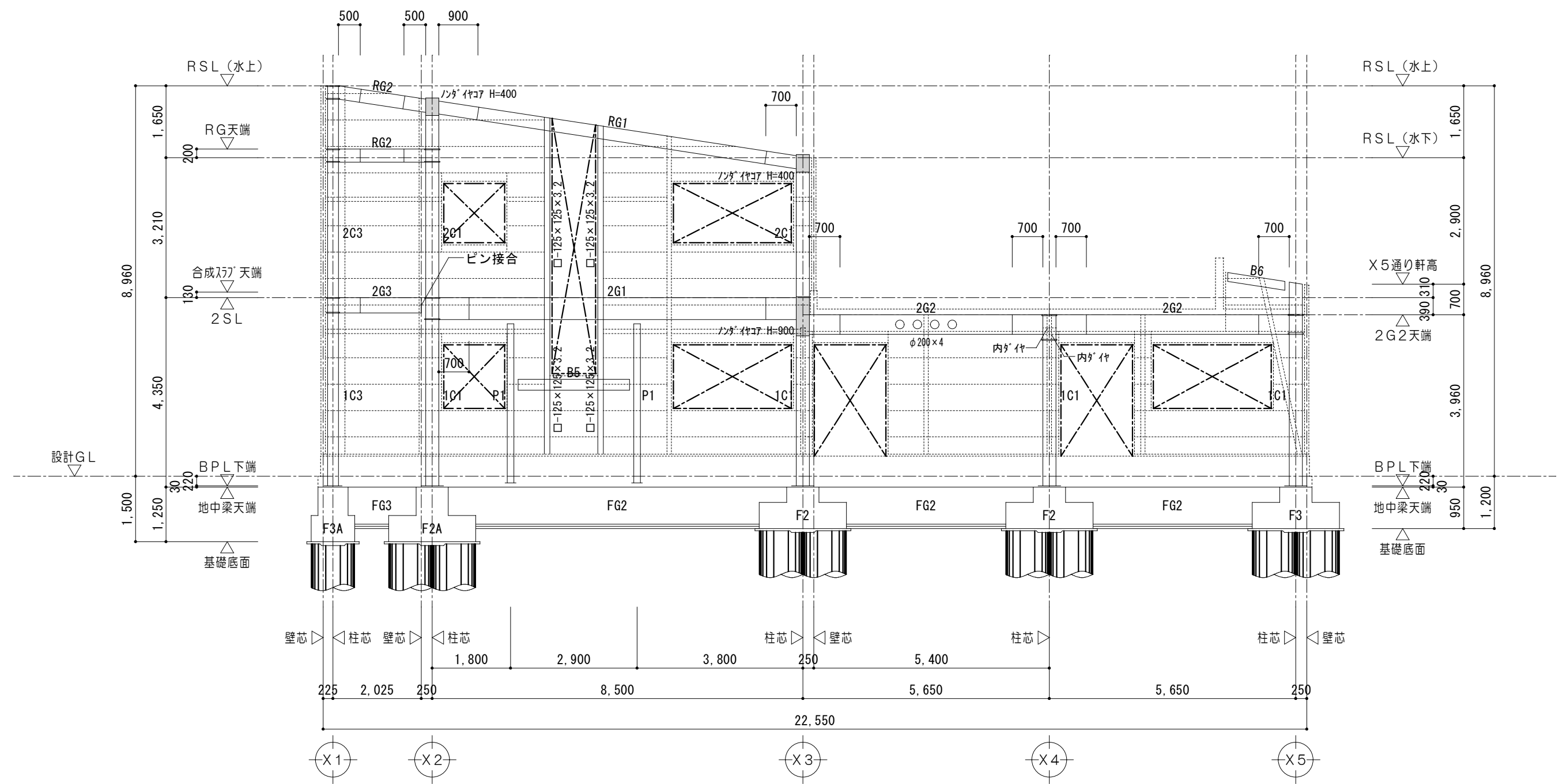
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
 株式会社 前野建築設計
 一級建築士 第117489号 前野初俊 一級建築士 第320204号 前野将輝

一級建築士 第360917号 前田 祐作
 一級建築士 第277259号 鈴木 丈宜

設計年月日	工事名称	(仮称) 津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	S-21 (原図:A2)
	図面名称	軸組図No.1	縮尺	1/100



Y 3 通り 軸組図 1/100



Y 4 通り 軸組図 1/100

鋼縁凡例

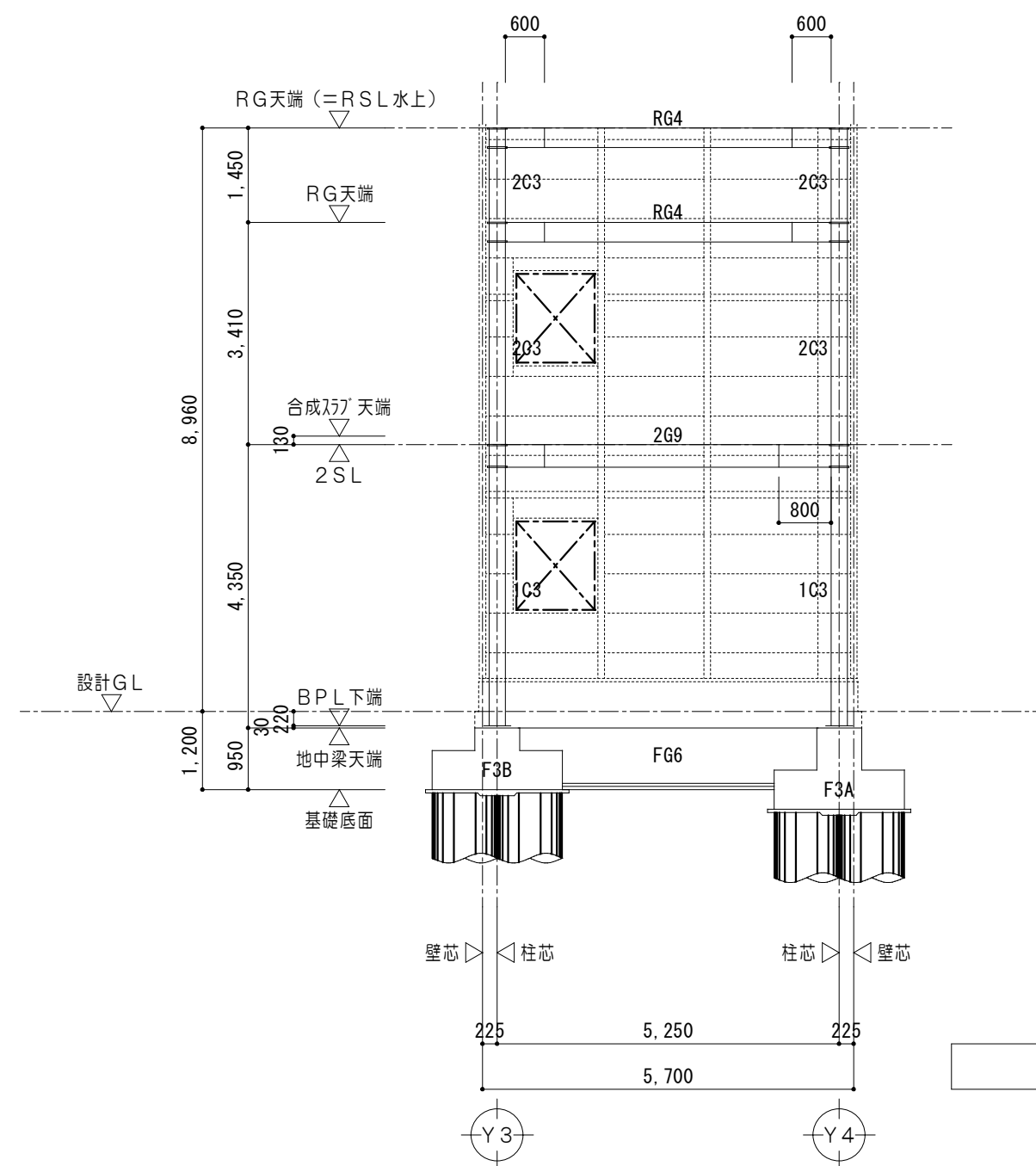
	□-125×125×3.2
	□-100×100×2.3
	C-100×50×20×2.3

特記事項 ※ 上下階で連続する桁鋼縁は一体で（連続梁となるよう）取り付ける事

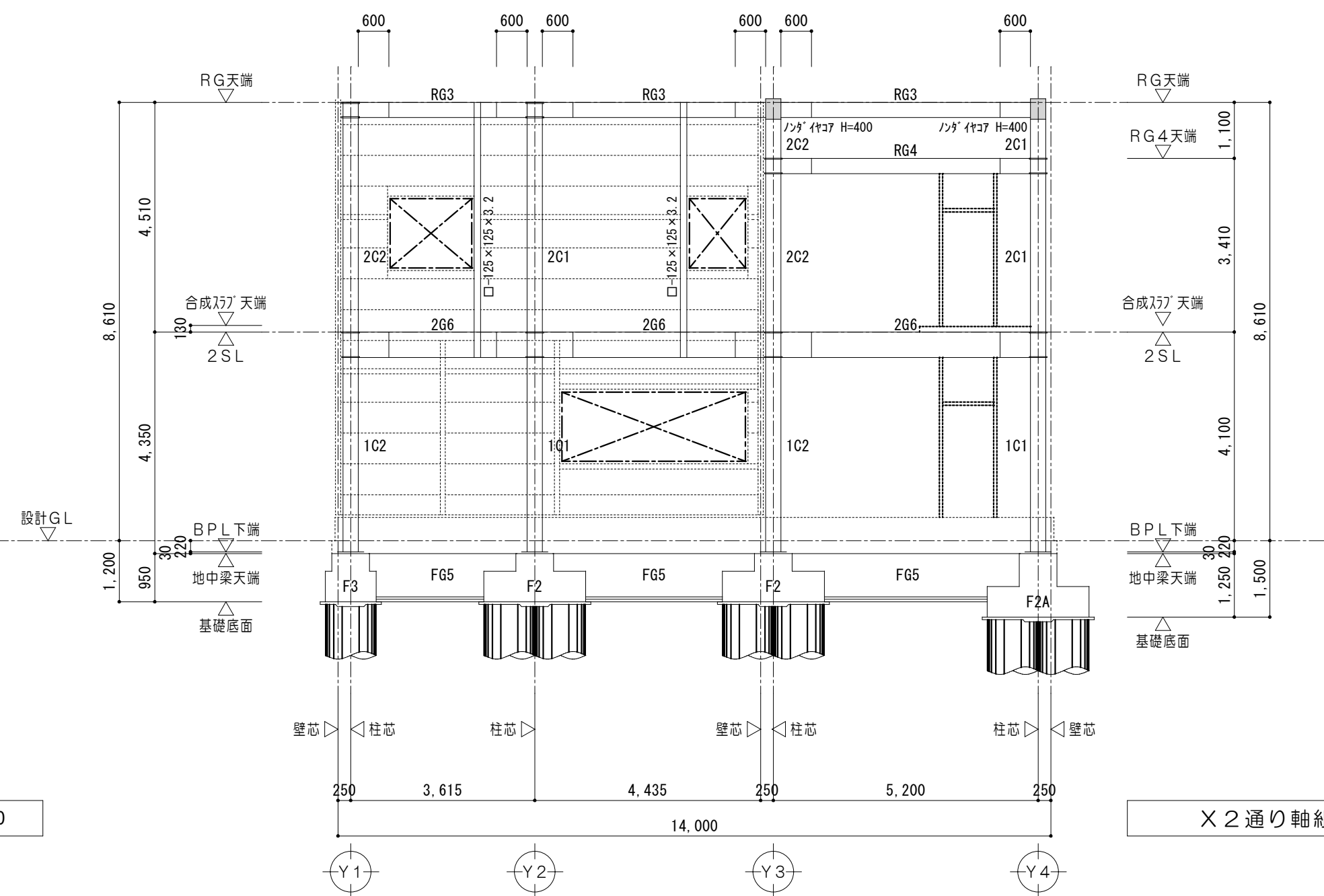
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
 株式会社 前野建築設計
 一級建築士 第117489号 前野 初 俊 一級建築士 第320204号 前野 将 輝

一級建築士 第360917号 前田 祐作
 一級建築士 第277259号 鈴木 丈宜

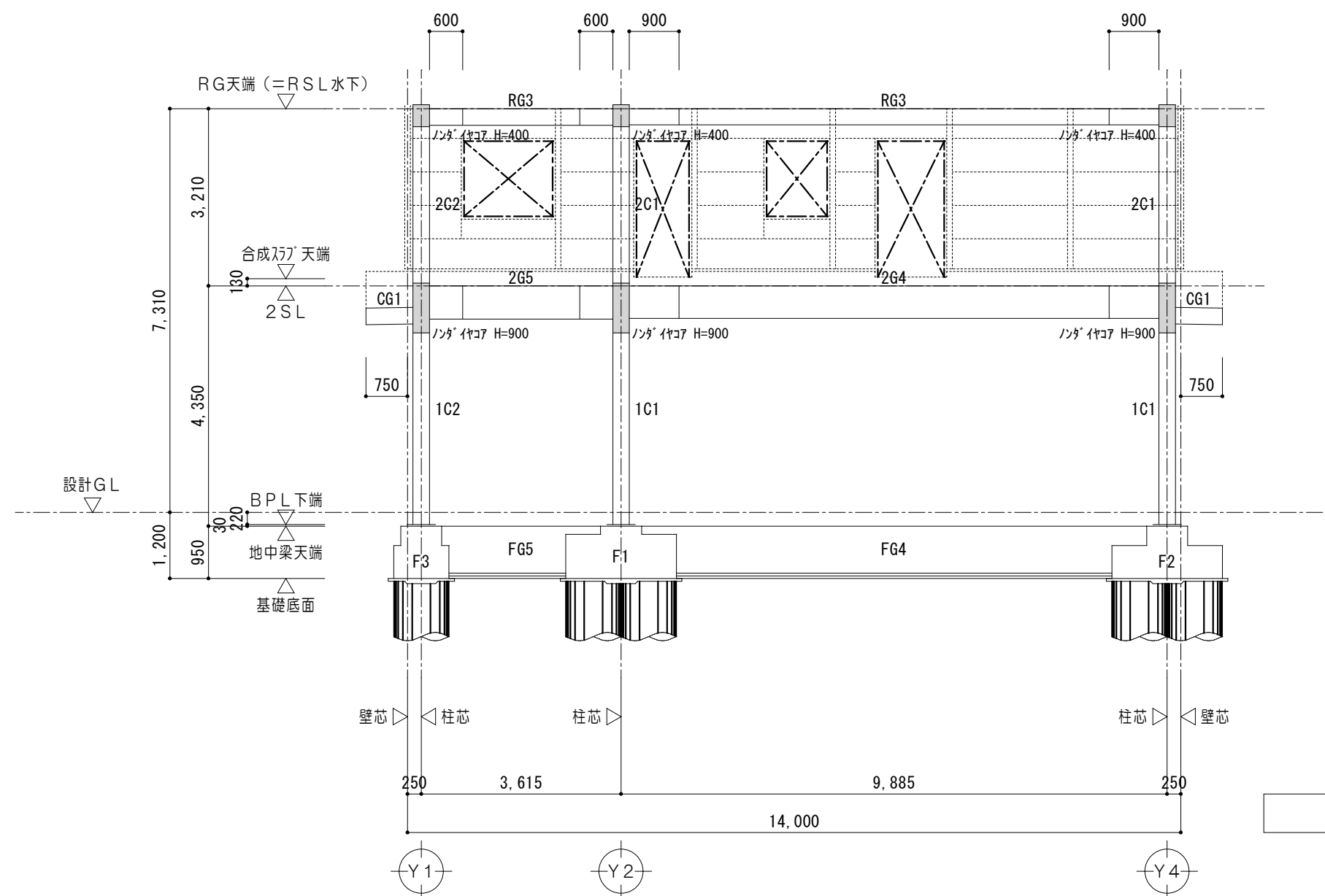
設計年月日	工事名称	(仮称) 津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	S-22 (原図:A2)
	図面名称	軸組図 No.2	縮尺	1/100



X 1 通り軸組図 1/100



X 2 通り軸組図 1/100



X 3 通り軸組図 1/100

網線凡例

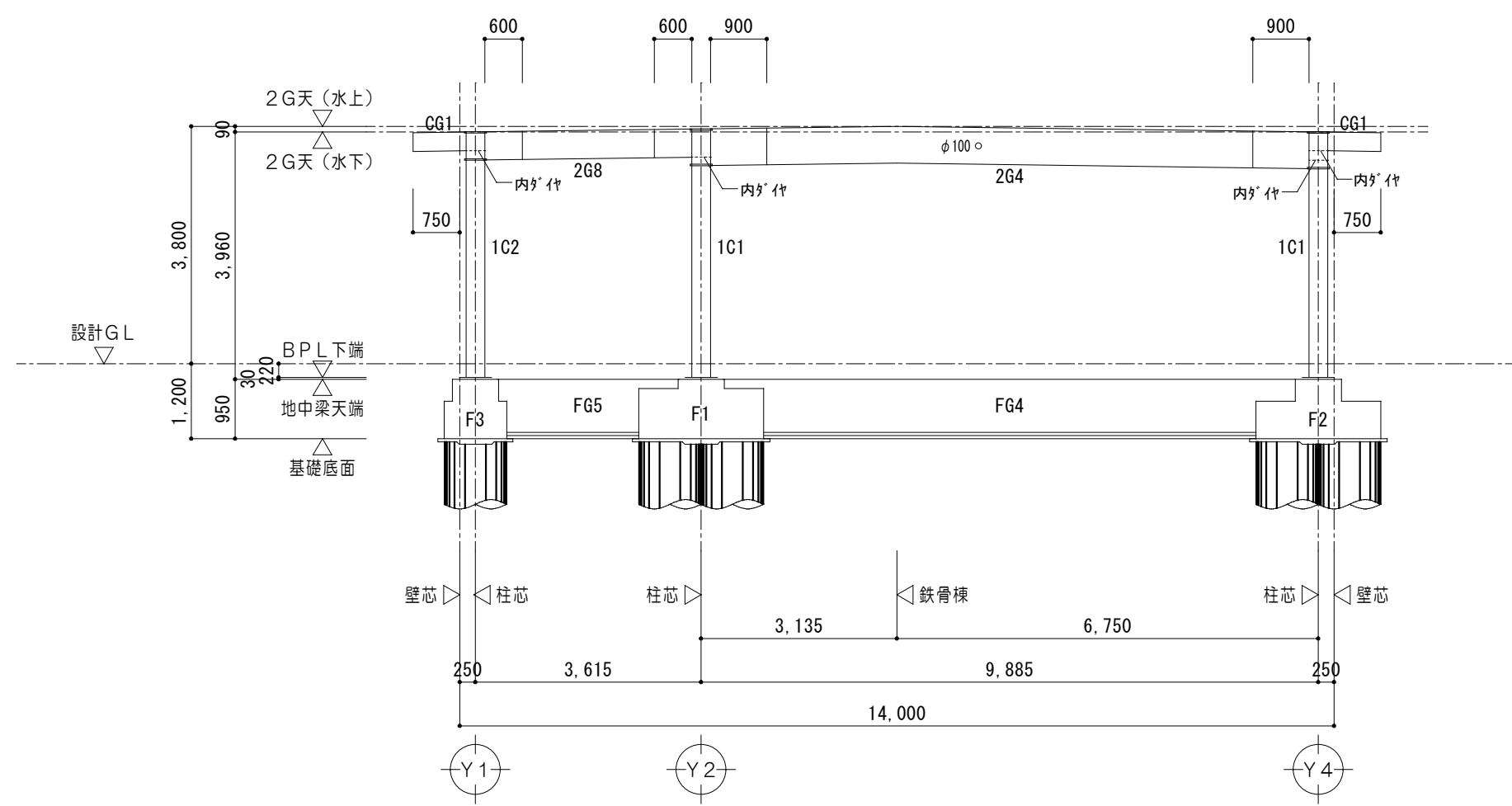
	□-125 × 125 × 3.2
	□-100 × 100 × 2.3
	C-100 × 50 × 20 × 2.3

特記事項

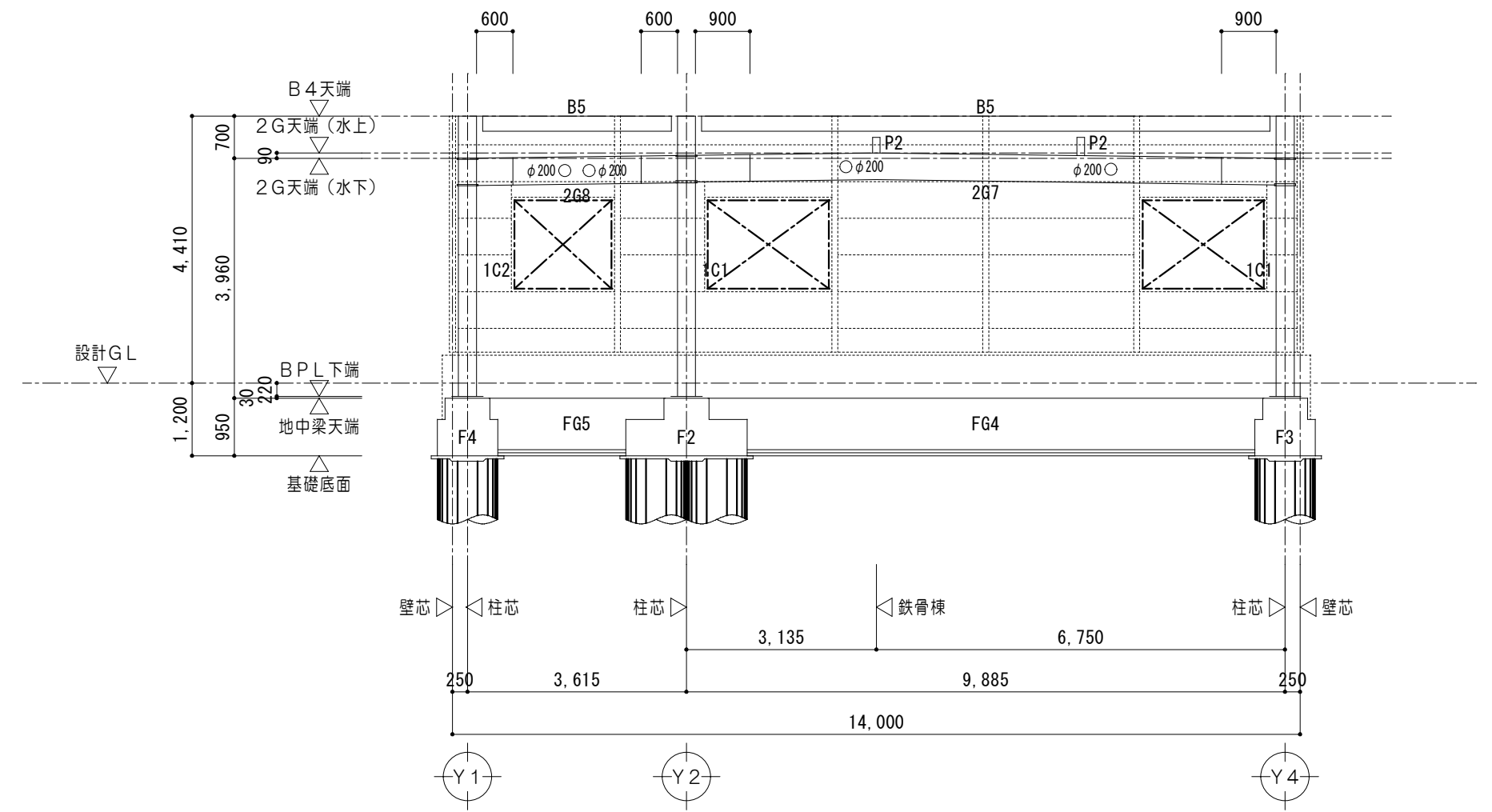
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
 株式会社 前野建築設計
 一級建築士 第117489号 前野初俊 一級建築士 第320204号 前野将輝

一級建築士 第360917号 前田 祐作
 一級建築士 第277259号 鈴木 丈宜

設計年月日	工事名称	(仮称) 津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	S-23 (原図:A2)
	図面名称	軸組図No.3	縮尺	1/100



× 4 通り軸組図 1/100



× 5 通り軸組図 1/100

鋼線凡例

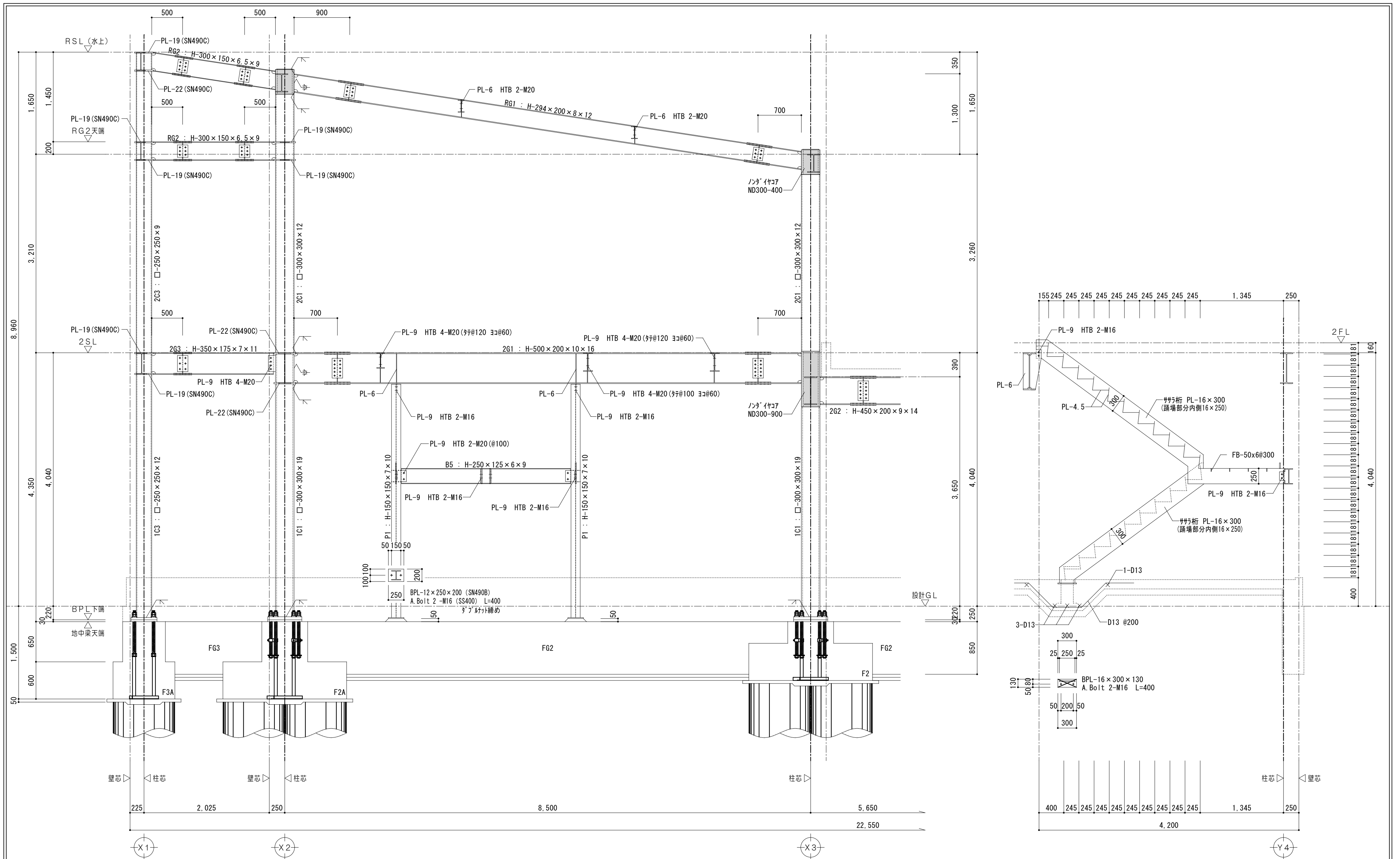
	□-125 × 125 × 3.2
	□-100 × 100 × 2.3
	C-100 × 50 × 20 × 2.3

特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
 株式会社 前野建築設計
 一級建築士 第117489号 前野 初 俊 一級建築士 第320204号 前野 将 輝


一級建築士 第360917号 前田 祐作
 一級建築士 第277259号 鈴木 丈宜

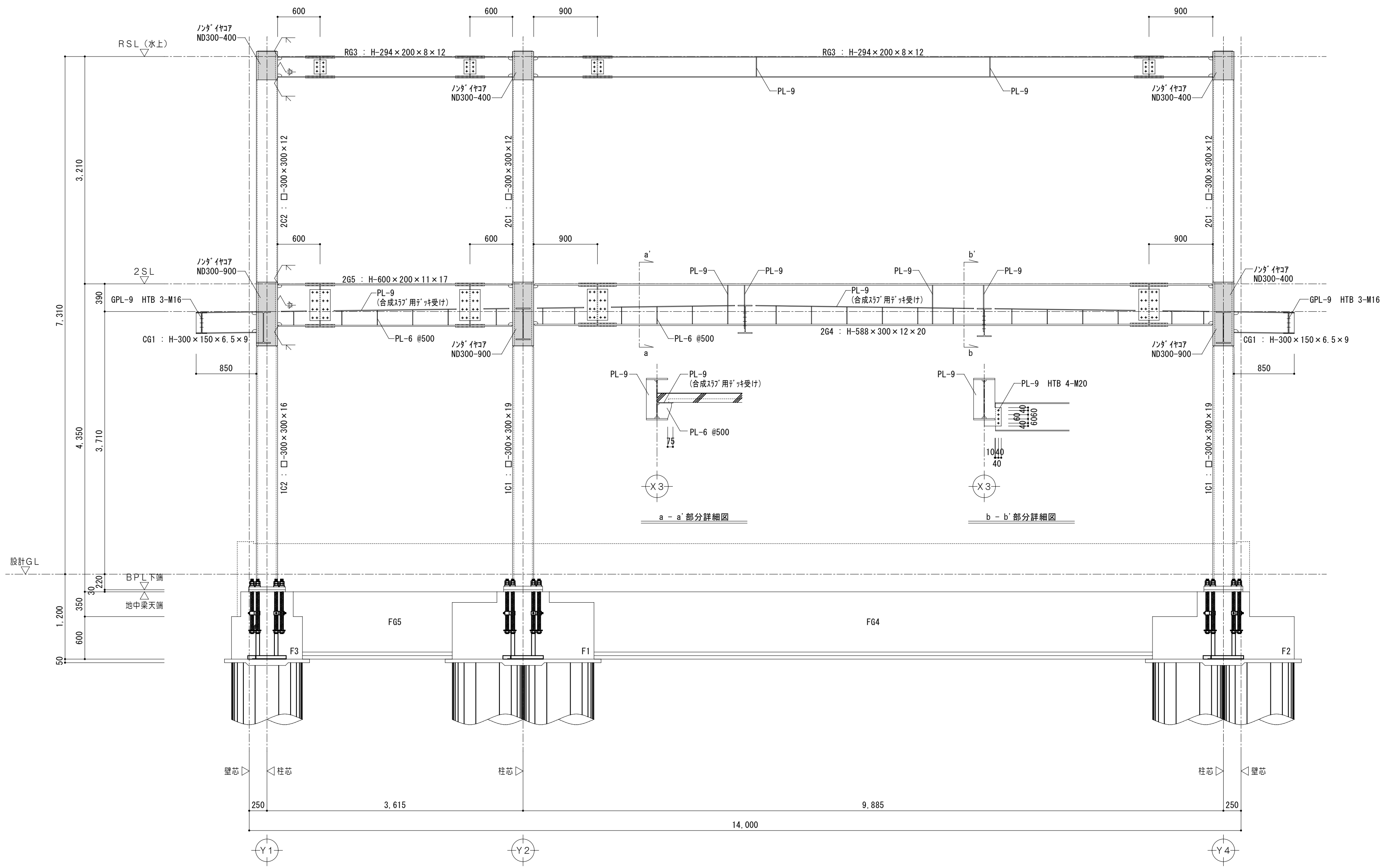
設計年月日	工事名称	(仮称) 津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	S-24 (原図:A2)
	図面名称	軸組図No.4	縮尺	1/100




Y 4 通り鉄骨詳細図 1/40

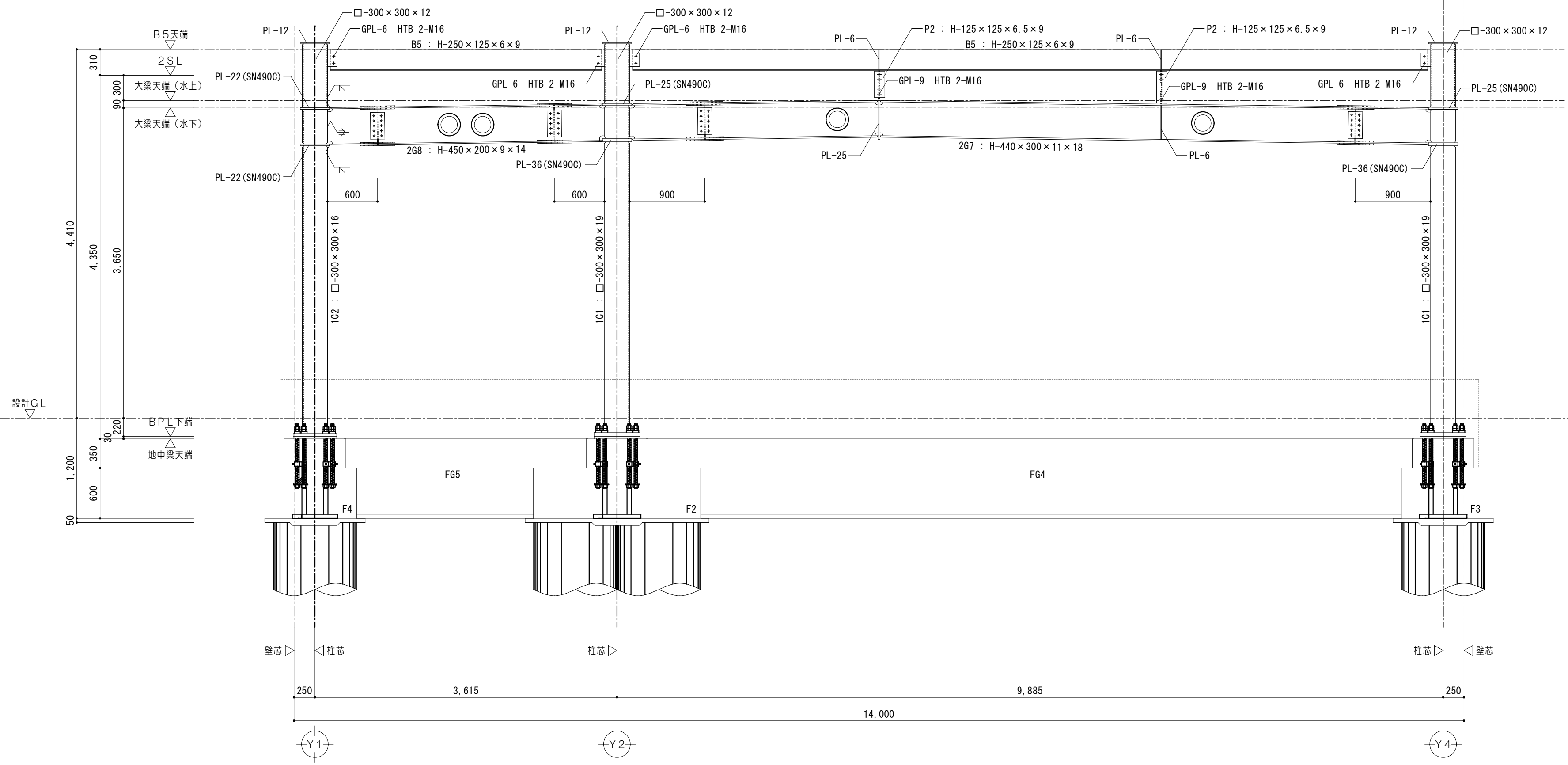
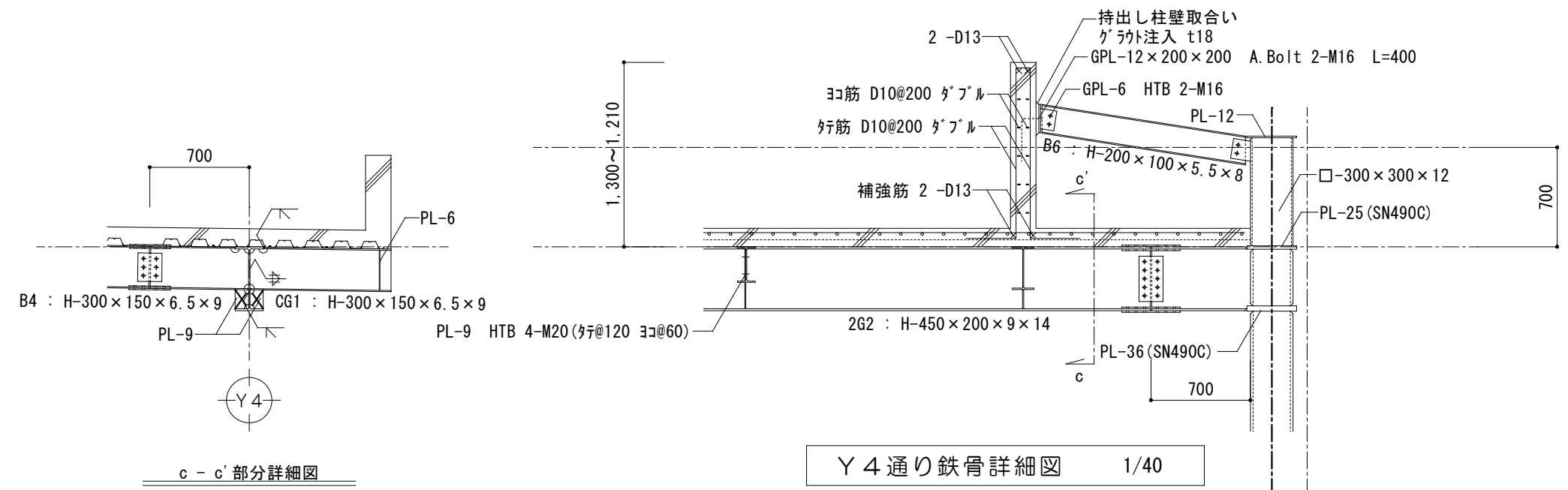
階段部分詳細図 1/40


特 記 事 項		 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士 第117489号 前野 初俊 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第360917号 前田 祐作 一級建築士 第277259号 鈴木 文宜	設計年月日	工事名称	(仮称) 津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	S-25
				図面名称	鉄骨詳細図 No. 1	縮尺	1/40	



X3通り鉄骨詳細図 1/40

特 記 事 項		 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士 第117489号 前野 初俊 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第360917号 前田 祐作 一級建築士 第277259号 鈴木 丈宜	設計年月日	工事名称	(仮称)津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	S-26 (原図:A2)
						図面名称	鉄骨詳細図No.2	縮尺



特 記 事 項		 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 一級建築士 第117489号 前野 初俊 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第360917号 前田 祐作 一級建築士 第277259号 鈴木 丈宜	設計年月日	工事名称	(仮称) 津市豊が丘会館別館建築工事	図面番号	S-27
					図面名称	鉄骨詳細図No. 3	縮尺	1/40